

横浜市芸術文化教育プログラム推進事業

横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム  
令和4年度事業報告書

# アーティストが学校へ

横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局

(STスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市にぎわいスポーツ文化局)

# 横浜市芸術文化教育プラットフォーム

## 令和4年度事業報告書 目次

### 【横浜市芸術文化教育プラットフォームとは】 .....07

令和4年度事業報告 概要	08
横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム 連携のしくみ	09
これまでの学校プログラムの取組	10
学校プログラム アンケート結果 児童・生徒向けアンケートから	11
学校プログラム アンケート結果 教員向けアンケートから	12

### 【学校プログラムの個別報告】 .....15

#### 音楽

鶴見区	岸谷小学校+横浜シティオペラ	ヘンゼルとグレーテル1	17
鶴見区	下野谷小学校+あっちこっち	オペラ・カルメンワークショップ1	18
鶴見区	寺尾小学校+サルビアホール	バンドと一緒に演奏体験をしよう!	19
鶴見区	平安小学校+横浜市芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ	打楽器で世界旅行!!ーリズムはことばー	20
神奈川区	斎藤小学校+かなっくホール	ミュージカルソングを歌おう	21
神奈川区	中丸小学校+あっちこっち	オペラ・カルメンワークショップ2	22
神奈川区	西寺尾第二小学校+かなっくホール	「魔笛」の世界を体験してみよう!	23
西区	宮谷小学校+横浜みなとみらいホール	ジャンベを体験しよう1	24
港南区	桜岡小学校+ひまわりの郷	創作楽器を作って演奏しよう! ~手作り楽器でオーケストラコラボ~	25
港南区	下永谷小学校+ひまわりの郷	たたけば楽しい! 打楽器の世界~いろんな打楽器を体験しよう~	26
港南区	芹が谷小学校+吉野町市民プラザ	ギターとピアノの演奏を楽しもう	27
港南区	南台小学校+象の鼻テラス	いま、音楽をしているのは誰?	28
旭区	今宿南小学校+サンハート	イマミッコのためのサクスマニ音楽会	29
金沢区	金沢小学校+長浜ホール	卒業式で、みんなで創った新しい歌を唄おう!	30
金沢区	並木中央小学校+横浜シティオペラ	ヘンゼルとグレーテル2	31
金沢区	西柴小学校+横浜市芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ	創立50周年記念ソングをつくろう	32
金沢区	西富岡小学校+長浜ホール	音楽劇を体感! パパゲーノがやってきた!	33
港北区	大曽根小学校+関内ホール	ラテン音楽に親しもう	34
港北区	高田小学校+大倉山記念館	きいて のびやかにうたう楽しさを ソプラノリサイタル	35
緑区	新治小学校+みどりアートパーク	木管楽器の本物の演奏にふれよう	36
青葉区	荏田西小学校+子どもに音楽を	「生」の音楽を楽しもう	37
青葉区	桂小学校+フィリアホール	生演奏を楽しむ参加型コンサート	38
青葉区	鉄小学校+フィリアホール	ボディパーカッションを通じて音楽を楽しもう	39
青葉区	みたけ台小学校+フィリアホール	ヴァイオリンとピアノによる「音楽で旅するヨーロッパ」	40
青葉区	谷本小学校+子どもに音楽を	生の「音」の素晴らしさを感じよう	41
都筑区	川和小学校+横浜シティオペラ	ヘンゼルとグレーテル3	42
都筑区	北山田小学校+横浜こどものひろば	五感を働かせ みんなで楽しむ 普段と違う新鮮な音楽授業	43
都筑区	都田小学校+子どもに音楽を	プロの表現を間近で鑑賞しよう	44
戸塚区	柏尾小学校+さくらプラザ	イメージを持って音楽を作ってみよう!	45
戸塚区	倉田小学校+アートの時間	みんなで英語の歌に挑戦しよう!	46
戸塚区	小雀小学校+アートの時間	リズムで遊ぼう! ウノ・ドス・トレス	47
戸塚区	平戸台小学校+アートの時間	青銅の不思議な音色、息を合わせて合奏するガムラン	48
栄区	桂台小学校+リリス	世界の音楽をめぐる旅	49
栄区	上郷小学校+あっちこっち	響きを味わいながら歌ってみよう	50
栄区	桜井小学校+リリス	卒業ソングをつくろう!	51
栄区	庄戸小学校+リリス	声楽体験~言葉を歌にして伝えよう~	52
栄区	千秀小学校+大佛次郎記念館	音と言葉で“感じる”物語「ピアノと読み声ー紋音ー」	53

栄区	本郷台小学校+リリス	スティールパン+パーカッションコンサート	54
中区	本牧中学校+関内ホール	合唱の良さを知り、仲間と一緒に歌おう	55
港南区	笹下中学校+ひまわりの郷	歌の基礎を学び合唱を楽しもう!	56
旭区	若葉台中学校+サンハート	ドラムサークルを体験しよう	57
港北区	新田中学校+横浜みなとみらいホール	ジャンベを体験しよう2	58
泉区	泉が丘中学校+横浜市芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ	合唱って楽しい!	59
泉区	中田中学校+テアトルフォンテ	声楽アンサンブルを楽しもう! ~Opera! Musical! ~	60
泉区	緑園義務教育学校+S T スポット横浜	好きなものをつくって歌って踊ろう/表現ってなんだ?	61
神奈川区	盲特別支援学校+かなっくホール	①オペラ体験②ピアノとおはなしコンサート③弦楽トリオで聴くパッハ④落語 de ワグナー	62
南区	中村特別支援学校+吉野町市民プラザ	ギターとピアノの演奏を楽しむ	63
港南区	港南台ひの特別支援学校+ひまわりの郷	楽器じゃないけど楽器だよ!?~創作楽器で音を楽しもう!~	64
保土ヶ谷区	上菅田特別支援学校+S T スポット横浜	ガムランやいろいろな音・響きを感じてみよう	65
旭区	左近山特別支援学校+サンハート	打楽器のリズムを感じながらみんなで合奏しよう	66
港北区	北綱島特別支援学校+大倉山記念館	さまざまな楽器の音やリズムを体感しよう	67
戸塚区	東俣野特別支援学校+さくらプラザ	マリンバコンサート	68
栄区	本郷特別支援学校+リリス	パーカッションによる体育館コンサート	69
港南区	ハートフルルーム南台+ひまわりの郷	作ってみよう演奏しよう手作り楽器体験	70



## 演劇

旭区	上白根小学校+サンハート	「めでたしめでたし」のそのあとを作ってみよう	72
戸塚区	川上小学校+さくらプラザ	演劇を通して「自信」について考えよう!	73
緑区	霧が丘義務教育学校+急な坂スタジオ	演劇道場~関係性から台本を紐解く!	74



## ダンス

鶴見区	下末吉小学校+象の鼻テラス	からだで聴こう! 鳴らそう! 踊っちゃおう!	76
鶴見区	新鶴見小学校+サルビアホール	いろんなものに変身しよう	77
港南区	吉原小学校+象の鼻テラス	モノとあそぼう	78
旭区	白根小学校+急な坂スタジオ	自分の好きな動きやポーズでダンスを踊ってみよう	79
旭区	不動丸小学校+急な坂スタジオ	プロの振付家のダンスにチャレンジ!	80
金沢区	釜利谷東小学校+Offsite Dance Project	みんなで「オノマトペでダンス」	81
金沢区	大道小学校+横浜赤レンガ倉庫1号館	からだあそびで表現を知り、ダンスを作って発表しよう	82
港北区	新田小学校+Offsite Dance Project	「スパイ」をテーマにみんなで踊ってみよう	83
港北区	新羽小学校+横浜市民ギャラリーあざみ野	好きな音・自分の音をからだで奏でて踊ろう	84
港北区	師岡小学校+Offsite Dance Project	「からだあそび」をみんなで見つけよう	85
緑区	森の台小学校+みどりアートパーク	みんながダンシング・ヒーロー!	86
青葉区	さつきが丘小学校+芸術家と子どもたち	みんなのダンスを作ろう!!	87
青葉区	山内小学校+横浜市民ギャラリーあざみ野	自分たちでダンスをつくろう	88
都筑区	勝田小学校+横浜赤レンガ倉庫1号館	身体と言葉で自分を表現しよう	89
栄区	小菅ヶ谷小学校+Media Global	歌って踊って自己表現を楽しもう	90
泉区	岡津小学校+テアトルフォンテ	みんなで踊って、運動会で盛り上がりよう!	91
鶴見区	矢向中学校+横浜赤レンガ倉庫1号館	みんなで踊って楽しい!	92
保土ヶ谷区	保土ヶ谷中学校+Offsite Dance Project	イメージを持って身体を動かしてみよう	93
瀬谷区	二つ橋高等特別支援学校+あじさいプラザ	DANCE&COMMUNICATE~ダンスでわかる・ダンスでかわる~	94



## 美術

鶴見区	東台小学校+Art Lab Ova	真昼のミッドナイトライブパーティー	96
西区	稲荷台小学校+岩間市民プラザ	「自分の部屋の窓から見たい風景」を描こう!	97
港南区	芹が谷南小学校+Art Lab Ova	見方を変えると世界が変わる	98

保土ヶ谷区	権太坂小学校+岩間市民プラザ	飾り雛ワークショップ	99
保土ヶ谷区	峯小学校+横浜こどものひろば	コミュニケーションを取って、楽しいことを見つけよう	100
磯子区	さわの里小学校+杉田劇場	あつまれ!みんなで100人パズル	101
金沢区	六浦南小学校+長浜ホール	等身大の自分をステキに描こう!	102
青葉区	田奈小学校+横浜市民ギャラリー	自分でするって楽しい!大きな紙に描く・べったんアート	103
青葉区	つつじが丘小学校+横浜市民ギャラリーあざみ野	ダンボールで自分だけのモビールを作ろう!	104
都筑区	荏田小学校+横浜市民ギャラリーあざみ野	ダンボールアートを楽しもう	105
都筑区	すみれが丘小学校+横浜市民ギャラリーあざみ野	工業部品を使ってアート作品を作ろう	106
戸塚区	秋葉小学校+横浜市民ギャラリー	自分で色をつくろう!絵の具と粘土の活動	107
戸塚区	南戸塚小学校+横浜市民ギャラリー	ダンボールの活動	108
栄区	笠間小学校+横浜美術館	紙テープをつなげてみよう・紙で動物をつくろう	109
瀬谷区	上瀬谷小学校+あじさいプラザ	学校の中で惑星を発見してみよう!	110
南区	共進中学校+横浜美術館	PLAY デザインと遊ぶ	111
南区	蒔田中学校+Art Lab Ova	なりきり、浮世絵模写	112
港北区	篠原中学校+横浜美術館	「衝撃」から生まれる表現	113
泉区	領家中学校+横浜美術館	ガチで価値についていっぺんパッチパチに考えてみる会	114
南区	浦舟特別支援学校+S T スポット横浜	見つける、表す、伝える	115



## 伝統芸能

鶴見区	上末吉小学校+サルビアホール	和楽器に触れ、わが国の音楽の良さを感じ取ろう1	117
鶴見区	豊岡小学校+横浜にぎわい座	「寄席の芸(落語・色物)」を鑑賞しよう1	118
鶴見区	馬場小学校+サルビアホール	和楽器に触れ、わが国の音楽の良さを感じ取ろう2	119
神奈川区	神奈川小学校+かなっくホール	歌舞伎囃子方の表現方法を学び、古典芸能を知ろう	120
神奈川区	幸ヶ谷小学校+かなっくホール	日本の伝統芸能に親しもう	121
西区	浅間台小学校+S T スポット横浜	お箏の魅力を感じ、演奏してみよう	122
西区	みなとみらい本町小学校+岩間市民プラザ	箏の鑑賞と体験をしよう	123
中区	本牧南小学校+あっちこっち	お囃子を体験しよう!小鼓、太鼓演奏で合奏に挑戦!1	124
港南区	港南台第三小学校+吉野町市民プラザ	お箏を体験しよう!	125
港南区	野庭すずかけ小学校+吉野町市民プラザ	箏の歴史と生演奏	126
保土ヶ谷区	今井小学校+岩間市民プラザ	地域で生まれ育った伝統芸能に親しもう	127
保土ヶ谷区	帷子小学校+岩間市民プラザ	「さくらさくら」を弾いてみよう	128
旭区	上川井小学校+サンハート	思いっきり和太鼓をたたこう	129
旭区	鶴ヶ峯小学校+横浜能楽堂	狂言を体験しよう!1	130
旭区	本宿小学校+久良岐能舞台	みんなで狂言を体験しよう!1	131
旭区	南本宿小学校+久良岐能舞台	みんなで狂言を体験しよう!2	132
磯子区	汐見台小学校+杉田劇場	箏を体験してみよう!1	133
磯子区	根岸小学校+横浜にぎわい座	「寄席の芸(落語・色物)」を鑑賞しよう2	134
磯子区	梅林小学校+杉田劇場	邦楽器の歴史や広がりを知り、魅力を確認しよう	135
磯子区	浜小学校+杉田劇場	箏を体験してみよう!2	136
磯子区	洋光台第二小学校+杉田劇場	能を知る・能を観る	137
金沢区	文庫小学校+Media Global	日本の祭りを楽しもう	138
港北区	城郷小学校+大倉山記念館	箏の演奏を聴き、演奏をしてみよう!	139
港北区	新吉田第二小学校+関内ホール	お箏を体験してみよう	140
港北区	高田東小学校+あっちこっち	お囃子を体験しよう!小鼓、太鼓演奏で合奏に挑戦!2	141
港北区	箕輪小学校+横浜能楽堂	みんなで和太鼓の演奏をつくりあげよう	142
緑区	竹山小学校+みどりアートパーク	よさこいを踊ってみよう!	143
青葉区	青葉台小学校+久良岐能舞台	みんなで狂言を体験しよう!3	144
青葉区	奈良小学校+横浜能楽堂	狂言を体験しよう!2	145
青葉区	東市ヶ尾小学校+民族歌舞団 荒馬座	和太鼓と魚を獲る漁師の踊りを体験しよう	146
都筑区	牛久保小学校+久良岐能舞台	みんなで狂言を体験しよう!4	147
都筑区	荏田第一小学校+横浜芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ	三味線に触れてみよう	148
都筑区	川和東小学校+横浜みなとみらいホール	箏に触れてその魅力を知ろう	149

戸塚区	境木小学校+横浜能楽堂	越天楽と雅楽の舞を体験しよう	150
戸塚区	名瀬小学校+さくらプラザ	小鼓で感じる歴史と音楽	151
戸塚区	東品濃小学校+さくらプラザ	箏の生の音楽を感じよう	152
戸塚区	矢部小学校+横浜みなとみらいホール	邦楽鑑賞会～迫力ある生の音に聴き入る～	153
栄区	飯島小学校+久良岐能楽舞台	みんなで狂言を体験しよう！5	154
泉区	伊勢山小学校+テアトルフォンテ	日本の伝統音楽・雅楽の響きを楽しもう	155
泉区	下和泉小学校+テアトルフォンテ	雅楽の良さや面白さ、美しさを味わおう1	156
泉区	中和田小学校+テアトルフォンテ	雅楽の良さや面白さ、美しさを味わおう2	157
瀬谷区	阿久和小学校+あっちこっち	お囃子を体験しよう！小鼓、太鼓演奏で合奏に挑戦！3	158
瀬谷区	二つ橋小学校+横浜能楽堂	狂言を体験しよう！3	159
瀬谷区	三ツ境小学校+あじさいプラザ	お箏体験教室～「ほんもの」の和楽器を奏でよう～	160
瀬谷区	南瀬谷小学校+民族歌舞団 荒馬座	日本のリズムを体験しよう！	161
瀬谷区	瀬谷さくら小学校+横浜にぎわい座	「寄席の芸（落語・色物）」を鑑賞しよう3	162
南区	南が丘中学校+吉野町市民プラザ	寄席を楽しもう	163
緑区	中山中学校+みどりアートパーク	和楽器（雅楽）の良さや音色に親しみ、日本の伝統に触れよう！	164

**【アーティストプロフィール】** .....165

**【コーディネータープロフィール】** .....178

**【各種資料】** .....184



## 【横浜市芸術文化教育プラットフォームとは】

# 横浜市芸術文化教育プラットフォーム

## 令和4年度事業報告 概要

### 事務局体制と課題認識・目的

横浜市芸術文化教育プラットフォームは、認定特定非営利活動法人STスポット横浜、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市文化観光局\*が運営を担い、STスポット横浜が中心となって事業を推進しています。事業を推進するにあたり、横浜の次世代を担う子どもたちのコミュニケーション力や創造力等を育み、豊かな心を養うことを本事業の目的としています。

今年度は、音楽・演劇・ダンス・美術・伝統芸能などの分野で活躍しているアーティスト（芸術家）が、小学校117校、中学校14校、義務教育学校2校、特別支援学校10校、あわせて143校、12,799人の児童・生徒に向けてプログラムを実施。横浜市内の文化施設や、市内外のアートNPOをはじめとする民間の芸術団体など39団体が、学校での実施内容を調整するコーディネーターとして授業づくりを支援しました。 \*令和5年4月より横浜市にぎわいスポーツ文化局へ名称変更

### 取組の蓄積、活動の深化に向けて

事業を担当するコーディネーターが集まり情報交換を行う「コーディネーター会議」を実施し、計22名が集まりました。この場では、担当する学校とのプログラムを調整する際に起きる課題の整理や、過去に蓄積したノウハウなどの情報交換を行い、グループごとのディスカッションも行いました。（令和4年7月5日、会場：瀬谷区民文化センターあじさいプラザ）



コーディネーター会議

教員向けプログラムとしては、先生のためのワークショップを美術分野と音楽分野、特別支援教育分野において行いました。

美術分野では、図画工作科美術科研修の一環として横浜美術館の教育普及グループのコーディネートにより、「コミュニケーションを通じて展示を考えてみよう！」をテーマにワークショップを行い、横浜市内の小・中・特別支援学校の教員等19名が参加しました。（令和4年7月22日、会場：Zoomにてオンライン開催／PLOT48より配信）



先生のためのワークショップ  
（音楽分野）

音楽分野では、授業づくり講座の一環として横浜みなとみらいホールのコーディネートにより、パイプオルガンの体験・鑑賞プログラムを行い、横浜市内の小・中・特別支援学校の教員等28名が参加しました。（令和5年1月18日、会場：横浜みなとみらいホール）

特別支援教育分野では、横浜市特別支援教育研究会・C部会とともに「からだとの向き合い方、関わり方」をテーマに、アーティストによる身体を通したコミュニケーションを探るワークショップを行い、横浜市内の小学校・個別支援学級の教員等20名が参加しました。（令和5年2月8日、会場：戸塚小学校）



先生のためのワークショップ  
（特別支援教育分野）

また平成30年度より、横浜教育支援センターと連携し、不登校状態にある児童生徒の支援機関であるハートフルルームとの取組を継続しています。詳しい報告は、70ページに掲載しています。

このほか、芸術文化の創造性を学校運営、カリキュラム等に生かしたいと考える学校関係者や、これからプログラムに参加したいと考えるコーディネーターやアーティストのための窓口を設置し、随時相談を受けました。また、過去の実績を集積した報告書や、コーディネーター、アーティストなどの情報をウェブサイトで公開しました。



ウェブサイトの運営



# 横浜市芸術文化教育プラットフォーム

## 学校プログラム 連携のしくみ

### 連携のしくみ

横浜市芸術文化教育プラットフォームは、芸術文化の学校向けプログラムを中心とした「連携のしくみ」です。さまざまな立場の方が集まって、つくられています。ねらいは、次の3点です。

- (1) 学校現場の実状に応じ、カリキュラム上での位置付けを行うための体制づくり
- (2) さまざまな実施主体、関係団体を結ぶネットワーク
- (3) 子どもたちにとって効果的なプログラムの提供及びプログラム実施に関する調査研究や人材育成

#### 学校現場

子どもたちに対して効果的なプログラムを検討し、カリキュラムに位置付けるなど学校現場の実状に応じてプログラムを実施します。プログラム実施の方向性の提案も行います。



#### 事務局（STスポット横浜内に設置）

年間を通して学校からの相談対応や、学校向けプログラムの募集業務等の調整を行います。

#### コーディネーター（芸術団体／文化施設など）

学校などで、子どもたちに向けたアートプログラムを実施します。その際、学校の先生とアーティストをつなぎ、取組が円滑に進むよう調整します。

### 学校プログラムの連携とすすめかた

#### 【アートの力を、学びの基礎づくりに生かします】

私たちは、芸術文化の持つ創造性を通して、子どもたちが互いの感性を認め合い豊かにしていく過程を大切に考えています。教科・科目との運動以外に、コミュニケーション能力の育成やクラスの課題解決など、学びの基礎づくりの中で力を発揮するアート。自由な発想や創造性にあふれた感性を導くことで、子どもたちの学習活動がより豊かになることを期待します。

#### 【アーティストが、直接学校へ出かけます】

プログラムは大きく分けて2種類。1つは、3日程度にわたり実施し、実技体験を通して、アーティストとともにさまざまなジャンルの創造活動に取り組み、子どもの潜在的な創造性やコミュニケーション力を引き出し伸ばしていくことを主眼に、体験する過程そのものを大切にしながら実施する「体験型プログラム」。もう1つは、基本的に1日で終了するプログラムで、アーティストによる演奏やパフォーマンスを鑑賞した後、アーティストのお話を聞くことで芸術文化を身近に感じることができる「鑑賞型プログラム」。音楽・演劇・ダンス・美術・伝統芸能など、幅広い分野で活躍しているアーティストが、直接学校へ出かけます。

#### 【コーディネーターと先生が、実施内容を調整します】

学校プログラムでは、普段文化施設や芸術団体に活動しているスタッフが、学校での実施内容を調整するコーディネーターとして、授業づくりを支援します。対象となる学年と教科・科目のねらいや、普通の学校の様子といった先生が持っている情報と、コーディネーターが持つ文化芸術分野に関する専門知識が1つになることで、効果的なプログラムが実施できます。

# 横浜市芸術文化教育プラットフォーム

## これまでの学校プログラムの取組

### 平成16年度から事業を開始

学校プログラムは、平成16年度にスタートしました。平成20年度には「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」を設立して事務局の基盤を強化しています。この19年間で、のべ1,801校の横浜市の小・中・義務教育学校・特別支援学校で、196,036人の児童・生徒たちが、アーティストとの時間を過ごしました。

	平成16-29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<b>参加児童・生徒数</b>	<b>131,303人</b>	<b>14,091人</b>	<b>14,306人</b>	<b>10,714人</b>	<b>12,823人</b>	<b>12,799人</b>
<b>実施校数</b>	<b>1,106</b>	<b>142</b>	<b>145</b>	<b>126</b>	<b>139</b>	<b>143</b>
音楽	430	46	46	40	43	53
演劇	121	10	9	6	6	3
ダンス	147	18	15	12	22	19
美術	174	19	25	20	22	20
伝統芸能	234	49	50	48	46	48
応募校数	1,192校	160校	169校	170校	170校	170校

### 実施校数の推移

#### 実施校数の推移



### 学校種別実施校内訳

	平成16-29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
<b>実施校数</b>	<b>1,106</b>	<b>142</b>	<b>145</b>	<b>126</b>	<b>139</b>	<b>143</b>
小学校	978	126	122	113	119	117
中学校	65	6	13	7	10	14
義務教育学校	1	2	1	1	0	2
特別支援学校	62	8	9	5	10	10
応募校数	1,192校	160校	169校	170校	170校	170校

### 多様なコーディネーターによる、プログラムの実施

現在の学校プログラムは、コーディネーターとして関わる市内外のアートNPOなど民間の芸術団体と、横浜市内の文化施設に支えられています。直近6年間のコーディネーター数の推移は以下の通りです。

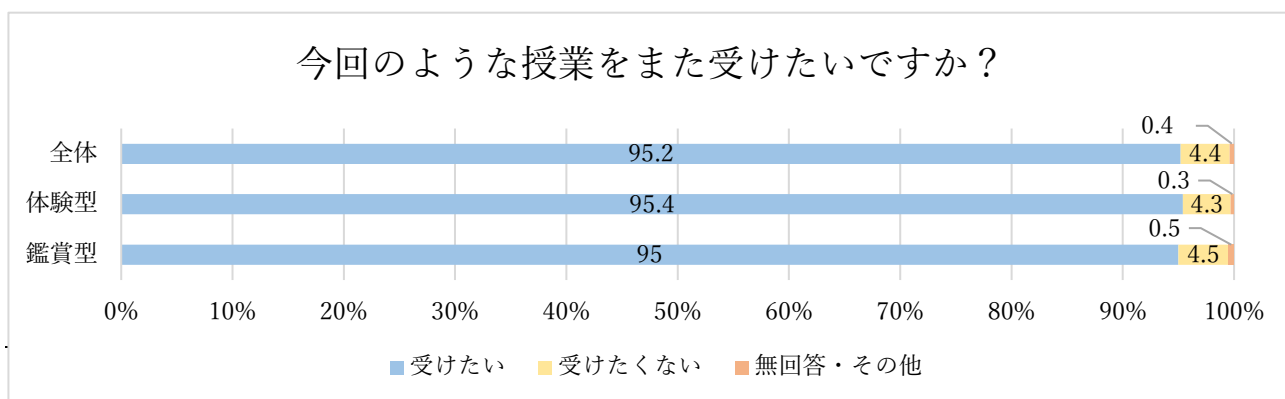
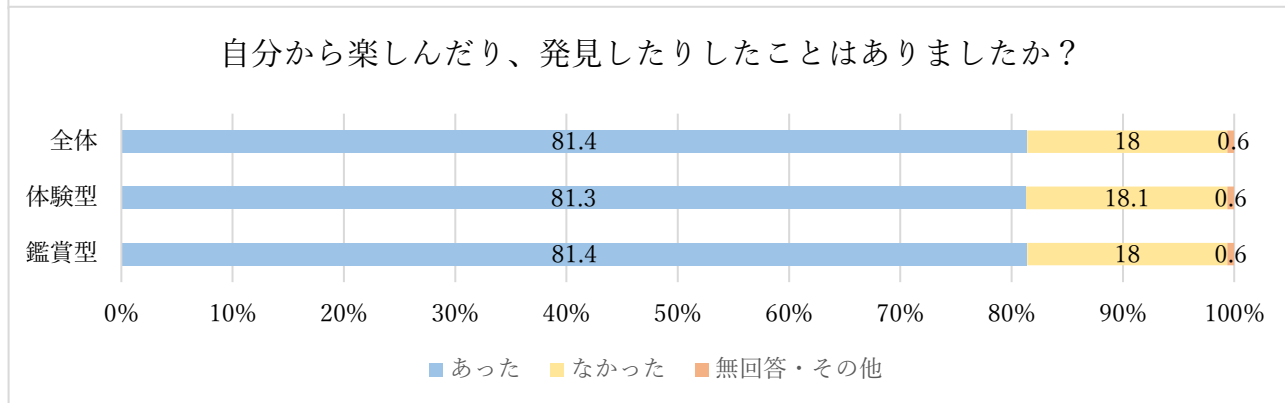
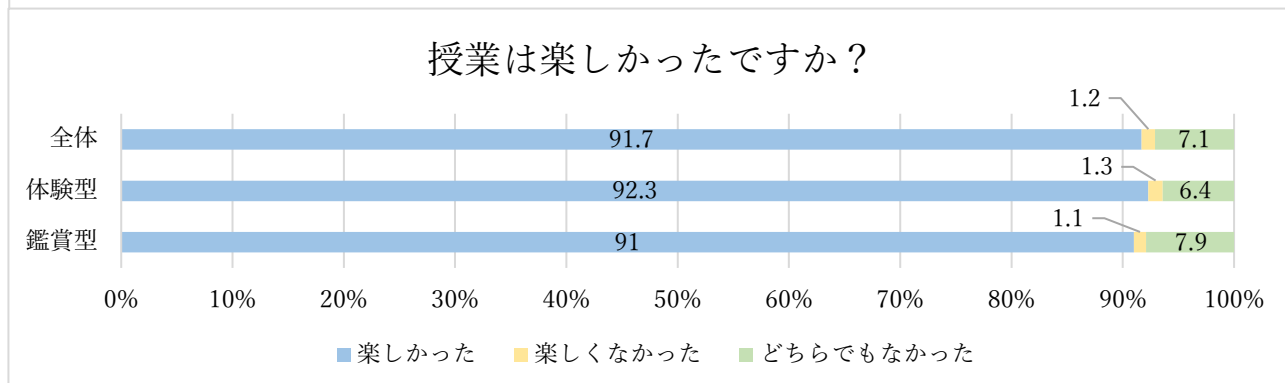
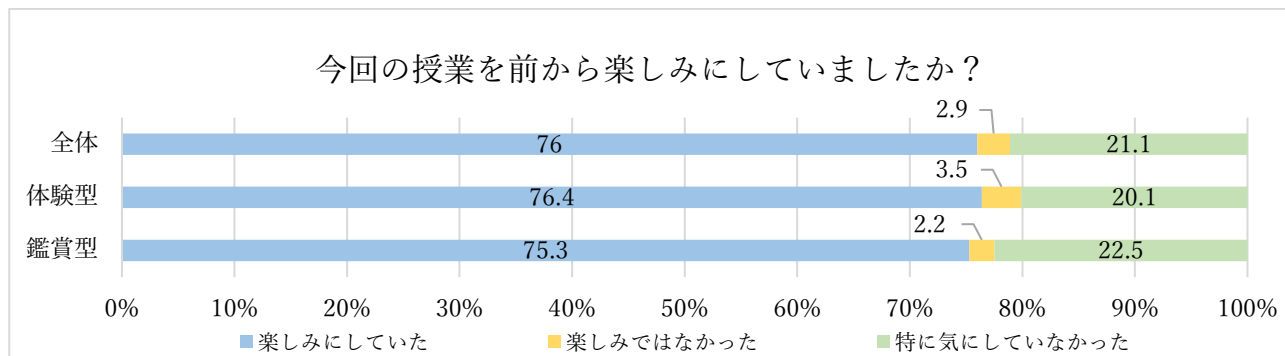
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
芸術団体	11	10	10	10	10	10
文化施設	26	26	26	26	26	27
事務局構成団体	2	2	2	2	2	2
<b>合計</b>	<b>39</b>	<b>38</b>	<b>38</b>	<b>38</b>	<b>38</b>	<b>39</b>

# 学校プログラム アンケート結果

## 児童・生徒向けアンケートから

令和4年度の実施校に対して行ったアンケートを集計したものです。児童・生徒向けのアンケート（※）では、9,021人（うち体験型プログラム5,109人、鑑賞型プログラム3,912人）より回答がありました。※小学3年生以上を対象とし、個別支援学級・特別支援学校では任意で実施しました。設問のうち自由記述は個別報告のページに示しました。

「楽しかった」が91.7%、「また受けたい」が95.2%など評価が高く、次回への期待がうかがえます。



# 学校プログラム アンケート結果

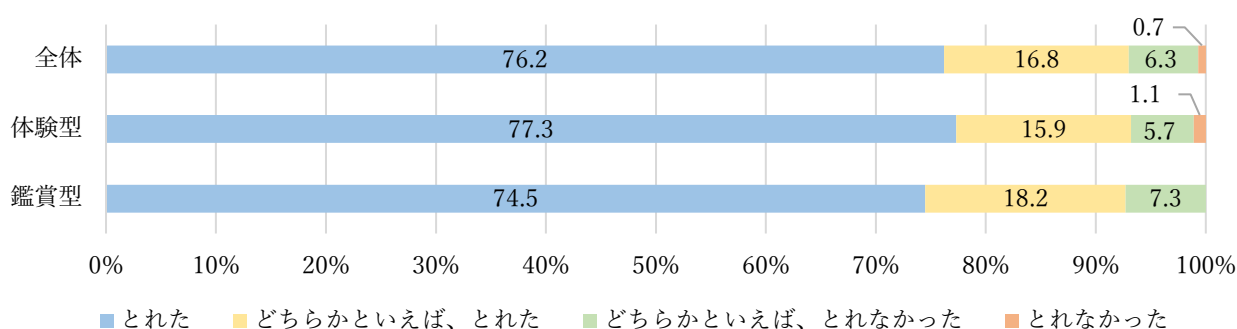
## 教員向けアンケートから

令和4年度の「学校プログラム」実施校の学校（もっとも事業に関わった教員）に対してアンケートを実施し、143校より回答がありました。回収率は、100%（全実施校143校）でした。

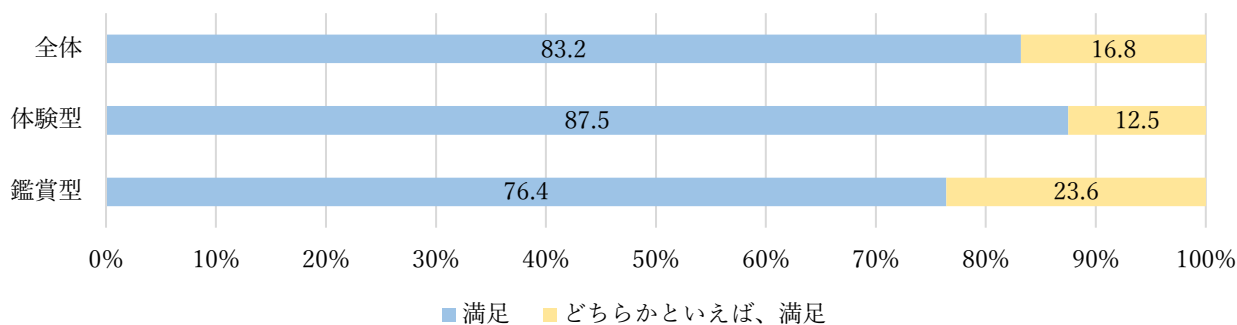
### プログラム全体について

先生から見た子どもたちの満足度については、「満足」「どちらかといえば、満足」を合わせると100%、先生のねらいに照らした満足度については、「満足」「どちらかといえば、満足」を合わせると98%以上と、いずれも高評価でした。

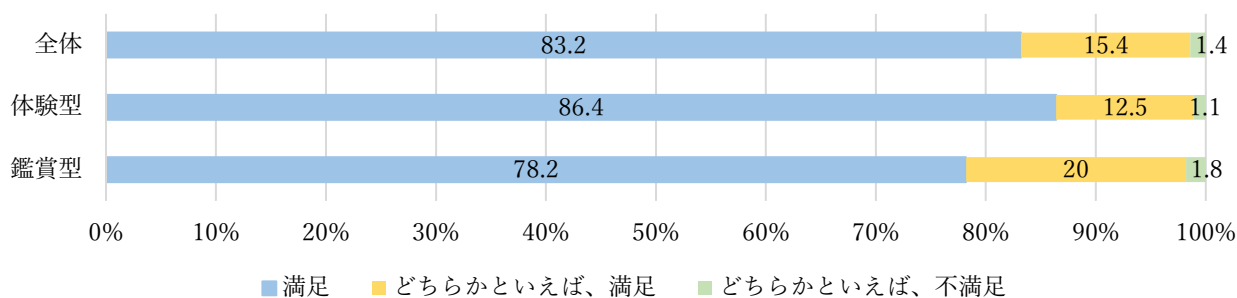
実施にあたって、コーディネーターと適切なコミュニケーションをとることはできましたか？



子どもたちはプログラムに満足していたようでしたか？



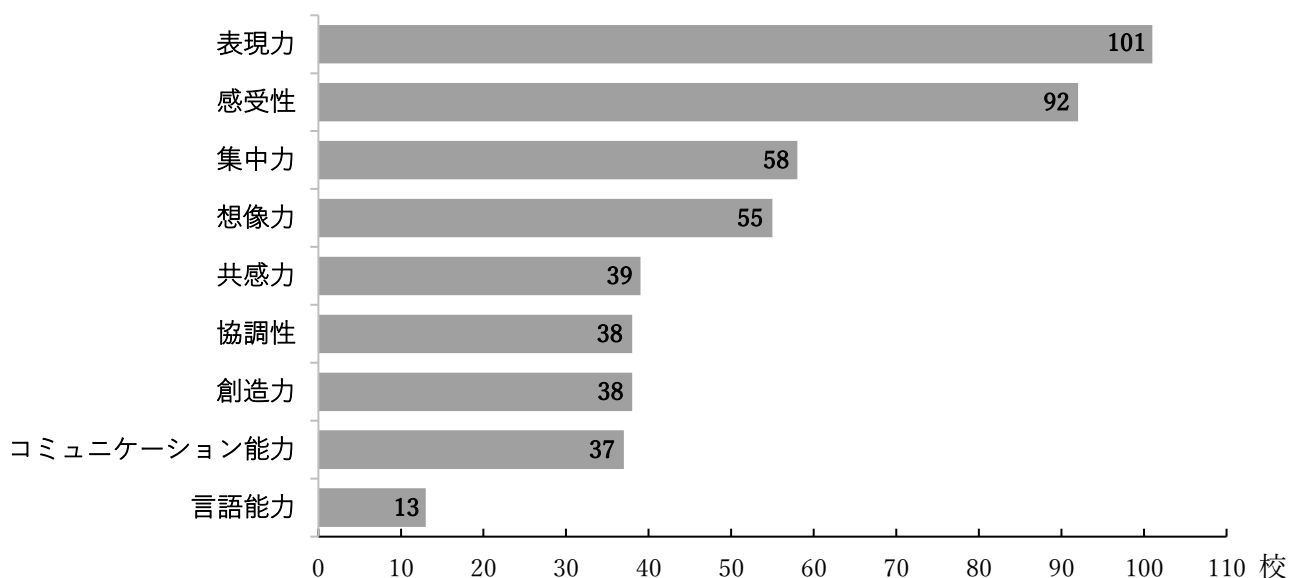
先生のねらいに照らして、今回のプログラムは満足できるものでしたか？



## 実施終了後に子どもたちに「身についた力」

取組を経て子どもたちに「身についた力」はどのようなものだったかを調べました。複数回答でもっとも多かった回答は「表現力」でした。以下、「感受性」「集中力」「想像力」と続きます。

### 今回の取組により、子どもたちにとって力がついたと思われる項目（複数回答）



それぞれの力は、具体的にどのようなものだったか、先生の自由回答を整理したものを、以下にまとめました。

#### 表現力

- ・アーティストに合わせて楽しそうに動いたり、太鼓をたたいたりしていた。声の表現に楽しさを感じ、さっそくまねをして楽しんでいた。
- ・自分たちで選んだ曲を歌うことで、どのような雰囲気でも歌ったら良いか考えたり、楽器を使った表現を工夫したりする場面が見られた。
- ・クラスみんなで音楽に合わせて一体となりながら、自分の気持ちを伝える大切さに気付き、「相手をしっかり見る」「動作を大きくする」など児童が工夫していく過程を見ることができた。
- ・声楽家の歌声を聴き、具体的なイメージを持って声を出す様子を見て、表現する力が高まったと思った。
- ・思いを巡らせたり、互いに意見を交わしたりしながら行ったワークショップで、生徒がデザインの視点を会得することができた。
- ・実際に劇を練習する中で、相手との関係性を意識して、話し方や身振り・手振りを工夫する姿が多く見られた。

#### 感受性

- ・子どもたちが声を大きく上げたり、表情も変わったりして、驚きと発見を感じ取ることができていた。
- ・いろいろな楽器の音に耳を澄ませたり、音の変化で表情が変わったり、音楽に合わせて身体を動かしたりと、それぞれの方法で子どもたちが演奏を楽しむ姿が見られた。

- ・自分たちの演奏や講師の演奏を通して、和太鼓の音、響き、講師の思いや姿などさまざまなことを感じ取っていた。
- ・知らない曲にも身体を揺らしたり、じっくり音を味わったりしている様子が見られた。
- ・生徒たちは、こちらが思っている以上にダンスを楽しんでおり、発表後の達成感や寂しさを感じた生徒が多く、とても感動した。
- ・作家の考えや視点に触れ、こんな表現もあるんだ！美術って自分の考えや感性を自由に表現することなんだ！と改めて気付き、見方や視野を広げられたと多くの生徒が記述していた。

#### 集中力

- ・何度も繰り返し体験していくうちに、響く音を出そう、リズムを合わせようと集中して取り組んでいた。
- ・長い時間集中して聴くことが苦手な子どもたちが、集中力を切らすことなく、引き込まれるように鑑賞していた。
- ・図工が苦手な児童も、集中を切らすことなく熱心に活動に取り組むことができていた。
- ・90分間集中して練習し、お互いの演奏を発表、鑑賞することができた。
- ・どうすればより良い音が出るのか講師のアドバイスをよく聞いて、試行錯誤しながら成長していく姿が見られた。

## 想像力

- ・狂言の面白さに気付き、楽しそうだった。分からないことも想像しながら聞き入っていた。
- ・自由に切った形から想像を働かせて、作品を作り上げていた。
- ・想像する時間をたっぷり持ったことで、発見した惑星の見えないところまで想像してストーリーを仕上げる姿が見られた。
- ・1つの絵も、さまざまな見方をするといろいろな見え方ができることを、楽しみながら学んでいた。風景や雲の写真の形や輪郭に注目し、たくさんものを見つけていた。
- ・言葉からイメージした動きづくりでは、いろいろなイメージをふくらませて考える姿が見られた。

## 共感力

- ・「拾う」という1つの行動にも、さまざまな拾い方があり、そのどれもが素晴らしく、お互いの表現を認め合う様子が見られた。
- ・友達の動きを褒めたり、まねをしたりする姿も見られた。
- ・周りの様子を見ながら手をたたいたり、足を踏み鳴らしたりしていた。友達のリズムを楽しみ、注目していた。
- ・太鼓の音の響かせ方で、川なのか海なのかを表す説明を聞いて「あ〜」「すごい」「そう聞こえる」と呟いていた児童がいた。
- ・ソーラン節の大漁旗を実際に手に持ったり、にしん漁の様子を聴いたり踊りを見たり、実際に踊ったりする時に、一つひとつに驚いたり、納得したりする様子が伺えた。

## 協調性

- ・2人ないし3人のグループで演奏に取り組んだが、教え合ったり励まし合ったりしている様子が見られた。
- ・グループで「七七八〜」と歌ったり、指をたどって補助したりと、協力しながら作り上げる主体的な姿があった。
- ・周りの音をよく聴いて、合わせて演奏することができていた。
- ・自由な中にあるコミュニケーションや折り合いを学んでいること、自分のできるやり方で参加する力が見て取れた。
- ・歌詞を考える際、お互いの意見を譲り合ったり、折衷案を出したりしながら1つのものを作る姿が見られた。

## 創造力

- ・限られた材料でいろいろなものを作り出したり、作ったものを何かに見立てて遊んだりしていて、子どもの発想はすごいと感じた。
- ・歌詞を作ったり、曲想を考えたりすることを通して、自分なりの思いを持って曲を作っていく創造力が育まれたと思う。

・どんな服を着させるか、何を持っているか、何をしている自分にするかなど、一人ひとりがよく考え、個性豊かな作品が出来上がった。

・大きな段ボールを前に、何をしようかと立ち尽くすことなく、自由に、またこうしたいという思いや願いを持って、カッターでくり抜いたりペンで描いたりつなげたり、絵の具で色をつけたりしていた。

・いろいろな表現方法があることを学び、自由に作り上げていくことを躊躇わずにできるようになった。

## コミュニケーション能力

・本番に向けての練習で、お互いの意見を聞き合い分かろうとする姿が見られ、また限られた時間を有効に使って準備を進めていく姿が見られ、喜ばしく思った。

・外部の方と楽しく活動したり、話したりする中でコミュニケーション能力が育まれたと思う。

・同じ班の子ども同士、自分たちのテーマに沿って演劇の動きやせりふ作りに意見を出し合っていた。

・自分たちのために演奏してくださったことから、「ありがとうございました」と先に感謝の言葉を述べてから感想を言う姿が印象的だった。

## 言語能力

・狂言の鑑賞では食い入るように見て、面白い場面では楽しそうに見ており、最後まで自分の言葉で感想を述べることでできていた。

・昔の言葉に触れて、楽しそうに使っていた。古典の単語として調べている子どももいた。

・自分の感じたことを、お礼状作成の中でとてもよく言語化できていた。

## 【学校プログラムの個別報告】

## 音楽分野の取組



目の前で縦横無尽に奏でられる「生の音」に触れてみます。  
聴くことや見ることといった鑑賞を足場に、自分たちが実際にやってみる体験へと活動を広げ、音楽の楽しさを実感していきます。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立岸谷小学校＋横浜シティオペラ ヘンゼルとグレーテル 1

担当アーティスト	篠枝美里 (メゾソプラノ歌手)、飯田千夏 (ソプラノ歌手)、君島広昭 (テノール歌手)、山本ひで子 (ソプラノ歌手)、平川寿乃 (ピアニスト)、山本竹佑 (バリトン歌手)、佐藤玲子 (ソプラノ歌手)
実施校	岸谷小学校 (鶴見区)
コーディネート	NPO 法人横浜シティオペラ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型/オペラ/6 学年 2 学級 55 名
実施日程	2022 年 12 月 6 日 (火)



### 授業のねらい

自他やまちを大切にできる心情や態度を育むこと。心身ともに健やかでたくましく生きる力を育むこと。

### 主な内容

オペラ「ヘンゼルとグレーテル」ハイライト

### アーティストから

ヘンゼルとグレーテル終了後、児童と共に合唱。新型コロナウイルス感染防止の観点から、6年生55人と少ない参加児童だったのは残念でした。実施日が今年の3校目でもあったので、公演はとても良い公演で皆さん声の伸びも良かったです。最後に子どもたちと歌ったことも楽しかったですし、子どもたちの声も聞けてうれしかったです。

### コーディネーターから

岸谷小学校の体育館は大きさがちょうど良く、響きも良かったです。今年度実施校の3校とも新型コロナウイルス感染防止のため、少ない参加数になってしまったことはとても残念に感じます。ですが、コロナ禍以降自粛していた、ヘンゼルとグレーテルの演目を再開できたことはうれしく思います。来年度以降、通常の参加人数で行えることを期待いたします。

### 先生から

楽しく子どもを飽きさせない内容でした。6年生には少し低学年向きであるように感じました。もう少し長いオペラでも良かったかもしれません。皆さんエネルギーで美しい声でした。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立下野谷小学校＋あっちこっち オペラ・カルメンワークショップ1

担当アーティスト	浜野与志男（ピアニスト）、金持亜実（ソプラノ歌手）、関口直仁（バリトン歌手）
実施校	下野谷小学校（鶴見区）
コーディネーター	認定NPO法人あっちこっち
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／合唱／3学年2学級65名
実施日程	2022年9月2日（金）、2022年9月14日（水）、2022年9月28日（水）



## 授業のねらい

一流のものを見る、聴くということがどういうことか、その価値を感じてもらおう。声を出すことや表現することが「すてきなこと」であることを、体験を通して学ぶ。音楽の力で自分の心を解放し、伸び伸びと表現できる力をつける。

## 主な内容

<1日目>自信を持って歌えるように音取りをしよう<2日目>楽曲のイメージを掘り下げよう<3日目>伸び伸びと音楽を表現しよう

## アーティストから

今年度も感染症対策をしながらのワークショップとなったが、その中でもしっかりと声を出し、さらにその先にある「歌で表現する」という目標を達成できた、と最終日の成果発表を聞いて実感した。児童一人ひとりが積極的に取り組んでくれたことが歌声に表れており、そのエネルギーに圧倒された。マスク着用での歌唱は通常よりも声が出しづらく、また表情も動かすにくいために困難もあったと思うが、イメージの持ち方次第で歌でもさまざまな表現ができるということを児童が少しでも実感してくれていたらうれしく思う。（金持）

練習の段階から、子どもたちは真剣に取り組み、問いに対しても積極的な反応を示していた。ただし、集中して学んでいる児童と、なかなか集中できない児童との間にある足並みの乱れをどのように埋め合わせるべきか、考えさせられることもあった。とはいえ「緊張を克服して表現すること」「非日常的な体験を経て自己の成長を実感すること」など、たくさんの学びがあったことを、終了後の児童の感想から感じられて、私自身も達成感があった。児童にとっても、達成感もありつつ反省もあるような、継続的な学びへと続いていく体験であってほしいと思う。（関口）  
下野谷小学校への前回訪問時（令和2年度）にも、非日本語話者の在校生に対応されている旨を伺い、先進的な取組が行われている印象を受けましたが、今回も学校全体に活力があり先生と子どもたちの間で良い協力関係が築かれている様子を見ることができました。子どもたちが「フランス語」、「イタリア語」、「ドイツ語」

など、言語に対して反応していたことが印象的でした。ワークショップ中に子どもたちから多くの自発的な発言があったほか、歌唱と演技を通して積極的な表現が多々見られ、私たちも多くの学びを得られました。（浜野）

## コーディネーターから

下野谷小学校の先生方にはメールや電話など、やりとりをたいへん迅速かつ丁寧にしていただき、連休などあったにも関わらずとても助かりました。学校の先生方のそのような雰囲気もあってか、児童にも活気・やる気・積極性があり、プログラムに対しての食いつきも良かったと感じました。そして、アーティストの方々の素晴らしい授業、コンサートの際は子どもたちが目を輝かせながら聴いておりました。最後に感想を促した際の挙手も多く驚き、アーティストの方々の音楽に対する情熱にも感銘を受けました。また、コロナ禍でなかなか発声することが難しい時期を長く過ごしてきた子どもたちにとって、今回のワークショップはとても胸に刺さるものがありました。心から楽しそうに身体を動かし、振り付け歌う姿に、先生方のご指導の賜物だと感嘆しましたし、もっとこの溢れる若いエネルギーをいろいろなところで発表する機会が増えれば良いなと思いました。準備する中で大変な作業、これから課題となる作業、それぞれ収穫がありましたが、体験する子どもたちの様子から、また今後さらに発展し、良い経験を提供できるように模索していきたいと思えます。

## 先生から

コーディネーターのあっちこっちさんに間に入ってもらい、円滑に進められました。授業参観で保護者の方々に成果を見ていただくこともでき、好評でした。

## 子どもたちから

オペラの方とうたえてうれしいし、こえのたかさやひくさをおしえてもらった。／とうぎゅうのかしがかっこよかった。／「カルメン」を歌っていたら、その場面が頭にうかんだ。／アーティストのミニコンサートがたのしかった。／次はちがうオペラの曲をアーティストのみなさんと一緒にやりたい。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立寺尾小学校＋サルビアホール バンドと一緒に演奏体験をしよう！

担当アーティスト	福本純也（ピアニスト、作編曲家）、坪根剛介（ドラマー）、東野恵祐（ベーシスト）、マヤコ（企画）
実施校	寺尾小学校（鶴見区）
コーディネート	鶴見区民文化センターサルビアホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／音楽づくり／6学年3学級95名
実施日程	2022年11月21日(月)、2022年12月5日(月)、2022年12月9日(金)、2022年12月17日(土)



## 授業のねらい

子どもたちが自分をアウトプットすることで、思いを表現する力を伸ばしていく。また拍手や称賛をもらう経験を通して、自己有用感の高まりを目指す。ジャズミュージシャンと共に活動する中で、楽曲の構造やリズムについての理解を深め、楽曲の根底にあるグルーブ（Groove）を実体験する。また、バンドとの課題曲演奏活動では、音楽の構造について知り、リズムや音楽の盛り上がりについて自分なりに工夫して表現を試みる。これらの活動の中で、音楽を多角的に楽しむことができる能力・感性を育てていく。※音楽祭2022と連動して実施。

## 主な内容

<1日目>音楽を作っているさまざまなリズムに注目し、グルーブ（Groove）を体験する<2日目>課題曲の構造を知って改造する<3日目>発表に向けて、課題曲の仕上げ<4日目>クラス発表、全体でワークショップ

## アーティストから

今回、寺尾小学校6年生の皆と「バンドと一緒に演奏しよう！」という特別授業に取り組みせてもらいました。特に、リズムの波（グルーブ）に注目し、自分たちでもグルーブを作りながら演奏・歌唱しました。ポップス音楽は、歌詞や歌にスポットが当たりがちですが、グルーブ上にメロディやハーモニーが乗って音楽が成立していることを体感してほしいからです。リズムやグルーブを感じられると、音楽の聴き方・楽しみ方が大きく変わります。子どもたちは発表に向けて、クラスごとに工夫しながら頑張ってくれました。発表後の清々しい顔が素敵でした！少しでも頭の隅に残ることがあればいいなと期待しています。特別講師として関わらせていただき、私たち自身も成長できる大きなチャンスでし

た。

## コーディネーターから

コロナの影響で、生の合唱を聴き合う機会が3年ほどなかったという子どもたちが、自分の発表だけでなく他のクラスを聴くのも非常にうれしそうだったのが印象的でした。約1か月、全4回のスペシャル版だったことで、アーティストと子どもたちの間に親近感が生まれ、それが演奏にも現れていたように思います。発表会後の全体ワークショップは、手拍子でグルーブを作った上に歌を重ね即興で曲を作り上げるもので、少し高度だったかもしれませんが、音楽のおもしろさの一端を感じてもらえたのではないのでしょうか。この先いろいろな音楽に出会う中で、この授業を思い出してもらえたらうれしいです。

## 先生から

アーティストと連携することは、子どもたちにとっても教員にとっても新しい発見があり、楽しく取り組むことができました。普段の授業ではできないドラムセットやベースギターなども、子どもたちにとって新鮮だったと思います。短い取組時間だったので、本当はもっと長ければ、さらに学びが深くなると思います。

## 子どもたちから

ミスしても最後まで歌いきった。／先生が泣いてくれてうれしかった。／6年生最後に歌えてよかった。／みんなと一緒に作り上げた達成感があった。／メロディーだけでなく、裏の音の学習ができたからよかった。いつもと違う学習ができてよかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立平安小学校＋横浜市芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ 打楽器で世界旅行！！ーリズムはことばー

担当アーティスト	ヤヒロトモヒロ（パーカッションニスト、ボーカリスト、ミュージシャン）／最終日のみ：うつみようこ（ヴォーカリスト、ギタリスト）、宮田岳（ベーシスト、漆・木工作家）も参加
実施校	平安小学校（鶴見区）
コーディネート	横浜市芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／打楽器／個別支援学級 28 名
実施日程	2022 年 11 月 14 日(月)、2022 年 11 月 16 日(水)、2022 年 11 月 21 日(月)



### 授業のねらい

音を奏でる心地よさを味わう。正解のない自由な考えを友達に伝えたり、表現する喜びを感じたり、みんなで1つのものを作るという達成感を得たい。自分を表現することで、自信をつけさせたい。

### 主な内容

<1日目>世界の打楽器を紹介します！<2日目>打楽器を体験しよう！<3日目>プロの音楽家といっしょに演奏してみよう！

### アーティストから

平安小学校での3回にわたるワークショップでは、何より自分が一番学ばせてもらった。自分が信じていけば音楽には魔法のパワーがある。自分の目標は、子どもたちにシンプルなビートを刻む大切さと効果的な役割も果たす打楽器の可能性を体験して欲しかった。自分で言うのも何だが、達成感有り。子どもたちの初めて触る打楽器に対する好奇心、なかなか参加してくれない子どもも、最終日のプチライブでは笑顔でみんなと一緒にビートにノってうれしかった。流されて楽しいふりをしない正直な子どもたちと音楽を通じて一緒に過ごした貴重な体験だった。

### コーディネーターから

最初は、初めての講師の方と楽器に「興味深々な子ども」と「ちょっとおっかなびっくりでどう接していいか身構えてしまっている子ども」などいろいろな感情が見え隠れしていましたが、講師が楽器の音を鳴らした途端、みんなが音に引き付けられる瞬間が見えました。全員が同じ楽器を体験することは難しかったのですが、体験していない時間も音に合わせて身体を動かしたり踊ったりしている姿から、心から音楽を楽しんでいるのが分かりました。最初は、なかなか輪に参加できなかった子もいましたが、最終日には全員が講師との合奏を楽しみ、それぞれの個性を發揮した音を身体全体で表現していました。

### 先生から

自分の知らないことを知りたいという気持ちが強い子たちなので、知らない楽器の音色を聴いたり触れたりすることができたことで目を輝かせており、すてきな体験となりました。今回の活動で行った楽器の音色で情景を表すというものを、今後の学習発表会に取り入れていきたいと考えています。この学びを生かして、より充実した音楽の学習にしていきたいです。

### 子どもたちから

大好きな楽器にふれられたり、楽器の音をきけてうれしかった。／いろいろな楽器にふれたりえんそうした。／アーティストの持っている楽器がほしいと思った。／たのしかった。すごかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立斎藤分小学校+かなっくホール ミュージカルソングを歌おう

担当アーティスト	今井学（バリトン歌手）、櫻井音斗（打楽器奏者）、倉田莉奈（ピアニスト）
実施校	斎藤分小学校（神奈川区）
コーディネート	神奈川区民文化センターかなっくホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／合唱／5・6学年2学級67名
実施日程	2022年10月27日（木）



### 授業のねらい

全員で声を合わせて歌うことで、「誰かに伝える意識」を持ち、「豊かに自由に表現活動をする」ことを楽しむ。

### 主な内容

2時間目：リズム打ち、歌唱練習。3時間目：全員でミュージカルソング

### アーティストから

「気付いたらできていた」を1つのテーマとし、今回のプログラムを構成しました。「ただメロディーを覚え、歌う」だけに留まらないよう、数字を使いその組み合わせでメロディーを作る、あわよくばそれが曲に……としたいところでした、これは少し冗長だったかもしれません。パーカッションの櫻井音斗さんのワークはさすがというもので、子どもたちのみならず先生方までも楽しそうにやっておられるのが印象的でした。声を出す、リズムを楽しむ、という原初的な音楽の喜びを共に感じられるよう、さらに改良していければと思います。

### コーディネーターから

先生から、2学年対象に2時間いただきましたので、合唱が得意な子も得意でない子も、みんなで声を合わせて曲に思いを乗せることができるようなミュージカルソングに決めました。しかし、小学生には難しい曲でしたので、音の覚え方、リズムの取り方などをアーティスト3人にご協力いただいたおかげで、工夫ができ、先生を含めその場にいた全員が楽しそうに参加してくださり、コーディネーターとしてもホッとしました。また、プログラムを作っていく段階で、何度か変更がありましたが、毎回快く承諾してくださった先生に感謝です。

### 先生から

プロの方の本物の歌声、演奏を聴くこと、触れることはとても貴重であると感じました。聴くだけでなく、やりとりをしながら授業を進めることも、子どもたちにとって印象深い体験になったと思います。限られた時間の中ではありますが、今後も本物のプロの歌声、演奏に触れる機会、プロの方と実際にやりとりできる機会を作っていけたらと思います。

### 子どもたちから

みんなで歌った。／口と手、足などを使って楽しかった。／音楽（リズム）を作れた。／5、6年生でゲームをした。／みんなでリズムをとった。／太鼓に合わせて音をならすのが楽しかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立中丸小学校＋あっちこっち オペラ・カルメンワークショップ2

担当アーティスト	浜野与志男（ピアニスト）、金持亜実（ソプラノ歌手）、関口直仁（バリトン歌手）
実施校	中丸小学校（神奈川区）
コーディネーター	認定NPO 法人あっちこっち
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／合唱／5 学年 2 学級 62 名
実施日程	2022 年 11 月 25 日（金）、2022 年 12 月 14 日（水）、2022 年 12 月 16 日（金）



## 授業のねらい

素直な子が多く、学習意欲も高いが、言われたこと以上のことを考えることが苦手なので、音楽を通して表現力・発想力を養い、言われたことをこなすだけでなく創造する力を高め、自分から積極的に発信できるようになることが目標。

## 主な内容

< 1 日目 > 自信を持って歌えるように音とりをしよう < 2 日目 > 楽曲のイメージを掘り下げよう < 3 日目 > 伸び伸びと音楽を表現しよう

## アーティストから

中丸小学校への訪問は 2016 年度より数えて 4 回目となり、音楽教員の指導力と学校組織の目の行き届いた支援があり、子どもたちの力が大きく伸びていることを実感しました。日頃から培われた確かな歌唱力に裏づけられ、オペラ「カルメン」のワンシーンの記憶が素早く的確で、創造性が求められる演技についても大きな手応えがありました。ワークショップ最終日のミニコンサートでは、初めてシューマン＝リスト「猥曲」を曲目に加えましたが、子どもたちの集中して聴く姿勢から一人ひとりの心に届いたことが感じられ、音楽の持つ力を再確認することができました。（浜野）中丸小学校では 5 年生が対象だったこと、また先生の日頃のご指導により、児童に音楽に親しむ姿勢が浸透していたこともあり、他校と共通の題材であってもより発展的なことが実践できたと感じました。さらに、オペラの中の曲を用いて感情を歌で表現するという体験だけに留まらず、児童一人ひとりが作品の登場人物として生き生きと歌い演じていたことが感じられ、目的を達成できたと実感しました。非常に実りあるワークショップとなったと思います。（金持）

児童の皆さん、素直で一生懸命でとても良く取り組んでいた。5 年生が対象ということで、動きやかかけ声など、4 年生よりも多くのことを要求しましたが、ワークショップによくついてきており、動きや歌、気持ちづくりの面で、自発的な工夫がありました。学校でも復習してくださり、自宅でオペラの動画を見たという児童もいました。また当日、魔笛の重唱を演奏した際、授業で見た！

という反応がすぐに返ってきました。今回のワークショップによって、とても理想的なかたちでオペラに関心を寄せてくれた児童が多く、ワークショップが日常の音楽への接し方に対し、前向きな変化を与えたことを実感した時間でした。（関口）

## コーディネーターから

オペラの演奏を直に鑑賞すると、字幕のないイタリア語やドイツ語の歌詞であるにも関わらず、強く伝わるものがあります。そうした不思議な力が、音楽の最大の魅力であることを改めて実感させられました。アーティストの素晴らしい歌声と綺麗な音色で、子どもたちの目は輝いていて、終始興味津々な姿が印象に残っています。子どもたちの発言も多く、アーティストとコミュニケーションを取りながら、より良い音楽になるよう一生懸命に取り組んでいるように思いました。最終日の授業を受け終えた子どもたちの後ろ姿から、次々と鼻歌が聴こえてきたのはとても感慨深いものでした。

## 先生から

プロの演奏に自分自身が感動しました。子どもにプロの生の演奏を聴かせることは大切で、とても良い機会でしたし、子どもはオペラに興味を持つようになりました。音楽だけでなく、音楽の背景にある物語の場面に意識がいき、表現するようになりました。小学校の教科書でオペラの一場面を取り上げることはありますが、全ての説明をしたのは「魔笛」だけです。今後、年に 1 回はオペラを取り上げたいです。ただオペラは内容が子ども向けでないことも多いです。また子どもの発表ではいきなりだと難しいので、当日少し練習する時間があると良いと思いました。

## 子どもたちから

ピアノの演奏や歌声がとてもきれいで心のおくまで音がひびいてきた。／とてもしっかりといていねいに教えてもらって分かりやすかった。／みんなで歌いながら体を動かすのは楽しかった。／声がよく出る体操が心に残った。／ふりつけや声の出し方などいろいろなことを学べた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立西寺尾第二小学校+かなっくホール 「魔笛」の世界を体験してみよう！

担当アーティスト	大山大輔（バリトン歌手）、根本真澄（ソプラノ歌手）、宇根美沙恵（ピアニスト）
実施校	西寺尾第二小学校（神奈川区）
コーディネート	神奈川区民文化センターかなっくホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／オペラ／4 学年 3 学級 112 名
実施日程	2022 年 10 月 25 日（火）、2022 年 10 月 26 日（水）



### 授業のねらい

プロの音楽家の声を間近に鑑賞することによって、音楽の素晴らしさや楽しさを感じ、児童にとっての「夢」が広がるような経験とする。

### 主な内容

<1 日目> 「魔笛」に出てくる 3 人の天使の「ハルタイン ハルタイン」の箇所を練習を合同でする<2 日目> 「魔笛」の登場人物のパパゲーノが冒険する「魔笛」特別編を上演し、参加する

### アーティストから

西寺尾第二小学校での「魔笛」ハイライト版の上演は、ダイレクトにその場で反応が見える形だったのでアウトリーチの醍醐味だと感じました。人間の声いろんな種類があるということに素直に感じ、オペラは演技だということもしっかり伝わったよううれしかったです。子どもたちの素直な反応は、日ごろの先生のご指導により鑑賞の下地ができているからだだと思います。とても大切なことです。

### コーディネーターから

今回のアウトリーチで何を鑑賞していただくかのご相談から、当日足りない楽譜のコピーなど、担当の先生にはたいへんお世話になりました。コロナ禍での開催により体育館いっぱい広がっての鑑賞となりましたが、児童の皆さんは集中力を切らさず、最後まで楽しんで参加して下さっていた様子が、とても印象的でした。

### 先生から

とても近い距離で素晴らしいアーティストの皆さんの演奏を聴くことができ、貴重な経験となりました。本物のドイツ語の歌曲に加えて、日本語もたくさん交えて上演して下さったことで、「魔笛」を知らない子どもたちにも親しみやすく分かりやすい内容になっていたと感じました。また「ハルタインの三重唱」も、4 年生の児童でも無理なく取り組める内容で、オペラに一部参加できる形で良かったです。とても有意義な時間でした。

### 子どもたちから

最後にパパゲーノとパパゲーナをみんなで歌ったのが楽しかった。／声の響きが思っていた以上にすぐくおどろいた。全部見てみたいと思った。／ぼくたちも参加させてくれたのがうれしかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立宮谷小学校＋横浜みなとみらいホール ジャンベを体験しよう 1

担当アーティスト	池田正博（ジャンベ奏者、ミュージシャン）
実施校	宮谷小学校（西区）
コーディネーター	横浜みなとみらいホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／民族音楽／6学年4学級145名
実施日程	2022年11月7日(月)、2022年11月9日(水)、2022年11月11日(金)



## 授業のねらい

表現の楽しさを実感する。世界の文化や音楽を知り、日本とは違った表現もあることに触れることで、日本の音楽も再認識する機会とする。

## 主な内容

<1日目>基本の叩き方を覚える（2クラス実施）<2日目>基本の叩き方を覚える（残り2クラス実施）。キメのリズムを覚える～「バラ克蘭ジャン」という曲をみんなで演奏する（1日目に実施した1クラスのみ実施）<3日目>キメのリズムを覚える～「バラ克蘭ジャン」という曲をみんなで演奏する（残り3クラスで実施）

## アーティストから

今回は6年生4クラス、各クラス2時間授業で過去一番多い児童数でした。音楽に親しみがある児童が非常に多いということで、最初からレスポンスが旺盛で最後まで不安を感じることはありませんでした。授業の中で第一言語（母語）、第二言語（学習する言語）、第三言語（ここでは音楽のこと。私個人の思想で音楽が国境や人種を越え、さらには時空を超える言語だという考え方）の話をした時に、担当の先生が「全クラスで同じ話をしてください」と言っていたとき、同様の考えをお持ちであることにとても共感を覚えました。実際に音を出し始めてからも太鼓に向き合い楽しく取り組んでいる姿勢が顔によく出ていて、児童の勢いも凄く、授業を進行している私が児童に急かされているように感じる場面もあつたりと、いい意味で緊張感のある授業ができたと思いました。今回も子どもたちに出会い、刺激をいただき本当に感謝しています。

## コーディネーターから

日頃から音楽に興味を持っている児童が多いとお聞きしていましたが、本当に最初からみんな興味を持って取り組んでくれました。覚えるのも早く、スムーズに体験も進み、みんなで合奏する時間も十分に取ることができました。世界の文化や音楽を知ってほしい、という先生のご希望もありましたので、アーティストにはそういった話を自身の経験や考えを踏まえてお話ししていただき、子どもたちも熱心に聞いてくれました。

## 先生から

本物、プロから学ぶことは6年生にとってものすごく心に響いたと思います。このような取組をしてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。スモールステップで、少しずつスキルが身につくような授業展開がとても良かったです。プロのエネルギー、熱意を目の前で感じることができ、良い刺激になりました。常に子どもたちの様子に気を配りながら進めてくださったのもありがたかったです。

## 子どもたちから

来てくれた方が優しくジャンベのたたき方、音の鳴らし方を教えてくれてみんな楽しめた。世界の楽器はすごいということ学んだ。／プロになると、自分たちが出せなかった教室に響く大きな音を出せると驚いた。また機会があつたらやりたい。／ヤギの皮で大きな音が出せるため、広範囲で連絡できてすごいと思った。／音が3段階に変わってすごいと思った。ヤギの使えるところは全て使うのもすごい。ヤギにも感謝を伝えたい。／3つの音だけで表現していて、早くたたいたり遅くたたいたりするだけで感じ方が変わって、今までに体感したことのないおもしろさがあつて楽しかった。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立桜岡小学校＋ひまわりの郷 創作楽器を作って演奏しよう～手作り楽器でオーケストラコロボ～

担当アーティスト	ルロット・オーケストラ（クラシック音楽演奏集団）
実施校	桜岡小学校（港南区）
コーディネート	港南区民文化センターひまわりの郷
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／創作楽器／4学年3学級90名
実施日程	2023年1月11日(水)、2023年1月12日(木)、2023年1月13日(金)



## 授業のねらい

本校は音楽への取組には積極的で鑑賞経験も多い。今回は鑑賞だけでなく、音楽を「体験」することができる内容にしたい。創作楽器を作り、その楽器で音楽を自由に表現し、創造性や表現力を養う一助になることを期待する。

## 主な内容

<1日目>～<3日目>手作り楽器（パイプチャイム）を製作し、作った楽器でアーティストと一緒に演奏。創作楽器を使ったアーティストの演奏を鑑賞（各日、1クラスずつ実施）

## アーティストから

今回の横浜市立桜岡小学校のアウトリーチ公演では、通常のコンサートに加え、「音を工作する」という科学的要素を織り交ぜたプログラムとなりました。そのまま手で持っても音が出ないアルミパイプを、ゴムひもで浮かせることにより澄んだ音が出る、電気などない昔は、人の力でパイプオルガンに空気を送っていたなど、「音楽の発展は科学の発展でもある」という、少し違った目線で音楽を見つめていただけたと思っています。

## コーディネーターから

音楽を鑑賞するだけでなく、自分たちで楽器を作ってその楽器でアーティストと一緒に曲を演奏するという、今までにない試みでプログラムを実施しました。児童はみんな、日頃あまり目にしたことのない材料を手に取り、ゴムひもを結ぶのにちょっと苦戦したり、音がよく鳴るように微妙に部品を調整したりして、とても

興味深く取り組んでいました。デジタル時代と言われるご時世ですが手指を使ってアナログな体験をするのも大切なことだと感じました。

## 先生から

他教材の学習でフルートが出てきた時、今回授業をしてくださったアーティストの名前を挙げ「ハマハマが演奏してた楽器のこと？」という発言がありました。この授業での演奏や音色など、非常に良く覚えていて感心しました。それだけ興味の持てる楽しい授業を提供してくださったと思います。また、コーディネーターの方は朝早くから来校し、楽器の運搬、準備、アーティストのお迎えなど、非常に熱心に活動されていました。コーディネーターに任せきりにするのは申し訳なく感じるほど、丁寧な準備をされていて、授業の成功につながったと思いました。また、アーティストとたまたま縁のある児童がいたので、保護者にも興味を持ってもらうことができ、授業を参観していました。活動を広く伝えることもできました。

## 子どもたちから

周りのいろいろなものが楽器に見えてきて、楽しい音楽が流れているのを想像するようになった。／パイプチャイムを鳴らすと小さい頃の自分を思い出す。なぜなら、おじいちゃんが物置小屋で金づちをたたいている音がパイプチャイムと似ているから。／身近なもので楽器をつくれることに驚いた。／ぼくは、あれからもらった材料でつくった楽器をカンカン鳴らしている。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立下永谷小学校＋ひまわりの郷

たたけば楽しい！打楽器の世界～いろんな打楽器を体験しよう～

担当アーティスト	WOOD LAND（打楽器奏者）
実施校	下永谷小学校（港南区）
コーディネーター	港南区民文化センターひまわりの郷
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／打楽器／3学年4学級133名
実施日程	2022年11月21日（月）



### 授業のねらい

普段体験することのないいろいろな打楽器演奏の鑑賞や楽器体験により、自分たちが感じたことを表現力や創造力を養うことにつながることを期待する。

### 主な内容

いろいろな打楽器の体験をすることで音楽の楽しさを感じてほしい。

### アーティストから

最初は3年生だけって、どんな感じになるんだろうとワクワクドキドキで構成を考えましたが、オープニングから私たちが楽器を振っているマネをしてくれたり、1曲1曲のリアクションも、素直で、わかりやすく、とても、可愛かったです。休憩の時間も、楽器の名前や演奏の仕方など興味深々に質問してきてくれて、こちらも、良い時間を過ごせて感謝の日となりました。

### コーディネーターから

マリimbaを中心としたいろいろな打楽器演奏の鑑賞と、数種類の打楽器を実際に体験するプログラムを実施しました。児童の多くが初めて見たり、聞いたりする打楽器の演奏に、身体を揺らしながらリズムに乗って楽しんでいたのが印象的でした。また、たいてい音が出るものとして、自分自身の身体を使った「打楽器の原点」とも言える「ボディパーカッション」もみんなアーティストの身振り手振りを見ながら一生懸命取り組んでいました。楽器を持たなくても自分の身体が楽器になることを楽しんでいるようでした。

### 先生から

たくさんの楽器を実際に見て、聴いて、身近に感じられたことで、音色やリズムを子どもたちが豊かに感じている姿が見られました。一つひとつの楽器についても丁寧に説明していただき、知識も豊かに得ることができました。

### 子どもたちから

曲をきいたとき、きれいなきょくだなあとおもった！／知らない曲でもきれいな曲や、楽しい曲とかだったから楽しかった！／もう一度聞きたいと思った。／一つの打楽器でいろんな曲を演奏できることに憧れて、ぼくもそういうことをして見たいなと思った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立芹が谷小学校＋吉野町市民プラザ ギターとピアノの演奏を楽しもう

担当アーティスト	多治川純一（ギタリスト）、多治川光香（ピアニスト）
実施校	芹が谷小学校（港南区）
コーディネート	横浜市吉野町市民プラザ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／アコースティックギター・ピアノ／3学年2学級 65名
実施日程	2023年2月13日(月)



### 授業のねらい

普段触れることのない生演奏音楽と出会うことによって、音楽の魅力・感動をみんなで共有したい。そして自分を伸び伸びと表現できるようになってほしい。また、感動をみんなで共有することによって、友達とのコミュニケーション能力を高めてほしい。

### 主な内容

アコースティックギターとピアノの生演奏。

### アーティストから

児童の皆さんはとても元気で、こちらからのお話や質問にも沢山発言してくれました。ギターの種類、奏法、どんな表現ができるのかなど、沢山の説明もしっかり聞いて、演奏を聴く姿勢も前のめりになっていただけました。子どもたちが合唱で歌った曲のアレンジを変えて披露したり、流行りの楽曲をギターとピアノの編成に編曲し披露しましたが、どの曲も一緒に歌ってくれ、セッションできたことが本当にうれしかったです。アンコールの声かけで、「もっと聴きたい！なにを聴かせてくれるの?!」と目を輝かせてくれた子どもたちの笑顔が本当に素敵でした。

### コーディネーターから

先生の提案で、子どもたちが座る場所の照明を少し落としてコンサート会場を再現。その雰囲気の中、子どもたちは1曲目から友達同士で口ずさんでくれて、心から演奏会を楽しんでくれました。先生からのリクエストで、昨秋の合唱大会で歌った曲をサプライズとして組み込みましたが、前奏が始まるとすぐに子どもたちから大歓声が。みんなが大合唱してくれ、感動的な授業となりました。

### 先生から

コーディネーターの方とアーティストの方々が、曲目、当日の設営、進行、子どもたちへの声のかけ方などについて、入念に打合せしてくださいました。子どもたちが音楽をしっかり聴きながらも、最後まで集中して楽しめるように工夫を凝らしてください、本当に良い時間を過ごさせていただくことができました。また、来年度の3年生にもこのような授業を受ける機会を設けたいと思います。

### 子どもたちから

ギターの音を初めて聴いて、すごいと思った。／楽しかった。／ギターとピアノだけでも楽しかった。／演奏と一緒に歌えてよかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立南台小学校＋象の鼻テラス いま、音楽をしているのは誰？

担当アーティスト	野木青依（マリンバ奏者）
実施校	南台小学校（港南区）
コーディネート	象の鼻テラス
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／マリンバ／3学年4学級114名
実施日程	2023年1月26日（木）



### 授業のねらい

マリンバは一体どうやってできているのだろうか？マリンバを組み立てる過程を観察してもらい、日常では味わうことのできない音楽に触れてもらうことで、音楽や芸術の興味の幅を広げていきたい。

### 主な内容

はじめは自己紹介とアーティストによる演奏を披露。マリンバの音板や金属製の共鳴パイプを組み立てながら、音を1つずつ鳴らし、音の違いを感じてもらい、完成されたマリンバでJ.S. バッハの「無伴奏チェロ組曲第1番ト長調より プレリュード」を演奏した後、クラシック音楽（＝西洋発祥の記譜法による“楽譜”ありきの音楽）の対比として、体育館内を自由に移動しながら即興演奏を行う。鑑賞している子どもたちの近くにマリンバが通る時の臨場感を体感できるパフォーマンスな演奏スタイルを体験してもらい、最後に音楽がいかに多くの人によって支えられているかを話し、さまざまな芸術施設にお出かけすること「音楽をしているのは誰なのか？」を問いかけた。

### アーティストから

音楽への参加の仕方は人それぞれ。自分が心地よいと思う方法で音楽に親しみ、音楽を“良い友人”のような存在と感じてほしいという思いがあり、さまざまな角度からの“音楽をしている状態”を提示しました（演奏する・鑑賞する・準備する…）。演奏時間が延びてしまい質疑応答の時間が設けられず、皆さんの感想を直接聞けなかったことが悔やまれますが、楽器搬出の際に「青依さんだ」「こうやって運ぶんだ」と声をかけてくれたことがとてもうれしかったです。音楽・芸術に対する興味の一步になれば、と願っております。

### コーディネーターから

マリンバ奏者・野木青依さんの演奏だけではない独自のパフォーマンスを、小学生向けに実施していただきました。木琴よりも大きいマリンバがどのように組み立てられ、音色が変わり、演奏が出来上がっていくのか。その過程を体験できる面白いプログラムが実現できました。マリンバの仕組みを目と耳でじっくり観察している子どもたちの姿が印象的でした。楽器を移動させながらの演奏は、体育館の中に心地よい音色が響き渡っていてリラックスしながら鑑賞していました。野木さんの「音楽は演奏家のみではなく、みんなで音楽をしている」の言葉を時々思い出してくれるとうれしいです。

### 先生から

音が柔らかくなる仕組みを、楽器を組み立てながら一緒に感じられるプログラムは新鮮で、素直に驚きを感じました。複数本のマレットを持ち、さらに動き回りながらの演奏を児童たちは楽しむことができたと思います。「音楽をしていたのは演奏者だけでなく、聴いていたみんなも」という言葉は、これからさまざまな音楽に触れる児童の感受性を高め、児童にとって音楽が良い存在になっていくきっかけになると思います。

### 子どもたちから

楽しかったからまたききたい！／木きんとはちがって鉄のつつがあるから音がひびくんだなと思った。／たくさんマリンバのことをしれてよかった。／もうっかいマリンバのえんそうもききたいしすごくきれいな音でいままでになきれいな音だった。／4本ぼうを持ってひいてるのがすごくて心に残った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立今宿南小学校＋サンハート イマミッコのためのサクソミニ音楽会

担当アーティスト	モデトロ サクソフォン アンサンブル Modétro Saxophone Ensemble (サクソフォンカルテット)
実施校	今宿南小学校 (旭区)
コーディネート	旭区民文化センターサンハート
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型/サクソカルテット/2・3学年6学級・個別支援学級 計113名
実施日程	2022年11月9日(水)



## 授業のねらい

昨年評判の良かったサクソ四重奏の演奏を今年の2・3年生に聴かせたい。生の音楽に触れ、表現力が養うきっかけを少しでも提供できることを願う。

## 主な内容

サクソ四重奏のコンサート

## アーティストから

とにかく歌声が素晴らしかった！今宿南小学校の子どもたちが作った「スマイル イマミッコ」を、私たちが伴奏して子どもたちと共演しました。2年生は陽気で元気な歌声、1年生の3年生は明るく澄んだ歌声。この頃の1年ってすごく大きいんだな…と演奏しながらしみじみ思いました。最初はどちらの学年も緊張した面持ちでしたが、私たちの問いかけにも熱心に反応し、真剣な表情で耳を傾けてくれていたのが心に残っています。途中の休み時間に6年生から話しかけられて「僕たちも聴きたかった！」と残念そうにしていたので、また機会があったら伺いたいです！

## コーディネーターから

昨年度と同様、サクソ四重奏の演奏会のご依頼でお伺いさせていただきました。演奏中はリズムを取ったり、身体が自然と揺れて音楽を楽しんだりしている児童がいて、楽器説明でも良いリアクションをしている姿が印象的でした。1曲演奏者の伴奏で、マスク越しではありますが、児童には歌を歌ってもらいましたが、とてもすてきな演奏を聴くことができました。演奏会が終わると、感動して泣いてしまった児童がいたようです。生の音楽を聴く環境があるこの事業に、改めて子どもたちに良い機会が与えられていることを実感しました。

## 先生から

サクソ四重奏という普段接することのない音楽や楽器、そのサウンドに多くの子どもたちは釘付けになっていました。

## 子どもたちから

曲を聞いた時にはくりよくがあって思い出に残った。／それぞれみんなの音がかさなってきれいな音楽になっていた。／がっきをちょっとやってみたくなった。／サクソの音を聞いたのがはじめてだった。／きれいな音でかっよかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立金沢小学校＋長浜ホール 卒業式で、みんなで創った新しい歌を唄おう！

担当アーティスト	みのり（うたとピアノのシンガーソングライター、音楽教室主宰）
実施校	金沢小学校（金沢区）
コーディネート	横浜市 長浜ホール
実施科目・教科名	総合的な学習の時間、音楽
実施概要	体験型／作詞・作曲／6 学年 2 学級 70 名
実施日程	2022 年 11 月 25 日(金)、2022 年 11 月 30 日(水)、2022 年 12 月 2 日(金)



## 授業のねらい

学校創立 150 周年の年に卒業を迎える 6 年生。小学校での思い出や楽しかったこと、成し遂げたことを中心に、6 年生全員でクラスごとに作詞作曲にチャレンジします。テーマをみんなで話し合っ  
て決め、詞のイメージを出し合い、実際に歌いながらメロディーラインを整えます。クラスごとに曲をつくり、みんなで歌うことで一体感や達成感を味わい、音楽についての知識や親しみを  
得、自己有用感を持たせることがねらいです。

## 主な内容

< 1 日目 > 曲の構造を理解し、言葉をみんなで出し合い、メロディーをつけてみよう。< 2 日目 > A メロ、B メロ、サビに分けて詞と曲をクラスごとに完成させよう。< 3 日目 > 完成した曲を通して練習してクラスごとに発表しよう。

## アーティストから

両クラスともとても積極的な子どもたちが多く、制作がスムーズに進む時も難航する時も、「いいものを作りたい」という意志は一貫して、常にエネルギーに満ちた時間でした。各クラスで別の曲を作ることにしたことも、お互いに意識、刺激し合えて良い効果を生んだと感じます。この歌が大切な作品として子どもたちの心に残っていくこと、またこの体験が、未知のことへ一歩踏み出す際の糧となることを心から願っています。

## コーディネーターから

6 年生相手に全員で作詞作曲なんて想像もつきませんでしたし、子どもたちも心配していた模様。ふたを開けたらワードやメロディーがどんどん浮かびます。みのりさんのヒントをきっかけに曲が仕上がる様はワクワクでした。2 クラス別々の曲を作り、3 日目には仕上げてお互い披露。「似たような言葉が並ぶものだね」などと言いついていました。みんなで作った曲を歌って卒業。なんて幸せなことでしょう。“できないと思うことでも思い切ってチャレンジすることが大切”というみのりさんのメッセージはきくと全員に届きました。

## 先生から

子どもたちが出した意見を上手にまとめてくださりながら歌詞や旋律が作り上げられていきました。いくつかパターンを提示してくださった中から選ぶことで、短時間で曲が仕上がることに驚きました。オリジナルソングとして卒業式で歌う予定です。思い出に残る活動になりました。

## 子どもたちから

みんなの意見を取り入れて作った曲だから、この曲、この思い出を卒業しても忘れないと思う。／歌にはいろいろな感情が隠れていて、それは思い出でもあり、感じたことでもある。心のこもった歌ができてよかった。／曲作りをすることで僕の人生が少し変わった気がする！／常に教室の空気が良いというか和やかだった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立並木中央小学校＋横浜シティオペラ ヘンゼルとグレーテル 2

担当アーティスト	篠枝美里 (メゾソプラノ歌手)、飯田千夏 (ソプラノ歌手)、君島広昭 (テノール歌手)、山本ひで子 (ソプラノ歌手)、前田孝子 (ピアニスト)、山本竹佑 (バリトン歌手)、佐藤玲子 (ソプラノ歌手)
実施校	並木中央小学校 (金沢区)
コーディネート	NPO 法人横浜シティオペラ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／オペラ／6 学年 2 学級 49 名
実施日程	2022 年 11 月 30 日 (水)



### 授業のねらい

楽器ごとの音色の違いや雰囲気の違いを感じたり、楽器が重なることによる迫力を感じ取ったりする機会とする。また、鑑賞の学習につなげたり、自分たちが演奏する時に生かしたりできるようにする。

### 主な内容

オペラ「ヘンゼルとグレーテル」ハイライト

### アーティストから

ヘンゼルとグレーテル終了後、校歌と他の合唱曲を児童と一緒に合唱。コロナ感染拡大を警戒してか、参加児童 49 人と非常に少ない児童数に驚きました。6 年生なためか落ち着いた感じがありましたが、魔法のシーンでは笑い声も聞こえ、魔法がアドリブでサッカーに触れたことなどが面白かった、と終わりのご挨拶でも言っていました。

### コーディネーターから

子どもたちと一緒に合唱をした校歌はとても立派なものでした。また合唱曲も子どもたちと歌うことができとてもうれしかったです。肉声でこんなにすぐく響く声が出ることに驚きました、と言ってください、私たちもとてもうれしく感じるとともに、歌うことに興味を持ってくれたことが何よりも今後の楽しみです。

### 先生から

音楽の学習で、声の種類について机上では学習していましたが、生で聴くことでより理解が深まったように感じます。またオペラを初めて見る児童がほとんどだったため、オペラそのものの良さを感じたり、興味を持ったりする機会になりました。子どもたちの知っている歌と一緒に歌うことで、よりプロの方の歌声を身近に感じながらいつもより開放的に歌ったり、自分たちの歌や演奏に生かそうとしたりする児童の様子の変化がありました。

### 子どもたちから

初めてのオペラの迫力におどろいた。／一緒に歌ってみて、いろいろな声の高さを知ることができた。／発見したことをまねして、歌や演奏に生かしたい。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立西柴小学校＋横浜市芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ 創立 50 周年記念ソングをつくろう

担当アーティスト	西井夕紀子（作曲家）／アシスタント：あだち麗三郎（音楽家、からだの研究家）
実施校	西柴小学校（金沢区）
コーディネート	横浜市芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／作詞・作曲／6 学年 3 学級 81 名
実施日程	2022 年 9 月 12 日(月)、2022 年 9 月 14 日(水)、2022 年 9 月 21 日(水)



### 授業のねらい

創立 50 周年記念式典にむけて、記念ソングを制作する。クラスごとに作詞・作曲をし、3 クラス分を編曲し、1 つにまとめて発表をする。「音楽“自体”を楽しむ」「自分の言葉でつづる」「共同作業の豊かさ」を意識できるプログラムとし、想像・創造性を引き出し、コミュニケーション力を高め、自由な発想を生み出していくことを目標とする。

### 主な内容

< 1 日目 > グループワークから歌詞をつくる < 2 日目 > セッションを通じて音を楽しみ、メロディーをつくる < 3 日目 > みんなで集まって発表会

### アーティストから

西柴小について、個人の言葉からみんなで歌詞にまとめようとした時、重なる部分が増幅され、特別なキーワードや詩的な表現が輝き、次第に音楽として立体的になっていきました。はじめは音のアイデアを出すのにとまどっているようでしたが、そのうちぼろぼろとメロディーをロズさんでくれたり、言葉がリズムに乗ってきたり。アイデアとして出てこない時も、考えてくれている様子がとてもうれしかったです。子どもたち、先生方、音楽室の楽器でセッションしてくれたあだち麗三郎くんを含め、誰か 1 人では作ることのできない歌になったと思います。

### コーディネーターから

作詞・作曲・歌唱とボリュームのあるプログラムの中、友達と話し合いながらアイデアを共有する姿が印象的で、子どもたちのみずみずしい感性とアーティストの豊かな創造性が交わり、素晴らしい記念ソングが完成しました。それぞれの得意なことや苦手なことの差はあったようですが、懸命に取り組みながら見せる一人ひとりの小さな発見や挑戦がとてもすてきでした。

### 先生から

子どもたちの思いや意見を、丁寧に聞いていただきながら作曲してくださり、自分たちの言葉が曲になっていく感動を味わうことができました。コーディネーターの方は、事前に学校側の思いをしっかりと聞いて受け止めてくださり、素晴らしい時間と講師をコーディネートしてくださったので、ありがたかったです。授業後、歌詞の言葉の意味を考えたり、リズムや音程の変化に敏感になった様子が、子どもたちの発言から感じられます。

### 子どもたちから

西柴小の良さがつまっていて、50 周年に歌えて良かった。／作った歌を聞いたり、家で歌ってみたりして感動した。／名前を言いながら音楽をのつけてくれてすごいと思った。／楽器での会話が楽しかった。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立西富岡小学校＋長浜ホール 音楽劇を体感！パパゲーノがやってきた！

担当アーティスト	おしゃべり音楽館（バリトン歌手の東卓治とソプラノ歌手の東実和を中心にクラシック音楽の普及を目指すグループ）
実施校	西富岡小学校（金沢区）
コーディネート	横浜市 長浜ホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／音楽劇／2学年3学級90名
実施日程	2022年9月29日（木）



## 授業のねらい

12月に音楽劇の発表を控えている2年生を対象に歌と劇の公演を行います。有名なオペラのアリアやミュージカルのナンバーを中心にストーリーを仕立てた、2年生でも十分に楽しめて、一緒に歌うことのできる公演です。本物の歌手による歌唱と表現方法を体感し、音楽でドラマを表現することを学びます。音楽にとどまることなく、コミュニケーション能力を高め、豊かな感受性を育むことのできる、大切な機会となることがねらいです。

## 主な内容

魔笛を題材に他の曲も交えた音楽劇を実演。みんなで歌うコーナーも実施。

## アーティストから

声楽を基盤としながらも、選曲や使用楽器・機材などジャンルに捕らわれずに内容を構成しました。子どもたちに常に問いかける形で進行するスタイルでしたが、子どもたちの反応がたいへん良く、子どもたちに助けられたコンサートとなりました。子どもたちの純粋な思いをダイレクトに感じ、こちら側が多くの刺激を受けました。共に何かを感じることでできる時間になったのであれば幸いです。

## コーディネーターから

最初はおとなしい印象の子どもたちでしたが、音楽劇が始まった途端、レスポンスや笑い声広がりました。出演者は2階から歌ったり、さまざまな楽器を取り入れたりして工夫を凝らしました。何よりも楽しんで演じている様子が子どもたちに伝わり、安心して時間を共有できました。最後に歌った「トライ・エプリング」の、失敗しても、うまくいかなくても、とにかくトライしよう！というメッセージが伝わり、子どもたちが自分たちの音楽劇づくりに楽しく取り組めることを期待しています。

## 先生から

1人で3役されていて、さまざまな表現方法があることを子どもたちは感じられていたと思います。打合せを重ねることで見通しを持って参加できました。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立大曽根小学校＋関内ホール ラテン音楽に親しまおう

担当アーティスト 松井イチロー（ラテンパーカッション音楽家）

実施校 大曽根小学校（港北区）

コーディネート 横浜市市民文化会館関内ホール

実施科目・教科名 音楽

実施概要 鑑賞型／ラテン音楽／1・2学年 339名

実施日程 2022年11月11日（金）



### 授業のねらい

ラテン音楽を聴いて自分で演奏してみることで、リズムを取って音楽を作り出す喜びや楽しさを感じ、人とのコミュニケーションや表現するおもしろさを深めることで、新たな自分と出会うことができたらよい。また、学校にある太鼓などの楽器を活用して、今後の授業に生かす。工夫を凝らした演奏やワークショップの体験から、音楽を通して世界の多様な文化の素晴らしさを知り、子どもたちの感性を刺激し、より豊かにしていく。

### 主な内容

ラテン音楽のデモンストレーションとジャンベ演奏体験（1学年ずつ実施）

### アーティストから

打楽器の魅力は自らが演奏するところにあります。歴史や演奏法などを説明するよりも、まずは自分でやってみることが肝要です。さらにそれをみんなの前で披露することは自己表現という観点から、今後の社会生活にも必ずや役立つことだと考えています。打楽器はだれもが音を出せることから、人間の本能を揺さぶる楽器です。今回も子どもたちの表情を見てそう実感、確信いたしました。

### コーディネーターから

小学校1、2年生学年別で鑑賞と体験を希望とのことで、約150人まとめて45分で何ができるのか可能性を探るため、講師と共に学校で打合せをしました。講師の「鑑賞よりは体験に重きを置いた方がいい」という方針のもと、ほぼゲームのような感じで、ジャンベという楽器をたたいて、友達の演奏時には自然に身体でリズムを取るなど、楽しみながら音楽に親しんでいたため、ラテン音楽の入門としては良かったのではないかと思います。

### 先生から

今回はパーカッション奏者の松井イチローさんによる演奏と体験でした。最初に学校にあるボンゴなどの打楽器の紹介と、素晴らしく分かりやすい演奏で子どもたちを引き付け、次に「ジャンベ」という楽器を順番にたたかせてもらいました。1学年全員なので大人数でしたが、15個ものジャンベを持ってきてくださったので、子どもたちは思う存分楽器に触れて自分なりの表現をすることができました。また、子どもたちの心が解放され、音楽に夢中になれる時間を過ごしていました。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立高田小学校＋大倉山記念館

# きいて のびやかにうたう楽しさを ソプラノリサイタル

担当アーティスト	河野陽子（ソプラノ歌手）、荒井裕子（ピアニスト）
実施校	高田小学校（港北区）
コーディネーター	横浜市大倉山記念館
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／声楽／5 学年 3 学級 90 名
実施日程	2022 年 11 月 15 日（火）



### 授業のねらい

さまざまな様式の音楽を聴いて、「知らない世界」を知ってほしい。自分たちの身近な音楽と聴き比べながら、想像力を働かせてほしい。プログラムでは、子どもたちが学校で習う歌を披露し、プロが歌う声量と美しい声を実際に聴いてほしい。

### 主な内容

きいて のびやかにうたう楽しさを ソプラノリサイタル

### アーティストから

曲目を紹介しながら、オペラアリア、日本の歌、そしてミュージカルから5曲メドレーで歌いました。コーディネーターの方に事前の準備をいただき、先生にプロジェクターで各曲の画像を映していただきました。マスク越しの歌唱となりましたが、うち2曲は5年生の皆さんも一緒に歌いました。子どもたちの歌声が天使の声のように優しく響き、胸が熱くなりました。今後、自身の「こえ」と向き合い、思いを「こえ」に乗せて自由に表現できるようになってもらえたらと願っています。

### コーディネーターから

プロのソプラノ歌手の声は、こんなにも美しく透き通り、音量もとても豊かなのかと、子どもたちはたいへん驚き、聴き入っていました。人間にとって最も身近な楽器は「声」であることを改めて認識しました。河野さんはスライドを上映しながら、子どもたちも知っている歌（ミュージカルから日本の昔の歌まで）を美しく歌い上げてくださり、その歌の歌詞の美しさやメロディーの奥

深さを知ることができました。本物のソプラノ歌手の歌を間近で聴ける経験はたいへん貴重なものであり、努力すれば何でもできることを間接的に学べた良い機会だったと思います。今回の経験が子どもたちの今後、何かの糧となることを望みます。

### 先生から

コロナ禍で生の演奏を聴くことが難しい中、素晴らしい生の演奏を聴くことができたことが貴重な経験となりました。響きだけではなく、動きや表情、指の先まで見られる距離で音楽を感じられることが良かったです。曲目についても、こちらのリクエストにも応えてくださり、既習曲を入れていただいたので、子どもたちもとても楽しみながら聴くことができました。また最後は一緒に合唱することができて、子どもたちもとても喜んでいました。

### 子どもたちから

一緒に歌えてうれしかった。／河野さんの高いところも美しく優しく歌う歌い方を参考にしてみたい。／とても声が響いてきれいだった。気持ちによって声が変わっていてすごかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立新治小学校＋みどりアートパーク 木管楽器の本物の演奏にふれよう

担当アーティスト	ザ・クアルテット オワゾー The Quartet “Oiseaux” (サクソフォン四重奏団)
実施校	新治小学校 (緑区)
コーディネート	緑区民文化センターみどりアートパーク
実施科目・教科名	音楽、国語
実施概要	鑑賞型／サクソカルテット／全学年全学級 236 名
実施日程	2022 年 9 月 21 日 (水)



### 授業のねらい

表現力、コミュニケーション力、共感力、本物に触れて感動する心を養いたい。

### 主な内容

サクソフォン四重奏 (楽器説明、曲目解説) と演奏 (6 曲＋アンコール)

### アーティストから

全校児童を対象に約 1 時間の音楽鑑賞会を実施しました。サクソフォン四重奏のために書かれた曲やクラシック (月の光)、童謡、オペラ (カルメン)、映画音楽などアンコールを含む計 7 曲を披露。その中の曲の 1 つは、子どもたちが走り回っていたり隠れていたりの様子が描かれており、普段の遊びを音楽で表現し特に魅了しました。感染予防のため共演などはできませんでしたが、合唱など一緒に演奏できるとさらに有意義な時間になったのではないかと思います。

### コーディネーターから

プログラム内容については、学校側のご希望で本格的な音楽アンサンブル演奏会とはっきりしており、全学年対象で会場が体育館という演奏条件を考慮して、「サクソフォン四重奏」を提案させていただいたところ、すんなりと決定。演奏者にはとても意欲的に取り組んでいただき、演奏しながらの登場で歓声を浴びる中、本格的なクラシック曲から童謡、アニメ曲までよく工夫されたプロ

グラム構成となりました。曲間の楽器説明も的確で、曲目解説も分かりやすく、最後まで児童たちの関心を引き付けて飽きさせず、アンコールでは自然に手拍子と、強い印象を与えました。今回学校と話し合って掲げていただいた目標は十分に達成できたものと思われ、約 2 年半ぶりとなる全校そろっての生演奏の機会をたいへん喜ばれており、一層有意義なプログラムとなりました。

### 先生から

何度もメールでやりとりさせていただき、細かい点まで打合せができたので、当日もスムーズに行えました。生の演奏を聴く機会がなかなか取れなかった中で、良い経験をさせていただきました。コロナ禍が落ち着いたら、少人数の良さを生かして、聴くだけの演奏会だけでなく、共に創り上げていく演奏会ができればと期待しています。

### 子どもたちから

曲から様子を想像できた。／来年も来てほしい。また演奏を聴きたい。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立荏田西小学校＋子どもに音楽を 「生」の音楽を楽しもう

担当アーティスト	伊東裕 (チェリスト)、秋元孝介 (ピアニスト)
実施校	荏田西小学校 (青葉区)
コーディネート	NPO 法人子どもに音楽を
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型/チェロ・ピアノ/6 学年 4 学級 147 名
実施日程	2022 年 11 月 14 日(月)



### 授業のねらい

コロナ禍で全校で合唱する楽しさを感じる機会がなくなり、「生」の音楽を楽しむことの貴重さを感じているとのことなので、コンサートを通じて実際の音の響きの豊かさを感じてほしい。コロナの影響で音楽室ではなく体育館で、6 年生 147 名を 2 回に分けて行う。壇上にあるピアノは床に下ろし、演奏家と聴く子どもたちの一体感が得られるようにする。

### 主な内容

演奏と楽器や曲についてのお話と、質問コーナーでの演奏家と子どもたちとの交流 (2 クラスずつに分けて 2 回実施)

### アーティストから

少し初心者向けではない曲も静かに聴いてくれたのがうれしく、質問もいくつかあって良かった…。演奏者と子どもたちの距離が遠くなかったことが、呼吸を彼らと共にしている感覚になり、それが子どもたちにとっても音楽を集中して聴いていたことにつながったと思う。

### コーディネーターから

ピアノを壇上から下ろしたことが、とても良い結果になったと思います。先生からも「非常に近くで演奏していただけたので楽器の音を全身に浴びているようでした。大人っぽい楽曲にも子どもたちはどんどん引き込まれていました。1 つの楽器でもさまざまな奏法によって響きが変わることに驚いた様子でした。」という感想をいただきました。

### 先生から

生の演奏でしか感じられない迫力と、プロに直接会って話することができる感動を、身体全体で味わっていると感じました。DVD やインターネットを介さない、現地でコンサートを行っただけだからこそその良さだと思います。感染症対策でさまざまな活動が困難な中、体育館での実施や、回数を分けての実施などにも快く対応していただき、うれしかったです。

### 子どもたちから

生の演奏に感動した。感情的に演奏する良さを感じた。/ 響きが大きかった。/ 音楽を演奏している 2 人がめっちゃリズムにのっていたことが思い出に残った。/ 2 つの楽器だけであんなにも迫力があつたのですごいな! と思った。/ チェロのしくみも知っておもしろかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立桂小学校＋フィリアホール 生演奏を楽しむ参加型コンサート

担当アーティスト	しましまのおんがくたい（管打楽器ユニット）
実施校	桂小学校（青葉区）
コーディネート	青葉区民文化センターフィリアホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／管打楽器／4学年2学級 55名
実施日程	2022年9月12日(月)



### 授業のねらい

生の楽器の音、演奏に魅力を感じてもらい、多彩な種類の楽器について知る。体育館の空間でも楽器演奏の魅力を十分に伝えられる編成・内容で調整する。アーティストは0歳の未就学児の子ども向けコンサートを最も得意とするが、それぞれプロフェッショナルなアーティストであり、今回は小学4年生に向けた本格的な内容に調整する。

### 主な内容

プロの演奏を楽しむ参加型コンサート

### アーティストから

今回は桂小学校4年生に向けて、クラシック曲やアニメソング、楽器紹介、演奏参加コーナーを取り入れたコンサートを行いました。楽器紹介コーナーで楽器のクイズを取り入れたところ、既に知識が豊富な児童も多く、自発的に参加、発言をしてくれました。コンサート序盤は全体的に緊張した雰囲気でしたが、徐々に解れていき、参加型コーナーでは、演奏者と一体となって演奏に参加してくれる姿が見られました。

### コーディネーターから

児童の雰囲気を考えて、本格的でありながら楽しむ音楽を提供できる「しましまのおんがくたい」を選びました。子どもたちも演奏を聴くうちにリズムを一緒に楽しんだり、演奏に合わせて身体を揺らしたりなど、徐々に演奏に引き込まれていく姿が印象的でした。クラシックだけでなく子どもが好きな曲を入れることで、楽しみながらもプロの演奏の美しさや迫力のある演奏、また空気感を体感してもらうことができたと思います。

### 先生から

音楽の素晴らしさを再認識できました。さまざまな楽器の説明や曲を演奏してもらったことで、子どもたちが音楽への興味を強めていたので良かったと思いました。特にクイズに興味を引き付けられていたように感じました。

### 子どもたちから

楽器の特徴が知れて良かった。／さまざまな曲が聴けて楽しかった。／しましまの洋服がかわいかった。／ホルンがあんなに長いことを知ってとてもおどろいた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立鉄小学校＋フィリアホール ボディパーカッションを通じて音楽を楽しもう

担当アーティスト	齋藤綾乃（打楽器奏者）、藤本亮平（打楽器奏者）
実施校	鉄小学校（青葉区）
コーディネート	青葉区民文化センターフィリアホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／打楽器／5学年1学級28名 ※鑑賞のみ全学年160名で参加
実施日程	2022年12月22日（木）



## 授業のねらい

児童数が少ないアットホームな学校なので、親しみやすい雰囲気  
で実施したい。一流奏者による音楽演奏に触れ、珍しい打楽器に  
ついての理解を深める。また体験型ボディパーカッションのプ  
ログラムで、相互のコミュニケーションの能力を育成するプ  
ログラムとする。内容の性質上、空間の広い体育館で実施。最終的に、  
1回目は全学年対象のコンサート、2回目は5年生のみ対象のワ  
ークショップとした。

## 主な内容

コンサート：打楽器の演奏を聴いて楽器や音楽のことを体感し学  
ぼう。ワークショップ：ボディパーカッションを通じてコミュニ  
ケーションしよう。

## アーティストから

鉄小学校は全学年でも160名と小規模な小学校でしたが、子ども  
たちの音楽を楽しむ純粋な姿は大規模校と同じで、音に対するさ  
まざまなリアクションに癒やされました。参加型のボディパーカ  
ッションは、言葉を使わず誰でもコミュニケーションが取れるす  
てきなツールです。今後もボディパーカッションがたくさんの子  
どもたちと周りの大人の方々の生活の一部になるよう、広めて参  
りたいと思います。

## コーディネーターから

児童数が少ないアットホームな雰囲気の学校で、1回目のコンサ

ート鑑賞は、全学年まとめて近い場所で楽器の音を聴いてもら  
うことができました。学年間の距離が近く、1年生と6年生が同じ  
場で同じ音楽を聴くという体験は市内の他の学校にはあまりない  
新鮮な経験でした。5年生対象のワークショップは、アーティ  
スト側も他校での経験をもとに練ったプログラムを準備され、多  
感な子どもたちも飽きずに最後まで取り組みました。

## 先生から

プロの演奏家の力はすごいと思いました。打楽器は身近でありな  
がら奥が深く、たくさんの楽器の種類や表現方法があります。た  
った1回の短い時間の中でしたが、言葉や映像では伝わらない音  
の素晴らしさを児童はたつぷりと体感できました。また今回はボ  
ディパーカッションなどを通して、身体全体を使って音楽を楽し  
むこと、言葉がなくてもコミュニケーションが取れることも学ぶ  
ことができました。今の本校の児童にぴったりの授業をコーデ  
ィネートしていただき、感謝しています。

## 子どもたちから

楽器に合わせて皆で体を使うとチームワークもよくなり、とても  
大切なことだと思った。／最初は恥ずかしかったけれど、続ける  
につれて体も心もあたたかくなった。／体以外にはマリimbaしか  
使っていないのに、曲ができていったのが楽しかった。／みんな  
と協力してできたことが思い出に残り、これからの生活に生かし  
たいと思った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立みたけ台小学校＋フィリアホール ヴァイオリンとピアノによる「音楽で旅するヨーロッパ」

担当アーティスト	白井篤（ヴァイオリニスト）、大越崇史（ピアニスト）
実施校	みたけ台小学校（青葉区）
コーディネーター	青葉区民文化センターフィリアホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／ヴァイオリン・ピアノ／4学年3学級110名
実施日程	2022年12月5日(月)



### 授業のねらい

一流奏者の演奏、映像や音源ではない生の音楽に触れることで、深い感動に触れる機会を提供し、音楽に対する感受性を養いたい。また、質問コーナーなどを設け、演奏者とのコミュニケーションを図りたい。

### 主な内容

ヴァイオリンとピアノの演奏で、世界の名曲を聴こう

### アーティストから

今回はヴァイオリンとピアノによる「音楽で旅するヨーロッパ」的プログラムを用意しました。数曲、「国当てクイズ」のようなことをしたり、チャールダーシュでは子どもたちの中に入って間近で演奏したりしましたが、とにかくよく反応してくれたのがうれしかったです。こちらが何か質問すれば積極的に答え、間近で演奏すれば大笑い。でも演奏中は集中して聴いてくれて。演奏者として、たいへん楽しく幸せな時間を過ごすことができました。

### コーディネーターから

事前に学校側から、元気でやや落ち着きのない子どもたちが多い傾向という情報をいただきました。また、小学4年生には単なる演奏鑑賞だけだと45分間でも集中が難しいと予想されたため、アーティスト側には「1曲の長さはできれば2～3分、長くても4～5分で」「合間合間にトークを入れていただく」などの工夫を行いました。アーティスト側もその雰囲気を感じ取っていただき、演奏する際も子どもたちにできるだけ近づくなど演出を入れることで、飽きずに最後まで素晴らしい演奏を聴いていただけたと思います。

### 先生から

子どもたちの音楽の演奏への興味・関心が高まり、DVDやCDなどの鑑賞学習にも主体的に取り組めるようになりました。コーディネーターのフィリアホールさんには、何年も関わっていただいているのでスムーズに運営できました。今後もこのような生演奏を間近で聴くことができる機会があるとうれしいです。

### 子どもたちら

バイオリンをひいているところを見てうれしかった。／バイオリンの良い音が心の奥までとどいてじんわりきた。／ピアノの指使いがすごかった。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立谷本小学校＋子どもに音楽を 生の「音」の素晴らしさを感じよう

担当アーティスト	弓新（ヴァイオリニスト）、小林海都（ピアニスト）
実施校	谷本小学校（青葉区）
コーディネート	NPO 法人子どもに音楽を
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／ヴァイオリン・ピアノ／6学年3学級73名
実施日程	2022年11月21日（月）



### 授業のねらい

生の「音」の素晴らしさを感じ取りより音楽を好きになってほしい、加えて曲の背景を説明してもらうことで想像力を付けて豊かな情操を養ってほしい、という先生のご希望に添って、高学年向きにヴァイオリンとピアノのコンサートを設定。以前は音楽室で2回行っていましたが、コロナの影響で30分3回で行うことになりました。

### 主な内容

演奏と楽器や曲についてのお話と、質問コーナーでの演奏家と子どもたちとの交流（クラスごとに実施）

### アーティストから

子どもたちの素直な反応を見て、まだまだ浸透していないクラシック曲の可能性を感じることができてうれしかったです。普段は聴くことのないような曲を演奏しましたが、演奏家自身の強い思いと曲に込められた作曲家の思いを伝えることで、先入観のない子どもにはまっすぐに伝わる！ということが確認できて心からうれしく感じました。

### コーディネーターから

演奏家が言っているように、今回のプログラムは相当になじみのない曲が多かったので多少心配しましたが、やはり演奏家の力量と情熱があれば何の問題もなく子どもたちには伝わるのだ、という確信を得ました。加えて、曲の背景など分かりやすく説明してくださったことも良かったと思いました。

### 先生から

本校の児童は1～3年生にヴァイオリン、ピアノ、尺八などのミニコンサート、4年生にチェロとピアノのクラスコンサートを聴いています。その上で「6年生にふさわしいプログラム」のコンサートをお願いしました。たいへん激しい曲で、演奏する方の姿勢や魅力を感じることができたと思います。「子どもに音楽を」さんには毎年お世話になっており、たいへんありがたいです。

### 子どもたちから

知らない曲を知れてよかった、楽しめた。／ピアノとバイオリンの息がぴったりですごかった。／とてもむずかしい曲をひいてるのがわかって楽しかった。／激しい曲で作者の思いなどを説明してくれたので、何かを伝えようとしていることが感じられた。／曲によって印象が違った。／プロになるきっかけなどを話してくれたので良かった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立川和小学校＋横浜シティオペラ ヘンゼルとグレーテル 3

担当アーティスト	篠枝美里 (メゾソプラノ歌手)、飯田千夏 (ソプラノ歌手)、君島広昭 (テノール歌手)、山本ひで子 (ソプラノ歌手)、前田孝子 (ピアニスト)、山本竹佑 (バリトン歌手)、佐藤玲子 (ソプラノ歌手)
実施校	川和小学校 (都筑区)
コーディネーター	NPO 法人横浜シティオペラ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／オペラ／5 学年 2 学級 72 名
実施日程	2022 年 11 月 29 日 (火)



### 授業のねらい

この体験を通して、お互いを理解しながら伝え合う力を伸ばしていきたい。

### 主な内容

オペラ「ヘンゼルとグレーテル」ハイライト

### アーティストから

ヘンゼルとグレーテル終了後、パパパ (日本語) 合唱、児童の知っている曲で声の紹介、質問コーナーを行いました。学校側は生の歌とお芝居に対する児童たちの反応に興味と期待があったようです。ヘンゼルとグレーテルにおいてはもちろんですが、オペラ「魔笛」のなかの「パパパ」の二重唱を生で聞けた！と、肉声や躍動する動きに身体を乗り出して見てくれました。感想も5年生らしく丁寧にその感動を私たちに伝えてくれました。

### コーディネーターから

今回のメンバーは小学校公演が初めての方が半分以上で、新型コロナウイルス感染拡大防止のため自粛していたヘンゼルとグレーテルの再開に喜びが隠せませんでした。そのため演奏も早朝にも関わらず、元気に美声を披露することができたように思います。暑くもなく寒くもなく、一番やりやすい時期の公演でした。

### 先生から

私自身オペラというものを初めて鑑賞しました。演者の方の表現力であったり、舞台のセットであったり、「ヘンゼルとグレーテル」の世界観に引き込まれました。もともと「ヘンゼルとグレーテル」の話は知っていましたが、オペラになると一味違う話になりとても楽しかったです。今回は学校で公演していただいたため、普段より規模を小さくして行っていただきましたが、ぜひ全公演を見てみたいと思いました。

### 子どもたちから

何より声がとてもキレイで驚いた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立北山田小学校＋横浜こどものひろば 五感を働かせ みんなで楽しむ 普段と違う新鮮な音楽授業

担当アーティスト	ぴんたろー（パーカッションニスト、作曲家、編曲家）／アシスタント：歌子（ボーカリスト）、上村純（ギタリスト）、小林展明（ベーシスト）
実施校	北山田小学校（都筑区）
コーディネート	NPO 法人横浜こどものひろば
実施科目・教科名	音楽、図画工作
実施概要	体験型／ラテン音楽／個別支援学級 20 名
実施日程	2022 年 11 月 8 日（火）、2022 年 11 月 15 日（火）、2022 年 11 月 24 日（木）、2022 年 11 月 29 日（火）、2022 年 12 月 5 日（月）、2022 年 12 月 12 日（月）



### 授業のねらい

どの発達段階の子も「自分にもできる！」と自信を持って取り組み、友達と共に活動する楽しさや良さを味わうことができることを目指す。

### 主な内容

< 1 日目 > 講師による演奏、振り付け歌の歌唱、ラテンパーカッションの楽器紹介、楽器体験 < 2 日目 > 不要になった給食のお皿を楽器に手作りする① < 3 日目 > 不要になった給食のお皿を楽器に手作りする② < 4 日目 > コンサートで披露する曲の振り付けを子どもたちと考える < 5 日目 > コンサートで披露する曲の振り付け練習 < 6 日目 > コンサート本番、主役は子どもたち。保護者の方に鑑賞していただく

※音祭り 2022 と連動して実施。

### アーティストから

昨年を引き続きのワークでした。私たちのことを覚えてくれているか心配でしたが、いきなり駆け寄ってきてハグの挨拶に、うれしさがこみ上げました。今回は 6 回という時間を与えられ、楽器作りに時間をかけました。その間のたわいもないやりとりの中で、関係を深めることができ、昨年はあまり興味を示さなかった子ども、今回の発表では自分から踊ってくれました。最終日の発表では、バンドに合わせて、みんなで考えた振り付けを何とかやり遂げようとしているそれぞれの姿に、心打たれました。

### コーディネーターから

昨年に引き続いての北山田小学校、初日から「あっ歌子さん、ひさしぶり〜」「ぴんたろーさんだ〜」の歓迎をいただきました。今年度は横浜音祭 2022 と連動して 6 日間の実施となり、アーティストの方々も急ぐことなくゆったりとした時間を紡ぎ出すことができたと思います。最終日までさまざまなことがありましたが、5 日目まで参加のなかった子が、本番では体育館の壇上で、歌と演奏、振り付けに参加してくれて感動させられました。コンサートの終わりにアーティストの方から「もう一度演奏する？」の呼び掛けに、壇上に駆け上がっていった子どもたちの姿は忘れられません。

### 先生から

ステージの上で保護者に向けて発表することで、程よい緊張感で行うことができ良かったです。学校にはないラテン楽器に実際に触れることができたことも、子どもたちはとても喜んでいました。本校は活動にメインで参加するのが低学年なので、振り付けを考える回をコンパクトに行くと、中だるみが少ないかなと思いました。

### 子どもたちから

体操がおもしろかった。／ぴんたろーさんの楽器がおもしろかった。／うたさんのこえがきれいだった。／曲がたのしかった。／ステージでうたっておどったのがたのしかった。／たいこをたたいたのがたのしかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立都田小学校＋子どもに音楽を プロの表現を間近で鑑賞しよう

担当アーティスト	毛利文香（ヴァイオリニスト）、原嶋唯（ピアニスト）
実施校	都田小学校（都筑区）
コーディネート	NPO 法人子どもに音楽を
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／ヴァイオリン・ピアノ／5学年2学級80名
実施日程	2022年12月19日(月)



### 授業のねらい

運動会での学年演技、舞踊を通して身体を使って表現することに取り組んでいる学校とのことで、プロの演奏家がどのような表現をするか、生の演奏を間近に体験することから学ぶ。また、音楽には舞踊を題材にしたものがたくさんあるので（ワルツ、マズルカ、ポロネーズ、タンゴなどを）一部プログラムに入れる。

### 主な内容

演奏と楽器や曲についてのお話と、質問コーナーでの演奏家と子どもたちとの交流（クラスごとに実施）

### アーティストから

「そんなに細かいところまで見て聴いているんだな！」と驚き、とても純粋な目と耳を持つ子どもたちに感動しました。この距離感で本物の生の音楽に触れることができるこのような活動がこれからも末永く続くことを願います。

### コーディネーターから

NPOの活動が集中していたこともあり、当該小学校に直接打合せに伺うことができず、多少不安がありましたが「実施確認書」をお送りして細部の確認をしました。当日伺って担当の先生がしっかり対応くださったのでホッとしました。2回の公演とも子どもたちが集中力を持って聴いていたのがよく分かりました。先生から「シューベルトの鱒を聴かせてほしい」というご要望がありましたが、今回はプログラム構成の関係で実現できませんでした。代わりに6年生の教材となっているフランクのヴァイオリンソナタの第4楽章が演奏されました。良い活動ができたと思います。

### 先生から

子どもたちがとても感動していて良かったです。内容的に少し難しいかとも思いましたが、興味関心を持って集中して鑑賞する姿に驚きました。

### 子どもたちから

きれいな音色が心に残った。／バイオリンだけでなく他の楽器もまたなまで聞いてみたい。／思い出に残ったことは、音楽の見方が変わったこと。あのレベルになるまで、たくさんの経験があることが心に残った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立柏尾小学校＋さくらプラザ イメージを持って音楽を作ってみよう！

担当アーティスト	烏田晴奈（作曲家）、水杉亜希（パーカッショニスト）
実施校	柏尾小学校（戸塚区）
コーディネート	戸塚区民文化センターさくらプラザ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／音楽づくり／4学年3学級 112名
実施日程	2022年11月22日(火)、2022年11月24日(木)、2022年11月29日(火)、2022年12月1日(木)、2022年12月2日(金)、2022年12月8日(木)



## 授業のねらい

「音楽作り」を通して、演奏することの楽しさや合奏で味わえる達成感を体験する機会とする。また、演奏を人に聴いてもらうことで相手に「どう伝えたいか、伝わるか」、人の演奏を聴くことで相手が「どう伝えたいのか、何を表現しているのか」を考え理解することで、互いの表現を認め合うきっかけとする。  
※音楽祭2022と連動して実施。

## 主な内容

<1日目>導入：音楽から情景をイメージしよう。スカーフで表現を楽しもう。紙で色んな音を出してみよう。<2日目>～<3日目>実習①：ストーリーカード&グラフィックスコアについての説明。楽器探し（2日目に2組・3組、3日目に1組実施）<4日目>実習②：グループ創作（2組・3組）<5日目>実習②：グループ創作（1組）。発表：グループで創作したグラフィックスコアの説明&発表（3組）<6日目>発表：グループで創作したグラフィックスコアの説明&発表（1組・2組）

## アーティストから

児童にはさまざまなステップを経験してもらいながら、丁寧に音楽創作に向き合ってもらいました。授業をするごとに児童たちの表現に対する壁が低くなるのを感じましたし、元から柔軟な感覚を持っている子どもたちだったこともあり、音楽創作は思っていた以上にたくさんの発想であふれました。最終的には楽器奏法の工夫、アンサンブル表現のバランス感覚を持つまでになってくれて、とても驚きました。発表会では演奏する側も聴く側も大いに

盛り上がり、講師側としても刺激的な面白いワークショップでした。

## コーディネーターから

児童たちが“表現したい音楽”をグループで共に創り上げることができるよう、「クリスマス」、「宇宙」、「森」の3種類のストーリーを用意し自分たちで選んでもらい、そのストーリーを学校にある楽器を使用しながら楽譜（グラフィックスコア）として完成させるプログラムとしました。6日間の長期日程を生かして、音楽創りを楽しみながら体験できるよう丁寧に進めました。発表はどのグループも個性が光る素晴らしいものであり、児童みんなが真摯に音楽と向き合うことができたと感じました。

## 先生から

思ったこと想像したことを、こう表現したいという思いを持って演奏する。そういった音楽の本質を教えていただきました。7時間もアーティストの方に関わっていただいたおかげで、普段できない授業ができ、授業計画の段階でかなりのわがままを言っていました。コーディネーターとアーティストの方に全て形にいただき感謝です。楽器が苦手な児童も楽しんで活動していて、「音を楽しむ」が全力でできた時間でした。

## 子どもたちから

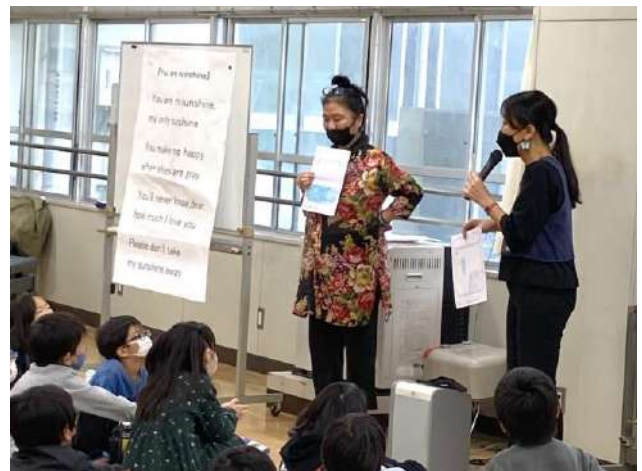
楽譜がなくても曲が作れる。／作曲って難しいけど楽しい。／音で表すって楽しい。／新しい楽器にさわられてうれしかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立倉田小学校＋アートの時間 みんなで英語の歌に挑戦しよう！

担当アーティスト	Ya! Voices (ジャズコーラスユニット)
実施校	倉田小学校 (戸塚区)
コーディネート	アートの時間
実施科目・教科名	総合的な学習の時間、音楽
実施概要	体験型／歌唱／3 学年 2 学級 74 名
実施日程	2022 年 9 月 27 日 (火)、2022 年 10 月 4 日 (火)、2022 年 10 月 7 日 (金)



### 授業のねらい

コロナ禍で、人前で大きな声で歌う機会がなかった 3 年生。子どもたちの縮こまった心身が解放され、自然と表現が生まれ、それを互いに認め合い、歌を通し表現することが楽しいと感じられる機会とする。また、音楽会やオープンスクールの発表に向け自信を持って人前で表現できるようにつなげる。

### 主な内容

< 1 日目 > 英語の課題曲を歌えるようにしましょう < 2 日目 > クラスごとにどんな課題曲を創って歌うか考えましょう < 3 日目 > みんなで考えた課題曲を仕上げてみましょう

### アーティストから

3 日間のワークショップを終えて、私たち 3 人、とても心地よい充実感を持つことができました。通常 2 時限を 3 回行って創っていくワークショップですが、今回は 1 時限を 3 回！どこまでできるかととても不安でした。ところが 1 日目で子どもたちはすっかり課題曲を覚えてしまい、3 人で顔を見合わせて驚いてしまいました！しかも驚きの斬新な表現の提案！頭の柔らかさ！一人ひとりのキラキラした目の輝き！忘れられない 3 日間でした！

### コーディネーターから

まずはみんなで歌う楽しさを、さらに表現をする面白さを体験してほしいという先生方の想いに応え、アーティストは頭ではなく耳から覚えられるよう英語の歌詞を素材としました。プロがすべての表現を肯定するので、子どもたちから次々とアイデアが溢れ出し、グループごとに全く個性の違う課題曲が出来上がりました。後日談として、アーティストが子どもたちのアレンジでライブでも演奏したところ大好評だったとのこと。双方にインスピレーションを与え合った良いプログラムとなりました。

### 先生から

子どもたちが最初に比べるとハツラツと活動に取り組んでいたのが、子どもたちにとってとても良い経験だったと思います。また、歌っている中で自然と声が大きくなっていき、音楽の授業でも自然と声を出せるように成長しました。

### 子どもたちから

つくったうたをうたったときが楽しかった。／友達と楽しくうたを作れたからまたじゅぎょうをしたい。／他の英語の歌も聞きたくなった。大人になっておぼえていけば歌いたい。／おうちの人にきいてもらったし、にぎやかだった。／心に残ったことは、かえ歌をつくったこと、大切なものを見つけること、みんなで歌うこと。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立小雀小学校＋アートの時間 リズムで遊ぼう！ウノ・ドス・トレス

担当アーティスト	笹津弘順（フラメンコ舞踊家、俳優）
実施校	小雀小学校（戸塚区）
コーディネーター	アートの時間
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／リズム表現／4学年2学級 67名
実施日程	2022年12月8日(木)、2022年12月15日(木)



### 授業のねらい

自分や友達の良さに気づき、理解し合いながら、思いや考えを持ち、自由に表現することの楽しさを味わう。

### 主な内容

<1日目> 4拍子のビートを手（足）拍子、振りもつけて共有する楽しさを知る  
<2日目> テンポを決め、始まりと終わりの合図を自ら出すことや振り付けにも挑戦

### アーティストから

「ウノ、ドス、トレス、クアトロ〜」、子どもたちの上気した声と手拍子に踏み鳴らす足拍子。フラメンコの技法を使って全身でリズムを刻み、踊り、音とリズムとダンスが一体となった音楽の特別授業。昨今の世の中の暗いニュースは子どもたちには無縁なのだ。ビートを共有し、リズムを分かち合い、奏でる音が部屋いっぱいにこだまし、まるで天使の声のようだ。「え〜、もう終わり〜？」大事なことは、感じて、表現し、伝える勇気をもつこと。リズムを通してそれを伝えられたことに私は大満足！この国の未来は明るい！オレ〜、小雀小の4年生！

### コーディネーターから

子どもたちは解放されたがっています。きっかけさえあれば、本当は誰もが自由に表現できるのかもしれませんが。楽譜もメロディーもない、そこにあるのは4拍子というルールだけ。講師は声を張り上げ何度も“ビートを感じて！”とコンガを叩きました。たったそれだけなのに子どもたちはもう1回！もう1回！と踊りました。クラス担任が最後に「分かち合うっていいですねえ」としみじみ。音とリズムを楽しむことを知った子どもたちは、その後もいろんな人とビートを分かち合い、踊ってくれるに違いありません。

### 先生から

異文化の良さやアーティストの方の違った角度からの音楽提供により、子どもたちは自ら新たな発見ができていました。自己表現の楽しさや、友達との関わりの中で楽しみ、表現する素晴らしさを味わっていました。

### 子どもたちから

スペインのフラメンコステップを学び、それを体現する楽しさを味わえた。／先生のアドバイスでどンドンステップをふむのが楽しくなってきた、ノリノリでできた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立平戸台小学校＋アートの時間 青銅の不思議な音色、息を合わせて合奏するガムラン

担当アーティスト	櫻田素子（ガムラン演奏家）
実施校	平戸台小学校（戸塚区）
コーディネーター	アートの時間
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／ガムラン／5学年1学級35名
実施日程	2022年11月22日(火)、2022年11月28日(月)、2022年11月29日(火)



## 授業のねらい

ガムランの音色に触れ、合奏の楽しさを味わう。西洋音楽とは違う習得の方法などを体験し、異文化に目を向ける機会とする。

## 主な内容

<1日目>ガムランと出会う。デモ演奏。楽器を鳴らしてみる。  
<2日目>ガムラン音楽の生まれた島と、そこで暮らす人々を知る。楽曲の練習。<3日目>合奏の面白さと不思議さを体感する。楽曲の発表。

## アーティストから

子どもたち一人ひとりがガムラン楽器とその音楽にじっくり向き合っていました。バリ島の生活文化と共にある音楽についてと、同じ年頃の子どもの演奏を資料映像で観、思いを巡らせたことも大きな刺激となったようです。最終日にはより高度なフレーズなどへ挑戦し、集中力のある素晴らしい演奏を聴かせてくれました。興味を持つ点は皆互いに異なりつつも、生き生きと大きな響きの音楽を生み出せることを体験してもらえたと思います。

## コーディネーターから

「6時間を使うということは1か月分の音楽の時間すべてをこれに充てるということなのです」と音楽の先生。そこを思い切ってこちらに委ねてくださる先生方の思いに込められているのだろうか。その場で結果が出る活動でもありません。先生を含め、この事業が子どもたちの未来の糧になると信じ、関わってくださっている多くの方々あつてのプログラムなのだとすることを改めて感じました。

## 先生から

子どもたちに貴重な体験をさせていただきました。1クラスに6時間の授業をしていただきましたが、終始アーティストの先生方が、児童の実態や教師の思いに丁寧寄り添ってくださったことを感謝しています。授業が終わるごとに、次の授業に向けて十分話し合い、準備できたことにより、「楽しい」だけではなく「ガムランの良さ」を味わえるまで力が伸びたと思います。

## 子どもたちから

初めてガムランにふれて楽しかった。／好きな楽器を選んでみんなと一緒に練習したのが楽しかった。／最後の発表が上手にできてうれしかった。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立桂台小学校＋リリース 世界の音楽をめぐる旅

担当アーティスト	ヒダノ修一（太鼓ドラマー）、村山二郎（篠笛奏者）、ワガン・ンジャエ・ローズ（サバール奏者）、ボガ・ンジャエ・ローズ（サバール奏者）、太鼓集団ふじ（和太鼓グループ）、TUTTI！（パーカッションアンサンブル）、オルケスタ・デラックス（伊澤陽一（スティールパン奏者）、坪根剛介（パーカッション奏者））、石田裕人（サクソ奏者）
実施校	桂台小学校（栄区）
コーディネーター	栄区民文化センターリリース
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／民族音楽／個別支援学級 11 名 ※10/31：5 年生 60 人、11/30：4 年生 60 人、1/19：6 年生 70 人、1/23：3 年生 60 人も参加
実施日程	2022 年 10 月 31 日(月)、2022 年 11 月 30 日(水)、2022 年 12 月 2 日(金)、2022 年 12 月 19 日(月)、2023 年 1 月 19 日(木)、2023 年 1 月 23 日(月)



## 授業のねらい

「学校にいながらにして、世界の音楽をめぐる旅にでかけよう」をテーマに、日本の太鼓、セネガルの楽器などの生演奏を鑑賞します。実際に目の前で聴く体験はきっと児童の心に残る体験になってくれると思います。  
※音祭り 2022 と連動して実施。

## 主な内容

<1 日目>アフリカの音楽 出演：ワガン・ンジャエ・ローズ、ボガ・ンジャエ・ローズ  
<2 日目>太鼓アンサンブル 出演：太鼓集団ふじ（池浩一、後藤玲子、安井真央、上島沙織、佐藤季子）  
<3 日目>マリンバ+打楽器 出演：パーカッションアンサンブル TUTTI！（細田真裕、千葉彩加、菊池咲、加賀美諄）  
<4 日目>スティールパン+パーカッション 出演：オルケスタ・デラックス（伊澤陽一、坪根剛介）  
<5 日目>J A Z Z 出演：石田裕人グループ（石田裕人、武藤勇樹、山田ヒロシ、深水洋）  
<6 日目>篠笛+太鼓デュオ 出演：ヒダノ修一、村山二郎

## アーティストから

今年は桂台小学校の依頼で、主に個別支援学級の子どもたちに生の演奏を体感してもらおう！という主旨により6団体のアーティストに依頼し、全て異なる内容の演奏会を実施しました。和楽器、洋楽器などバラエティーに富んだ内容で「必ず打楽器を含める」を掲げてキャストイングを行いました。目指していた通り、子どもたちは踊り歌い、全身で生演奏を楽しんでいました。特にアフリカ人たちやカリブ音楽など、珍しい音楽には熱狂しており大成

功でした。

## コーディネーターから

個別支援学級の児童たちは演奏中は集中して聴いていて、終演後はとても積極的に楽器に触ったり演奏してみたりしていました。6 回とも全く違う世界観の楽器の演奏だったので、それも楽しんでもらえました。体育館での演奏ではいろいろな学年の児童や先生と共に鑑賞しましたが、どの学年の児童も盛り上がりがあると楽しそうに手拍子したり身体を動かしたり質問したりして音楽を楽しんでいました。生の音楽ということで、音の振動も伝わるような空間を児童たちで共有できたのは、貴重な体験になったのではないかと思います。

## 先生から

今回は音祭り 2022 との連動ということで、合計6回もいろいろなジャンルのアーティストの方々が来ていただきました。とてもすてきな演奏を本当に間近に聴くことができ、子どもたちも私自身も貴重な経験になりました。学校での取組だけでは到底設定できないこの場を提供いただけたことに感謝しています。個別支援学級の子どもたちは、コンサートなどイベントに出かけるのが難しいことが多いので、今後も続けて申し込みしたいです。

## 子どもたちから

マリンバの授業が楽しかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立上郷小学校＋あっちこっち 響きを味わいながら歌ってみよう

担当アーティスト 宮原健一郎（テノール歌手）、池羽由（ソプラノ歌手）、青木智哉（ピアニスト）

実施校 上郷小学校（栄区）

コーディネート 認定NPO法人あっちこっち

実施科目・教科名 音楽

実施概要 体験型／合唱／5学年2学級68名

実施日程 2022年9月27日（火）、2022年10月18日（火）、2022年10月25日（火）



## 授業のねらい

児童たちがアーティストの演奏を共に味わい、授業を通しお互いに聴き合い、一緒に歌う喜びや表現力、集中力を育むことを目標とし、11月の合唱祭に向けて1つの音楽を共に作り上げていく。

## 主な内容

<1日目>歌は身体が楽器！豊かな響きでハーモニーを味わおう  
<2日目>想いが伝わる歌を目指そう<3日目>みんなの声と想いを1つに！仕上げとアーティストのミニコンサート

## アーティストから

今回上郷小学校に3日間お邪魔させていただき、5年生の子どもたちと素晴らしい時間を共有できたこと、たいへん貴重な体験でした。何より驚き、感動したのは子どもたちの感受性の豊かさ、吸収力の高さでした。歌詞をしっかりイメージして、実感しながら歌ってくれていて、最終日の歌声を聴いていると胸が熱くなりました。これからも、歌うことが、音楽が子どもたちの近くにあり続けることを願っています。（宮原）

一つひとつを真剣に聴く姿、それらを吸収して自分の表現に繋げようという熱心に歌う姿が見られました。一人ひとりが積極的に授業に参加してくれたので、どんどん歌声が変わっていくのが分かりました。最終日の発表では豊かな響きが体育館いっぱいに広がり、主旋律と対旋律の会話や二声で奏でるハーモニーなど、互いのパートを聴き合いながら演奏することができていました。また、指揮と伴奏を担当している子どもとの関わりを常に意識していて、全員と一緒に音楽を作り上げていたと思います。この3日間のことを思い出しながら、音楽祭に向けてさらに演奏を楽しんでもらえたらうれしいです。上郷小学校の5年生に出会えたこと、心から感謝いたします。（池羽）

3日間を通して、児童の成長の様子をひしひしと感じた。ピアノなど楽器を習っているならわかるが、そうではない児童が歌につ

いて本気で向き合ったり、音楽について真剣に考えたりする。楽しそうに歌う児童を見て、心が熱くなった。義務教育の限られた時間の中でしか音楽や芸術に触れることができない児童にとっては、この時間がどれだけ大切かを考えさせられた。小学校における音楽の授業の重要性を感じる3日間だった。（青木）

## コーディネーターから

アーティストの授業が始まるまでに、子どもたちはそれぞれのパートをしっかりと歌えるように練習してくれていました。アーティストが表現や響きなどについて教えると、子どもたちは全力で吸収しようと熱心に、そして夢中で授業を受けていました。3日間とても上達し、音楽をみんなで一緒に作るというのはどんなことなのかを知ってもらえたのではないかと思います。今回の授業を通して、より音楽を好きになってくれたらうれしいです。

## 先生から

子どもたちを惹きつけてくださるアーティストの方々の魅力が素晴らしかったです。歌の指導時には、子どもたちをすーっと引き込んでいて、子どもたちが自分を変えていこうとする姿が音楽と向き合う原点に立ち返ったようでした。また、子どもたちがピアニストの奏でる姿勢に目を見張り、憧れのまなざしを持って聴く様子は、このような世界もあるのだと感じ入っているようでした。自分自身も幸せを感じるとともに、また新たな視点から取り組んでみようという機会になりました。

## 子どもたちから

一緒にできて楽しかった。／コンサートが良かった。／演奏が良かった。／分かりやすく歌うコツを教えてもらった。／また来てほしい。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立桜井小学校＋リリス 卒業ソングをつくろう！

担当アーティスト	アベタカヒロ（作曲家）、大塚雅仁（バリトン歌手）
実施校	桜井小学校（栄区）
コーディネート	栄区民文化センターリリス
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／作詞・作曲／6 学年 2 学級 80 名
実施日程	2022 年 10 月 17 日(月)、2022 年 11 月 21 日(月)、2022 年 12 月 19 日(月)



### 授業のねらい

3 日間のワークショップで 6 年生の学年で 1 曲、卒業式で歌う「うた」を作曲する。「音楽づくり」のカリキュラムの中で「表現すること」を体験する。表現することの楽しさや、友達の表現の良さを感じ合える内容にする。

### 主な内容

< 1 日目 > 歌詞を作ってみよう：「詞」の元になるキーワードから歌詞をつくる < 2 日目 > 「詞」を元に作曲りに挑戦：出来上がった歌詞から好きな部分を選んで楽器を使って音にする < 3 日目 > 完成した歌を披露、練習：出来上がった曲を聞いて、音取りの後歌う

### アーティストから

昨年度のプログラムに少し改良を加え、今年も桜井小学校の作曲体験授業を展開しました。たとえ同じ学校でも年度が変われば人も変わり、反応も毎回違っていつも新鮮な気持ちになれます。今年度では音楽をやっていないという人からとても美しいメロディーが出てきました。私としてはこれほどうれしい瞬間はありません。ときどきこういった才能と出会えることもまた醍醐味だなと、しみじみ感じています。

### コーディネーターから

作曲は難しいのでは？と思っていましたが、「自分の名前を音に表すと、どのような感じ？」など、子どもたちの身近なところから曲を作る楽しさをアベ先生が教えていらして、授業時間が終了しても夢中で作曲をしている子どもたちの姿が印象的でした。子どもたちも卒業式に「自分たちの歌」を歌って新たな生活に向かう、すてきな授業でした。

### 先生から

とても子どもたちのことをよく見てくださり、一人ひとりに声をかけてくださいました。

### 子どもたちから

卒業式で歌うのが楽しみ。／自分の作った歌詞が入っていてうれしかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立庄戸小学校＋リリース 音楽体験～言葉を歌にして伝えよう～

担当アーティスト	金子瑞季（ソプラノ歌手）、石川夏子（ピアニスト）
実施校	庄戸小学校（栄区）
コーディネート	栄区民文化センターリリース
実施科目・教科名	総合的な学習の時間、音楽
実施概要	体験型／音楽／5 学年 2 学級 45 名
実施日程	2022 年 11 月 29 日（火）、2022 年 12 月 8 日（木）、2022 年 12 月 19 日（月）



## 授業のねらい

音楽家の発声方法や姿勢を体験して卒業式で歌いたい。

## 主な内容

< 1 日目 > 声の出し方。話し声と歌声の違い、響きの違いを感じる。< 2 日目 > 声を出すウォーミングアップ（店員さんになって大きな声を出してみよう）。ブレスに注意して歌ってみよう。（1～2 日目：音楽室で各クラス個別練習。）< 3 日目 > 体育館での合同練習

## アーティストから

これまでなかなか合唱の授業が思い切りできなかった、と事前に音楽の先生からは伺っていましたが、5 年生の皆さんは初回の授業から緊張しながらも、繊細で美しい歌声を聞かせてくださいました。より良くするため、声の出し方と呼吸のことを意識してみよう！と伝えると、素直に受け止め、実践し、回を重ねるごとに本当に素晴らしい合唱になりました。「歌詞に感情を込めて歌うと声が出る」と感想を言ってくれたお子さんがいました。庄戸小の皆さんは言葉を歌にして伝える意味と楽しさを体感できたのではないかな、と歌の先輩としてたいへん光栄に思いました。

## コーディネーターから

コロナの影響もあり声を出して歌うことに慣れていなかったのか、か細い歌声でありましたが、金子さんのウォーミングアップ「お店の店員さんになって声を出してみよう！」とコミュニケーションを取りながら、どんどん子どもたちに声を出させて1 日目、2 日目と少しずつ力強い歌声になっていったのは素晴らしいかったです。子どもたちも楽しく、身体から声を出すことを学べたことと思います。

## 先生から

コーディネーターの方と連絡を取り、必要な連携が持てたと思います。アーティストの方は分かりやすく楽しい授業を提供していただき、子どもたちの表現力を高める機会となりました。アーティストの方の演奏の素晴らしさに感動し、表現意欲の向上にも結びついたと感じます。今後もぜひこのような活動を継続し、歌うことが好きな子どもを育てる支援をお願いしたいです。

## 子どもたちから

オペラの人を初めて見たので、どうしてそんなに息が続くのか、なぜ高音が出るのか不思議に思っていたが、話を聞いていくうちに分かってきた。／先生の歌を聴いて「きれいな声だな～」と思った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立千秀小学校＋大佛次郎記念館 音と言葉で“感じる”物語「ピアノと読み声－紋音－」

担当アーティスト	ピアノと読み声－紋音－（伊藤慧（ピアニスト）、竹平晃子（アナウンサー））
実施校	千秀小学校（栄区）
コーディネート	大佛次郎記念館
実施科目・教科名	音楽、国語
実施概要	鑑賞型／朗読・ピアノ／5・6学年3学級81名
実施日程	2022年10月27日（木）



## 授業のねらい

自分たちに身近な題材を用いて、現役アナウンサーによる「朗読」と「音読」を実践することで、2つの違いを体感し、工夫して表現することの楽しさを味わう。また、言葉のイメージを音に反映させて作曲することの意味や効果を学び、新たな音楽の味わい方を楽しむことで、児童の感受性や想像力の育成を図り、表現力、協調性、言語能力の向上につなげる。

## 主な内容

紋音の自己紹介を兼ね、アナウンサーとピアニストの仕事を紹介。国語の教科書の作品を実演。朗読と音読の違いと、作曲について解説。抜粋版「スイッチェねこ」の実演。

## アーティストから

音楽がもつ力は想像以上に大きいもので、子どもたちはさまざまな実験を通して感情、物語を表現していく楽しさを実感できたと思います。またアナウンサー、ピアニストそれぞれの職業についても興味をもってもらえて良かったです。（伊藤）

国語の教科書の作品を題材としたところ、高い集中力で「音読」と「朗読」の違い、音楽が物語に与える影響を感じ取ってくれ感心しきりでした。声を出しての実践でも積極的な参加が見られ、うれしい手応えを感じました！（竹平）

## コーディネーターから

学校の希望がアーティストにスムーズに伝わり、それがうまく反映されたプログラムになったと思います。アーティストの前年の経験が生かされ、最初に紋音の2人を知ってもらい、その上で自

分たちの教科書の作品を鑑賞、さらに表現の豊かさに子どもたちが自ら気づくように導く形式となり、結果、完成度の高いプログラムになりました。新しい演目も、緊迫した場面で子どもたちが引き込まれて聞いている姿を見て、いろいろなジャンル・要素の作品を取り上げることの魅力を感じました。

## 先生から

実際に生でアナウンサーの朗読やピアニストの演奏を聴ける機会がないので、私自身も勉強になりましたし、子どもたちも普段味わうことのできない体験だと思うので、とても貴重な時間であったと思います。また子どもたちは、いつも国語の授業で行っている音読と朗読の違いの良さ、読み方の工夫などを知ることができました。音楽をつけることで情景を想像できることや、登場人物の気持ちをさらに深めることができるなど、国語と音楽の感受性を育むことができたのではないかと思います。講演後に「お話に入り込んだ」「上に音がいくと楽しい、下にいくと悲しいなど高さで変わるの面白い」など子どもたちが話していて、今回の授業で音楽や国語への興味関心が高まり、「自分もこの方たちのようになりたい」と将来の夢について考える児童もいて、とても良い学びになったと感じました。

## 子どもたちから

文章を曲付きで聴いた時、分からなかった場面や気持ちがよく分かった。／音程で話の雰囲気が作られていてすごいと思った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立本郷台小学校＋リリス スティールパン＋パーカッションコンサート

担当アーティスト	オルケスタ・デラックス（坪根剛介（パーカッショニスト）、伊澤陽一（スティールパン奏者））／企画：ヒダノ修一
実施校	本郷台小学校（栄区）
コーディネート	栄区民文化センターリリス
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／民族音楽／4学年3学級85名
実施日程	2022年12月19日（月）



## 授業のねらい

音楽で学校を盛り上げていくため、特別音楽クラブというものを行っており、夏休みからいろいろな場所や時間でコンサートを開催している。そのため学校として、さらに音楽を通して、地域や学校全体に表現力をつけていきたい。また、自分の言葉で表現できる力をつけていきたい。

## 主な内容

スティールパン＋パーカッション

## アーティストから

コロナで演奏自体が難しい状況が続いたため、少し緩和されて演奏を再開することができている。児童たちと直に触れることができるのがうれしい。世界の音楽に触れることで、アフリカやキューバという国を紹介した。世界には色々な音楽で溢れていることを知って欲しい。最後は全員で歌！プログラムを振り返りながら、音楽にもっと親しんでもらいたいという我々の願いを伝えた。長いことコロナで児童たちも行動を規制されていたから、音楽で身体を動かして楽しんでもらえて良かった。

## コーディネーターから

コロナがまた蔓延してきてしまったため、十分に換気を行い、アーティストはマスクを着用して演奏を行いました。最初の方は児童たちはおとなしく聴いていましたが、途中から音楽が盛り上がってくると、本当に楽しそうに踊ったり、マスクをした上で声を出したりしていました。コロナが流行しだしてから今まで児童たちはかなり我慢をしてきたようなので、音楽で自然に身体が動き出す姿というのは見ているだけでも感動するものがありました。楽器に触れるパートでも、とても積極的に参加していて、音楽をとても楽しんでもらえたし、普段触れることのできないスティールパンや打楽器に直接触れることができたのはとても良い体験になったのではないかと思います。

## 先生から

さまざまな楽器に触れる機会をいただき、演奏も素晴らしかったもので、1学年での取組にしたことを後悔しました。また、世界の音楽につながる要素も多くあり、勉強になりました。

## 子どもたちから

たくさん知らない楽器を見れた。／いろいろなリズムが面白かった。／みんなでリズムをうったり、おどったり、歌ったりして楽しかった。／手だけでも音が出せた。／明るくなった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立本牧中学校＋関内ホール 合唱の良さを知り、仲間と一緒に歌おう

担当アーティスト	渡海千津子（ソプラノ歌手）、斎藤育雄（指揮者、ピアニスト）
実施校	本牧中学校（中区）
コーディネート	横浜市市民文化会館関内ホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／合唱／3学年4学級160名 ※9/22は全校生徒500名対象
実施日程	2022年9月22日(木)、2022年9月26日(月)、2022年9月27日(火)



### 授業のねらい

中学校創立30周年記念行事の一環として実施する県立音楽堂での合唱コンクールに向けて、合唱の良さを知り、仲間と協力して達成感を深めたい。そのために、歌うことの基礎、およびクラス合唱の仕上げの指導を行う。

### 主な内容

<1日目>全校生徒対象：歌とピアノの演奏、発声練習の基礎など  
<2日目>～<3日目>3年生対象：クラス別の合唱指導（各日、クラスごとに実施）

### アーティストから

初日の全校生徒へのコンサートと発声指導は長時間でしたが、積極的によく聞いてくれました。3年生の合唱コンクール課題曲の指導では、各クラスとも熱心に譜読みや歌唱練習がされており、我々が必要と判断しうることを次々と伝え、またピアノ伴奏や指揮の生徒から積極的な質問もあり、この一回の授業で余すところなく吸収したいという姿勢を感じました。授業最後にはほほすべてのクラスで少なからず良い変化が見られたことは、とてもうれしく頼もしく感じられました。

### コーディネーターから

初日の全校生徒対象ミニコンサートでは、アーティストはマスクをしたままでも声が十分に体育館全体に届いていました。生徒たちは発声のコツなど教えてもらい、ちょっとした工夫で声が出るということを経験したことで、放課後、あちこちのクラスで合唱練習を一生懸命していて、合唱を楽しんでいる様子が伺えました。合唱指導は3年生各クラス1回の指導でしたが、だからこそ濃度の高い授業になったと思います。また、合唱指揮のアーティストが各クラスの指揮者、ピアニストにもワンポイントアドバイスをしていたのがとても良かったと思います。

### 先生から

素晴らしい歌声を聴いて感動している生徒が多かったです。クラス単位の合唱講習会で、とても上手になった、声が出しやすくなったと感じている生徒が多かったです。

### 子どもたちから

声の出し方など1から教えてもらい、全体的に歌がまとまったし、一人ひとりが歌い方を気をつけるようになったと思う。／物語を語るようにするための、どんな意味か考えるのが楽しかった。／毎回見本を見せてくれて、その時の歌声がすごく思い出に残った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立笹下中学校＋ひまわりの郷 歌の基礎を学び合唱を楽しもう！

担当アーティスト	浅野美帆子（声楽家）、鹿野千里（ピアニスト）
実施校	笹下中学校（港南区）
コーディネーター	港南区民文化センターひまわりの郷
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／合唱／2学年5学級206名
実施日程	2022年9月22日(木)、2022年9月26日(月)、2022年9月27日(火)



### 授業のねらい

本校の総合的な学習活動の1つである合唱コンクールを通して、仲間との協調性を育て、歌の基礎を学び、響きのある歌声、声の強弱、抑揚のつけ方などを身につけたい。また、体験型の授業を通してさまざまな視点から表現する方法を学び、クラス合唱をより表現豊かに歌えるようなアドバイスをいただきたい。

### 主な内容

<1日目>～<2日目>クラス別に自由曲の歌唱指導。歌う前の身体、喉のウォーミングアップや基本的な発声練習など。（1日目：3クラス、2日目：2クラス実施。）<3日目>指導講師による歌唱披露。指導した内容を踏まえて歌に関するQ&Aなども盛り込んだ内容。

### アーティストから

2年生の各クラス（5クラス）の合唱指導を2日に分けて行いました。授業の流れとしては①体の筋肉をほぐす体操②呼吸法③唇や舌など顔の筋肉の体操④発声はハミングやスタッカート、レガートなどさまざまな種類を行いながら、クラスごとの声の響きを整えていきました（約20分）。校内合唱コンクールで歌う、各クラスの自由曲指導を、本番仕様（生徒の指揮とピアノ伴奏）で行った後、声を揃えるポイント、曲調にあった表現力を指導するために私の指揮とピアニストの方のピアノ伴奏に合わせて歌っていただき、生徒たちの集中力、協調性、達成感を高める体験（体感）を目指しました（約30分）。3日目の私（ソプラノ）とピアニストの方との演奏会では、演奏を聴く際のQ&Aの設問（事前に用紙

配布）に答えながら、「演奏する側」と「聴く側」を繋ぐ大切なポイントを知ってもらえるよう、MC内容、選曲、ピアノソロ選曲、アンコール曲を考慮し実施しました。今回、数年のコロナ禍による集団歌唱の中止、男子の変声期、マスク着用の歌唱など、懸念材料はありましたが、生徒たちはこれが日常と捉えており、その中でより高みを目指し、向上、成長を促せるようにコーディネーターの方、学校の先生と探りながら行うことができ、価値のある教育事業だったと思います。

### コーディネーターから

コロナもまだ収束していない中、学校側とも十分に事前打合せをして実施しました。担当の先生もとても協力的でいろいろな準備もしていただき感謝しています。生徒たちもマスク着用での歌は大変だったと思いますが、講師の指導にとっても熱心に聞き入っていました。その成果は1時間という限られた時間の中で私たちが聞いてもはっきりと分かるくらい歌唱が向上したと感じました。マスクがなければ本人たちももっと実感できるのでは、とも思いました。早くコロナが収束することを願うばかりです。

### 先生から

歌唱指導での発声方法や表現説明の言葉など、教員にとって技術向上へつながる発見が多くありました。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立若葉台中学校＋サンハート ドラムサークルを体験しよう

担当アーティスト	清水和美（打楽器奏者）
実施校	若葉台中学校（旭区）
コーディネーター	旭区民文化センターサンハート
実施科目・教科名	総合的な学習の時間、音楽
実施概要	体験型／ドラムサークル／2学年3学級91名
実施日程	2023年1月16日(月)、2023年1月19日(木)、2023年1月30日(月)



## 授業のねらい

クラス全員で思いっきり楽しく体験ができるドラムサークルで、リズムを奏でてほしい。自己肯定感が低い生徒が多いので、何を行っても正解なドラムサークルで、表現力やコミュニケーション能力を高めてほしい。

## 主な内容

<1日目>～<3日目>みんなでドラムサークル行い、協力して1つの音楽を創り上げる。円を囲んで、ファシリテーターの進行に合わせて自由にドラムを叩く。一斉に音を出す・止める。パート分けをして演奏をリレー。コール&レスポンス。ランブル（手の平をひらひらさせて連打する）の強弱・リレー。学校のカホンも活用して、世界の太鼓やリズムについて理解を深める。（各日、クラスごとに実施）

## アーティストから

若葉台中学校2年生の各クラスのドラムサークルを3回に渡って実施しました。クラスごとにキャラクターは違うものの、とても落ち着いた穏やかな生徒たちでした。配慮を必要とする子も、一緒に活動できました。クラス全体で協力して1つの音楽を創り上げるという経験を通して、友達のよさや協働する楽しさを感じてもらえるよう進行しました。また、学校にある10台のカホンを有効活用して、世界の太鼓やリズムについて理解を深めてもらいました。中学生になってくると、周りの反応が気になり、なかなか自分を表現することが恥ずかしくなる年頃ですが、ドラムサークルを展開していく中で、生徒たちのうれしいや楽しいの反応が見られ、積極的に表現しようと行動が変容していったことをうれしく思います。

## コーディネーターから

学校側から「ドラムサークルを生徒たちに体験させてあげたい」と強いご依頼がありました。恥ずかしながらその時初めて「ドラムサークル」というものを知り、DCFA（ドラムサークルファ

シリテーター協会）さんにご相談し、開催が叶いました。体験型になると人前で参加するのを苦手とする生徒もいますし、中学生にもなると尚更かと思います。ドラムサークルは円を囲んで、ファシリテーターの進行に合わせて自由にドラムを叩きます。叩き方に正解はなく、リズムや音の大小は各自自由です。各クラス雰囲気は異なりましたが、共通して「自由に叩いていい」と言われていた音も、参加している生徒たちは無意識だったかと思えますが最終的には周りの音を聴き、音のまとまりを感じました。私たちコーディネーターも授業前に少しドラムサークルを体験させていただき、非常に勉強になりました。

## 先生から

コロナ禍でさまざまな制限がある中での教育が続く中、ドラムサークルをサークルの形ですることができました。子どもたちの声にも「お互いの叩き方や表情が見れて良かった」というのがありましたが、コロナ禍前にドラムサークルを経験している自分にとっての懐かしい風景が、今の生徒にとって「初めて」の風景だったことに、目から鱗の思いでした。一斉に音の止め・出しがあったり、パートに分けて演奏をリレーしたり、コール&レスポンスをしたり、ランブルでの強弱があったり、ランブルリレーがあったり、生徒や教員にもコールの体験があったりと、充実した「一体感」を味わうことができたことが、本当にうれしく思います。

## 子どもたちから

誰でもできて、みんなで楽しめるこのサークルがもっと広まっていけばいいのかなと感じた。／凄いいことをしたり、いいことがあったら、近い内に褒めあうという行為が大切だと感じる事ができた。／リズムをとって楽器を叩いて、みんなが一致したこと、拍手は心をこめてするものと思った。／時間が過ぎるのが早かった。自然と笑顔になれるような気がした。／いつの間にかすごく楽しくなってきた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立新田中学校＋横浜みなとみらいホール ジャンベを体験しよう2

担当アーティスト	池田正博（ジャンベ奏者、ミュージシャン）
実施校	新田中学校（港北区）
コーディネート	横浜みなとみらいホール
実施科目・教科名	総合的な学習の時間、音楽
実施概要	体験型／民族音楽／個別支援学級 14名
実施日程	2022年9月26日(月)、2022年9月27日(火)、2022年9月29日(木)



### 授業のねらい

普段経験できないこと、新しい経験をする。多くの人とコミュニケーションを取ったり、そこから何かを感じ、創り出していく力を身につけるきっかけにする。

### 主な内容

<1日目>基本の叩き方を覚える<2日目>キメのリズムを覚える<3日目>「バラ克蘭ジャン」という曲を演奏する～発表会

### アーティストから

今回は1年生から3年生の個別支援学級3時間授業＋発表会でした。初日から挨拶が元気よく、太鼓の運搬など手伝ってくれてとても活発だと感じました。実際に音を出し始めてみてからも食いつきがよく、また自分のペースでしっかりと学んでました。今回は最後に保護者や先生たちに授業の成果発表をするため、希望者を募って立って太鼓を叩く練習をして、見事に最後の発表で素晴らしいパフォーマンスをやってくれました。久しぶりに良いものを見たと感じました。

### コーディネーターから

元気で反応の良い生徒たちが多かったので、1日目からたいへん盛り上がりました。アーティストも生徒たちの反応に合わせて、楽しく体験できるよう進めてくださいました。最終日は、体育館で発表ということで、保護者の方や先生方がどれだけ見に来てくれるか心配しましたが、他の生徒たちも含めて予想以上に観客がいらっしゃって、すてきな発表会になりました。

### 先生から

以前までのクラスの様子として、「集団」という意識が薄く、自分さえ良ければという雰囲気があり、周囲を巻き込むようなことは少なかったです。それがたった数時間の練習でガラッと変わったことに驚きました。周囲を鼓舞する声かけ、成功を喜び合う姿を見て、全員で1つのものを創り上げる素晴らしさを感じました。それは、アーティストの方々の温かさが故のものだと感じます。新しいものに触れたり、初めて会う人々とのコミュニケーションは、こんなにも人を変えるんだと感じました。今後も実施できたら良いなと思いました。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立泉が丘中学校＋横浜市芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ 合唱って楽しい！

担当アーティスト	岡原真弓（オペラシアターこんにゃく座・歌役者）、沖まどか（オペラシアターこんにゃく座・歌役者）、榑原紀保子（ピアニスト）
実施校	泉が丘中学校（泉区）
コーディネート	横浜市芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ
実施科目・教科名	音楽、総合的な学習の時間
実施概要	体験型／合唱／3 学年 4 学級 158 名
実施日程	2022 年 9 月 15 日（木）、2022 年 9 月 16 日（金）、2022 年 10 月 3 日（月）



### 授業のねらい

合唱の楽しさを体験する機会にする。アーティストとの触れ合いの場により、生徒の世界観を広げる。合唱における歌唱技術の習熟。伴奏ピアノの生徒にも、伴奏技術を伝える。

### 主な内容

<1日目>～<2日目>クラスごとの練習。準備運動から課題曲を中心に。<3日目>学年合同リハーサル。合唱コンクールの全体進行とクラスごとのワンポイント指導。講師から歌のプレゼント。

### アーティストから

多感な中学生たちがどのように合唱の授業を受けてくれるのかドキドキしながら伺いましたが、どのクラスでも素直にこちらの言うことに耳を傾けてくれ「言葉を届ける」ことの大切さをすぐに理解し、45分程度の短い時間でみるみる声が変わりました。声だけでなく目の力も変わったように感じました。授業終わりにはたくさん生徒が質問に来てくれ、合唱コンクールに向けての意気込みがこんなにもあったのかと最初の不安を恥ずかしく思いました。コロナ禍の生活の中でもできることを懸命にやっていく姿に講師の方が興奮して、忘れられない時間となりました。

### コーディネーターから

生徒たちは合唱に対して真剣に取り組んでくれました。また、授業後には多くの生徒が講師に質問に来るなど積極性が伺えました。コンクールという目標があるため、それに向けてクラスの一体感も強まっていると感じました。先生とのコミュニケーションも良好で、とても進めやすかったです。

### 先生から

この学校プログラムで合唱の取組は3回目ですが、やはり素晴らしい取組ができました。普段接することがないプロのアーティストという存在と出会い、合唱を通して考え、思いを持つことが自分を変えることにつながると、生徒たちは実感できていました。今もとても前向きに合唱の練習に取り組んでいます。一方で、外部組織との打合せ、学校行事の調節や授業時間との確保などは難しいことも多かったです。

### 子どもたちから

自分たちはもっとできると感じる事ができた。／プロとお話する機会ができてうれしかった。／歌声が響くってどういうことなのか教えてもらった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立中田中学校＋テアトルフォンテ 声楽アンサンブルを楽しもう！～Opera! Musical!～

担当アーティスト	土屋広次郎（フェリス・フラウエンコーア指揮者、バス歌手）、杉本可菜（フェリス・フラウエンコーア、ソプラノ歌手）、黒川青葉（フェリス・フラウエンコーア、ソプラノ歌手）、北野有希依（フェリス・フラウエンコーア、メゾソプラノ歌手）、松原陸（テノール歌手）、高橋宏典（バリトン歌手）、秋山恵莉（ピアニスト）
実施校	中田中学校（泉区）
コーディネーター	泉区民文化センターテアトルフォンテ
実施科目・教科名	音楽、総合的な学習の時間
実施概要	鑑賞型／声楽／1学年5学級 195名
実施日程	2022年9月29日（木）



## 授業のねらい

前半はオペラやミュージカル曲のアンサンブルを鑑賞。プロの歌声と少人数のハーモニーを体感してもらう。後半は合唱コンクールに向け、声の出し方やハーモニーのレクチャーを行う。実際にプロの歌唱を鑑賞し、レクチャーを受けることで合唱の楽しさ、音楽の素晴らしさを知ってもらう。

## 主な内容

オペラ、ミュージカル、日本の歌などのコンサートと声の出し方や歌うことの楽しさを伝えるレクチャー

## アーティストから

聴きなれない声楽の声を、マイクを使わず生で聴くことに最初は戸惑っている印象でしたが、オペラアンサンブルに誘い、出演者によるワンポイント歌唱講座やマスク歌唱の注意指導、ミュージカルの世界へと進むにつれて真剣に聴いている姿勢にたいへんうれしく思いました。そしてアンコールの「パパパの二重唱」では音楽の先生にもご協力いただき大盛り上がり！今回の声の響きの「体感」と、変声期の中で「大人の声」を聴くことが大きな収穫になれば幸いです！

## コーディネーターから

合唱コンクールを控えた生徒たちに、プロの声楽の声を聴かせたいとのご要望で、ソプラノからバスとピアニストを含めた7名でオペラ、ミュージカル、合唱曲まで多彩な内容と、歌い方のレクチャーを実施しました。二重唱、三重唱と少人数でも体育館全体に響き渡る歌声に生徒たちは圧倒されていた様子でした。コロナ禍の合唱コンクールとあり、マスクを着用してどのように口を開けたら良いのかなど、声の出し方のレクチャーも真剣に耳を傾けていました。アンコールは音楽の先生にもご協力いただき、生徒たちも笑顔で拍手をしていました。

## 先生から

今回、本校では3年ぶりの合唱コンクールが予定されていたため、文化的行事の経験が浅い1年生に向けて、アーティストに授業をしていただきました。とても感動的な歌声で、その後の合唱練習もとても積極的に取り組めており、期待通りの内容でした。

## 子どもたちから

感動した。／演技や表情に驚いた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立緑園義務教育学校＋STスポット横浜 好きなものをつくって歌って踊ろう／表現ってなんだ？

担当アーティスト	長井江里奈（ダンサー、演出家、ワークショップファシリテーター）／アシスタント：北園優（ピアニスト、パフォーマー、楽曲制作者）、鈴木綾香（ダンサー、振付家）、ニシハラ☆ノリオ（かぶり物アーティスト、造形作家、舞台美術家）、山下彩子（ダンサー、アーティスト）
実施校	緑園義務教育学校（泉区）
コーディネーター	認定NPO法人STスポット横浜
実施科目・教科名	前期：自立活動、体育、音楽、図画工作、総合的な学習の時間／後期：表現・未来デザイン科
実施概要	体験型／創作／前期：個別支援学級、後期：7～9学年（表現・未来デザイン科ダンス・音楽・美術総合コース選択生徒） 計52名
実施日程	前期：2022年10月13日(木)、2022年10月20日(木)、2022年11月30日(水)、2022年12月7日(水) 後期：2022年9月5日(月)、2022年10月17日(月)、2022年11月14日(月)、2022年11月28日(月)



## 授業のねらい

【前期】音楽に合わせて身体を動かして表現する楽しさや喜びを感じたり、友達と一緒に表現したりすることで、学校生活を楽しめるような場を設定したい。安心して活動できる関係性の中で、表現力やコミュニケーション力を伸ばしたい。【後期】一人ひとりの個性を伸ばし、表現力を高めるために新教科として設けられた「表現・未来デザイン科」。その中で、主体性、自己肯定感、協働する力、思いやりの心、表現力、思考力、コミュニケーション力、問題解決力、本質を見極める力を身につけさせたい。※音祭り2022と連動して実施。

## 主な内容（※前期・後期それぞれの実施日数に合わせています）

<1日目>【前期】衣装やおにぎりなど好きなものをつくる。完成したものを持ってどんな歌を歌いたいか、歌詞になる言葉を出し合い、伴奏をつけて歌にする。【後期】表現とは何かを対話し、作品集など鑑賞。「ありがとう」や「右手を挙げる」動作1つにも人それぞれの表現があることを知る。<2日目>【前期】踊りのアイデアをみんなで出し合い、パフォーマンスする。【後期】アーティストのダンスや演奏を鑑賞したり、校内で気になる場所や物の写真を撮影し、感じたことを書（描）く。<3日目>【前期】みんなで1つの輪になって準備体操しりとりや紙を使った動きをする。【後期】前回撮った写真から1枚選び、理由を言葉にする。グループに分かれて、学校にあるものでオブジェを作る。それを各自撮影し、なぜその部分を切り取ったのか、作品のバックグラウンドも含めて鑑賞し合う。<4日目>【前期】パケツや紐、ガムテープ、ペットボトルキャップなどを使って山をつくる。【後期】「何でもないもの（教室の椅子）から何かを生み出してみる」をテーマに作品制作。タイトルと、制作背景を一人ひとり語る。

## アーティストから

【前期】緑園東小と西小の時から数えて3年目となり、継続のメリットが非常に感じられたワークショップでした。この時間に慣れている子どもたちはどんなワークにもすぐに乗ってきて自由に楽しんでいました。しかし最大のメリットは先生方との信頼関係ができていたことです。このワークショップを通して子どもたちに何を感じて欲しいのかをSTの皆さんや先生方と一緒に考えたことで、ワーク中の細かい軌道修正や個別のケアもスムーズで、子どもたちはストレスを感じることなくその場にいられたと思います。【後期】どんな形であれ「表現」するのは楽しいことなんだ、という考え方のベースを作りたいと思いながら授業を行いました。「今は誰かに笑われることなく自分を表現して良い時間なんだ」ということを生徒たちは早い段階で受け入れてくれましたが、これは若さによるところが大きいと思います。人は心のどこかに、ジャックされたくない、馬鹿にされたくない、笑われないという気持ちがあり、歳を重ねるほどに「自信がない」、「恥ずか

しい」という重たい鎧をまとっていきます。その鎧はとても苦しく、大人になってから脱ぐのはかなり難しい。なのでそういった鎧をまとい始める年代の生徒たちに「そういうのいらないよ」と伝えることで、彼らの未来が少しでも良い方向に変わっていたらと願っています。

## コーディネーターから

【前期】今回は2グループに分け、会場を多目的室にしたことで、より良い環境設定を先生方と探れました。内容についてもアーティストを信頼し、どんなアイデアも先生方が試させてくださったのでたいへん助けられました。この活動が児童たちにとってどう有益なのか、それぞれの先生が自分の言葉で語ってくださる姿がとても印象的でした。【後期】異学年の生徒同士だったので、初回はぎこちなさがありました。生徒がどのように発言・反応しても（しなくても）、アーティストそれぞれの視点と感性で受け止め、一人ひとりが認められる安心した空気になっていました。表現者として傷つき、それでも表現することで誰かが共鳴してくれた経験を語るアーティストの言葉を、真剣に聞き入る生徒たちの姿を目にし、まさに今、大人に言っていてほしかった言葉だったのだらうと感じました。表現する経験を重ねたことで、友達への表現にも敬意のまなざしを持っていました。ここまで素直に受け取って、自分の殻を破ろうと挑戦してくれた生徒たちにリスペクトの気持ちでいっぱいです。

## 先生から

【前期】学校の統合前から数えて学校プログラム継続3年目だったので、より児童の姿をイメージしながら、アーティストの方々とは活動内容を練ることができました。どの子もコミュニケーションを何らかの形で取り、関心を寄せてそれぞれの距離感で活動できました。友達との無言の関わりの中でいろいろ感じながら、折り合いをつけながら心をつなげている様子が見て取れました。児童によりフィットした活動を極めようとしてくださるアーティストの方々の姿勢が、本当に今の児童のニーズに合っていて、良い活動となりました。【後期】山猫団のプロフェッショナルな指導において生徒たちが回を追うことに変容していきました。自分自身のプラスになったところとしては、学校ではNGなことも芸術や表現の前では当たり前になることを痛感できました。外部講師をお呼びして行うこの授業は生徒にも教員にも大きな刺激と成長を得られると思いました。

## 子どもたちから

【前期】たべものうたがたのしかった。／山の動きにみんながうけていたところがよかった。【後期】「何でもあり！」という感じが個性豊かで楽しかった。／自分では想像できないたくさんの表現を知れた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立盲特別支援学校十かなっくホール

### ①オペラ体験②ピアノとおはなしコンサート③弦楽トリオで聴くバッハ④落語 de ワグナー

担当アーティスト	①大山大輔（バリトン歌手）、根本真澄（ソプラノ歌手）、宇根美沙恵（ピアニスト）②倉田莉奈（ピアニスト）、伊原農（俳優）③トリオ AXIS（弦楽トリオ）④瀧川鯉丸（落語家）※大山大輔さんと宇根美沙恵さんは④も参加
実施校	盲特別支援学校（神奈川区）
コーディネーター	神奈川区民文化センターかなっくホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／音楽鑑賞／全学年全学級 55 名（①中等部 15 人、②小学部低学年 3 人・幼稚部 8 人・小学部高学年 9 人、③高等部普通科生活コース 7 人、④高等部職業総合コース・生活コース 13 人）
実施日程	①:2022 年 11 月 10 日(木)、2022 年 11 月 17 日(木) ②:2022 年 12 月 14 日(水)、2022 年 12 月 16 日(金) ③:2023 年 1 月 19 日(木) ④:2023 年 1 月 31 日(火)



#### 授業のねらい

①「パバゲーノのお話」オペラ体験：プロの声楽家の声を間近で鑑賞し、音楽の素晴らしさや楽しさを感じる。また、合唱パートで参加することで表現の楽しさを知る。②ピアノとおはなしコンサート「てぶくろをかいに」：お話の前後と場面転換にピアノの演奏を入れ、お話の世界を想像する。また、プログラム冒頭にはお話に出てくる「雪」と「きつね」について話したり、シューベルトについて話したりなど、鑑賞を深める導入を工夫する。③弦楽トリオで聴くバッハ「ゴールドベルク変奏曲」：弦楽器のヴァイオリンやヴィオラ、チェロを知り、弦楽トリオの演奏でクラシック音楽の名曲や音楽史に触れ、音楽鑑賞を身近に楽しみ学ぶ。④落語 de ワグナー：落語による解説でワグナーを知り、音楽と話芸を楽しむ鑑賞プログラム。  
※音楽祭 2022 と連動して実施。

#### 主な内容（※①～④それぞれの実施日数に合わせています）

<1日目>①「魔笛」に出てくる3人の天使の「ハルティン ハルティン」個所の合同練習。②ピアノと朗読でつづる「てぶくろをかいに」③出演者によるクラシック音楽鑑賞。④落語とワグナー作品に親しむ。<2日目>①「魔笛」の登場人物のパバゲーノが冒険する「魔笛」特別編を上演し、参加する。

#### アーティストから

①目の前で起きることへの期待感があることを感じましたし、生徒の皆さんと向き合うことで、オペラは衣装や小道具など視覚的な示唆があり、視覚に訴えることで本質から少しずれていると気づきました。また、視覚情報をあえて言語化することで、より輪郭が浮き彫りになったと思います。言語化すること、丁寧に音で表現することを気付かされた本番でした。②お話の前にシューベルトの紹介を…ということで「魔王」の冒頭を弾いたのですが、その音に反応して涙をぼろぼろ流しながら泣いてしまった子がいました。他の子も皆、音の一つひとつに、音楽の持つ色の変化に敏感に反応してくれました。誰かにとっては「ただの音」かもしれないその音は、他の誰かにとっては宝物になるかもしれない。また、その逆もあるかもしれない…。音や言葉の持つ無限のパワーをいつも以上に感じながら演奏しました。③1つでも知っている曲があればと考え、有名な曲を短くたくさん演奏するよう心がけました。演奏を聴く生徒たちを見て、時代を超えて感動を与え続ける音楽の持つ力に、改めて感動しました。また、演奏にあわせ

て身体を揺らしてリズムをとるなど、音楽でコミュニケーションがとれたことをうれしく思いました。「いつか共演したい」という生徒たちの感想もたいへんうれしく思いました。④生徒たちがオープンマインドで私たちを受け入れてくださり、とてもうれしかったです。ドイツ語での合唱も臆することなく、見事に歌ってくださいました。また、終了後に落語やオペラを聞きに行きますとお声がけいただいたこともうれしかったです。

#### コーディネーターから

①担当の先生が事前に「魔笛」の学習や、該当する合唱パート部分の鑑賞を行ってくださいました。当日も引率の先生が視覚情報を耳打ちしてくださるなどご協力もあり、プログラムを無理なく開催することができました。②小さな子どもたちの持つ、音に対しての優れた感性を実感しました。先生のお話では参加した子どもの中には、音を聴いただけでコピーできる子もいるとのこと。事前に毛糸の手袋を作成するなど、先生方がきめ細やかに子どもたちに寄り添う姿に感銘を受けました。③出演者の奏でる弦楽の調べと優しい語り口が、教室を楽しく和やかな雰囲気してくれました。最後に感想を述べた生徒たちが涙したり、いつか一緒に演奏したいと口にしたシーンなど、こちらも感動をいただきました。④生徒たちが楽しそうに、落語やワグナーについてのトーク・歌を聴いてくださりうれしかったです。先生を含め会場全体が良い空気で包まれ、有意義な時間だったと出演者も喜んでいました。

#### 先生から

プロの音楽家と言葉でコミュニケーションを取りながら演奏の中に入っている企画で、生徒がリラックスして楽しめていました。バリトンの大山さんの生徒との距離の取り方がとてもお上手で、生徒はハートを鷲掴みにされていたように思います。生徒にとっても私にとっても貴重な体験でした。

#### 子どもたちから

パバゲーノが太陽の国に行く時に「バサバサバサ」と声を出していたり、歩く時に足音を立てていて、今どこにいるのかがとても分かりやすかった。／雷の曲（雷鳴と閃光）がよかった。／一緒に落語をやってみよう。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立中村特別支援学校＋吉野町市民プラザ ギターとピアノの演奏を楽しむ

担当アーティスト	多治川純一（ギタリスト）、多治川光香（ピアニスト）
実施校	中村特別支援学校（南区）
コーディネート	横浜市吉野町市民プラザ
実施科目・教科名	自立活動、特別活動
実施概要	鑑賞型／アコースティックギター・ピアノ／小学部1・2学年2学級13名 ※小学部3年生以上52名は録画で鑑賞
実施日程	2022年10月31日(月)



### 授業のねらい

生演奏の音楽を間近で鑑賞することによって日常では感じることができない音や響きを味わい、感じる力を生きる力に結び付けてもらいたい。感情の高まりや感動を周りの人と共有することで、喜びが大きくなることに気づいたり、自分自身の存在をより強く意識するようになってほしい。

### 主な内容

ギターとピアノの生演奏。アンコールを組み込んでコンサート会場を再現。

### アーティストから

昨年に引き続き演奏させていただくことになりましたので、中には覚えていてくれる児童もいらっしやり、昨年同様、サウンドチェック時から興味津々に話しかけてくれました。大きな声は出せないけれど、思い思いに歌い、手拍子や身体を揺らすなど、一人ひとり違った楽しみ方を見せてくれました。アンコールを味わってもらいたいという演者の希望を先生が汲み取ってくださり、練習もばっちり！アンコールの掛け声をもらって、みんな笑顔でもう1曲楽しむことができました。

### コーディネーターから

さまざまな楽曲をギターとピアノで生演奏。大好きな曲では手拍子をしたりロズさんだり、とても楽しい演奏会となりました。また今回はアンコール曲を用意。演奏会には「アンコール」というものがあるということを体験してもらいました。

### 先生から

コーディネーターの方も含め、丁寧な説明と対応に感謝しております。アーティストの方も、特別支援学校（肢体不自由）在籍の児童生徒をよく知っていただいております。選曲、進行とても素晴らしかったです。今年度はアンコールタイムも設定し、本校児童生徒も初めての経験であり、とても盛り上がりました。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立港南台ひの特別支援学校＋ひまわりの郷 楽器じゃないけど楽器だよ!?!～創作楽器で音を楽しもう!～

担当アーティスト	ルロット・オーケストラ（クラシック音楽演奏集団）
実施校	港南台ひの特別支援学校（港南区）
コーディネート	港南区民文化センターひまわりの郷
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／アンサンブル／小学部 85 名
実施日程	2022 年 12 月 7 日(水)、2022 年 12 月 8 日(木)、2022 年 12 月 9 日(金)



### 授業のねらい

限られた時間に児童たちが集中し、興味を持って鑑賞できるような楽曲を中心にちょっと変わった創作楽器などの演奏を交え、演奏家と児童たちの心が触れ合えるような鑑賞会にしたい。

### 主な内容

<1日目>～<3日目>フルート、ピアノ、ヴァイオリンの他、創作楽器を使って児童たちが音に興味を持ってもらえるように工夫した演奏会にした（1日目に1・2年生、2日目に3・4年生、3日目に5・6年生で実施）。

### アーティストから

今回で3回目になりますが、毎回鑑賞会初日の1曲目に「普通の公演とは子どもたちの反応が違う」という空気感をキャッチします。そして「この30分を子どもたちに楽しんでもらうために、フルロットで演奏する」というスイッチに一瞬で切り替わります。さまざまな演奏会の中でも群を抜いて緊張感と使命感を有する鑑賞会だと思っております。演奏が終わった後、子どもたちがフライパンなどを楽しそうにたたいている姿を見ると、この鑑賞会の意義の大きさを感じ身が引き締まります。

### コーディネーターから

鑑賞会を通じて毎回思うことは「児童たち個人個人がそれぞれに音楽を楽しんでいるな」と感じることです。手をたたいてリズムに乗る児童や身体を揺らして感情を表しているような児童など、さまざまな表現で音楽を楽しんでいるように感じます。この取組は子どもたちにとっては年に一度の「授業の一部」かもしれませんが、児童の心に何かが残る鑑賞会になればと思います。

### 先生から

ルロット・オーケストラさんに来ていただいて3年目です。ピアノ、フルート、ヴァイオリンといったポピュラーな楽器だけでなく、手作りの創作楽器が児童の興味を引き、毎年楽しんで鑑賞している印象があります。特にフライパンが人気で、演奏が終わった後に叩かせてもらってみんな喜んでいました。教員からも好評で、できるなら来年もと言う声が出ています。本校の児童にとって楽しめる充実したプログラムでした。アーティストの方々、コーディネーターの方も、子どもたちの音の過敏などを気にしていただき、他にもいろいろ気を遣っていただきました。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立上菅田特別支援学校＋STスポット横浜 ガムランやいろいろな音・響きを感じてみよう

担当アーティスト	飯田茂樹（日本インドネシア・バリ教育文化協会）、福沢達郎／アシスタント：佐藤拓郎、大森愛子
実施校	上菅田特別支援学校（保土ケ谷区）
コーディネート	認定NPO法人STスポット横浜
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／民族音楽／高等部 15名
実施日程	2022年10月26日(水)、2022年11月2日(水)、2022年11月9日(水)



### 授業のねらい

五感を使って感じ取れるような活動。特に、普段なかなか触れない楽器や、生の楽器の響きや振動などの音体験を通し、さまざまな感覚刺激を媒介とした身体意識の形成、認知コミュニケーション能力の拡大などをねらいとしている。

### 主な内容

<1日目>ガムランの音と面白楽器<2日目>やさしい音と面白楽器<3日目>全員でコンサート「上菅田特別支援学校の1日」  
(各日、2教室に分かれて同内容を実施。)

### アーティストから

50分授業を2教室に分けて実施ということで、各教室、我々が25分ずつ行き、我々がいない20分弱の時間は先生と一緒に「面白楽器」の活動をするなどの工夫をこらして実施した。そのため、先生と生徒だけの時間を設定せざるを得なかったことは最大の問題であった。バリ島のガムラン、ジャワ島の竹のアンクルン、世界の面白い音の楽器、身の回りにある面白楽器など、予定されていた楽器については、なるべくゆっくり丁寧に先生方のお力も借り、生徒たちの能動的・鑑賞的な活動ができたのではないかと考えている。生徒たちがどのように感じていただろう、感想を是非聞かせていただきたい。最終日の我々3人の演奏と生徒先生方を加えた全員演奏のコンサートは、鑑賞もあり、能動的な演奏も難易度の低いものから大きく関与できるものもあったので、特別支援学校での音楽の活動には、とても大切な方法論であるということを確認した。

### コーディネーターから

アーティストの方々が生徒一人ひとりのもとに行き、鳥笛や口琴、瓶の蓋などで動物の鳴き声をパフォーマンスすると、生徒たちは首を傾げたりその音に夢中で笑ったりしていて、こちらも生徒たちが毎回、どんなものや音に興味を示して反応するのかを楽しみにしていました。また、先生方がとても協力的で、生徒と一緒に考え、盛り上げてくれたことで、このプログラムを“一緒につかっていく”という意識のもとでできたことがありがたかったです。

### 先生から

初めて見る楽器ばかりで楽しかったです。内容もよく考えて準備してくださっていたのが伝わりました。司会のいーちゃんの話し方がゆっくりで、マイクもあり聞きやすかったです。生徒もよく聞いている様子がありました。1、2回目と同じ流れだったので、授業の流れがとても分かりやすく、生徒も見通しを持って活動に参加できていました。今回を通して、重度心身障害児にとって、目の前で演奏を聴く、見たことのない楽器に触る、一緒に演奏を楽しむといったことが本当に有意義であることが再確認できました。子どもたちの表情、手足、目線の動きが全てを語っていたと思います。準備や感染症対策、係の計画は大変だと思いますが、みんなで協力して学校外の方と関わる機会を継続していけたらと思います。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立左近山特別支援学校＋サンハート 打楽器のリズムを感じながらみんなで合奏しよう

担当アーティスト	Rythmission（打楽器アンサンブルユニット）
実施校	左近山特別支援学校（旭区）
コーディネート	旭区民文化センターサンハート
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／打楽器／全学年全学級 45名
実施日程	2023年1月23日(月)、2023年1月24日(火)、2023年1月25日(水)



## 授業のねらい

生の音楽を聴き、楽しさや驚きを感じ、普段の授業で体験できないことを味わってほしい。1日目は演奏会を聞き、2日目以降は楽器体験を行う。

## 主な内容

<1日目>打楽器演奏鑑賞<2日目>小学部：楽器体験（リズム体験）<3日目>中学・高等部：楽器体験（音階のある楽器を使用）

## アーティストから

今回は公演に加え特別授業もとのことで、滅多にない機会に楽しみとドキドキが半分の中お伺いしました。公演では楽器紹介を交えながら、クラシックからみんなの知っている曲まで演奏を聴いていただき、授業ではリズムをみんなで繋ぐリズムリレーをしたり音階のある楽器を使ってハーモニーを作ったり合奏したりしました。生徒たち・先生方皆さんが手拍子したりリズムにのったり、笑顔で迎えてくださりとても楽しくあっという間の3日間でした！

## コーディネーターから

3日間で演奏会、楽器体験のプログラムを実施しました。学校側に楽器がたくさん揃えられていたため、楽器体験ではアーティストが体験用楽器を準備するのではなく、学校側にある楽器を使用させてもらったのでたいへん助かりました。特別支援学校では初

めの楽器体験のご依頼であったので、児童生徒がどのレベルで演奏を楽しむことができるのか、先生とよく話し合って決定しました。小学部は太鼓を用いたリズムを中心としたプログラム、中学・高等部は、音階のあるミュージックベルやドレミパイプを用いた合奏プログラムを行いました。音楽は聴く楽しみ方だけではなく、自分たちも演奏して楽しむことができるものだと感じてもらえたらうれしいです。

## 先生から

生の演奏は迫力があり、子どもたちも集中して聴いていました。楽器を叩いたりボディパーカッションをしたりするなど、動きのある演奏で楽しむことができ良かったです。また、オンラインで参加することができた児童も、自宅でも楽しい雰囲気を感じることができました。

## 子どもたちから

メドレーが楽しかった。／音楽っていいなと思った。／好きな曲がたくさんあってうれしかった。／マリンバだいすきになった。／カッコよかった！！またみたい。／ペースもあわせてみんなできるとりくむことができずごくたのしかった。／たいこがたのしかった。／カウベルが上手にえんそうできた！！／ドラムを毎日たたきたい。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立北綱島特別支援学校＋大倉山記念館 さまざまな楽器の音やリズムを体感しよう

担当アーティスト	Sayumi（音楽家）、大喜多陽子（リコーダー講師、古楽器演奏家）
実施校	北綱島特別支援学校（港北区）
コーディネート	横浜市大倉山記念館
実施科目・教科名	音楽、自立活動
実施概要	鑑賞型／音楽鑑賞／全学年全学級 60名
実施日程	2022年10月19日（水）



### 授業のねらい

生の音楽に触れる機会が少ないため、実際にプロの演奏家が奏でる生の音楽を聴き、ルネサンスギターなどの珍しい楽器を見て聴いて楽しんでほしい。また、音楽が大好きな子どもたちに、さらに関心の幅を広げてほしい。楽器は鍵盤ハーモニカやリコーダー、ルネサンスギターなど、いろいろな打楽器を使用。

### 主な内容

生の音楽に触れ、関心の幅を広げる

### アーティストから

子どもたちのキラキラした反応に触れて、演奏しながらうれしさと感動とが同時にありました。先生方も質問をたくさんしてご興味を持っていただき、子どもたちの様子を直接伝えてくださったり、花束も飲み物もご用意くださりお気遣いたいへんありがたかったです。そして何より、子どもたち一人ひとりに対しての先生方のたっぷりな愛情もすぐく伝わってきて、終始感動しておりました。また機会がありましたら、お会いできることを私たちも楽しみにしております！！

### コーディネーターから

演奏者の方々には、子どもたちが知っている音楽を、古楽器や身近な楽器を使って楽しそうに奏でていただき、リハーサルの時から子どもたちが待ち遠しそうに覗いていて、ほほ笑ましい光景でした。子どもたちはとても素直で、知っている曲が流れると口ずさみ、喜んでいる様子がたくさん見受けられました。素直で可愛い子どもたちの喜びようを間近に見て、演奏者の方々もとても喜んでくださいました。終演後は珍しい楽器に興味津々の子どもたちの列が途切れず、このプログラムに携わって良かったと私自身もうれしく思いました。

### 先生から

子どもたちの姿を見て、「演奏を聴く」という経験を重ねることで見られる子どもたちの成長を感じることができ、良い機会となりました。

### 子どもたちから

たいこが楽しかった。／聖者の行進が楽しかった。／コールアンドレスポンスが楽しかった。／ビヨーンとなる楽器が楽しかった。／お二人の息の揃った掛け合いが楽しかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

# 横浜市立東俣野特別支援学校＋さくらプラザ マリンバコンサート

担当アーティスト	三神絵里子（パーカッショニスト）、篠崎陽子（パーカッショニスト）
実施校	東俣野特別支援学校（戸塚区）
コーディネート	戸塚区民文化センターさくらプラザ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／マリンバ／全学年全学級 38 名
実施日程	2022 年 9 月 20 日（火）、2022 年 9 月 21 日（水）



## 授業のねらい

感染症の状況もあり、外出や体験に制限があるため、プロのアーティストによる生演奏「本物の音色」を感じるとともに、楽器に触れる体験を通して、自身で楽器の音を鳴らすという「成功体験」につなげたい。

## 主な内容

<1日目>～<2日目>鑑賞と演奏体験

## アーティストから

「マリンバを弾くことで、生徒に成功体験を」と、先生方から強いご希望を頂戴しておりました。同時に、大きな車椅子やストレッチャーをお使いの生徒たちが大半を占めると伺い、難しいのではないかと成功体験となるのか？と不安がりましたが、多くの生徒たちが自らの持つバチから音が生まれることに目を輝かせ、笑顔を見せてくれました。今回のアウトリーチを通して、私たちも打楽器・マリンバの可能性を再確認することができ、今後このような活動にもより力を入れていきたいと思いました。

## コーディネーターから

楽器体験コーナー付きのコンサートを以前から何度も実施していましたが、今回は生徒に成功体験をさせたい、という学校の希望があり、「弾いてみる」のではなく「演奏する」ことを目標にアーティストと調整していきました。結果、アーティストと一緒に演奏をすることで、1つの作品を作り上げるプログラムを構成し、演奏が終わった後はみんなで拍手をし合いながら「演奏する喜び・楽しさ」を味わうことができました。音を出すだけでは感じることのできないひと味違った達成感を提供することができ、コーディネーターとしても学びの多い取組だったと感じています。

## 先生から

コロナ感染症の拡大が心配される中での企画・開催でしたが、コーディネーター及びアーティストの方々が、重度重複障害のある子どもたちが在籍する本校の実態を十分に理解してくださり、最大限に歩み寄っていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいです。動画配信サービスなどが充実し、誰もが手軽にさまざまな音楽を聴く機会は増えてきましたが、実際に生の演奏を聴くと、音符が表す以上のものが伝わってきました。それは音の波動かもしれないし、会場の雰囲気なのかもしれないです。こちら側がねらっていた以上の効果が、子どもたちの中に現れていたと実感しています。事前学習用の動画も作って送ってくださったことにも、深く感謝しています。おかげで当日は実りある体験へつながることができました。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「音楽」

## 横浜市立本郷特別支援学校＋リリス パーカッションによる体育館コンサート

担当アーティスト	TUTTI！（パーカッションアンサンブル）
実施校	本郷特別支援学校（栄区）
コーディネート	栄区民文化センターリリス
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施概要	鑑賞型／打楽器／中学部 6 学級 45 名
実施日程	2022 年 12 月 2 日（金）



### 授業のねらい

毎年開催しているが、今回はパーカッションで実施する。一度は耳にしたことのあるクラシックの名曲や生徒たちにもなじみのある曲を演奏することで、普段なかなか聴けない楽器の生演奏・生音を体感していただき、音楽をより身近に感じてもらうような演奏会にしたい。

### 主な内容

パーカッション演奏や楽器の説明、手拍子によるリズムゲームなど

### アーティストから

体育館での演奏でした。この学校では生徒たちが司会をしたり、感想発表や手作りの小物セットプレゼントなど沢山のことに挑戦していて積極的な生徒たちが多く感じました。リズムゲームなどもノリノリで参加してくれてこちらも楽しかったですし、また色々な発見があり勉強になりました。校歌と一緒に演奏できて良かったです。ウェルカムボード、とても印象的でした。

### コーディネーターから

コロナも一時落ち着いて無事に開催することができました。先生の指揮による校歌の演奏、生徒たちの手作りウェルカムボードなどあたたかい雰囲気の中での演奏会でした。生徒たちもマリンバ、ドラム、タンバリン、カスタネットなど小さな打楽器を使った演奏やリズムゲームでは、音に合わせて手拍子をして楽しんでいました。

### 先生から

衣装や演者の動きなど、視覚的に楽しめたのでとても良かったですし、リズムやテンポが良く聴きやすかったです。また、身近な楽器が多かったので親しみやすく、生徒も分かりやすかったと思います。

### 子どもたちから

身近な楽器を使用していて親しみやすかったです。／テンポ良く演奏してくれて、集中して鑑賞できた。



# ハートフルルーム南台＋ひまわりの郷 作ってみよう演奏しよう手作り楽器体験

担当アーティスト	ルロット・オーケストラ（クラシック音楽演奏集団）
実施施設	ハートフルルーム南台（港南区）
コーディネート	港南区民文化センターひまわりの郷
実施科目・教科名	音楽・図画工作
実施概要	体験型／創作楽器／小学2～6年生7名 ※12/6の鑑賞会は南台小学校の個別支援学級の児童（10数名）も参加
実施日程	2022年12月1日（木）、2022年12月6日（火）



## 授業のねらい

個々に繊細な感性を持ちながらも言葉や身体で表現することが苦手な児童たちに、「1つの作品（創作楽器）を作り上げる」ことで達成感を感じてもらい、自分が作った作品と他の児童が作った作品に対して、互いの感性を認め合えるような体験をしてもらいたい。また、自分たちが作った作品でアーティストと一緒に演奏し、表現することの楽しさも感じてもらいたい。

## 主な内容

<1日目>児童一人ひとりで手作り創作楽器（パイプチャイム）の製作と簡単な曲の練習。<2日目>アーティストの創作手作り楽器を交えた演奏鑑賞会と児童が手作りした創作楽器とのコラボ演奏。

## アーティストから

企画をいただいた当初は、どのように子どもたちと接すればよいか、など考えておりましたが、始まってみると想像以上に子どもたちがフレンドリーでまっすぐで、私たちも全力で音楽の楽しさを伝えられたと思っております。また、アイデアを1つ提示すると、そこからどんどん新しいことを想像してゆく子どもたちに、私たちが驚かされることがたくさんありました。この伸びやかな感性を大切に育てることは私たち音楽家の重要な役割だと感じました。

## コーディネーターから

今回初めてハートフルルームを担当させていただきました。事前に支援員の方々と体験内容等についてのお話を細かくさせていただいていたのと、6月に児童たちがひまわりの郷に施設見学・体

験に来ていて顔見知りということもあってか、児童たちはスムーズに受け入れてくれたと思います。手作り楽器もみんな真剣に取り組んでおり、個々に考えたペイントなども施して作っていました。演奏会も創作楽器の音にとっても興味深く聴き入っていました。手作り楽器とのコラボ演奏も「練習はあんまりしていない」と言いながら楽しそうに演奏していたのが印象的でした。ハートフルルームについては今後のわれわれの取組の1つに加えていければと思います。

## 先生から

何かを作り仕上げることに自信がなかったり、気持ちに抵抗感があつたりする子たちですが、手作り楽器では、アーティストの方々が作業を1つずつ丁寧に分かりやすい言葉や色で指示してくれたので、一人ひとり作った楽器の音色もよく、愛着を持って表情豊かに演奏していました。生活に身近な物が姿を変え、メロディを奏でることに興味・関心が高く、好奇心いっぱいのキラキラした目、表情で聴き入っている姿も日常ではあまり見られない印象的な場面でした。個性が豊か過ぎて集団の活動になかなかなじむことが難しい児童が多いですが、今回はアーティストの方々の演奏に、会場にいる全員が一緒に楽しむことができました。

## 子どもたちから

いろいろな楽器の使い方がすごく心に残る一日だった。／今日の音楽の音でトイレのスッポンの音がかっこよかった。私もやってみたい。／手作り楽器が面白かった。

## 演劇分野の取組



自分のからだを使って演じる「表現」と、相手の思いを受け止める「コミュニケーション」の二軸をもとにした活動です。学習発表会などと連携して、学校の中にちいさな演劇空間を協力して作りあげていきます。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「演劇」

## 横浜市立上白根小学校＋サンハート

### 「めでたしめでたし」のそのあとを作ってみよう

担当アーティスト	有吉宣人（俳優）、大道朋奈（俳優）
実施校	上白根小学校（旭区）
コーディネーター	旭区民文化センターサンハート
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施概要	体験型／創作／3学年3学級71名
実施日程	2022年10月13日(木)、2022年10月20日(木)、2022年10月27日(木)



#### 授業のねらい

正解のないものに向かっていけるたくましさを身に付けてほしい。  
また、自由に表現する経験を積み、自信をつけいろいろなことに積極的に関われるようになってほしい。

#### 主な内容

<1日目>シアターゲーム（3種類）、「3匹のこぶた」のシーンをグループで作って見せ合い<2日目>シアターゲーム（1日目の応用編）、昔話（ももたろう・浦島太郎・ウサギと亀・かぐや姫）のラストシーンをグループで作って見せ合い<3日目>シアターゲーム、発表会

#### アーティストから

ワークショップでは、「めでたしめでたしのそのあと」として、昔話のその後を想像して場面づくりをしました。児童たちは5～6名のグループに分かれて、「浦島太郎の10年後」「うさぎとかめの1年後」などのテーマで創作。各グループ、身体を動かしながら、話し合い、意見をすり合わせることに取り組んでくれました。最終日3クラス合同で行った発表会では、楽しく取り組んでいたことを一定の緊張感の中で披露する、ということに真っ向から向き合っていて、その姿がとても眩しかったです。一昨年、昨年と続き3年目の実施となりました。先生方がとても協力的で、かつ、この時間を児童たちとの学校生活に役立てようとしてくださっていて、本当にありがたいと感じました。

#### コーディネーターから

「演劇ってなに？」というところから始まった3日間でしたが、シアターゲームや簡単なシーン作りを通して緊張も解け、子どもたちが伸び伸びと演劇に取り組めていました。子どもたちが自主的に動き、アイデアを出し合い1つのものを創り上げていく楽しさを近くで見ることができたこと、また、毎授業を楽しみにしていることが伝わりとてもうれしく感じました。最終日に行った学年全員が集まる発表会で、普段とは違う雰囲気に緊張してしまい練習通りにできず悔しい思いをしたかと思います。3日間という短い期間でしたが、演劇の授業を通して何か得られるものがあればうれしいです。

#### 先生から

難しい課題でもやってみようとする姿が見られました。コロナ禍での学校生活が続き、みんなで何かをしたり、人前で表現したりする機会が少なかったため、今回の体験は子どもたちにとっても貴重で大切な経験をさせていただいたと思います。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「演劇」

## 横浜市立川上小学校＋さくらプラザ 演劇を通して“自信”について考えよう！

担当アーティスト	佐藤辰海（脚本家、演出家）／アシスタント：熊野ふみ（俳優）、榊原美鳳（俳優）、末安陸（俳優）、平川千晶（俳優）
実施校	川上小学校（戸塚区）
コーディネート	戸塚区民文化センターさくらプラザ
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施概要	体験型／創作／5学年2学級41名
実施日程	2022年10月27日（木）、2022年10月31日（月）、2022年11月1日（火）



### 授業のねらい

学年の目標である「Change」に基づき、児童たちがチェンジしたいと考えている“自信”をキーワードにした演劇体験ワークショップを開催。“自信”について演劇体験を通して考え、自分と友達の関係性を理解しながら共に学び合おうとする態度や方法が増えていくと良い。

### 主な内容

<1日目>①自己紹介、コンセプト説明②モノログやスローモーション、マイムなど演劇表現の紹介と一緒にやってみよう③「最高の〇〇」「〇〇最高」をテーマにして、各クラス4グループに分かれての演劇作り<2日目>演劇作りの続き<3日目>①演劇作り②学年合同で発表③振り返り

### アーティストから

演劇の創作や発表を通じて、5年生のスローガンである“自信”について考え、理解を深める取組をしました。創作のヒントとして、いくつかの演劇表現（モノログ・マイムなど）を教えたのですが、子どもたちの吸収力と、自由な発想に驚かされるばかりでした。練習を重ねるにつれて生き生きとしていく子どもたちの表情や、楽しそうに取り組む姿勢を見て、私たちが大きな自信と元気をもらいました。

### コーディネーターから

一重に“自信”といえども多様な児童の環境に配慮する必要があると考え、「演劇をみんなで創作し、胸を張って発表する」という

一連の流れを通して、自信を楽しみながら身体で感じ取るプログラムとして構成しました。各グループにプロの俳優が加わることで、互いが刺激を受け合う良い関係性を築くことができました。短い時間ではありましたが、児童たちは多くのことを考え、話し合いながら創作に臨んでおり、どのグループも期待以上の発表をすることができていたと感じています。

### 先生から

5年生の子どもたちにとって、演劇はハードルが高いのではと考えていましたが、子どもたちは「楽しみだ」と前向きに捉えていました。今回は学習目標の3つの柱「自信・責任・判断力」の中から、特に「自信」を全体のテーマにして授業を行っていただきました。みんなの前で演技することを通して、子どもたちが「自信がついた」と実感できたらいいと考えました。結果、「自分たちで作り、発表できたこと」に満足できたようで、担任としても良い機会になったと思っています。

### 子どもたちから

みんなで協力する楽しさを知った。ひとつのげきを作り上げるのが楽しかった。／げきの練習をしているときに「ここはこうしようね」とか「なんかあったらいつてね」と優しい声をかけてくれたのでよかった。／みんなでマイムやスローモーションをするのがたのしかった。／みんなで作ったげきを、お客さんに見せて、わらってくれたことがうれしかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「演劇」

# 横浜市立霧が丘義務教育学校＋急な坂スタジオ 演劇道場～関係性から台本を紐解く！

担当アーティスト	福田毅（俳優）、佐々木愛（俳優）
実施校	霧が丘義務教育学校（緑区）
コーディネーター	急な坂スタジオ
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施概要	体験型／創作／中学部 8 学級 100 名 ※各クラスの役者希望の生徒のみ対象
実施日程	2022 年 9 月 26 日(月)、2022 年 9 月 28 日(水)、2022 年 10 月 3 日(月)



## 授業のねらい

「相手に伝わる演技」「良い演技」「良い演劇」とは何か？をワークショップを通して学び、表現の幅を広げ、10月の学習発表会のクラスごとの発表につなげたい。

## 主な内容

<1日目>～<3日目>関係性をテーマに、3つの短いセリフ・さまざまな設定で見せ方を考え発表する。（1日目：7年生、2日目：8年生、3日目：9年生 ※各クラスの役者希望の生徒を対象に実施。）

## アーティストから

約1月後に俳優として舞台上立つ10代半の学生を対象に、何を示すことができるのか。共に講師を務めた佐々木と考えたのは「関係性」というキーワードを使った挨拶のシーン。おはようと挨拶するだけでも関係性が変われば、相手との物理的な距離、向き合う角度、声の方向性は変わる。演技って抽象的なものじゃなくて具体的に作れるんだよ。3日間で3学年、100名近い参加者の「吸収するぞ！」という真剣な眼差し、シーン作りへの対応力、ワークショップ終了後に質問に来る生徒も多く、逆にこちらが、何か演劇の大切なことを与えてもらった気がしました。「関係性」というツールが、演技だけでなく、彼女ら彼らの人生のどこかでも役に立ちますように。（福田）

関係性が変わると芝居はがらりと変容する。その面白さを体感できる場を目指しました。どの学年も非常に意欲的で、初めて演劇をつくる7年生はキラキラした眼差しを、経験値のある8年生は柔軟性を、最後の学習発表会となる9年生は真剣な姿勢をもって取り組んでくれました。さまざまな「○○関係」のお題にチャレンジする中で、演技のポイントを見つけていくことはもとより、同じお題でも演じるペアによって全く違うものに見える多様性、決まった型や正解はないのだという自由さも、同時に受け取ってもらえたのではないかと思います。これからも無限の表現を楽しんでもらえたらと願っています。（佐々木）

## コーディネーターから

演劇作品をクラス単位で作っていると先生から初めに伺い、演劇未経験の子どもたちがほとんどの中、わずか1ヶ月の稽古期間で果敢に作品に挑む姿やパワーは、純粋にすごいと感じました。今回アーティストのお2人には、俳優が演技プランを立てる時、台本からどういうことを読み取って、どんな作業をしているのか、シンプルに3つの要素に分けて、生徒の皆さんに伝えていただきました。今後お2人が手渡したものをきっかけに、さらなる手ごかりを自分で見つけて、一番良いと思える表現方法を探っていってもらえれば幸いです。

## 先生から

担任をしているクラスでは、これまでの経験にワークショップでの学びを生かしながら、劇の演出を工夫する姿が見られました。他のクラスでも、関係性に注目して工夫された演技が披露され、今後の後輩の目標となる劇が発表できたのではないかと感じます。短い時間の中で内容を工夫していただき、生徒にとっては今後も劇による文化的行事を行う上で、大きな参考になったと思います。感染症対策がなければ、今回のように学年ごとではなく、全学年の役者に対して3回のワークショップができていたら、より効果があったと思いました。

## 子どもたちから

同じせりふでも関係性や距離などを変えるだけで一気に雰囲気が変わるということが印象深かった。／同じ「おはよう」でも関係性が違うだけでこんなに見え方が違うんだと驚いた。間近でプロの方の演技を見させてもらったことはとても貴重な時間だった。いい劇にするためにも今回教えていただいたことを取り入れていきたい。／そういうことを意識して役を演じてるんだと改めて知れたし、これからもそういう教えてもらったコツなどをまねしたりして上達していきたい。

## ダンス分野の取組



言葉や文字にならない何かをからだで表現するダンス。  
自分のいる空間をしっかり把握して、まずはからだを動かして  
みるところからはじめます。五感を研ぎ澄ませて、身体感  
覚の大切さを体験します。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

## 横浜市立下末吉小学校+象の鼻テラス からだで聴こう！鳴らそう！踊っちゃおう！

担当アーティスト	和太鼓+ダンスユニット<まだこぼやし> (ダンサー、和太鼓ユニット) / アシスタント：千葉恵太 (俳優)
実施校	下末吉小学校 (鶴見区)
コーディネーター	象の鼻テラス
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型/コンテンポラリーダンス・和太鼓/2・3学年2学級45名 ※他学年101人も鑑賞のみ参加
実施日程	2023年2月10日(金)



### 授業のねらい

ダンスと和太鼓の珍しい組み合わせのパフォーマンスを鑑賞し、全校児童で楽しさや感動を共有しながら、アーティストの「本物」に触れる機会をつくる。パフォーマンス鑑賞後、ワークショップに参加する2・3年生には、実際に和太鼓を奏で、ダンスのグルーブ感を味わってもらいたい。

### 主な内容

全校児童に向けたパフォーマンスでは2022年7月に公演した『「まだ、小囃子。」下末吉小スペシャルバージョン!』を披露。和太鼓を鳴らす、声を出し歌を歌う、小道具を使うなどしながら、身体が多様な楽器に変化する様子を鑑賞。演技的なパフォーマンスで児童たちの想像力を引き出し、さらには参加型で太鼓を使ったコミカルなやりとりも行う。後半部はワークショップ対象の2、3年生たちとアーティストの声色に合わせて身体を表現し合う。和太鼓を使用し、叩く・表現するの2通りを覚えてもらい、1人につき8テンポずつ交代しながら、みんなで和太鼓とダンスを楽しむ。

### アーティストから

雪のちらつく寒い早朝にも関わらず、パフォーマンスの音、動き、表情一つひとつにも細かく反応してくれて、下級生のキラキラとした笑顔、上級生の音楽を楽しむ姿が印象的でした。作品中の参加型のシーンを始め、ワークショップでも動きやリズムに対して、素直な身体で目一杯応えてくれました。太鼓を打ちながら踊る難しいワークにも、周りを気遣いながら積極的に取り組んでくれ、継続して発展していく子どもたちの姿を見てみたい気持ちになりました。

### コーディネーターから

メンバー全員がダンサーであり、和太鼓の演奏もできる自由な和太鼓+ダンスユニット<まだこぼやし>。今回、チームとし

ては初めてのワークショップだったとのことでしたが、各々のワークショップの経験が豊富で、子どもたちをうまく巻き込んでいました。全学年が手拍子で加わったり、太鼓を叩いたり、笑い声が響いて盛り上がりました。その後、体験ワークショップでは、太鼓の音に合わせてながら身体を動かすなど、子どもたちとの関わり合いから始めました。どんどん距離を縮めていったので、児童から自発的にコミュニケーションが生まれたように思います。最後は和太鼓を使って、1人ずつ交代で演奏し、みんなで調子を合わせ、祭囃子のように一体になることを楽しんでいる様子うかがえました。

### 先生から

迫力ある和太鼓の演奏が素晴らしいと思いました。子どもたちもあまり見たり聴いたりしたことのないスタイルの演奏だったので、興味深く鑑賞していました。音と動きがコミカルで低学年の子どもたちもとても楽しんで観ることができたと思います。また、途中で子どもが参加できる場面があって良かったです。1年生以外の子どもたちも「たこの太鼓が叩きたかった。」と言っていました。事前の打合せなどもしっかりとでき、こちらの希望も聞いていただきながら進めることができ、良かったです。

### 子どもたちから

太鼓をたたくいきが合っていてすごかった。/太鼓をたたく迫力があってかっこよかった。またやってみよう。ものまねもおもしろかった。/リズムに乗って4人で息を揃えて踊ったり、太鼓をたたいたりしてすごかった。/和太鼓やダンスがキレッキレでかっこよかった。/私は特に、トーストのところが頭に残った。それ以外も太鼓をたたくタイミングやダンスもキレッキレですごかった。/太鼓の音が体育館に響いて、心にも響いた。トースト…のところは、声も1つの楽器みたいですごいなと思った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

## 横浜市立新鶴見小学校＋サルビアホール いろいろなものに変身しよう

担当アーティスト	東川歩未（ダンサー、アクター、モデル）
実施校	新鶴見小学校（鶴見区）
コーディネーター	鶴見区民文化センターサルビアホール
実施科目・教科名	体育
実施概要	体験型／身体表現／2学年5学級170名
実施日程	2022年12月8日（木）、2022年12月9日（金）



### 授業のねらい

去年と同様の内容で、ダンスをもとにした身体表現を学ぶ。各クラス2回ずつ体験する。自分の思いを生き生きと表現できるようにする。友達と協力して課題に取り組み、1つのものを作り上げることができるようにする。

### 主な内容

<1日目>動物や飛行機、ロボットになりきり、自分で動きを考える。曲に合わせて踊る。<2日目>動物や植物になりきり動きを自分で考える。その動きを曲に取り入れて振り付けを作る。最後に2チームに分かれてお互いのダンスを見せ合う。

### アーティストから

今回は、いろいろなものに変身するという形で、身体表現やダンスを一緒にやらせていただきましたが、コピーダンスがとても上手なことに驚きました。逆に自由な発想で身体を動かすことが苦手かなと1日目を見て感じましたので、お互いの個性や発想や違いを認め合うことを学んでほしいなと思い、内容を工夫してみました。今回の経験が子どもたちにとって有意義であってくれたらうれしいです！

### コーディネーターから

最初に、準備運動も兼ねてさまざまな動物になりきって自分なりの動きを考えてみたり、そこで生まれた児童たちのユニークな動きをピックアップして全体に紹介したりしました。「自分で考える」「他者と違っていい」という自主性を育むプログラムでした。また、最初から決まった振り付けで踊るのではなく、前半の課題「動植物になりきってみる」の中で生まれた、子どもたちオリジナルの動きを後半のダンスの振り付けに取り入れており、自分や友達が考えた動きが反映された身体表現になっていました。子どもたちはたいへん楽しそうに取り組み、2日間という短い時間でしたが充実した時間になっていました。

### 先生から

とても楽しかったようで、2日間の授業でも満足できていない児童が多かったです。「楽しかったらやる」「楽しくないならやりたくない」と、とても両極端な児童が多い中で、「やりたくない」を選択した児童がいなかったことから、講師の方の動きや、子どもへの投げかけ、賞賛の言葉などが、本校の児童のやる気をアップさせたように思います。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

## 横浜市立吉原小学校＋象の鼻テラス モノとあそぼう

担当アーティスト	山村佑理（ジャグラー、ダンサー、振付家、BAZAR 主宰）／アシスタント：加賀谷葵（ダンサー）、鈴木仁（ジャグラー）
実施校	吉原小学校（港南区）
コーディネーター	象の鼻テラス
実施科目・教科名	体育
実施概要	体験型／ジャグリング・ダンス／3 学年 3 学級・個別支援学級 計 99 名
実施日程	2023 年 1 月 18 日（水）、2023 年 1 月 19 日（木）、2023 年 1 月 20 日（金）



### 授業のねらい

ダンスが好きな子も苦手な子も、身体とモノの関係性の中で生まれるダンスを楽しむことで、誰もが自己表現をできる体験学習を目指す。子どもたち同士で表現を見せ合い、お互いを認め合う機会もつくる。

### 主な内容

< 1 日目 > ボールを身体の一部に乗せる・持つ・投げるの動きでモノと仲良くなる。頭にボールを乗せて落とさないように身体を左右に動かしたり歩いてみたり、しゃがんでみる。体育館を水槽の中とイメージして、ボールを魚に見立てペアになったり、一体になったり離れたりしながら、全体で動いてイメージを共有する。

（3 クラスを 2 グループに分けて同じ内容を（前半：グループ A、後半：グループ B）で 2 回実施。）

< 2 日目 > ～ < 3 日目 > ペアを組んでボールを掴まずに手のひらで支え合いながらボールを落とさずに動いてみる。はじめは 1 人が目を閉じて、もう 1 人は誘導し、次に 2 人とも目を閉じて感覚を研ぎすませ移動する。10 人グループで輪になり、真ん中にボールを置いて、手以外での拾い方を考えてやってみる。タオルを使って 3 つの動き（持つ・置く・着る）を一人ひとりが考え、「投げる」などの動作も加え、最後には 2 グループに分かれて披露する。難易度は高いが、3 ボールカスケードの方法を伝授し、最後はみんなでボールを上に向けて終了。（2 日目：グループ A、3 日目：グループ B で実施。）

### アーティストから

恥や失敗を越えて、楽しくのびのび創作してもらえるムード作りを志しました。予想を遥かに上回る元気で自発的な吉原小学校の皆さんのお陰で、私にとっても発見の多い豊かな時間となりました。担当の先生が「普段は難しい子がとても輝いていた」と感動を伝えてくださいました。私自身かつて「難しい子」の 1 人でしたし、

今もそういう一面があります。誰しもが楽しく遅く生きていけるムード作りを、これからも大切にしたいです。

### コーディネーターから

3 つのクラスを 2 グループに分け、ジャグリングの技術を解体してモノと遊ぶことを意識した授業を体験していただきました。子どもたちは、できるようになるまでチャレンジしたり、グループでボールを拾ってみたり、アイデアを出し合っていて発想が豊かでした。大人でも他人と異なる動きを考えるのは難しいことです。気後れしてしまかなか動き出せない子もいましたが、子どもたち同士で後押ししてくれてようやく披露してくれたので、声をかけて助け合い、共有する時間は大切なことだと思います。

### 先生から

体育の「表現運動」は指導が難しく、なかなか授業の中でも児童の表現力を伸ばすことができませんでしたが、今回私たち職員も表現の自由さを体験することで、改めて表現運動の大切さを学びなおすことができたように思います。児童たちも「みんな違って、みんな良い」というお互いのことを受け入れ合う気持ちを持つことができました。

### 子どもたちから

ゆうりさんみたいに、自分のことを思いっきりできるようになりたい。／少しジャグリングができるようになって、うれしかった。／友達とスポーツを通して、こんなに楽しめるんだと気づいた。／新しい自分に出会えた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

## 横浜市立白根小学校＋急な坂スタジオ

# 自分の好きな動きやポーズでダンスを踊ってみよう

担当アーティスト	北川結（ダンサー、振付家、イラストレーター）、タシロリエ（ダンサー、振付師）
実施校	白根小学校（旭区）
コーディネーター	急な坂スタジオ
実施科目・教科名	総合的な学習の時間、体育、学級活動、自立活動、生活
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／個別支援学級 39 名
実施日程	2023 年 1 月 20 日（金）、2023 年 1 月 25 日（水）、2023 年 1 月 31 日（火）



### 授業のねらい

ただダンスを踊るだけでなく、3日間のワークショップでテーマからポーズを考えてもらい、ダンスの中で表現してもらう。昨年からのレベルアップとして、フォーメーションで踊ったり、移動してみる。

### 主な内容

<1日目>低学年：ダンスであそんでみよう／高学年：もっとかっこよくダンスを踊ってみよう<2日目>低学年：動物のポーズをしてみよう／高学年：フォーメーションをやってみよう<3日目>発表会

### アーティストから

子どもたちのワークショップ前後の気持ちの変化や目標などを、先生が毎回共有してくださいました。それをもとに子どもたちと話したり振り付けと一緒に練習したりすることにプラスして、身体あそびの時間もつくることができ良かったです。最終日の発表は、練習の成果を一人ひとりが力強く豊かに表現していて、子ども同士が協力しあう姿も見れて胸が熱くなりました。子どもたちも先生方も熱心に参加してくださいましたおかげで、とても充実した3日間になりました。（北川）

「最高に感動した！」この一言に尽きます。振り付けは難解なものであったのにも関わらず先生方も本気で覚え、子どもたちのために仕組みを作り、一緒になって心から楽しんで表現されている姿にたいへん感銘を受けました。また、初回は照れながらダンスをしていた子どもたちも、最後の発表では全力で身体を動かし、共に助け合い、言葉を介さずともダンスを通して各チーム一丸となっている様子を見ることができました。ダンスもとってもカッコよくて心に響きました。改めてダンスのもっと素晴らしさを再認識する機会をいただき、教える立場の私が私にとっても学ぶことのとても多い貴重な時間でした。また一緒にダンスができるのをとても楽しみにしています！！（タシロ）

### コーディネーターから

昨年から継続しての担当だったため、アーティストと先生の信頼関係が築けており、目標を立て、実行し達成するまでがとてもスムーズでした。今回の目標がレベルアップということで、昨年同様ただダンスをするだけでなく、ダンス内での移動や、お友達とのハイタッチにチャレンジすることを最終目標としていました。2回目までは時間内に収めることができなかったのですが、3回目の発表会では子ども同士の協力が見られ大成功を収めました。昨年よりも振り付けに自由度をプラスしたため、決められた振りに対して「こういう風にカッコよくしたい」「こういう風に考えながら踊っている」など、子どもたちなりに自由に解釈して取り組んでくれているのが印象的でした。先生の協力や信頼関係が築けていたからこそ発表が成功し、子どもたちからも長く愛されるダンスになったと感じました。

### 先生から

コーディネーターの方が丁寧に進めてくださったことや、アーティストの方が教職員の思いや子どもたちの実態を受け止めて寄り添ってくださったことで、「みんなで1つのものを作り上げることの良さ」と「自分で自分の成長に気付く」という目標を達成することができました。最初はダンスが「恥ずかしい」と言っていたA児は、より良いダンスにするにはどうすれば良いか考え、友達と楽しく踊るようになりました。B児は、ワークショップを通して自分に自信を持つことができました。どの児童も、それぞれに成長することができたと思います。本事業で出会った皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。

### 子どもたちから

ゆうちゃんとりえちゃんが好き！／きょう年とくらべて、かっこよくおどれた。／来年は今よりもっとかっこいいダンスにしたい。／輪になっておどるときに心臓がドキドキした。ゆうちゃん、りえちゃんまた来てね！／ダンスが好きになった。／みんなと練習を重ねていっぱい楽しめたから良かった！／自分で動きを決められたから楽しかった。／モノマネが印象に残った。楽しかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

## 横浜市立不動丸小学校＋急な坂スタジオ プロの振付家のダンスにチャレンジ！

担当アーティスト	中村蓉（振付家、ダンサー）
実施校	不動丸小学校（旭区）
コーディネート	急な坂スタジオ
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／4学年3学級96名
実施日程	2023年1月30日(月)、2023年1月31日(火)、2023年2月24日(金) ※3日目は動画視聴で実施



### 授業のねらい

1つのものを一緒に作り上げる喜びや一体感が味わえる体験を目指す。3月の初めに保護者懇談会で見せるダンス作品の振り付けをクラスごとに行う。

### 主な内容

<1日目>いろいろな身体の動かし方を試す。クラスごとにそれぞれの振り付けを覚える。<2日目>前回の続きの振り付けを覚え、フォーメーションも加える。<3日目>クラスごとに、ダンスをもっとうまく踊るポイントや楽しく踊るコツを伝授する（レクチャー動画での実施）。

### アーティストから

思いっきり弾むダンス、静かにそーっと動く踊り、どちらもメリハリつけて楽しんでくれる子どもたちでした。テンポを遊ぶのがうまい！1組さんはとことん極める研究者肌。2組さんはパワーが売りの爆発型。3組さんは質感を味わうマニャック気質。そんな印象でした。1日目にレクチャーした振り付けを2日目にはすでに活き活き踊ってくれていたのが、3日目の最終日が楽しみでしたが、観ること叶わず…。送ったビデオレターを見ながら練習に励み（そうしてくれることを願う！）、きっと3月の発表会ではそれぞれの個性滲み出るダンスを披露してくれたことと思います。最初の挨拶で「ダンスあんまり好きじゃない人ー？」と聞くと、ちらほら手が挙がっていました。全部を好きにならなくていいけれど「僕の・私の、ちょっと好きな“ダンス”」が見つかったらうれしいです。自分のためにカスタマイズできるダンス、それがコンテンポラリーダンスの魅力だと思っています。

### コーディネーターから

この5年間で“踊る”という表現方法は、動画サービスによって身近なものになったと思います。子どもたちの参加する様子も、ダンスに対するイメージを明確に持っていて、好きと苦手ははっきりしてきたように感じています。今回、ダンスが苦手という子や、最初は参加せずに様子を見ていた子も、2日目には楽しそうに踊ってくれたり、自分なりの楽しみ方を見つけてくれたりしたことが印象に残っています。プロの振付家と直に接して、振り付けの意図や意味を知ること自分なりのダンスの楽しさを発見できることは、このプログラムの醍醐味だと改めて感じました。

### 先生から

“表現をする”という視点で各クラスを見た時に、曲調や振り付けが「こんなに違うんだ」と驚いたと同時に、2時間目にはどのクラスもしっかりきていてびっくりしました。また、約90分で子どもたちがダンスを覚え、自分たちのものにするまで指導いただいたのも本当にすごいなと思いました。子どもたちの特性もすぐにご理解いただき、学習面ではなかなか光の当たらない子の才能を新たに見つけて開花したこともあったので、私たちも勉強になりましたし、感謝しています。

### 子どもたちから

もっともーっとダンスをおどれるようになりたくなかった！／とても楽しく明るい気持ちになれたからこういうじゅぎょうをまたやってほしい。／あんまりやらないよなけいけんをしたので楽しかった。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

# 横浜市立釜利谷東小学校+Offsite Dance Project みんなで「オノマトペでダンス」

担当アーティスト	森下真樹（振付家、ダンサー、森下スタンド主宰）／アシスタント：伊藤奨（俳優、ダンサー）、酒井直之（ダンサー、映像作家）
実施校	釜利谷東小学校（金沢区）
コーディネーター	NPO 法人 Offsite Dance Project
実施科目・教科名	体育、総合的な学習の時間
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／4 学年 2 学級 65 名
実施日程	2022 年 11 月 4 日（金）、2022 年 11 月 11 日（金）、2023 年 1 月 31 日（火）



## 授業のねらい

森下真樹による体験型ワークショップを3日間行い、コンテンポラリーダンスをベースとした身体表現活動を通して、子どもたちのコミュニケーション力や表現力、創造力を高めることを目指す。子どもたちが自由な発想で自分を表現する楽しさを体験する機会、先生が子どもたちの表現の力を引き出し／伸ばすための方法論を学ぶ機会を提供する。

## 主な内容

<1日目>～<2日目>自己紹介ダンス、太鼓ゲーム、円で動きのリレー、ディスタンスの踊り、言葉からイメージ（各日、1クラスずつ実施）<3日目>ウォーミングアップ、ディスタンスの踊り、グループ振り付け～発表（2クラス合同で実施）

## アーティストから

全3回。学級閉鎖で延期し2ヶ月越しの最終回は、念願の2クラス合同で、宿題にしていた「オノマトペでダンス」をチームごとに発表しました。全身を使って人前で表現することを体験しました。恥ずかしい気持ちがありながらも、今やれる思いっきりの表現で、達成感を味わった人もいれば、もっとこうすればよかった…などの後悔もあったかもしれません。見逃してしまいそうな小さな表現の中にも面白いアイデアがいっぱいありました。自分らしい表現を恐れず、失敗を恐れず、思いっきり表現することは簡単なことではないのかもしれませんがね。この時間で“感じたこと”がいつかどこかで一歩前へ進むキッカケとなりますよう。

## コーディネーターから

学校からの要望で、個人→グループ→全体への考えを、表現に

広げていけるようにとのことで、最初にクラス別で行い、最後に学年合同クラスで実施することになりました。アーティストは、アート教育に豊富な経験のある森下真樹さん。森下さんは瞬時に子どもたちを巻き込んでいきました。太鼓の音の数によってさまざまに動く「太鼓ゲーム」、日常の動きや発想をダンスにした「ディスタンスの踊り」には子どもたちからアンコールの声が響く。そして、最後には言葉から動きを考えるグループワークへと展開。コロナ禍で制限が続く中で、合同クラスでの表現は貴重な機会になったようでした。森下さんのワークは、ダンスに留まらず、子どもたちに自分らしい表現の方法があるんだ、みんなそれぞれでいいというメッセージとして伝わったのではないかと思います。

## 先生から

どのような授業になるのか当日まではっきりとしたイメージが持てませんでしたが、アーティストの方もコーディネーターの方も安心してお任せできる雰囲気、私自身も子どもと一緒に楽しめた授業になりました。運動会のような「披露するダンス」の経験が多かった子どもたちですが、自分の身体を動かして思うままに表現する楽しさを知ったと思います。子どもたち一人ひとりの、教室とは違った一面を見ることができました。

## 子どもたちから

最初はきんちょうしたけど、楽しくなった。／自分でダンスを作ったのが楽しかった。／ダンスは人を笑顔にし、心を楽しくさせる。／みんなでおどったり考えたりするのがたのしかった。／ふだんあまり体をうごかしていなかったのうごかそうと思うきっかけになった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

## 横浜市立大道小学校＋横浜赤レンガ倉庫1号館 からだあそびで表現を知り、ダンスを作って発表しよう

担当アーティスト	田村興一郎（振付家、ダンサー）
実施校	大道小学校（金沢区）
コーディネーター	横浜赤レンガ倉庫1号館
実施科目・教科名	体育
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／個別支援学級21名
実施日程	2023年1月16日(月)、2023年1月20日(金)、2023年1月25日(水)



### 授業のねらい

自分の身体と向き合う。自由に身体を動かし、表現することの楽しさを体感する。

### 主な内容

<1日目>フラフープ鬼ごっこ・フラフープ競争、まねっこダンス<2日目>しっぽとりゲーム、ものまねクイズの後、みんなで踊る曲を選曲、振りを考える<3日目>ものまねクイズ、曲に合わせて踊る、発表

### アーティストから

今回は「児童のみんなで振り付けを考えて作った」という、オリジナルダンスに愛着をつけていくことを意識しました。また、たくさん褒めてあげて、今後の自信に繋がるような取組をしました。毎朝、振り付けを練習してくれているようでとてもうれしかったです。児童は毎回僕たちの来校を楽しみにしており、最終日の帰り際には寂しくて泣く子もいて、ダンスを通じて人の愛情を感じました。授業で伝えたことには、“身体表現は正解は1つじゃない、いろんな可能性を認めることが大事”ということを経験だけでなく先生方にも共有しました。3日間では足りないくらい、とても有意義な時間を過ごすことができました。

### コーディネーターから

3日間ともフラフープ鬼ごっこやしっぽとりゲームなど、有酸素運動で身体をあたためてからスタートしました。からだあそびでは、それぞれが自分なりの動き・表現をすることで、1つのことばから連想する表現方法はみんなそれぞれ違うということや、その表現・動きがダンスになるということを知り、子どもたちが知るきっかけになりました。振り付けは、3チームに分かれてそれぞれ違うことばをヒントに動きを考え、アーティストがアレンジして大道小学校オリジナルダンスが完成し、最後に発表を行いました。

### 先生から

発表会に披露できるものをつくり、表現することが苦手な子どもも参加できるような活動がしたいという要望も、快く引き受けてくださいました。また、授業前後の打合せ時の無理な要望にも「楽しそうですね!!」と肯定的に受け取ってください、毎回安心して活動できました。子どもたちが必要以上に近づいていっても明るく対応してください、3度の交流でしたが、子どもたちも私たちも本当に楽しいプログラムでした。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

# 横浜市立新田小学校＋Offsite Dance Project 「スパイ」をテーマにみんなで踊ってみよう

担当アーティスト	黒須育海（ダンサー、振付家）／アシスタント：篠原陽（ダンサー）
実施校	新田小学校（港北区）
コーディネーター	NPO 法人 Offsite Dance Project
実施科目・教科名	体育
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／3 学年 3 学級 80 名
実施日程	2022 年 12 月 1 日(木)、2022 年 12 月 5 日(月)、2022 年 12 月 8 日(木)



## 授業のねらい

黒須育海による体験型ワークショップを3日間行い、コンテンポラリーダンスをベースとした身体表現活動を通して、子どもたちのコミュニケーション力や表現力、創造力を高めることを目指す。子どもたちが自由な発想で自分を表現する楽しさを体験する機会、先生が子どもたちの表現の力を引き出し／伸ばすための方法論を学ぶ機会を提供する。

## 主な内容

<1日目>紹介ダンス、ウォーミングアップ、円で動きのリレー、振り付けで踊る①<2日目>ウォーミングアップ、2人1組で動く、振り付けで踊る②<3日目>ウォーミングアップ、グループ創作、振り付けで踊る③、通しで踊る！

## アーティストから

「団体の協力について喜びを実感させたい」「みんなで揃えて身体を動かし、楽しめるプログラムを行いたい」教員から提示があった2つの目標を設定してワークショップを行いました。テーマ「スパイ」を設定して運動量が多めの少しコミカルな振り付けと、3回の中で積み重ねていくワークを行いました。振り付けはなじみある流行りの音楽を使用しました。前半25分は毎回違うワークを準備し、後半20分は振り付けを体験する内容を用意しました。3日の間で1曲を全員で踊ることを目標としました。3日目は各グループ6人程度でテーマに沿った創作時間を創りました。ディスカッション時間は座った作業にならないよう指示を促すことで、自発的に進んだ様子が伺えました。小学3年生という思考を働かせつつ、身体が活発的に動くことをポジティブに捉え、1コマ45分を目いっぱい身体を使って活動できたことは良かったと思います。先生を巻き込み、共に参加したことも児童にとっては喜びの1つだったように感じました。

## コーディネーターから

「みんなで踊る」という学校の期待に、ユニークな振付家でアート教育に豊富な経験がある黒須育海さんを起用しました。各クラス45分間の授業が3回、子どもたちになじみある曲を全員で踊りきるという目標を立てつつ、単に決まった振り付けの動きを覚えるのではなく、身体いっぱい使って表現を行うこと、子どもたちがグループで協調して振り付けを考えることなど、ダンスを通じた表現活動の優れたプログラムになったと思います。事前にアーティストからの映像メッセージをシェアしてもらったのですが、子どもたちの緊張もなく取り組めた良いアイデアだったと思います。先生方も一緒にワークを行い、フォローしてくださったことで、充実した取組になりました。

## 先生から

子どもたちが自分でダンスを作ると聞いた時、あの子たちにできるのかなと少し不安に思っていたのですが、思い思いの動きでいいんだよなど、子どもたちのすべてのアイデアを肯定的に捉えてくださったアーティストの方のおかげで、自信を持って自分の考えを友達に伝え、表現できていたと感じました。

## 子どもたちから

説明が分かりやすくおぼえやすかった。／みんなでふりつけ考えたのが思い出に残った。／先生たちが楽しくやっていたので楽しくできた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

## 横浜市立新羽小学校＋横浜市民ギャラリーあざみ野 好きな音・自分の音をからだで奏でて踊ろう

担当アーティスト	平多理恵子（振付家、ダンサー）
実施校	新羽小学校（港北区）
コーディネーター	横浜市民ギャラリーあざみ野
実施科目・教科名	体育、総合的な学習の時間
実施概要	体験型／身体表現／個別支援学級 16名
実施日程	2023年1月20日（金）、2023年1月26日（木）、2023年2月6日（月）



### 授業のねらい

1日目はエッグシェイカー作成。児童が選んだ材料を入れ装飾をする。2日目・3日目は、エッグシェイカーを使ってダンスを踊る。児童が親しめる曲に振り付けを行い、児童それぞれの自信を育むワークショップとしたい。音楽・美術の要素を取り入れた多角的な表現活動から、個性を引き出し、相互理解へとつなげる。また、音を出す動作から自然とダンスへと移行させ、身体を使って気持ちを表現できることを、ダンスを通じて感じ取ってほしい。

### 主な内容

<1日目>エッグシェイカー作成。音の鳴る素材を選ぶ。シェイカーに色を塗る。<2日目>曲に合わせた振り付けでダンスを踊る。<3日目>2月15日の発表会に向けて、ダンスを完成させる。

### アーティストから

初日のシェイカー作りでは、木のカケラを入れた子は和の優しい音が、ビーズを沢山入れた子は、賑やかな小人がいると表現。シェイカーは好きな絵で埋め尽くされ、自分の楽器が完成しました。振り付けにつながる準備運動から始まった2日目は、グループでタイミングを取ったり、好きなポーズ作ったりと挑戦。最終日は、もっとカッコよく踊れるよう練習しました。歌いながら踊ってくれる子もいて、創造すること、表現することの楽しさを子どもたちから教えてもらえた3日間でした。

### コーディネーターから

エッグシェイカー作りの時間に、アーティストと児童がコミュニケーションを取れたことで、その後も個々に合わせた声掛けをすることができ、児童一人ひとりの頑張りにつながったように思います。プログラム全体を通して、それぞれの個性を輝かせながらも、応援したり助け合ったりといったチーム力を発揮している様子が伺えました。発表会では、講師のアドバイスを生かし、自信を持ってハツラツと、そして笑顔で踊ることができました。

### 先生から

エッグシェイカーは、卵型カプセルの中に身近材を入れるだけで、誰にでも簡単に作れる楽器です。子どもたちは、自分で作った、自分だけのエッグシェイカーに特別な思いを抱いており、それを奏でるだけで、とても楽しい気持ちになっていました。そんなアイテムがあると、普段表現に消極的な子も、生き生きと活動することができ、ちょっとした「しかけ」が子どもの主体性に大きく関わってくるのが分かりました。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

# 横浜市立師岡小学校＋Offsite Dance Project 「からだあそび」をみんなで見つけよう

担当アーティスト	Co. 山田うん（リーダー：川合ロン）（ダンスカンパニー）／アシスタント：山根海音（ダンサー）、内堀愛菜（ダンサー）、須崎汝理（ダンサー）
実施校	師岡小学校（港北区）
コーディネート	NPO 法人 Offsite Dance Project
実施科目・教科名	体育
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／3 学年 7 学級 228 名
実施日程	2023 年 2 月 13 日（月）、2023 年 2 月 17 日（金）、2023 年 2 月 20 日（月）



## 授業のねらい

Co. 山田うんによる体験型ワークショップを3日間行い、コンテンポラリーダンスをベースとした身体表現活動を通して、子どもたちのコミュニケーション力や表現力、創造力を高めることを目指す。子どもたちが自由な発想で自分を表現する楽しさを体験する機会、先生が子どもたちの表現の力を引き出し／伸ばすための方法論を学ぶ機会を提供する。

## 主な内容

<1日目>～<3日目>ウォーミングアップ、まねっこダンス、身体でつながる、円で動きのリレー、自由ダンス（1～2日目：2クラス合同、3日目：3クラス合同で実施。）

## アーティストから

師岡小学校でのワークショップは今年度で2回目となりましたが、前回より引き続きご担当いただいた先生方がいたこともあり、事前の雰囲気作りを丁寧にしていただいていたように感じました。そのおかげで、子どもたちが導入からスムーズに自由な発想で動きを発見していく姿が見られました。今回は体験メニューでしたが、短い時間の中でまねっこの時のスピード感や動きの質感を捉えるのを一人ひとりが丁寧にできていたのが印象的でした。

## コーディネーターから

大規模校ゆえに文化活動の機会が限られているとのことで、3年生全員が参加できるダンス体験となるよう、7クラスを2-2-3組合同に分けて3日間実施。各日、中休みを含めて100分程度を確保いただきました。アーティストは、昨年に引き続いてのCo. 山田うん。先生方の期待が子どもたちのやる気につながっているようで、アーティストとしてもやりやすかったのではと思います。

Co. 山田うんのワークショップでは、聴いているだけで幸せになるような音楽を随所に使い、まねっこから始めて、からだでつながったり、自分たちで考えた新しいルールでのからだあそびへと展開。「正解を探そうとしないでいいよ」「自由に！」子どもたちの気持ちとからだを解放するような声で、どのクラスもすてきな笑顔が見られました。先生方も一緒にワークを行い、フォローして下さったことで、充実した取組になりました。コーディネートする上で、学校側のこの事業への深い理解と共感、そしてアーティストとの信頼感の積み上げが非常に大事だと実感しました。

## 先生から

いつもは恥ずかしがったり、「自由に」という行動が苦手だったりする児童ですが、当日はダンスの楽しさ、自分らしく表現することの楽しさを感じ、最後には意欲的に動く姿に感動しました。汗びっしょりになって、みんなに認められながら踊ったことで、自信にもつながったようです。今回のように、思いを身体で表現する楽しさを知り、それによって「自分」を表現する幅を広げる活動を実現できたこと、うれしく思います。

## 子どもたちから

最初は恥ずかしかったけど、だんだん楽しくなってきた。／自分たちで動きが作れて楽しかった。／もっと踊りたかった。4年生でも踊りたい。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

# 横浜市立森の台小学校＋みどりアートパーク みんながダンシング・ヒーロー！

担当アーティスト	FUNBURGER (ダンススタジオ)
実施校	森の台小学校 (緑区)
コーディネーター	緑区民文化センターみどりアートパーク
実施科目・教科名	音楽、体育
実施概要	体験型／身体表現／個別支援学級 27 名
実施日程	2022 年 11 月 30 日(水)、2022 年 12 月 7 日(水)、2022 年 12 月 14 日(水)



## 授業のねらい

みんなで自発的に取り組めて、それぞれの達成感や満足感が得られるようなものにする。音楽に合わせて身体を動かしたり、身体表現を伴いながら楽しく行う。

## 主な内容

<1日目>ストレッチからはじめ、リズム・トレーニングなど  
<2日目>好きなポーズを自分で考え、振り付けを覚える  
<3日目>振り付けの仕上げ、グループごとに発表会

## アーティストから

今回も子どもたちの伸びしろには、驚かされました。ダンスには正解や間違いがなく、自由に自分を表現できる魅力があります。ポーズをつけるところが2箇所あったのですが、回を重ねるごとに自分らしいアレンジをして、だんだん自信に溢れた大きなポーズになっていきました。これからも、自分から出てくる表現を大切に育ててほしいです。最終日にはステージっぽく照明や幕で装飾し、クラスごとに発表した際は、みんなとてもいい笑顔で踊っていました。この経験を生かし、元気に成長していくことを願っています。

## コーディネーターから

季節に合わせて、クリスマスの曲を踊りました。自分でポーズを考える部分もあり、それぞれ自分らしいポーズを考えて発表してくれました。先生方もしっかり振り付けを覚えてくださり、児童の皆さんと休み時間などに練習をしてくれたようです。最終日には楽しそうな笑顔でダンスを披露してくれました。発表会の時は、講師の方が照明なども持ってきてくださり、普段の体育館とは違った雰囲気でも、児童の皆さんも一段と気持ちが上がったパフォーマンスをしていました。

## 先生から

元々音楽（器楽演奏）をイメージして申し込んだ授業でしたが、キッズダンスに決まり、打合せを行う中で子どもたちに学ばせたいことや身に付けてほしいことを考えていきました。1ヶ月前に運動会を終え、表現活動に対して必ずしもプラスのイメージを持っていない子にとっても、今回は身体を動かすことの楽しさを感じられるプログラムでたいへん良かったです。大人の障害を持つ方のチームのボランティアがなかったのは少し残念でしたが、YouTubeの案内や発表会のチラシをいただき、教室で動画を見たり興味を持った子は発表会を見に出かけたりして、将来の余暇活動のイメージ作りとしてもたいへん良い機会を与えていただきました。

## 子どもたちから

ステージでおどれて、楽しかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

# 横浜市立さつきが丘小学校＋芸術家と子どもたち みんなのダンスを作ろう!!

担当アーティスト	森下真樹（振付家、ダンサー、森下スタンド主宰）
実施校	さつきが丘小学校（青葉区）
コーディネーター	NPO 法人芸術家と子どもたち
実施科目・教科名	体育、音楽、自立活動
実施概要	体験型／身体表現／個別支援学級 9 名
実施日程	2022 年 10 月 26 日(水)、2022 年 10 月 31 日(月)、2022 年 11 月 2 日(水)



## 授業のねらい

「音楽に合わせて全身を使って自分を表現しながら、みんなと一緒に表現することを楽しむ」ことを目標として、ワークショップを行うことで合意。ワークショップの活動を通して、身体を使ったさまざまな表現にチャレンジしながら、子どもたちそれぞれの個性や表現を取り入れた、学級ならではの「みんなのダンス」の創作に取り組むことにした。

## 主な内容

<1日目>アーティストが自身の名前に振り付けをしながら自己紹介／振り付けの続きの動きのアイデアを子どもたちから募り、動きをつなげていきながら「子どもたちのダンス」を創作していく／太鼓の音に合わせて歩いて・止まる。止まる際、アーティストの出すお題を身体で表現する／アーティストの動きのまねをする（実はダンスの振り付け。「アーティストのダンス」）→子どもたち・教員の動きのまねをする／「子どもたちのダンス」と「アーティストのダンス」をつなげて「みんなのダンス」を創作。アーティストの用意した楽曲に合わせて全員で踊る。

<2日目>前回創作した「みんなのダンス」の振り付けを子どもたちに聞きながら復習／音楽に合わせて、アーティストのまねをしながら踊る（ジャンプや回転等、いろいろな動きにトライする）／床に寝そべって一列につながる→そのままムカデのように全員で進む／花いちもんめ／輪になってメトロノームのリズムに合わせて足踏みしながら回転する、歩く／紙飛行を飛ばす→紙飛行を手にとって、足の下をくぐらせたり身体の後ろで持ち替えたりしながら、自分が紙飛行になって自由に動いてみる。

<3日目>「みんなのダンス」の振り付けを、子どもたちが先生になってアーティストに教えるかたちで復習／床に寝そべって移動する（ほふく前進、背泳ぎなど）／ゲームの曲に合わせて、登場人物のキャラクターになって踊ったり、ゲームの世界を言葉を使わず即興で演じてみる／子どもからのリクエスト曲にアーティストが振り付けをして全員でダンス／上履きを床に並べて、そのライン上を歩く→ライン上に身体で障害物を作って、互いに障害物をくぐったり、乗り越えたりする→子どもたち同士、アーティストと教員が作ったトンネルを互にくぐりあう。

## アーティストから

回数を重ねるごとに子どもとの距離が縮まっていきました。コロナ禍でカラダを発散する機会がなかなか持てなかったと担当の先生がおっしゃっていましたが、改めてカラダを動かす楽しさ、充実感を感じられる時間だったと思います。私は学校の先生とは違う「カラダあそびの達人マキバンバン」の立場で、より子どもたちのヒラメキをキャッチし、普段なら注意されてしまうようなあそびに先生方も一緒に全身全力で夢中になってあそびました。大人とカラダいっぱいあったあそびの時間は、子どもたちにとって素敵な時間であった！と期待します。

## コーディネーターから

子どもたちの表現をアーティストが取り込んでワークショップを進めていくことで、子どもたちが主体的にワークに参加する姿が見られました。自分の発したアイデアが、アーティストの豊かな表現力によって具現化されていくことで、子どもたちの表現への意欲が高まり、自分を表現することの楽しさや可能性を発見していく機会になったのではと思います。また、先生方が子どもたちと一緒にワークに参加してさまざまなワークを体験してくださったことで、普段とは違った子どもたちとの関わり方や身体表現のアプローチ方法を、新たに見いだしていただけのように感じました。

## 先生から

いろいろな特性の子どもたちがいて、全員が集中して取り組むことが難しい中、短いスパンで活動を変化させてくださったり、明るく声をかけたりして盛り上げてくださったことで、どの児童も活動を楽しめたと思います。子どもが眩いたことや、やり始めたことをすぐに拾って、「それやってみよう！」と楽しみに変えてみんなで思いっきりやってみる…そんなところがとても勉強になり、楽しかったです！

## 子どもたちから

楽しかった。／トンネルをくぐるのが楽しかった。／ダンスと音楽を感じて良かった。／メトロノームがスピードアップして楽しかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

## 横浜市立山内小学校＋横浜市民ギャラリーあざみ野 自分たちでダンスをつくろう

担当アーティスト	南條健吾（ダンサー、振付家）
実施校	山内小学校（青葉区）
コーディネーター	横浜市民ギャラリーあざみ野
実施科目・教科名	体育
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／3学年4学級121名
実施日程	2023年2月15日（水）、2023年2月17日（金）、2023年2月24日（金）



### 授業のねらい

コロナ禍でマスクが日常となってしまう、顔の表情で気持ちを表す、あるいは伝えることが難しくなった子どもたち。だからこそ身体を使って気持ちを表現できることを、ダンスを通じて感じ取ってほしい。子どもたちに親しまれる曲に振り付けを行い、1クラスずつのワークショップを2日間行う。みんなが知っている曲を使ってグループごと（1グループ10人程度）にダンス作品を子どもたちがアイデアを出し合いダンス作品を作る。3日目は保護者参観を兼ね、クラス合同で各グループごとに発表する。

### 主な内容

<1日目>ウォームアップ<2日目>ウォームアップ+振り付け  
<3日目>ミニ発表会（保護者参観）、講師からのフィードバック

### アーティストから

今回のたった3日間のワークショップの中で、“振り付け”というとてもハードルの高いことを達成できて感動しました。そして、それぞれのグループが“正解”という概念にとらわれずに自由に創造力を発揮して作品を創ってくれ、私自身も皆さんから沢山のアイデアの種を受け取ることができ、素晴らしい刺激を得ることができました。今後もダンスのみならず芸術という分野に触れて、さまざまな刺激を受けたり与えたりし続けてほしいです。

### コーディネーターから

アーティストからの宿題を2分程度の動画にしてもらい、子どもたちにiPadで共有し事前に考えてもらったことで、授業への関心が高まりました。歌詞の意味を考えて振り付けするという、学年に比して難易度の高い内容になりましたが、ロイロノートを駆使し振り付けの記録だけでなく調べ学習にも発展できました。講師のサポートのもとに、いろんなダンスの動きも自分たちで相談し考えながら作り上げ、子どもたちの吸収力とポテンシャルに驚かされました。

### 先生から

今回のダンスを通じて、「悲しい」「うれしい」などの感情、自分の名前など身体を動かして表現する楽しさを感じることができました。体育館工事があったので、実施時期が遅くなってしまいましたが、今後は運動会の表現と兼ねられるようにすると良いかと思いました。

### 子どもたちから

みんなでダンスをつくるのが楽しかった。／発表がきんちょうした。／先生の教え方が分かりやすかった。／おどりを「こうして」と言われたからやるのではなくて、自分たちでかんがえてやったから楽しかった。／思い出に残ったことは、友だちかん係をもっとふかめられたこと。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

## 横浜市立勝田小学校＋横浜赤レンガ倉庫1号館 身体と言葉で自分を表現しよう

担当アーティスト	岡本優（ダンサー、振付家、TABATHA 主宰）
実施校	勝田小学校（都筑区）
コーディネート	横浜赤レンガ倉庫1号館
実施科目・教科名	体育
実施概要	体験型／身体表現／個別支援学級 27 名
実施日程	2022 年 10 月 24 日(月)、2022 年 10 月 26 日(水)、2022 年 10 月 27 日(木)



### 授業のねらい

身体で自由な表現の面白さやダンスの楽しさを感じてもらえるようなワークショップを行う。ワークショップを通して子どもたちの変化や達成感を得られるよう、最終日に発表の機会を設け目標を設定する。

### 主な内容

<1日目>空間把握、想像力を養う<2日目>相手と共感し、感情を分かち合う<3日目>1、2回目で行ったダンス（表現）を再度行い変化を感じ取り達成感を得る

### アーティストから

3回の実施で皆さんの心が日ごとに確実に動いたように感じました。個別支援学級は初めてでしたが、色鮮やかで豊かな感性を我々に一生懸命伝えてくれる皆さんの姿は、心を打たれるものでした。素直に存在することができる素晴らしい個性を目の当たりにすると、その個性を活かしてあげたいという願いが生まれ、先生と児童という立場ではない“仲間”的な存在へと変化していったように思います。この体験で個々人に残った感覚や感情が、いつかの未来で自分自身や誰かに良い影響をもたらすきっかけになったらと思います。

### コーディネーターから

コロナ禍で直接手と手が触れ合うことが難しい中、一定の距離を保ったまま相手の動きを見ながら動く振り付けをして、子どもたち同士だけでなく、アーティストとの距離感が一気に縮まっていたように感じました。また、ダンスを見せて何を表現しているのか聞いてみるなど、身体を動かすだけでなく、子どもたちと共に考える時間も持ち、表現の自由と表現を伝える大切さを教えていました。動きをしてみることで、気持ちを感じ取ること、そして相手を見ることが次第に自分で身体を動かすことへとつながっていく瞬間に立ち会えました。

### 先生から

「踊って楽しい！」と言う子が増え、教室でも何か曲をかけたいと子どもから提案があり、驚きました。こんなに動けるんだ…と、子どもたちの意外な一面が見られたとともに、教育（授業）の可能性が広がりました。

### 子どもたちから

おどるのが楽しかった。／またやりたい。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

# 横浜市立小菅ヶ谷小学校＋Media Global 歌って踊って自己表現を楽しもう

担当アーティスト	中川梨恵（ダンサー、振付家）、高山京子（ダンサー、振付家）、佐藤真代（ダンサー、振付家）
実施校	小菅ヶ谷小学校（栄区）
コーディネーター	Media Global
実施科目・教科名	音楽、体育
実施概要	体験型／歌・ダンス／2学年3学級72名
実施日程	2022年11月16日(水)、2022年11月22日(火)、2022年12月1日(木)



## 授業のねらい

人数が少ないが、元気な児童が多い学年である。その学年カラーを生かしつつ普通の授業、学習では自分を表現しにくい児童にも、表現することの楽しさを味わってもらえるようにしたい。

## 主な内容

<1日目>課題曲・歌の練習・ダンスパート1の練習<2日目>前回のおさらい・ダンスパート2の練習・通し練習<3日目>歌とダンス通し・リハーサル・動画で仕上げる

## アーティストから

元気いっぱいの2年生。踊ること歌うことを楽しみ、たくさんの質問も飛び交いました。「知りたい」気持ちが強い年頃の彼らにとって、好奇心を刺激するワークになれたことをうれしく思います。表現することは生きること。これからもさまざまな芸術に触れ、感性・想像力を広げ、表現することを楽しんでくれればと思います。

## コーディネーターから

当初対象だった3年生から急遽2年生に変更になり、事務局と相談しプログラムを実施しました。工事で体育館が使用できず、クラスごとにホールでの実施。窓を開放して水分補給などしながらマスクをして歌ったり踊ったりしました。子どもたちは伸び伸びと自然に手拍子をしながら歌い、ダンスのポーズも思い思いにつくり、プログラムを楽しんで受けてくれました。最終日の動画撮影では、マスクの下の笑顔がたくさん見られました。

## 先生から

子どもたちが前向きになれるような言葉かけが良かったです。音楽に合わせて身体を動かすことの楽しさを感じている姿が見られました。子どもたちへの投げかけや気持ちの盛り上げがもっとできたかもしれないと感じ、事前に内容が分かるとありがたいなと思いました。

## 子どもたちから

ダンスが好きになった。／みんなとにこにこでやれたのと、みんなできょうりよくしてできてうれしかった。／みんなで歌とダンスをたのしくできて、思い出にのこった。／なんでもれんしゅうしたらうまくなるとおもった。／だんすがおはなしからつくられたみたいで、すごくおもしろいので、おうちでもおどれている。／はじめてのおどりがたのしかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

## 横浜市立岡津小学校＋テアトルフォンテ みんなで踊って、運動会で盛り上がろう！

担当アーティスト ヒダノ修一（太鼓ドラマー）、一彩（ダンサー）、光季（タップダンサー）

実施校 岡津小学校（泉区）

コーディネーター 泉区民文化センターテアトルフォンテ

実施科目・教科名 体育

実施概要 体験型／身体表現／4学年3学級80名

実施日程 2022年9月9日（金）、2022年9月15日（木）、2022年9月29日（木）



### 授業のねらい

ダンスを踊ることを通して友達と互いに教え合ったり、動きを認め合ったりすることで友達の良さを感じてほしい。また、みんなで協力して1つのことをやり遂げることの良さを感じ、一人ひとりが達成感を得ることができるようにする。

### 主な内容

<1日目>準備運動、曲の前半の振り付け練習（体育館）<2日目>準備運動、曲の後半の振り付け練習（体育館）<3日目>準備運動、入退場を含め全体の通し練習（校庭）

### アーティストから

昨年に引き続き今年もダンスの振り付けを担当しました。今回は学校の先生が自らダンスの振り付けを作成し、こちらの講師がさらに細かくアレンジを加えて…まさに学校側とのコラボレーションという未経験の方法を取りましたが、皆で一緒に作った！ということでは、達成感が素晴らしいものでした。子どもたちも最初は戸惑いつつも、外部講師による緊張感やワクワクが、徐々に楽しさに変化して、休憩中もずっと踊っているようになり、最高の学びの場となりました。

### コーディネーターから

3日間の体験型でダンスを実施しました。運動会での発表に向けてのレッスンでしたが、旗を使うダンスだったので物珍しさもあったのか楽しそうに、しかし真剣に取り組んでいました。アーティストからきれいに見える旗の振り方や、腕の上げ方などの細かい指導を受け、何度もまねをしながら熱心に取り組んでいる様子はとても魅力的でした。回を重ねるごとにどんどん児童たちの動きが洗練されたものになっていたので、目を見張る程の成長を感じました。ただ身体を動かすだけでなく、「表現」ということを学ぶいい機会だったと思います。

### 先生から

アーティストの授業を通して、子どもたちはダンスや旗による表現を楽しく感じることができました。アーティストの助言を素直に受け止め、上達したいという思いが伝わってきました。私が担任として指導したいことやこうしたいという思いをコーディネーターの方もアーティストの方も、受け止めて一緒に取り組んでいただき、とてもうれしかったです。

### 子どもたちから

動きが難しかったけどできるようになってうれしかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

## 横浜市立矢向中学校＋横浜赤レンガ倉庫1号館 みんなで踊るって楽しい！

担当アーティスト	倉重円 (PLANETS 所属インストラクター)、中村美紅 (PLANETS 所属インストラクター)、相原優貴 (PLANETS 所属インストラクター)
実施校	矢向中学校 (鶴見区)
コーディネーター	横浜赤レンガ倉庫1号館
実施科目・教科名	体育、保健体育
実施概要	体験型/チアダンス/1学年6学級234名
実施日程	2023年1月27日(金)、2023年1月30日(月)、2023年2月1日(水)



### 授業のねらい

「ダンスを楽しむ」ための導入となること

### 主な内容

<1日目>ウォーミングアップ、振りを覚える (6クラスを2クラスずつに分けて実施) <2日目>ウォーミングアップ、振りの確認、振り付けで踊る、発表会に向けたフォーメーションの確認 <3日目>ウォーミングアップ、踊る時のコツを知る、3チームごとに通して踊る、発表会

### アーティストから

4年目となるこちらのプログラムを学校の先生方をはじめコーディネーターの方々のご協力により実施ができましたことを心より感謝申し上げます。今年は3つの作品を繋げて1つの作品を作りました。発表が終わった後の皆さんの笑顔がとても印象的でした。振り付けはもちろんですが、表現をすること、仲間と一緒に踊ることの達成感を知ってもらえたらと私たちも指導させていただきました。今後のダンスの授業に少しでも繋がっていただけたら幸いです。

### コーディネーターから

今年もみんなで踊る楽しさを感じてもらえるよう、チアダンスのプログラムを実施しました。今回は、選曲から生徒のみんなに関わってもらいたいという想いから、事前に踊りたい候補曲を挙げてもらい、その曲に講師が振り付けを行いました。お互いに踊りを確認しあったり練習したりするなど、回数を重ねるにつれ自信

を持って踊っていたように感じます。また、発表では青空のもと3チームの踊りを1つにつなげ学年全体で1つの作品にすることができました。学校の先生方には準備から当日のサポートまで多くのご協力をいただきました。

### 先生から

コーディネーターの方には初回の時からお世話になり、こちらの要望を理解して講師の方々に伝えてくださり、とても感謝しております。生徒はだんだんと新しいことや、やったことのないことへ抵抗を感じやすい時期になっており、ダンスに対しても抵抗感を隠さずに嫌がる素振りもありましたが、発表のVTRを見てこんなに一生懸命踊る姿を見せてくれたことに、教員が感動し勇気もらいました。振り付けに関して、しっかり覚えて発表したいと思っていたのですが、覚えられない生徒もいたので、もしかしたら振りが少し難しかったのかもしれないと思いました。

### 子どもたちから

今回の授業で、ダンスを大勢で作る楽しさを思い出せた。最後の発表で、踊り終わったあとの快感をもう一度あじわいたと思った。あまりやりたくなかったけど、受けてみたら「ダンス楽しい」と思った。最初は嫌でもやってみたら楽しいということがこれからもあると思うから、これからもいろいろなことに挑戦したい。みんなで団結して、先生方に見せられたのが思い出に残った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

# 横浜市立保土ヶ谷中学校＋Offsite Dance Project イメージを持って身体を動かしてみよう

担当アーティスト	黒須育海（振付家、ダンサー）、中村理（振付家、ダンサー）
実施校	保土ヶ谷中学校（保土ヶ谷区）
コーディネーター	NPO 法人 Offsite Dance Project
実施科目・教科名	体育
実施概要	体験型／コンテンポラリーダンス／個別支援学級 36 名
実施日程	2022 年 9 月 12 日(月)、2022 年 9 月 15 日(木)、2022 年 9 月 16 日(金)



## 授業のねらい

個別支援学級の子もたちとの活動が豊富な黒須育海と中村理による体験型ワークショップを3日間行い、コンテンポラリーダンスをベースとした身体表現活動を通して、子どもたちのコミュニケーション力や表現力、創造力を高めることを目指す。自由な発想で自分を表現する楽しさを体験する機会、先生が子どもたちの表現の力を引き出し／伸ばすための方法論を学ぶ機会を提供する。

## 主な内容

<1日目>紹介ダンス、ウォーミングアップ、いろんなポーズ、振り付けで踊る①<2日目>ウォーミングアップ、みんなでいろんなポーズ、円で動きのリレー、振り付けで踊る②<3日目>ウォーミングアップ、振り付けで踊る③、振り付けメドレー、クールダウン

## アーティストから

3日間、内容を変えて行ったことは良かったと思う。知的障害教育部門の中でも障害の程度がさまざまだったが、振り付けを覚えて自分たちなりに楽しんで身体を動かしている様子が見られた。中学生ということもあり、3種類用意した振り付けにはそれぞれ一定の運動量を確保し、振り付けにイメージを取り入れた。振り付けはカウントを使わず、感覚で捉えられるような言葉かけをした。3曲分振り付けを行った内容は、学生の踊りきるモチベーションや達成感に繋げることができた。前半のワーク内容も一つひとつ時間を確保でき、理解度が高かったこともあって全体的に集中して取り組む様子が見られた。もっと説明的で良かった場面と、説明が足りなかった場面があったので次回改善していきたい。発表に繋げなくて良いという点はファシリテーターとして自由度が高く、とてもやりやすかった。(黒須)

中学生という年代はさまざまなメディアからの影響力を強く受ける時期であり、そういった中で生まれがちな固定観念から身体を通じて抜け出せるような体験を目指しました。また、小学生よりも体力や理解力が高いことも踏まえ、いろいろな種類のワークに取り組むとともに“イメージを使って身体を動かす”等の少し難易度の高い課題にも挑戦してもらいましたが、ゲーム的に楽しみながらワークを展開することで、自分たちの中で内容を咀嚼し活

き活きたとした動きに発展させてくれていました。初日はまだ身体を動かすことに戸惑いのある生徒も見られましたが、3日間を通してそれぞれのペースで意欲的に楽しめるようになっていたと感じます。それだけに、先の見通しが曖昧で生徒たちを戸惑わせてしまった場面が浮き彫りとなってしまいました。特に個別支援学級においては、場面の目的を明確に共有することが重要であることを実感しましたし、今後活かしていきたいと考えます。今回は同世代のアーティスト同士による共同ワークショップということで、それぞれに培ってきたワーク等について対等にシェアしながら実践できる貴重な機会となりました。それによってアーティスト自身にも新鮮な発見があり、今後の活動へ広がる可能性を感じました。(中村)

## コーディネーターから

中学校の個別支援学級での経験がなく、アート教育の経験豊富な黒須育海さんと中村理さんとのコラボで実施しました。事前の授業見学を踏まえて、3日間たっぷり身体を動かして、ダンスのいろいろな楽しさや面白さを体感し、それぞれの好きなものを見つけてもらおうというねらいで進めました。さまざまなワークで自分なりの動きを発見していく生徒たち、3曲異なるダンスの振り付けを次々と自分のものにしていく生徒たち、踊ることへの戸惑いや固定観念をほぐし、自由に身体を動かすことの一步踏み出すチャレンジになったと思います。先生方も一緒にワークを行いフォローしてくださったことで、充実した取組になりました。

## 先生から

生徒たちがとても楽しそうに踊っている姿を見て、うれしく思いました。終わった後も音楽を聴くと自然に身体が動いてしまうようで、大人も子どもも楽しめる時間になりました。1月に行う市の学芸会（文化祭）にも、今回覚えたダンスを一部発表する予定です。

## 子どもたちから

いろいろなふりつけがあって楽しかった。／3本足をするなど自分のポーズを作った。／初めておもいっきり踊った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「ダンス」

## 横浜市立二つ橋高等特別支援学校＋あじさいプラザ DANCE&COMMUNICATE～ダンスでわかる・ダンスでかわる～

担当アーティスト	もあきやりー ((石守俊輝、水澤明香里) (パフォーマー))、音呼 (パフォーマー)、菊地由照 (パフォーマー)
実施校	二つ橋高等特別支援学校 (瀬谷区)
コーディネーター	瀬谷区民文化センターあじさいプラザ
実施科目・教科名	総合的な探求の時間
実施概要	体験型/コンテンポラリーダンス/全学年全学級 144 名
実施日程	2022 年 12 月 20 日(火)、2022 年 12 月 21 日(水)



### 授業のねらい

音に合わせて身体を動かしたり、いろいろな感情を自分の身体を使って相手に伝えてみたり、「身体」の可能性を探りながら、その面白さを発見することが目標です。併せて、卒業後の生活を豊かにする「趣味」を見出すきっかけ作りにもなるよう、講師によるパフォーマンスを鑑賞していただき、圧倒的な表現力を目の前で感じていただきます。

### 主な内容

<1日目>～<2日目>①ウォーミングアップとアイスブレイクを兼ねて、自分の手の関節や足の指同士がどうつながり動くのかを確かめる「ボディーフィール」、流れてくる音に耳を澄ませながらそれに合わせて身体を動かすワークを実施。②バレエ、ジャズ、ヒップホップといった各ジャンルのダンスで基本となる動作を学び、音楽に合わせて踊る。③曲に合わせて手話唱を取り入れた講師によるオリジナルダンスを全員で練習し、クラスごとに披露。(1日目に1・2年生、2日目に3年生で実施。)

### アーティストから

限られた時間と空間を楽しみ、生徒と先生がワクワクや笑顔を共有していたことに、僕たちもエネルギーと笑顔をもらいました。

振り付けにおいても、皆がチャレンジし諦めない気持ちが伝わっ

てきました。その気持ちを大切にしてほしいです。(石守) 自身の身体に真摯に向き合う姿や新しいことにチャレンジする姿、それを見守る先生の温かな眼差しを見て、ワークショップを届けられたことをうれしく感じました。振り付けを覚える真剣な目と、踊り切れた後の輝く笑顔が忘れられません。(水澤)

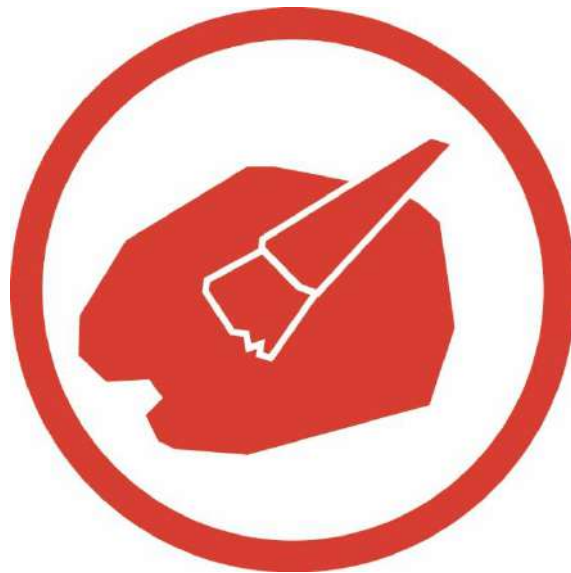
### コーディネーターから

本プログラムを実施するにあたり、打合せの段階から講師に同席いただいたことで、先生へ丁寧なヒアリングができ、会場見学を兼ねて生徒ともコミュニケーションをとることができました。当日は緊張気味の生徒たちの様子を見ながら、学年ごとにアイスブレイクやワークの時間を調整していただき、たくさんの生徒たちの笑顔、それにつられた先生方の笑顔まで見ることができました。生徒たちの特性や雰囲気をもよくつかみ、寄り添うプログラムでした。

### 先生から

コロナの影響で学年単位での行事も少なかったもので、楽しいイベントをみんなで共有できたことが良かったです。アーティストの方が事前の見学から本校のためにオリジナルで内容を考えてくださったことに感謝しています。

## 美術分野の取組



自分で考えて、自分でつくってみる。その面白さと難しさを体験します。のびのびと創作することを通じて、イメージや感覚をとらえ、表現する面白さを深めます。自分や友達の多様な表現に触れる機会となります。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

# 横浜市立東台小学校＋Art Lab Ova 真昼のミッドナイトライブパーティー

担当アーティスト	Art Lab Ova (アーティストユニット)、青山るりこ (ダンサー)
実施校	東台小学校 (鶴見区)
コーディネーター	Art Lab Ova
実施科目・教科名	図画工作
実施概要	体験型／造形／個別支援学級 54 名
実施日程	2022 年 12 月 5 日(月)、2022 年 12 月 14 日(水)、2022 年 12 月 19 日(月)



## 授業のねらい

個別支援学級の児童にとって完成までの過程が分かりやすく、見通しを持って活動の一部だけでも参加できるプログラム。個別支援学級の在籍人数が年々増え、個別支援学級全体のつながりが希薄化しているので全員での活動を希望する。一方で、年齢や各自の状況に合った小規模グループでの活動と両方できると良い。

## 主な内容

< 1 日目 > 低学年：段ボール箱に自由に描く / 高学年：大きな紙に手や足で自由に描く < 2 日目 > 低学年：段ボール箱に装飾 / 高学年：見立てを学びながら大きな絵を仕上げる < 3 日目 > 1 ～ 2 日目に作った作品を展示した部屋で、演奏やダンスなど各自自由に過ごす

## アーティストから

当初は全員での活動を希望されていたのですが、利用できる部屋の定員の関係で、結局 3 日間とも、低学年と高学年で分けて開催することになりました。一方で、年齢や個々人の状況によってプログラムを変えてほしいとの要望もありましたので、1 日目、2 日目は学年によってそれぞれ違うプログラムを用意しました。1 年生～6 年生まで 50 人以上もいる個別支援学級ということで全てが大変でしたが、3 日間とも、想像以上に子どもたちが主体的に参加していたように思います。(Art Lab Ova)

暗い教室に子どもが作った箱や絵、電飾、プロジェクターの映像、楽器、妙な動きをする大人。挨拶や説明はなく、そこに入った瞬間子どもたちは「正解」がない中で戸惑い、まず自分たちの映像の前で体育座りして鑑賞する。私は彼らから自発的な動きが出る

よう時間を掛けて動き、誘う。彼らは、回る飛ぶ走る転ぶ止まるを繰り返して始める。楽器を思うままに鳴らしながら皆で体を重ねて実験的に動いてみたり、彼らの中にある「はちゃめちゃ」が出てくる。普段学校にはないこの空間でお互いを認知しながら自分を表現する場になったと思える。(青山)

## コーディネーターから

期せずして利用できた部屋が子どもたちの教室から一番遠い場所だったのと、毎回、毎時間違うプログラムだったので、担当の先生たちのご負担が大きかったかもしれません。ただ、その甲斐があつたか、子どもたちはどの時間も楽しんでくれたように見えました。

## 先生から

普通の学校の授業では行うことができない活動ができ、子どもたちが創造の世界に浸れました。「失敗をする」という捉え方について、美術につながる前向きな伝え方が知りたいと思いました。ダイナミックな活動を楽しめた一方で、子どもの能動性・自主性と安全面とのバランスを考えていくのが、なかなか難しいなと感じました。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立稲荷台小学校＋岩間市民プラザ 「自分の部屋の窓から見たい風景」を描こう！

担当アーティスト	皆川琴美（画家）
実施校	稲荷台小学校（西区）
コーディネーター	横浜市岩間市民プラザ
実施科目・教科名	図画工作
実施概要	体験型／水彩画／4 学年 2 学級 66 名
実施日程	2022 年 11 月 16 日（水）、2022 年 12 月 7 日（水）、2022 年 12 月 14 日（水）



### 授業のねらい

想像したことを表現する面白さを感じさせたい。絵の具のさまざまな技法を使い、子どもたちの表現の幅を広げていきたい。

### 主な内容

< 1 日目 > 下書き～色塗り < 2 日目 > ～ < 3 日目 > 講師の作品鑑賞、色塗り～完成（2 日目は 1 組のみ、3 日目は 2 組のみで実施）

### アーティストから

稲荷台小学校の 4 年生に「自分の部屋の窓から見たい風景」というテーマで絵を 2 日間描いてもらいました。1 日目には鉛筆で下絵を完成させ、2 日目は水彩絵の具で色付けをして仕上げというなかなか大人でも大変なスケジュールの中で、4 年生の皆さんは描きたいテーマを見つけ出し、画用紙いっぱい夢と現実が交錯したオリジナリティに富んだ絵を描いてくれました。個々に物語性があり、それを着色することでさらに物語のイメージを膨らませることができたと思います。絵が完成に近づくと子どもたちの高揚感と熱意が伝わり、絵が「踊り出す！」というのをたくさん見ることができました。子どもたちとともに充実した楽しい絵の時間を過ごせました。

### コーディネーターから

とても包容力のあるプログラムだと感じました。「正解も間違いもないんだよ。好きなように描いていいんだよ。」という講師の言葉が印象的で、子どもたちも伸び伸びと水彩画にこだわらず描いていました。タブレットの使用も今の子どもたちの生活の一部と捉えて、使っても構わないというのも印象的でした。当初から開催日の変更が必要になりましたが、学校の先生がすぐに対応くださり、予定通りの内容で無事 3 日間開催することができました。

### 先生から

実際に書かれた絵を持ってきていただいたことが、子どもたちの動機づけにつながりました。子どもたちの変化として、以前よりも図工の授業に意欲的に取り組めるようになったと感じます。また、水彩画はパレットにたくさん色を出して使うことで、表したいイメージにつながるとおっしゃっていました。普段の指導にも生かせる言葉でした。

### 子どもたちから

たくさん色を使っていいという新しい発見があった。／こんな世界を見てみたい！と想像したものがかけた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立芹が谷南小学校＋Art Lab Ova 見方を変えると世界が変わる

担当アーティスト	Art Lab Ova (アーティストユニット)
実施校	芹が谷南小学校 (港南区)
コーディネーター	Art Lab Ova
実施科目・教科名	図画工作、総合的な学習の時間
実施概要	体験型／造形／3 学年 2 学級 55 名
実施日程	2023 年 1 月 17 日(火)、2023 年 1 月 26 日(木)、2023 年 2 月 2 日(木)



### 授業のねらい

ふだんの図画工作の時間では体験できない身体を動かすダイナミックな制作を通じて、自分や友人など、多様な表現に触れる機会とする。

### 主な内容

< 1 日目 > 大きな紙の上で絵の具を使って筆や手や足で描く < 2 日目 > 「見立て」の経験とシュルレアリスムの技法を利用して友達と絵を描く < 3 日目 > 1 日目に描いた大きな紙の上で模様を見立てながら思う存分絵を描く

### アーティストから

まだ小3ですが、おとなしい子が多かったように思います。ふだんは、必ず逸脱する子が何人かいて、そういう子たちが授業の空気を作ってくれていたのだなあと改めて感じました。逸脱しない、できない子たちの能動性をどのように引き出せるかが、今回の授業のポイントになりましたが、思った以上に難しかったです。でも、授業最後の感想はみんな積極的に手を挙げて発言していたので、伝わるところはあったのだと思います。

### コーディネーターから

担当の先生とのやりとりがスムーズでたいへんやりやすかったです。2年前に授業を受けた小6の子どもたちが声をかけてくれたり、そのほか細やかな配慮で学校全体で受け入れてくれている雰囲気がありました。授業内で感想を言う子どもたち全員が、まだ小3だというのに「楽しかった」「おもしろかった」だけでなく、必ず「何が楽しかった」などの理由をつけて答えてくれるのには驚きました。

### 先生から

今回、子どもたちと一緒に体験できて良かったです。図工の時間では、子どもたちは「上手に、間違えないように描こう」と慎重に丁寧に取り組んでいますが、「芸術はもっと自由なんだよ」ということを、子どもの頃に体験できたことが良かったと思います。今回の経験や、得た知識・発想力を、これからの生活や図工の授業などで生かしてほしいと思います。

### 子どもたちから

きれいな色がきれいだった。／絵の具を手につけてかいて、気持ちよかった。／みんなでいろんな絵をかいたり、見方をかえたら別の絵が見えて楽しかったし、しっばいできた。／いつも一人で作品を作っていたけれど、みんなで協力してつくれた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立権太坂小学校＋岩間市民プラザ 飾り雛ワークショップ

担当アーティスト	こいちりょうじ（こども造形研究家）
実施校	権太坂小学校（保土ケ谷区）
コーディネート	横浜市岩間市民プラザ
実施科目・教科名	図画工作
実施概要	鑑賞型／造形／個別支援学級 16名
実施日程	2023年2月22日（水）



### 授業のねらい

この体験を通じて、自分の思いや感じたことをさまざまな方法を使って表現できるようになってほしい。自分の思いを伝えることや、相手の思いを知ることの良さを感じ、自分の思いを適切な方法で、相手に伝わるように伝えようとする態度を養いたい。

### 主な内容

木材を使って飾り雛制作

### アーティストから

木の重さや香りなど、作るだけでなく素材の特徴も楽しんでもらいました。木材を積み重ねては崩し、やりたいことを少しずつ形にしていくことができる創作は、図工が得意な子だけでなく、苦手な子にとっても心地よい表現の時間となっているように見えました。丁寧に作る子や元気に作る子など、重ねるといふ単純な創作表現の中にも性格や個性などが現れていたため、短い時間ではありましたが、一人ひとりのその子らしさを感じることができました。



### コーディネーターから

昨年に引き続き、権太坂小で2回目のプログラム実施となりました。のこぎりで木を切る体験、素材の重さや匂いを感じながら参加できるような内容でした。のこぎりの体験はとても楽しそうで特に印象に残りました。講師は事前に授業参観をして子どもたちに合う内容を考え、学校の先生もとても協力的でした。制作は正味90分程でしたが、子どもたちは集中して参加していました。参加人数は最適と思われる程で、スムーズに行われました。

### 先生から

もともと自然あふれる学校でしたが、この体験後、子どもたちが学校敷地内に植生する木々に自ら興味を示すようになり、たいへん喜ばしいです。のこぎりはやらせてみたいと思いつつ、安全配慮の面から授業の中に取り入れるのはずっとためらっていたのですが、今回子どもたちが初めて触れる道具にとっても喜び、一生懸命活動する様子を見て、のこぎりに限らずさまざまな道具に触れる機会を工夫して作ってあげたいと思いました。

### 子どもたちから

木を積んでお雛様をつくるのが楽しかった。／ヒノキをのこぎりできるのが楽しかった。ヒノキはいいにおいだった。／いろんな木に触れて楽しかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

# 横浜市立峯小学校＋横浜こどものひろば コミュニケーションを取って、楽しいことを見つけよう

担当アーティスト	造形ユニット ドゥイ（造形作家）
実施校	峯小学校（保土ケ谷区）
コーディネート	NPO 法人横浜こどものひろば
実施科目・教科名	図画工作
実施概要	体験型／造形／4 学年 2 学級 76 名
実施日程	2022 年 10 月 20 日(木)、2022 年 10 月 25 日(火)、2022 年 11 月 1 日(火)



## 授業のねらい

自分との、他者との、教材（素材）との、対話・コミュニケーションを図る。

## 主な内容

< 1 日目 > 風に触り、風を感じ、工作した物をびゅんびゅん飛ばして遊ぶ < 2 日目 > 色も幅もさまざまなテープを用い、画用紙や机、教室に自分なりのデザインを生み出す < 3 日目 > 多種多様な素材による自由な造形に、順に仲間が手を加えよりすてきな造形を目指す

## アーティストから

子どもたちの作ることへの意欲がとても能動的でびっくりしました。3 回の授業で毎回違うことをしたのですが、初めてやることに迷うこともほとんどなく、普段から図工の時間を楽しんでいるんだなと感じました。同じような内容で他の場所でも何度かやっていますが、初めて見る工夫があったり思わぬ展開をしたりして、やっていてとても楽しかったです。

## コーディネーターから

自由に、気持ちのおもむくままに工作することができて、とても楽しそうな空気感が生まれていたと思いました。アーティストの方とも声を掛けあったり、造形の楽しさを共有していたと思いました。「図工キット」などに散見される同質同型の結果を作り出す体験とは異なり、結果に優劣が求められるものでない造形が面白く、意外なものに発展する可能性を楽しむ機会になっている様子が、とてもにぎやかで面白かったです。

## 先生から

主に造形遊びの領域でしたが、普段は準備や場所の確保といった関係でこれほど充実した活動ができないので、とても良い機会になったと感じています。また、子どもたちは明確にめあてのある普段の授業とは違い、伸び伸びと自由に活動することができたり、活動の中で「面白いね」「それ良いね」と認められえたりして、すごく楽しそうにしていました。1 年に 1 度くらいは、そういう時間を取ってあげられたら…と思いました。

## 子どもたちから

普段やっている図工とは少し変わった感じだった。1 番違うと思ったのが、活動方法。普段やっている図工は基本、単独行動。しかしプラットフォームはみんなで協力しあってやるということが違うのではないかと思った。／僕はこうやって教えてもらったことを自分でいかして発想をまた考えてみたい。／遊びに関わる物が作れてよかった。公園に行くより何倍も楽しかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立さわの里小学校＋杉田劇場 あつまれ！みんなで100人パズル

担当アーティスト	寺道健一朗（メリ～ゴーランド研究所代表）
実施校	さわの里小学校（磯子区）
コーディネーター	磯子区民文化センター杉田劇場
実施科目・教科名	図画工作、音楽
実施概要	体験型／造形／1学年2学級・幼稚園児・保育園児 計100名
実施日程	2023年1月17日(火)、2023年1月18日(水)、2023年1月23日(月)



### 授業のねらい

音楽によって身体を動かす、みんなで何かを作る活動を通じて、普段と違う自分や友達に気づき、お互いを理解し合う。その活動として「カケラ」に思い思いの色を塗り、絵を描いて「なぞの生物」を作って名前をつけ、その「なぞの生物」をすべて組み合わせて「大きないきもの」をみんなで作りあげる。また、来年度、新1年生となって入学予定の近隣の連携先の幼稚園・保育園の園児たちもプログラムに参加し、交流を深める機会とする。

### 主な内容

<1日目>～<2日目> 1年生1クラス25名を、5名程度ずつのグループに分けて、講師側で事前に成形しておいたパーツにクレヨン着色して、「なぞの生物」を作成（各日、1クラスごとで実施）。小学校でのプログラム後に、講師が連携先の保育園を訪問し、「なぞの生物」づくりをレクチャー（作業自体はそれぞれの園で実施）。<3日目>それぞれが作成した「なぞの生物」を組み合わせて、「大きないきもの＝15m級のクジラ」を完成させていく。作業中～完成後まではピアノを演奏して、参加した子どもたちの雰囲気盛り上げていった。最後に、完成した「クジラ」をみんなで鑑賞。

### アーティストから

100人パズル！事前に、実物大のクジラをボードに描き、ランダムで100枚にカットしパズル化。1日目は教室で、巨大パズルのランダムな形の各ピース100枚を子どもたちが擬態化してクレヨンで作品にした。2日目に体育館でパズルを組みあげると、実物大のクジラが現れ、子どもたちは大興奮。子どもたちの擬態化表現はみな奇想天外で感動した。体育館で発表する回では、杉田劇場館長のピアノ演奏にのり、完成に至るまでをライブ感覚で幼保小が

1つになって身体を動かし、楽しみながら組み上げた。幼保小の一体感が頼もしく見えた。

### コーディネーターから

新型コロナの感染症対策もあり、連携先の幼稚園・保育園を学校に迎えての工作はできなかったものの、各園の協力もあり、3日目までにすべての「カケラ」への着色もできました。「クジラ」を完成させる段階では、1年生と幼稚園・保育園の園児が集まって、大いに盛り上がりながらの作業となって、アートを通じた多様なコミュニケーションの機会を提供することができました。

### 先生から

子どもたちが想像をふくらませて活動できました。小学生・幼稚園児・保育園児が関わることによって、互いに良い姿が見られました。小学生はいつもよりしっかりとってお兄さん・お姉さんのように振る舞い、幼稚園児・保育園児は小学校への楽しみがふくらんだように感じました。

### 子どもたちから

幼稚園・保育園の人と楽しめた。／みんなと組み合わせられてうれしかった。／クジラが生まれたことが心にのこった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立六浦南小学校＋長浜ホール 等身大の自分をステキに描こう！

担当アーティスト	浅葉弾（クリエイティブディレクター、子供デザイン教室主宰）
実施校	六浦南小学校（金沢区）
コーディネート	横浜市 長浜ホール
実施科目・教科名	図画工作
実施概要	体験型／絵画制作／2学年2学級62名
実施日程	2022年11月21日(月)、2022年11月22日(火)、2022年11月24日(木)



### 授業のねらい

厚紙の上におのおの寝ころび、仲間に等身大の自分を形どってもらいます。自由に着色してすてきな自分を表現します。等身大の自分たちを集めてみんなで協力し合い、話し合いながら展示していきます。自分自身を表現することで自己肯定感を高め、土曜日の授業参観日に学校の友達や保護者の方に見て評価してもらうことで、学年としての一体感、より大きな達成感を得ることをねらいます。

### 主な内容

<1日目>段ボール板に横になりペアの人に形どってもらった自分の姿を塗り始める。<2日目>自分の色塗りなどを仕上げる。自分の好きなアイテムを作る。<3日目>等身大の自分を仕上げ、全員を合体させて展示する。

### アーティストから

参加した児童全員が、これまでに描いたことがない大きさの絵画にチャレンジすることになりましたが、全員が自分なりにステキな自分を想像しながら一生懸命描いてくれたと感じました。最後はクラスごとに等身大自分を合体させて1つの巨大アートに姿を変えましたが、個人の作品、合体作品と二度の達成感を感じていただけたと思います。この達成感から各自自分なりの次のチャレンジにつながってほしいと思います。

### コーディネーターから

六浦南小学校でのアートチャレンジも今年で4年目。2年生という今までで最も低学年でしたが、他の学年以上に集中して取り組んでいました。人それぞれ、さまざまな個性あふれる作品が合体した時、不思議な一体感が生まれてまさに圧巻。アートチャレンジならではの成果です。自分史上もっとも大きな作品を完成させた達成感は、子どもたちの自己肯定感を作り出す源となることを願っています。

### 先生から

今回で4回目となります。コーディネーターの方はたいへん話しやすい方です。また、アーティストの方は毎回内容をいくつか考えてくださり、担任と打合せをしていく中で、さらに子どもたちにより合った授業を行うことができています。学校の授業では行えないような企画のものを体験させていただき、準備、片付けもやっていただきたいへんありがたく思っています。作品の展示の仕方も考え、お手伝いいただきました。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

# 横浜市立田奈小学校＋横浜市民ギャラリー 自分でするって楽しい！大きな紙に描く・ぺったんアート

担当アーティスト	三ツ山一志（造形教育家）
実施校	田奈小学校（青葉区）
コーディネーター	横浜市民ギャラリー
実施科目・教科名	図画工作
実施概要	体験型／造形／個別支援学級 12名
実施日程	2022年11月4日（金）、2022年11月8日（火）、2022年11月9日（水）



## 授業のねらい

1日目は体育館を使い、赤・黄・青・白の4色の絵の具を混ぜて色作りを楽しみながら、大きな紙にみんなで絵を描く。2・3日目は、粘着テープを貼った台紙にボタンやストローなど日常にあるものを貼り合わせ、自分だけのオリジナルコラージュ作品を作る。子どもたちが自ら進んで行く意欲を大切に、誰でも取り組みやすく、自分の思った表現を自分でできる喜びを感じられる内容とする。

## 主な内容

<1日目>自分で絵の具を混ぜて作った色で大きな紙に自由に絵を描く。<2日目>～<3日目>カラフルな日用品を台紙に貼り付けて、立体コラージュ作品を作る（各日、クラスごとに実施。）

## アーティストから

田奈小学校の個別支援学級での活動は昨年に引き続き2回目だ。指導する私たちを覚えていてくれてやり易かった。昨年は教室くらいの大きな紙に赤、青、黄、白の4原色を混ぜ合わせ作った色で自由に絵の具を付けることをした。今年も同じことをした。絵を描くことの根源は「付ける」ことだ。自由に付けられないと自由に描けないことが分かる。今年はまだ1つ、両面テープを貼った台紙に100円ショップのグッズを選んで貼り付けるぺったんアートをした。みんな自分で選んだグッズを自分で決めたところに貼って「できた！」と喜んだ。誰かと比較されることのないことが自由なのではないかと子どもたちから教えられた。

## コーディネーターから

絵の具を使って行った活動では、講師が混ぜて作ったオレンジ色と、側にあったドッジボールの色とを見比べて「この2つは同じ色？」と問いかけると「ボールのオレンジは赤っぽい！」と元気よく答えてくれました。子どもたちがよく知っている遊具を例えに取り上げることで、より親しみを持ってお話を聞いているように感じました。その後の活動でも自分の思った色やかたちを作るために、しっかりと手を動かしながら活動を楽しんでいる姿が印象的でした。

## 先生から

1日目の大きな絵は、昨年度と同じ内容だったのもあり、子どもたちが落ち着いて取り組みました。昨年度やって「楽しかった！」という記憶が残っていたので、みんなとても楽しみにしていました。2日目のぺったんアートは、材料も身近にあるものですし、準備に時間もかからないので、普段の図工の時間にやってみたいと思える内容で参考になりました。子どもたちが一人ひとり個性ある面白い作品に仕上げているので、とても良かったです。

## 子どもたちから

大きな絵をらくがきするのが楽しかった。／お花の作品がうまくできてうれしかった。／絵の具で好きな感じにできた。まるさんかくしかく。／赤の絵の具でたくさんかいた。青でもやりたかった。／顔みたいにはっておもしろかった。虫も作りたい。／みつやま先生に助けてもらった。／またやりたい。／二つ目のしょうゆびんキャップほしい。はるの楽しい。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立つつじが丘小学校＋横浜市民ギャラリーあざみ野 ダンボールで自分だけのモビールを作ろう！

担当アーティスト	川崎和美（ガラス作家）
実施校	つつじが丘小学校（青葉区）
コーディネーター	横浜市民ギャラリーあざみ野
実施科目・教科名	図画工作
実施概要	体験型／造形／2学年3学級78名
実施日程	2022年12月8日(木)、2022年12月15日(木)、2022年12月16日(金)



### 授業のねらい

身体全体を使った造形活動。板ダンボールからいろいろなかたちを切り抜き、色塗りやモビール制作を行う。

### 主な内容

<1日目>～<2日目>板ダンボールからかたちを切り抜き、モビールをつくる。自分でモビールの組み合わせを決める（1日目に1組、2日目に2・3組で実施）。<3日目>かたちを切り抜いた側に色をつける。模様を考えながら自由に描く。

### アーティストから

ダンボールがゴリゴリと切れる音を「いい音をする！」と言ったり、「こんなのができた！」と形をおもしろがったり。一人でじっくりと楽しむ子、友達と見せ合っては「それ、いいね！」と言いつつ合う子。それぞれのペースでとても前向きに活動に取り組んでいました。カッターを持った手に任せて気持ち良く形を切ることが、ダンボールの活動の楽しみどころです。手を動かしながら偶然に「できちゃった形」を受け入れる経験が、日頃決められた時間や物事の中で過ごす子どもたちにとって、自分自身と対話し、のびのびと自己を解放する時間になっていたらいいなと思います。

### コーディネーターから

普段触れることのない素材に出会うと、子どもたちは「わあ！」と歓声をあげ、目を輝かせました。今回持って行った素材は1mを超える板ダンボール100枚以上。新しい素材や手法に出会うと子どもたちの創作心が刺激されますが、新しいことに挑戦するための心の土壌が育っているかどうかがとても大切です。それぞれに創意工夫を凝らし、この挑戦を見事にやり切った子どもたち。授業が終わる時、みんなの顔がとても輝いて見えました。

### 先生から

子どもたちがあんなに伸び伸びと表現している姿に、惚れ惚れとしました。芸術家！！と呼びたくなるくらいの奔放な切り方や色塗りに、勢いやリズム、思い切りの良さや元気がみなぎった作品が仕上がっていて驚きました。ちょっと戸惑って周りを見ながら取り組む子の、よく考えながらの色や形のこだわり、その子らしいとも言えるかわいらしい作品も、とても微笑ましく感じました。講師の方の分かりやすい説明とあたたかな支援、サポートの皆さまの臨機応変な対応力に優しい声かけ、準備や片付け、大きい段ボール使用の思い切りなど、担任ではなかなか踏み切れない内容だったと思います。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立荏田小学校＋横浜市民ギャラリーあざみ野 ダンボールアートを楽しもう

担当アーティスト	山田佐映子（造形作家）
実施校	荏田小学校（都筑区）
コーディネーター	横浜市民ギャラリーあざみ野
実施科目・教科名	図画工作
実施概要	体験型／造形／3 学年 2 学級 56 名
実施日程	2022 年 12 月 7 日(水)、2022 年 12 月 14 日(水)



### 授業のねらい

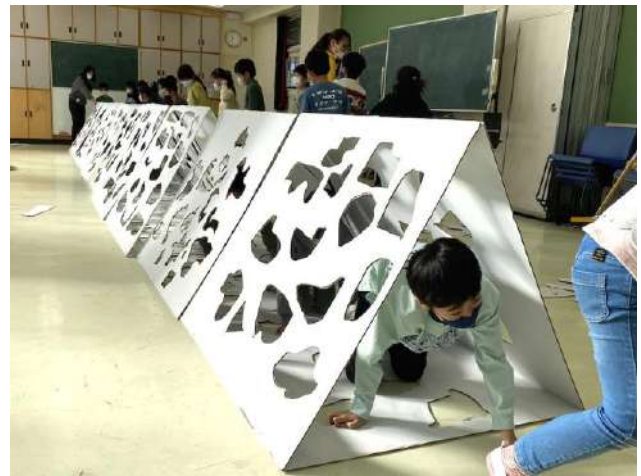
午前中に 1 クラスのみの授業とし、広いスペースで、2 日連続で実施する。板ダンボールをダンボールカッターで好きな形を切り抜く。自由に切り抜いた形から自分にしか見えない形を発見し、それに各自の絵の具を使用して絵を描く。切り抜いて残った大きなダンボールは、各自で作ったものをそれぞれつなげトンネルを作り遊ぶ。普段から慣れ親しんでいるダンボールが、創造によってアートに生まれ変わることを体験する。

### 主な内容

< 1 日目 > ～ < 2 日目 > 板ダンボールから形を切り抜く。切った形を選んで貼り合せ、好きなものを作って着彩、モビールにする（1 日目に 1 組、2 日目に 2 組で実施）。

### アーティストから

みんなで切り抜いた立体のダンボールを積み上げ眺めると、「わあ、なんか美術館みたい！」と感激していた様子が印象的でした。自然とダンボールの周りに集まり、くると回りながら鑑賞して楽しんでいました。ダンボールカッターの使用も、形をイメージする時間もまっすぐな姿勢で取り組んでくれました。そして、さらに先生たちが制作を引き継ぎ、モビール作りへと展開し展示してくれたことが、たいへんうれしく感じました。



### コーディネーターから

「今日はへんてこな形も切ってごらん。ここから出発して、行ったり来たりしているうちに…ほら！」人にはおのおの好きなものやこだわりがあります。適当にやる、抽象的な形も面白いと受け入れることは、大人でも難しい場合があります。にも関わらず、切り取られた形はどれもユニークでおおらか。さらに積み上げたり、並べてくぐってみたりするなど、ダンボールの素材ならではの面白さを体験しました。3 時間の通し授業でしたが、子どもたちは疲れた様子も見せず、終始楽しんでくれたようです。

### 先生から

大きな段ボール 1 枚を自由に切る活動は、普段なかなかできないので貴重な経験になりました。「失敗しちゃった。」「うまくいかない。」と困る子が一人もいなかったのも、とても楽しい活動だと思いました。

### 子どもたちから

モビールみたいにするときれいだった。／色々切るのが楽しかった。／最初はできるか心配だったけど、最後はいいのが作れてうれしかった。／たのしくてもう 1 回やりたい。／自分が作りたかった物を自由に作れて楽しかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立すみれが丘小学校＋横浜市民ギャラリーあざみ野 工業部品を使ってアート作品を作ろう

担当アーティスト	山田裕介（造形作家）
実施校	すみれが丘小学校（都筑区）
コーディネーター	横浜市民ギャラリーあざみ野
実施科目・教科名	図画工作
実施概要	体験型／金属加工／6学年2学級48名
実施日程	2022年7月6日(水)、2022年7月7日(木)、2022年7月8日(金)



### 授業のねらい

2018年から継続しているリサイクルアートのワークショップを実施する。送電システム会社の工業部品（古河電工パワーシステム提供）を用いて、自分にしか見えないアート作品を作る。最後に完成した作品を暗室で光で影をつけ投影しながら、お互いに講評し合う。影に映る自分の作品が別の表現に見えたり、他の意見を聞くことで、自分の表現とは違う多様な視点を自他ともに認めることができる感性を育む。

### 主な内容

<1日目>自分の作品のテーマを決める。グルーガンの使い方を学び、素材を選ぶ。<2日目>作品の制作を黙々と行う。<3日目>自分の作品を発表する。暗室で作品を投影し、みんなで講評する。

### アーティストから

元がなんだか解らないものを観る時、対象物を自分の知識の中にあるモノに変換する。はじめの変換さえうまく行けば、芋づる式にこの授業は完成に向かっていく。逆に想像の幅に制限があるモノ（商品やアニメキャラなど）を自分から離れた形式化されたものに変換しようとした場合、想像の幅が制限され苦勞する。今回は小学6年生を対象に実施し、皆うまい具合に自分の想像の幅を広げ作業ができていた。

### コーディネーターから

送電線のメーカーである古河電工パワーシステムズ株式会社より金属素材の提供を受け、その素材で現代アートを造形しました。子どもたちははじめは戸惑いながらも、すぐに自分のイメージした作品を制作していました。完成した作品を暗室で光で影をつけ投影しながら講評会をすると、自分の作品がイメージと違って見えたり、他の人の講評を受け入れたり、各人が客観的に評価し合うことができました。さらに送電線が社会インフラの基幹であることを学び、工業製品をアートにしたデュシャンの思考を学ぶことができました。

### 先生から

なかなか目にすることがない、地元企業が使っている工業製品の部品を材として使わせていただいたことで、キャリア教育にもつながりました。また、アーティストと自由に活動することで伸び伸びと活動できていました。一方で、育みたい資質・能力を考えると、ある程度テーマなどの縛りがあった方が思考力が働くようにも感じました。

### 子どもたちから

たくさん先生がいたので、いろんな人が手伝ってくれたから完成できた。／最近コロナで出前授業がなかったから楽しかった。／たくさん材料があつてよかった。／見たことがない材料がたくさんあつたので、はじめは困ったけど、楽しく活動できた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立秋葉小学校＋横浜市民ギャラリー 自分で色をつくろう！絵の具と粘土の活動

担当アーティスト	市毛早矢香（造形作家）
実施校	秋葉小学校（戸塚区）
コーディネーター	横浜市民ギャラリー
実施科目・教科名	図画工作
実施概要	体験型／造形／個別支援学級 56名
実施日程	2022年10月19日(水)、2022年10月27日(木)、2022年10月31日(月)



### 授業のねらい

人数が多いので2グループに分かれて活動する。1日目、2日目は各日2校時かけて絵の具の活動を行い、3日目は2校時ずつ粘土の活動を行う。異なる素材の活動を行うことで、子どもの興味の幅を担保する。

### 主な内容

<1日目>～<2日目>自分で絵の具を混ぜてつくった色で大きな紙に自由に絵を描く（各日、グループごとに実施）。<3日目>感触の良いカラフルな樹脂粘土をつかってレリーフをつくる。絵の具に続き混色も行う。

### アーティストから

今回は3原色＋白で「色づくり」をテーマに絵の具は皆で、粘土は個人で活動を行いました。大胆に混色する子、微妙な匙加減で色を調整する子、感触を味わいながら各々の「色の世界」に没頭していました。活動が進むにつれ、周りの表現に気づき「私の服の色を作ってみて！」等対話し、共感しあう姿も多く見られました。最終日にレリーフのメダルを首にかけた、誇らしげな笑顔が忘れられません。活動を通して自己と向き合い、やってみるものの楽しさが実感できたのではないのでしょうか。細やかな配慮をしていただいた先生方に深く感謝いたします。

### コーディネーターから

個別支援学級ということで、その子なりの関わり方で活動に参加できたら良いと思い、関わり方の間口の広い活動をアーティストにご提案いただきました。異なる2つの素材での活動でしたが、「色づくり」という共通のテーマを設けたことで、子どもたちの中でも活動がつながって感じられたのではないかと思います。色づくりに熱中する子、素材の感触を楽しむ子、友達と一緒に描く子、自分の好きなものを表現する子、いろいろな子どもたちに出会うことができました。

### 先生から

子どもたちが生き生きと楽しんで参加することができたことが何よりでした。色を混ぜることで、できる色を予想したりしなかったり、子どもたちの反応はさまざまでしたが、実態に応じた活動になっていて、学びが深まったように思います。私たちも「やってみよう」と思える活動でした。コーディネーターの方にも大いに助けていただき、活動が滞りなくできてありがたかったです。紙の大きさや裸足の活動など、今までに経験のない活動の中で、子どもの新たな一面が見られました。どんな色ができてアーティストの方が褒めてくれて、自信を持って活動できたのではないかと思います。

### 子どもたちから

大きな紙にみんなで自由に裸足で描いたのが楽しかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立南戸塚小学校＋横浜市民ギャラリー ダンボールの活動

担当アーティスト	川崎和美（ガラス作家）
実施校	南戸塚小学校（戸塚区）
コーディネーター	横浜市民ギャラリー
実施科目・教科名	図画工作
実施概要	体験型／造形／2学年2学級67名
実施日程	2022年11月10日(木)、2022年11月11日(金)、2022年11月17日(木)



### 授業のねらい

学校側からはダイナミックな活動という希望があり、大きなダンボールから形を切り抜く活動を行うことになった。1日目、2日目は各日2校時で1クラスずつダンボールを切り抜く活動、3日目は1校時ずつ切り抜いた形に色を塗る活動を行う。

### 主な内容

<1日目>～<2日目>ダンボール板から自由に形を切り抜き、切り抜いた形を何かに見立てたり組み合わせる（各日、1クラスずつ実施）。<3日目>形を切り抜いたダンボール板に全員で着彩する。

### アーティストから

普通の教室の雰囲気とはちょっと違う様子に、何をするのかとソワソワしている子どもたち。ダンボールカッターを紹介すると少し緊張して、なんか怖い…と言いつつも集中して話を聞いていました。怖い、と言っていたのも束の間、いざ使い始めるとすぐにコツを掴んでスイスイ使いこなして、大喜びのみんなです。くり抜いた「ヘンテコ」な形を見ては、雲みたい、動物かも、など、友達同士でさまざまなものに見立てて想像を広げたり、モビールにして飾ったそれぞれの形を見ながら、またお互いに意見し合っている姿が印象的でした。決まったものを作るのではなく、自分でくり抜いた形から想像を広げていく。自分で手を動かしながら思いつく。時間がかかっても自分と相談しながら試行錯誤する。制限の多い生活の中、今回の活動を通して少しでも「自分の思い」を楽しむ経験になっていたらいいと思います。

### コーディネーターから

切り抜いた形はさまざまで、ダンボールカッターを使いこなして伸び伸びと活動できたようです。切り抜いた形を見立てる時に、少し戸惑う子も見受けられましたが、友達の様子を見たり、例えばこんな風にもできるというヒントを伝えると、自分で納得するまで試行錯誤している姿も見られ、頼もしかったです。またマスキングテープの柄を合わせるなど細かく使う子も多く見られ、自分の「こうしたい！」気持ちに一生懸命向き合っている姿が印象的でした。

### 先生から

図画工作の時間では見られないようなきらきらした表情がたくさん見られました。やはり、プロのアーティストの方と接することで、児童の興味や関心が高まったものと感じました。また、ダイナミックな作品づくりということでもやる気が一層出たのではないかと思います。道具や材料の準備の仕方はとても参考になりました。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立笠間小学校＋横浜美術館

# 紙テープをつなげてみよう・紙で動物をつくろう

担当アーティスト	三ツ山一志（造形教育家）
実施校	笠間小学校（栄区）
コーディネーター	横浜美術館
実施科目・教科名	図画工作
実施概要	体験型／造形／1学年2学級・幼稚園児・保育園児 計124名
実施日程	2022年9月20日(火)、2022年9月21日(水)、2022年9月22日(木)



### 授業のねらい

幼保小の交流プログラムでは、1つのものを大勢で一緒につくる体験を通して、空間を活用したスケールの大きな造形活動にチャレンジする。3日目の小学生を対象としたプログラムでは、紙で立体的な動物をつくるプログラムを実施する。紙工作を通して、自由に制作するだけでなく、合理的にものをつくる「工作力」を身につけてもらう。

### 主な内容

<1日目>～<2日目>「紙テープをつなげてみよう」児童・園児のグループで取り組む色紙を使った造形活動（1日目に1組・幼保2園、2日目に2組・幼保1園のグループに分けて実施）<3日目>「紙で動物をつくろう」1組、2組／紙を折ったり切込みを入れたりして立体的な動物をつくる工作

### アーティストから

今回は年長園児と1年生児童の合同ワークショップと1年生児童対象の工作の活動を指導した。合同ワークショップでは色画用紙をテープ状に切ったものを体育館の床面につなげる活動をした。これは「つくる」のではなく「する」ことの楽しさを体験してもらうことが目的だ。1年生を対象にした工作は動物のボディの作り方を教えて、それを自分の決めた動物にそれぞれがする、という活動。同じことを教えて、それぞれの表現につなげることが目的だ。

### コーディネーターから

グループ活動では、友達との関わり合いの中で協力したり工夫したりしながら一緒に活動を展開する楽しさを味わい、動物づくりでは、一人ひとりが工作を通して自分のしたいことを計画し自分の手で実現することに挑戦しました。2つの活動には、素材に触れ造形の仕組みを発見することを通して生活に必要な力を養う要素が含まれており、三ツ山氏は各クラスの様子に合わせた導きにより、子どもたちの活発な活動を引き出していました。

### 先生から

普段の図画工作の授業では、教室という場で個人の作品を作ることが多いですが、このプログラムでは、体育館という広い場で個人の作業からつなげていき、1つのものとなるダイナミックな活動ができました。3日目の教室での活動では、個人の作品として持って帰れるものができたので良かったです。また、動物の型とステープラーの扱いという技能を指導する必要がある作品でしたが、次は間違いも含めて、もっと自由に制作させても良いかもしれないと感じました。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立上瀬谷小学校＋あじさいプラザ 学校の中で惑星を発見してみよう！

担当アーティスト	小瀬古文庫（擬態デザイナー）
実施校	上瀬谷小学校（瀬谷区）
コーディネート	瀬谷区民文化センターあじさいプラザ
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施概要	鑑賞型／造形／5 学年 2 学級 68 名
実施日程	2022 年 12 月 9 日（金）



### 授業のねらい

見慣れた日常の風景を見方を変えて、新たな視点で切り取って見ることによって、正解のない自由な発想をし、子ども同士が関わり合いながらコミュニケーションを取る喜びを感じる。また、完成した成果物を発表することで、児童ができたものの良さをお互いに褒め合い、認め合うことができるような風土や人間性の形成につなげることが目標。

### 主な内容

校内のさまざまなものに“惑星発見器”（黒紙の中央にレンズを付けたもの。それを通して見ると、物の表面のみがアップされて惑星のように見える）を当て、惑星採集をする。自分が見つけた惑星の写真を撮って、惑星名やどんな惑星なのかを各自考え、みんなの前で発表する。

### アーティストから

授業が始まった時から、子どもたちのボルテージが上がっているのを感じました。大人とのワークショップとは異なり、躊躇なくさまざまなものに惑星発見器を当てていく光景が印象的でした。校内での惑星採集も児童ごとに多様な着眼点が見られ、魅力的なデザインの数々が生まれました。このことはクリエイターとしても非常に刺激的な成果でした。ここでの「見慣れたものも視点を変えると新鮮に見える」という体験が、何らかの形で子どもたちの将来に生きてくれれば幸いです。



### コーディネーターから

「惑星発見器」を手にした子どもたちは、あっという間に校内に散らばり、思い思いの場所で惑星の採集に勤んでいました。集めた惑星に名前を付けたり、どんな惑星か考え、伝える作業は難しそうでしたが、互いの意見を否定することなく、さらに想像を広げていく姿に、伸び伸びと表現することの大切さを見て取ることができました。

### 先生から

コロナ禍を2年間過ごし、外部の方との接触も限られてきました。子どもたちは教員以外の方から直接お話を聞く機会もあまり持っていませんでしたが、このような機会があることで担任の持つ価値観以外にも触れることができました。また、高学年になり、間違いを嫌う児童も多く見られるようになりましたが、1つとして同じ作品が出来上がらないという体験を通して、自分や相手の作品を認めることの良さを感じたのではないかと思います。

### 子どもたちから

惑星発見器が思っていた形と違い印象に残った。惑星発見器に惑星に近づくための工夫がされていて「これを作ろう」と思ったその発想がすごいと感じた。／全員で見せ合いをした時、全員いろいろな惑星を見つけていて、こんなのもあったと分かって面白かった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

# 横浜市立共進中学校＋横浜美術館 PLAY デザインと遊ぶ

担当アーティスト	菊地敦己（グラフィックデザイナー、アートディレクター）
実施校	共進中学校（南区）
コーディネーター	横浜美術館
実施科目・教科名	美術
実施概要	体験型／デザイン／2学年4学級135名
実施日程	2022年11月24日（木）、2022年11月25日（金）



## 授業のねらい

講師のお話やワークショップを通して、デザインとは何かを考える。ものを並べたり、場所やものに言葉を当てはめたりするワークショップを通して、普段目にしているものの中に存在する意味や仕組みを発見する楽しさを体験する。新しいものを生み出すために、疑問を持ったり視点を変えたりすることの大切さを学ぶ。

## 主な内容

<1日目>～<2日目>ワーク①記憶した形を描きとめる、ワーク②持ち寄った「青いもの」「黄色いもの」を条件に沿って並び替える、講師の作品紹介（各日、2クラスずつ実施）

## アーティストから

モノやカタチを持つ情報を汲みとり、その関係性を探るワークショップを行いました。デザインは特殊な人のための技術ではないので、表現という目的を持たなくても、それぞれの日常にデザイン的な視点が存在していることを感じてもらえたらうれしく思います。明快な結果を目的としないワークショップでしたので成果を図るのは難しいですが、手応えは五分五分。集中を持続させるための工夫はもう少し必要だったと感じ、今後に役立てたいと思います。

## コーディネーターから

複雑な図形がモニターに映し出され、一瞬で消えてしまうと教室中にどよめきの声が上がりました。これは瞬時に見た形を記憶に留めて描いてみるワークショップでの1コマです。他に、みんなで持ち寄った青と黄色の日用品を、「長さ」「重さ」などの条件で床に並べて観察する活動も行いました。物事をさまざまな視点から検証し、その関係性を整理することがデザインの始まりであることを、楽しみながら体感できる時間になったと思います。

## 先生から

菊地さんの授業は、私自身のカリキュラム・マネジメントに大いに影響を与えてくださいました。デザインでは作品づくりもさることながら、デザインの視点を持ち、思考を広げていくことが大切であり、それは生徒の生き方や生活を豊かにするベースとなることを確信しました。菊地さんの授業の後、「共進中デザイン再発見！」という題材で学習を進めました。フィールドワークやプレゼンテーションを通して、生徒にデザインの視点で思考を広げ深めさせることができました。

## 子どもたちから

体験をもとに、形の特徴でイメージが変わることが学べたり、実際に並べてみて学んだりすることができ、楽しく分かりやすい授業でとても良かった。／物を見る時、いろいろな方向から関わっていくことで、新たな発見ができたり、物のおもしろさに改めて触ることができて、とても楽しむことができた。いつもの生活の場でも、いろいろな方向から向き合うことを大切にしたい。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立蒔田中学校＋Art Lab Ova なりきり、浮世絵模写

担当アーティスト	Art Lab Ova (アーティストユニット)
実施校	蒔田中学校 (南区)
コーディネーター	Art Lab Ova
実施科目・教科名	美術、総合的な学習の時間
実施概要	体験型／造形・絵画／夜間学級 15名
実施日程	2022年9月20日(火)、2022年10月7日(金)、2022年10月14日(金)



### 授業のねらい

今回は文化祭に向けて、生徒同士みんなで協力しながら作品を制作する。海外出身で日本語の分からない生徒もいるので、なるべく平易な日本語を利用し、必要であれば「やさしい日本語」で書かれた資料を配布する。

### 主な内容

<1日目>アクションペインティング<2日目>なりきり「浮世絵」を探して、ポーズをとって写真撮影<3日目>自分の写真に付け足して、浮世絵を完成させる

### アーティストから

海外の学校卒業者や不登校経験者が中心だったので、いわゆる日本の美術教育を受けたことがない人たちのための美術の授業でした。平易な日本語や英語での説明を心がけたとしても、たとえば美術用語自体が簡単ではなく、抽象画という概念のない人たちに、コンセプチュアルアートや、現代美術というものを短い時間で説明し体験を促すのは、美術教育や美術鑑賞体験のある小学生に対するのとは全くちがう感覚を持ちました。また12色相環を描いた経験があっても、実際に描く場面では混色が難しいなど、その都度、美術の先生に普段の様子を伺うなどして乗り切りました。とても新鮮な体験でした。

### コーディネーターから

日本語、やさしい日本語、英語、ベトナム語、タガログ語、ネパール語、中国語など、言語、年齢、背景など、すべてにおいて多様な場で、スタッフもなるべく平易な日本語と英語で話すなど試

みましたが、少し戸惑いました。聴覚過敏など繊細な方も多く、絵を高くあげて見せる場面では、廊下から見ている生徒に向けて掲げる場所を変えるなど臨機応変さが求められました。また、写真家のフラッシュに恐怖を感じる人もいました。最終的には「このような試みは普段できないので、3日間という日数も含めてとても良かった」と先生方にお声をかけていただき、ほっとしました。

### 先生から

今回は3回にわたっての体験ということで、普段できないことを経験することができました。初回のさまざまな技法による体験、2回目の鑑賞や写真撮影、そして3回目の自分をモデルにした作品づくり。どれも生徒にとって初めての貴重な経験となりました。写真撮影では、日頃苦手な生徒もいて心配していましたが、講師の方々のアドバイスのおかげで、全員最後まで取り組んでいたことが印象的でした。

### 子どもたちから

みんなの絵が面白かった。／写真を撮ることがなかったので面白かった。／楽しく絵を描くことができたし、多くのことを学べた。初めての絵画体験だった。／説明してくれた時の写真はこわかったが面白かった。／1回目はすごく楽しかったが、2回目の撮影はみんなが見るので恥ずかしかった。／最後の日は自分の絵に色を塗り、仕上げるのが楽しかった。

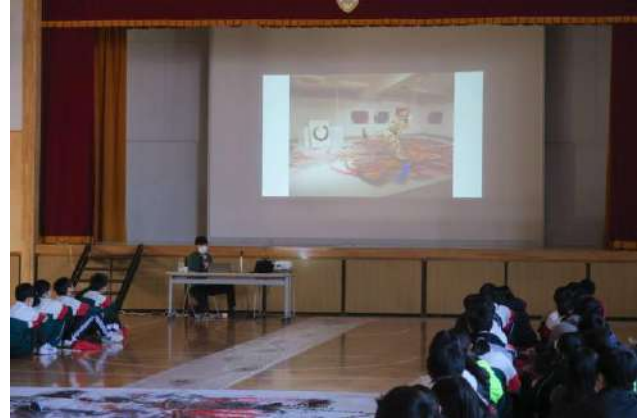




横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立篠原中学校＋横浜美術館 「衝撃」から生まれる表現

担当アーティスト	千葉大二郎[硬軟] (アーティスト)
実施校	篠原中学校 (港北区)
コーディネーター	横浜美術館
実施科目・教科名	美術
実施概要	鑑賞型／現代美術・パフォーマンス／3学年6学級 210名
実施日程	2023年2月17日(金)



### 授業のねらい

アーティストの表現に直に触れ、現代美術の新しい動向を知り、認識を広げる。表現やアーティストが自分たちの生活から遠く離れたものではなく、生きていく上でのヒントになることを知る。卒業後も主体的に美術鑑賞をしていくきっかけをつくる。感じたことや考えたことを発言や文章で表現する。

### 主な内容

体育館で、講師による自己紹介を受けたのち、ビッグフットによるパフォーマンスを鑑賞（大きな紙に足で絵を描く様子を間近で見る）。その後、普段制作している作品の解説や、美術をどのように捉えているかなどのレクチャーを聞く。

### アーティストから

鑑賞会の核となる要素を提案いただいていたので準備の筋道が立てやすく、会場構成の工夫も生徒らの鑑賞体験に好影響を与えたと感じます。講演内容の不足部分を補えるような質疑応答となり、真摯に耳を傾ける姿勢と理解力の高さに助けられました。生徒たちの反応に呼応するように移動・制作していた画家ビッグフットですが、完成した作品は不思議と調和の取れた構図に仕上がりに「篠原中の生徒との良い共作だった」と言いたい気分です。

### コーディネーターから

作家がビッグフットを捕獲して連れてきたという設定は、犬が校庭に入ってくることも、強い衝撃があったように感じます。そのビッグフットが4m×8mの紙に足で絵を描く様子は圧巻で、体育館に妙な熱気が立ち込めました。しかし、一見滑稽とも思える表現を講師が行うにいたった背景には、社会に対する考察や、誰も美術としての価値を見いだしていないものを美術の文脈に持ちこむ意識があります。楽しみながらも、表現とは何かを考える

きっかけになったのではないのでしょうか。

### 先生から

「学校に異質なものを持ち込む」が、今回この事業を利用したときに考えたテーマでした。今回講演していただいた千葉大二郎さんは絵画、彫刻などの表現領域にとらわれず、自身の直観とその場所に根付いている歴史文化を巧みに接続しながら、現代的な感覚で表現活動をされている方でしたので、生徒にとってはまさに「異質」な存在。学校の中では学ぶことの難しい、自由でユーモアのある表現に直に触れ、ときに笑い、ときに声を出して驚きながら、真剣に作家の声に耳を傾ける姿が印象的でした。千葉さん本人も、教育現場で自身の話がどう受け止められるのか不安もあったようですが、結果的に双方にとって多くの気づきがある授業となったと思います。また、授業を聴いて千葉さんの活動に興味を持った生徒が、別日に開催された千葉さんの展覧会に足を運び、そこでも交流が生まれたというお話を美術館の方から伺い、たいへんうれしく感じています。生徒たちは、こちらが思っている以上に「未知の状況」に対して柔軟で、新しいつながりの中から学びの種を手繰り寄せる力があります。その力を引き出すための手立てとして、この取組の意義を強く感じました。

### 子どもたちから

実際のパフォーマンスを目の前で見て、その迫力に驚いた。／意外なもの同士を組み合わせることも美術の面白さなんだと気づいた。／アーティストの方の考え方や表現方法がとても興味深かった。／身近なものから作品の着想を得るアーティストの方の視点が面白かった。／自分もこれから社会に出た時に、違った視点で物事を見てみようと思った。

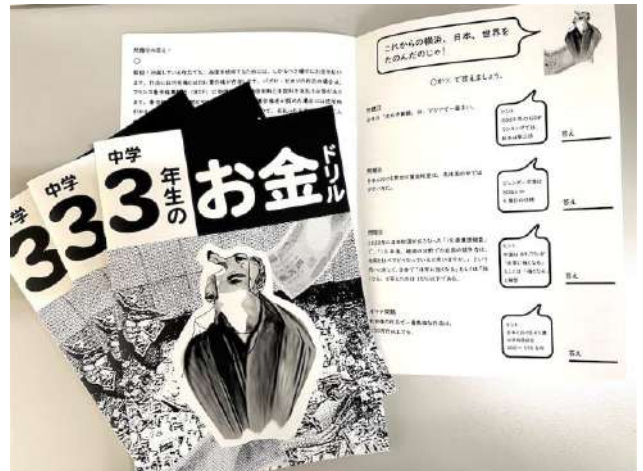


横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立領家中学校＋横浜美術館

# ガチで価値についていっぺんバッチバチに考えてみる会

担当アーティスト	松田修（アーティスト）
実施校	領家中学校（泉区）
コーディネーター	横浜美術館
実施科目・教科名	美術、総合的な学習の時間
実施概要	鑑賞型／現代美術／3学年5学級 157名
実施日程	2023年1月27日（金）



### 授業のねらい

生活に身近な「お金」の話を入力として、「価値」とは何かを考える。事前配布する「ドリル」の問題を解くことで、授業に関心を持ち、講師の考えを知る。授業では、答えの出にくい〇×問題に取り組み、「価値」について考える。講師の問いかけに対して、生徒一人ひとりが考えたり話したりすることで、自分を表現する。

### 主な内容

事前に「中学3年生のためのお金ドリル」を配布し身近なものや美術、文化予算等についてお金を入りに価値について考える。授業当日は「価値」についての〇×問題に取り組み、どう思うのか自分の考えを発表。

### アーティストから

お互いマスクで顔が覆われた、ただでさえ個を確認しにくい状況で、それでもひそかに集団に対する少数派や個の出現を望んでいた僕は、授業中、そんな存在を「いてる！」と発見するたびにうれしくなった。他にもインタビューをしに近づく僕から逃げ惑う生徒たちの光景が忘れられない。海を割ったモーゼの気持ちになった。しかし、半ば強制的に(?) 捕まえてインタビューした生徒は全員、「なるほど」とたいていの大人をうならせるような答えを持っていったから、それも驚きだった。「価値を考える」という答えのない、いじわるな質問であったにもかかわらず。言葉の選定など僕自身の反省も多いが、生徒たちが変なおじさんが来てオモロかったと思ってってくれていれば、将来何人かでもこの授業を思い出すようなことがあれば、それが一番うれしい。

### コーディネーターから

令和の中学生は「多様な価値観」について考える機会が多い世代かと思いますが、「価値」ってそもそも何だろうと、身近なものや美術を通じて考える機会をつくりました。授業は、講師の松田氏から正解のない問いが投げかけられ、生徒は自分の意思を〇×で表明し、松田氏はその理由を聞いてまわるという内容でした。中学生にとって、大人数の前で意思を表明し、発言するのは非常に勇気のいることだったと思います(大人でも難しい...)。それでも、個々が「自分なりの価値」について深く考えている様子はとても印象的でした。

### 先生から

自分の考えをまとめて意見として言う体験はそうないので、いろいろな感じ方を受ける生徒がいたと思います。教科の学習ではなく、自分の考えをその場で考えて行動していく、これからもそういった決断が人生において続いていく、そんなリハーサルになったと思います。

### 子どもたちから

価値は自分で決めることだと分かった。／考え方は人によってぜんぜん違うなと思った。／もっとお金に関する質問かと思った。／意外にも遠回しの質問で、意外にも難しい質問で回答のしがいがあった。／価値について考えるのもいいと思った。／人生はまだ長い。／お金大事。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「美術」

## 横浜市立浦舟特別支援学校＋S Tスポット横浜 見つける、表す、伝える

担当アーティスト	EduArt ((アート教育団体) (望月実音子、野村麻友))
実施校	浦舟特別支援学校 (南区)
コーディネーター	認定NPO 法人STスポット横浜
実施科目・教科名	図画工作、美術
実施概要	体験型/造形/院内学級・訪問指導学級の児童・生徒8名
実施日程	2023年1月19日(木)、2023年1月20日(金)、2023年1月27日(金)



### 授業のねらい

横浜市立で唯一の病弱特別支援学校。市内の病院にある院内学級と、院内学級のない病院へは訪問教育を行っているが、感染症対策として病院への入室制限があるため、限られた教員としか児童生徒と直接対面できない。そのため、入院・療養中の子どもたちに、外の世界や新しい世界の人と出会わせ、自分が表現したものが、誰かの心を動かすことを実感できる機会としたい。想像して創作し、表現の楽しさを感じてほしい。また、さまざまな表現方法や材に触れ、表現の幅を広げたい。

### 主な内容

<1日目>～<3日目>雑誌から切り抜いた写真等をパネルに貼り、カラーペンで脚色したコラージュ作品を各自制作し、出来上がった作品を鑑賞し合いながら、作品から思い浮かんだ言葉や文章を共有し合った。(1～2日目:院内学級・訪問指導学級を対象に各日、異なる児童・生徒に実施。本校にいるアーティストとオンラインでつないで実施。3日目:1～2日目とは異なる院内学級を対象に対面で実施。)

### アーティストから

この度、浦舟特別支援学校の子どもたちと「視覚的言葉あそびリレー」と題したアートに取り組みました。木製のパネルに古雑誌から画像を切り貼りするコラージュを制作。コラージュとは、既存の世界から発想の種を拾い、偶然の重なり合いから1つの作品を導き出す手法です。複数の動物の画像を組み合わせて架空の生き物を作る子ども。いろいろなグラデーションの青で深海を表現する子ども。最後に作品からキーワードを集め、言葉と画像で作品集に仕上げました。幅広い年齢の子どもたちが学ぶ浦舟特別支援学校で、一人ひとりが個性を発揮し、素敵な面白い作品がたくさん生まれました。みなさんと、見つけること、表すこと、伝えることの喜びを分かちあうことができた3日間となりました。

### コーディネーターから

当初はすべて本校からのオンラインでの実施を想定していましたが、制限が緩和された福浦(横浜市立大学附属病院)の院内学級だけ、対面での実施が可能になるよう、先生方に手配・調整いただきました。感染症の状況や、それぞれの子どもたちの病状から、各日数人ずつの実施となりましたが、事前に材料とビデオメッセージを各病院へ届けたり、Google meetを2部屋に分けたりと、オンラインでも一人ひとりと丁寧なやりとりができるよう手配いただきました。院内で子どもたちの横でサポートに入ってくれた先生方も、配信元の本校でサポートしてくださった先生方も、積極的に制作を楽しんで雰囲気づくりに協力くださり、離れていても学校全体と一緒に楽しんでいる雰囲気がつくれたことで、子どもたちも安心して表現を楽しんでいたことが、とても印象に残っています。

### 先生から

本校の児童・生徒が在籍している各病院の実施に関わる諸条件について、コーディネーターとアーティストが連携して情報共有を図っていただきました。講義スタイル(リモートと対面)、活動時間(2タイプの活動時間)、材料(木材パネルと紙ボード)などを事前に複数提示していただくことにより、当日はねらいに沿った活動を行うことができました。

### 子どもたちから

自由で自分の考えに貼れたり切ったりできたので、楽しかった。/こういうアートを初めてやって楽しかった。/ちいさいとりがおもいで。/はじめてだったけれどうまくできた。/状況が違う写真を組み合わせて、新たな1シーンを作ることが芸術的で良いと感じた。

## 伝統芸能分野の取組



古くから伝わる楽器が織りなす音楽や、歴史を体現している  
伝統芸能特有のしぐさや身体表現、話芸の鑑賞や体験など、  
普段触れる機会の少ない伝統芸能の世界を感じてみます。  
知らない世界と出会う楽しさがひろがります。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立上末吉小学校＋サルビアホール 和楽器に触れ、わが国の音楽の良さを感じ取ろう1

担当アーティスト 鎌田美穂子（箏奏者）、片岡由紀（箏奏者）、上田麻里名（箏奏者）、渡辺淳（尺八奏者）

実施校 上末吉小学校（鶴見区）

コーディネーター 鶴見区民文化センターサルビアホール

実施科目・教科名 音楽

実施概要 体験型／邦楽／5 学年 3 学級 85 名

実施日程 2023 年 1 月 16 日(月)、2023 年 1 月 17 日(火)、2023 年 1 月 18 日(水)



## 授業のねらい

伝統芸術（音楽）を生で触れることで、わが国の音楽の良さを感じ世界観を広げるきっかけにする。また、本物の和楽器（箏）に触れ、演奏を体験することによって、わが国の音楽に対する関心を高めるとともに、みんなできつくりあげる一体感を味わうことを目指す。

## 主な内容

<1 日目>～<3 日目>箏と尺八の鑑賞・箏についての学習・箏体験「さくら変奏曲」（1 日目に 5 年 1 組、2 日目に 5 年 2 組、3 日目に 5 年 3 組で実施。）

## アーティストから

昨年に引き続き同じ内容でということでしたが、今回は合奏に、合いの手で手拍子でリズムを加えたり、歌をつけてみようと思いました。残念ながらそこまで到達できませんでしたが、押手は隣の児童が押したり、弾かない児童が「九九十」と弾く絃で歌ってくれ、合奏に一体感が生まれました。今年は学校側もより積極的で、4 階の音楽室への箏 12 面の他、付属品などを複数の先生方に運んでいただき、たいへん助かりました。学校もこの授業に意義を感じてくださっているのだと感じました。肝心の児童たちですが、集中して臨んでいる子、散漫な子、それぞれの個性があります。それでも授業が終わる頃には、難しくも楽しかったという感想がほとんどの様子で何よりです。心配なのはどちらでもない無気力な子。余計なお世話なことかもしれないですが、この場合は個性というより背景を心配します。音楽や箏に触れることで生気が芽生えて欲しいと音楽家なら望んでしまいます。箏演奏家として、このアウトリーチでは普及が第一目的ですが、芸術家としては生きるエネルギーも渡していきたいと望むところです。

## コーディネーターから

鑑賞も講義も集中して聴いていたのが印象的でした。体験は箏 1 面を 2、3 人で交代で演奏、講師 4 人が巡回で指導し、最後はほとんどの児童が 1 曲弾けるようになりました。初めて触る楽器への難しさも感じつつ、達成感も得られた様子でした。合奏では「九九十」と、弾く絃の歌も加わり、一体感のある楽しい時間でした。今回の体験だけで終わらず、邦楽に触れる機会を学校や家庭で、社会でつくっていききたい、その一助になればと思います。演奏家のエネルギーを受け取り、充電した 3 日間でした。

## 先生から

実際に箏や尺八の音色に触れ、講師の方との演奏を聴くことで、箏や尺八などの和楽器への理解と伝統音楽への親しみが深まりました。子どもたちの興味・関心が高まりとても有意義な体験となりました。体験する機会がなかなかない和楽器体験をすることができ、とても良かったです。音楽専科としても、日本の伝統文化としての和楽器を教えることが難しく、授業をしていただいても勉強になりました。

## 子どもたちから

プロの人のえんそうを生でできてうれしかった。／おこをやってみて音がひびき楽しかった。／次はさらにむずかしい曲にもちょうせんしてみたい！！／もう一回やりたい！／色々な種類のことがあったり本数によって名前が変わったりおもしろかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立豊岡小学校＋横浜にぎわい座 「寄席の芸（落語・色物）」を鑑賞しよう1

担当アーティスト	桂笹丸（落語家）、林家喜之輔（紙切り師）
実施校	豊岡小学校（鶴見区）
コーディネーター	横浜にぎわい座
実施科目・教科名	総合的な学習の時間、国語
実施概要	鑑賞型／落語／6学年3学級102名
実施日程	2023年1月26日（木）



### 授業のねらい

日本の伝統芸能のひとつである「落語」を通して、「面白さ」を人に伝える方法を体験する。生の「落語」を見て、感動を味わわせたい。

### 主な内容

落語解説、体験（小唄、所作など）、落語・色物（紙切り）鑑賞

### アーティストから

豊岡小学校での公演はこちらも非常に楽しくやらせてもらえました。というのもまず子どもたちがとても元気で、何か言えばきちんとそれに反応してくれる賢い子たちばかりでした。実際に高座に上がって小唄体験をしてもらったのですが、積極的にやりたがる子が多かったこともうれしく頼もしい限りでした。6年生というと学校によっては恥ずかしがったりおとなしかったりすることもあります。今回の公演をきっかけに落語に興味を持ってもらえたり、人前で話すことの経験値としてくれたら幸いです。

### コーディネーターから

冒頭の落語講座では、紙切りの喜之輔さんも協力して、座布団や着物の説明を行いました。小唄の体験コーナーでは5名の男子が参加し、オリジナルの演出を交えながら、それぞれの「高座」をしっかりとこなしていたのは見事でした。後半は落語と紙切りを鑑賞。底冷えのする寒い日でしたが、最初から最後まで集中して楽しんでいる様子うかがえました。人前で話すこと、人に何かを伝えること、その方法のヒントを得る機会になってくれたらうれしいです。



### 先生から

やはり、子どもが本物に触れたことで感動を味わえたことが一番です。惹きつけられる語りは、動画では味わえません。また、紙切りの方との生のやりとり。子どもが興奮しながらやりとりし、見入っていたこと…。そんな素晴らしい出会いをいただけたことに感謝ばかりです。

### 子どもたちから

めっちゃわかった。／落語の所作の意味がわかった。／実際にできてよかった。／特に、先生の形を切るのがめっちゃすごかった。／すごくおもしろくて、この1日は、すごく楽しい1日になった。／同学年の人たちが落語を体験しているのを見るのがおもしろかった！



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立馬場小学校＋サルビアホール

### 和楽器に触れ、わが国の音楽の良さを感じ取ろう2

担当アーティスト	鎌田美穂子（箏奏者）、片岡由紀（箏奏者）、上田麻里名（箏奏者）、長谷川将山（尺八奏者）
実施校	馬場小学校（鶴見区）
コーディネーター	鶴見区民文化センターサルビアホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／邦楽／6学年3学級114名 ※4年生3クラス127人も鑑賞のみ参加
実施日程	2022年9月7日（水）



#### 授業のねらい

音楽科における学習の主題「わが国や諸外国の音楽の特徴を感じ取ろう」に基づき、和楽器による生の演奏を聴いたり体験したりすることで、その特徴に気づき、わが国の良さを感じ取ることができる感動する心を育てる。

#### 主な内容

和楽器鑑賞、箏についての学習、箏体験「さくら」

#### アーティストから

鑑賞では対象学年の他に別の学年の児童も集まり、有意義でありました。体験は7～8名が1面で「さくらさくら」の「野山も里も」の一節を弾く内容でした。3周ほどすると児童たち自身も上達するのが分かり、楽しくなっていく様子がよく伝わってきました。個人的に、他の学校での体験授業では「さくらさくら」を全部体験し、最後は講師たちと合奏という内容が多くありましたが、この度の短い場合でも児童ののめり込む様子が見え、可能性を感じました。鑑賞と体験、どちらが前後に組まれたらどのように変わるのかはまだ分かりませんが、別々の時間に組まれるとより充実する授業になることは間違いないです。子どもたちにより深く印象に残ればありがたいと思います。ただ9月の体育館は暑いです。1面ずつ付いた講師については、学校の音楽の先生も教えられていましたが、この度は尺八奏者のご快諾のおかげで細かい指導もしていただきました（全ての尺八奏者が可能な訳ではありません）。1クラス36名でも多いと思いましたが、40名はやはり多く感じられました。体験授業前の手洗いの徹底、チーム分けなどの子どもたちの動線、また準備や片付けなど、学校のご協力に深く感謝申し上げます。

#### コーディネーターから

鑑賞と体験の両方を行う場合は、通常1日1クラスずつ行っている内容を、ダイジェスト版で1曲1曲を短くし、1日で1学年をまとめて実施しました。一人ひとりとゆっくり向き合う時間は少なかったですが、邦楽の魅力はしっかり伝わったと実感しました。取り組む時間が短い分、飽きることなく集中していたように感じました。今回の体験を機に、今後も邦楽に触れる機会を継続して欲しいと強く思いましたし、そういう機会を提供していきたいと思いました。また、9月の体育館はとても蒸し暑く、エアコンの入らない場所で開催する場合は、時期をよく検討する必要がありますと思いました。

#### 先生から

生演奏の迫力や美しい音色や響きを体験できたことは、子どもたちにとって大きな経験となりました。素晴らしい演奏鑑賞に加え、実際に箏の演奏を教えていただき、真剣に箏に向き合っている子どもたちの姿が印象的でした。1日で鑑賞だけでなく体験もぜひお願いしたいというこちらの要望を受けてくださったアーティストの方々、こまめに対応してくださったコーディネーターの方に感謝いたします。

#### 子どもたちから

尺八の力強い演奏や箏のきれいな音色が心に残った。／音楽という学習の延長線だったが、日本の伝統についてもっと知りたいと思った。／音楽で人の気持ちが変わることを実感した。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立神奈川小学校+かなっくホール 歌舞伎囃子方の表現方法を学び、古典芸能を知ろう

担当アーティスト	望月秀幸（囃子方）、住田福十郎（囃子方）、杵屋五之吉（三味線奏者）
実施校	神奈川小学校（神奈川区）
コーディネーター	神奈川区民文化センターかなっくホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／邦楽／4 学年 2 学級 53 名
実施日程	2022 年 11 月 4 日（金）、2022 年 11 月 11 日（金）、2022 年 11 月 18 日（金）



## 授業のねらい

わが国のリズムや旋律に親しみ、自分たちの表現を工夫することを目的とする。まずは歌舞伎について知り、歌舞伎囃子方が使ういろいろな楽器や音色に親しむ。五線譜では表せない日本の楽器で、お囃子古典フレーズの「狂言カッコ」を演奏し、水や雨、雪、風など自然の音を工夫しながら表現し、5チームに分かれて作曲する。

## 主な内容

<1日目>歌舞伎囃子について知り、「狂言カッコ」を練習する<2日目>グループで作ったお話に音をつけていく<3日目>各グループが三味線と共演し、通して演奏する

## アーティストから

発表会に向けて、練習の回数を重ねる度にどんどん曲の完成度が上がり、教えている立場から見てもウキウキしました。自分たちで考えた物語とそれに合わせた囃子曲。ただ楽器を鳴らすのではなく、序破急を使って演奏する。どこが楽曲の見せ場なのか、チームの仲間と相談し合う。音楽の魅力を自分たちで発見し、素晴らしい作品をたくさん作ってくれました。4年生の皆さん、一生懸命頑張ってくれてありがとう！

## コーディネーターから

例年、限られた時間を最大限に使い、発表会までなだれ込んでいくようなプログラムですが、時間が足りないからこそ仲間と結束できる、音楽を超えたところに目的があるといえる内容です。今年の4年生は他のグループの稽古にも興味を持ち、一緒に「狂言カッコ」のリズムを打つなど積極的に関わっていただきました。先生方のご協力の賜物です。素晴らしい経験を出演者とスタッフもさせていただきました。

## 先生から

音楽のお囃子づくりと関連させることができましたし、かなっくホールで発表させていただく貴重な経験ができました。自分たちの発表のために、たくさんの人たちが関わってくださっていることを知ることができたと思います。

## 子どもたちから

いろいろなリズムがあった。／きんちょうかんをかんじたので、またぶたいに立ちたいとかんじた。／いろんながつきを扱えてたのしかった。／大だいこをならせて楽しかった。／かぶきをはじめてやってたのしかった。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立幸ヶ谷小学校+かなっくホール 日本の伝統芸能に親しもう

担当アーティスト	吉澤延隆（箏奏者）
実施校	幸ヶ谷小学校（神奈川区）
コーディネート	神奈川区民文化センターかなっくホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／箏／4学年4学級120名
実施日程	2022年12月14日(水)、2022年12月15日(木)



### 授業のねらい

日本に古くから伝わる楽器(箏)が表す音に触れ、「わが国の音楽」に親しむ。

### 主な内容

<1日目>～<2日目>14面用意し、2人1組になり協力して「さくらさくら」を演奏する。(各日、2クラスずつ実施。)

### アーティストから

プログラムは、「空に憧れる気持ち」を子どもたちに尋ね演奏した曲の鑑賞に始まり、楽器の歴史、名称、奏法のクイズ形式・楽器紹介、そして授業時間の半分を「さくらさくら」の演奏体験で構成しました。演奏体験では“流し爪”と呼ばれる伝統的な奏法で曲が終止するよう楽譜を作成し、子どもたちがより楽器演奏に充実感が得られるよう工夫しました。コロナ禍で楽器体験の機会提供が減っている中、私自身にとっても新鮮な時間となりました。

### コーディネーターから

授業開始冒頭の講師による模範演奏に、魅入られたように聞き入る子どもたちの姿が印象的でした。「また、箏が弾きたい」と初日の授業を受けた子どもたちが音楽ルームに来たのを見て、改めて体験授業の大切さと意義を実感しました。講師の優しく、熱いご指導、そして楽器の搬出入までお手伝いいただいた先生方のご協力に感謝いたします。

### 先生から

児童の欠席の時期と重なり残念な面もありましたが、児童2人につき1面の箏と、箏爪も多様な種類をご用意いただき本当にありがたかったです。1時間に体験の中で一流の本物の音を聴き、実際に箏に触れる時間もたっぷり取れ、後半には「さくらさくら」の演奏もできるようになり、子どもたちにとって貴重な素晴らしい時間となりました。休み時間に箏を触りに来る子どもたちも増え、興味津々の様子でした。

### 子どもたちから

「鳥のように」という曲の曲をひいてくれた。／いろいろな音が出てすごいと思った。／いろいろな様子を思い浮かべることができた。／コツを教えてもらったらい音が出てひけるようになった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立浅間台小学校＋STスポット横浜 お箏の魅力を感じ、演奏してみよう

担当アーティスト	荒井靖水（薩摩琵琶奏者）、渡邊勝代（箏奏者）
実施校	浅間台小学校（西区）
コーディネーター	認定NPO法人STスポット横浜
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／箏／5学年2学級54名・個別支援学級19名 ※3日目に個別支援学級4～6学年が体験・同学級1～3学年は鑑賞のみ参加
実施日程	2023年1月11日(水)、2023年1月12日(木)、2023年1月13日(金)



## 授業のねらい

触れることの少ない楽器についての理解を深め、伝統音楽への興味関心を持ってもらうきっかけとする。また、音色や演奏の仕方の異なる楽器を使って新たな表現をつくりあげたり、学び合いの中でお互いを認め合い、強調し合って取り組んだりできることを目指す。

## 主な内容

<1日目>お箏クイズ①、「さくらさくら」の演奏体験<2日目>お箏クイズ②、現代曲の演奏体験①、それぞれのアーティストによる演奏<3日目>【個別支援学級】お箏クイズ、「さくらさくら」の演奏体験、アーティストと先生によるミニコンサート※体験は個別支援学級4～6年生対象、ミニコンサートのみ個別支援学級1～3年生も参加。【5年生】楽譜クイズ、現代曲の演奏体験②、アーティストによる演奏『さくらさくら』、先生たちとアーティストで現代曲のコンサート

## アーティストから

子どもが和楽器に最初に取り組む時に難しいと感じず、スッと体験してくれたことにうれしい気持ちです。実際にお箏を体験した時、できるできないより最後までチャレンジしていました。音楽の授業でしたが、あまり音楽の授業と感じてなかったようにも思いました。小学校の時に体験することで、大人になっても抵抗なく覚えてくれたらうれしいです。（荒井）

まずは和服姿の私たちに驚いた様子でしたが、上級生から昨年の噂を耳にし、体験できるのを楽しみにしていたそうです。初日の「さくら」を難なくクリアしたところで、早速疑問に思ったことを次々に質問に来てくれました。翌日からの課題曲では、私たちの休符の取り方を真似ることでリズムを感じ取り、互いに教え合

ったり協力したりしながら理解を深めていく様子が見られました。最終日にはメロディーを弾くだけでなく、伴奏との息も合わせての演奏となり、夢中になっていく姿がとても眩しく感じられた3日間でした。（渡邊）

## コーディネーターから

昨年度の実施と同じアーティストだったことで、個別支援学級の児童たちはイメージがしやすく、イヤーマフをしている子も箏に顔を近づけて一つひとつの弦の音や響きを感じていました。5年生の児童たちも、最初は「絶対ムリ」「自信ない」と苦戦していましたが、お箏クイズでは積極的に発言したりアーティストの演奏を覗き込んだりしており、弾ける楽しさを感じるごとに彼らの演奏する音にもそれが表れていました。

## 先生から

今回で荒井さん、渡邊さんに来ていただくのが2度目になりますが、的確なご指導や声のかけ方などにより、子どもたちがとても集中し、意欲的に取り組む姿に感銘を受けました。また、演奏が素晴らしく、5年生の児童はもちろん、個別支援学級の低学年の子どもたちもアーティストの手元を食い入るように見つめ、集中して聴き入っている姿が印象的でした。たいへん充実した3日間でした。

## 子どもたちから

荒井さんの琵琶が迫力があってすごかった。／渡邊さんのお箏の音がきれいな音だった。／いい雰囲気できて、すごく楽しかった。／おことがスーパー楽しかった。／クイズが楽しかった。／音が気持ちよかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立みなとみらい本町小学校＋岩間市民プラザ 箏の鑑賞と体験をしよう

担当アーティスト	奥田雅楽之一（地唄三弦・生田流箏曲演奏家、作曲家）／アシスタント：新見雅晃（生田流箏曲演奏家）
実施校	みなとみらい本町小学校（西区）
コーディネーター	横浜市岩間市民プラザ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／箏／4学年2学級76名
実施日程	2023年2月28日（火）



## 授業のねらい

生演奏に接することが減っているとともに貴重な機会にもなっている。直接受けるパワーを吸収し、その響きに共感し自己表現につなげたい。

## 主な内容

箏の鑑賞と体験

## アーティストから

4年生を対象に古典芸能「箏曲」の授業を行いました。2クラス各2時間ずつで、児童自身が演奏に挑戦する「体験」では、さくらさくらの旋律を演奏することを目標とし、児童同士が声を掛け合いながら楽しく取り組む様子が伝わりました。講師が演奏する「鑑賞」では、芸能の起りから現代まで時系列に沿って選曲をし、演奏しました。児童はよく集中して聴いていました。

## コーディネーターから

1日の内に、箏の鑑賞と大人数の子どもたち全員が箏に触れて、演奏するという難解とも思えるプログラムが講師の力量や学校の先生の協力でスムーズに行われました。打合せ時とコーディネーターが変更になるという不便をおかけしましたが、柔軟にご対応いただきました。子どもたちの反応がとても良かったのが印象的で、集中力も途切れずあっという間に時間が過ぎました。

## 先生から

私たち教師にとっても「和楽器」はあまり身近な存在ではありません。ゆえに、魅力を伝えるのもとても難しいです。しかし今回、奏者の方に来ていただき、楽器の魅力をアツク語っていただいたり、プロが奏でる音色の素晴らしさに子どもたちは引き込まれ、特別な時間を過ごすことができました。わが国の音楽の魅力を存分に味わえた貴重な時間でした。

## 子どもたちから

たったの13本しかない弦で、あんな音が出るなんてすごいと思った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立本牧南小学校＋あっちこっち お囃子を体験しよう！小鼓、太鼓演奏で合奏に挑戦！ 1

担当アーティスト	望月太左衛（邦楽囃子方）
実施校	本牧南小学校（中区）
コーディネーター	認定NPO法人あっちこっち
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／邦楽／5・6学年3学級88名
実施日程	2022年11月1日(火)、2022年11月2日(水)、2022年11月4日(金)



## 授業のねらい

自分たちの生活圏と異なる空間、時間の中で生きている質の高い文化に触れ、感動し、共感し、今後の生活意欲につなげる。今まで気付くことのなかった自分の能力や感受性に気づき、夢を持つきっかけとなしてほしい。

## 主な内容

<1日目>鼓、お囃子ってなんだろう<2日目>楽器を体験しよう<3日目>発表会をしよう

## アーティストから

歴史ある三溪園が近くにあるという環境の中、日本の古いもの、伝統的なものに対して垣根なく子どもたちが吸収していくことが感じられる授業でした。また学校の先生方が楽器運びなど積極的にご協力くださり、心強く思いました。子どものためにという大人たちの熱意が子どもたちは一番うれしく、音楽がより深く浸透してゆきました。学校側、実演者の連携の要であるコーディネーターの皆さんのご尽力の賜物だと思いました。

## コーディネーターから

この3日間とても充実した貴重な時間を、われわれスタッフも過ごすことができました。「邦楽」というなじみのない領域で、難しそうで踏み込みにくい領域の音楽分野である人はとても多いと思います。私自身、中高生を経験してきて「邦楽」というジャンルに触れてくれる先生には出逢いませんでしたので、今回のこの体験を通して、児童を含め先生方までが興味を持ち、楽しく率先して伝統音楽に触れている様子や、先生方のエネルギーと愛に溢

れた分かりやすいご指導をされている様子に、感激する毎日でした。3日目はそれぞれの学年のチームワークと多学年による支え合いの見える成果発表から、先生方の熱い想いを汲み取ることができ、われわれスタッフとしてもやり甲斐のある非常に貴重な体験をさせていただけたことに感謝をしています。今後、多くの児童やそれに伴う教員の皆さんにも、興味深く日本の伝統文化に触れていただけるような架け橋になりたいと強く思いました。

## 先生から

子どもたちがお囃子に興味を持ち、小鼓や大太鼓のリズムを自ら練習する姿が見られました。6年生は歴史の文化の学習に体験したことを生かすことができましたし、発表会の演奏を保護者や下級生にも聴いてもらったことで、この取組の良さを広く知ってもらうことができました。合唱は下級生も一緒に参加することができて、とても良い発表会になりました。

## 子どもたちから

小鼓や何かの演奏というのは、人に伝える力があることに気づかされた。／3日目のプロの望月さんたちが、本当の歌舞伎みたいに演奏してくれたのが思い出に残った。小鼓の持ち方を教えてもらったのも思い出に残った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立港南台第三小学校＋吉野町市民プラザ お箏を体験しよう！

担当アーティスト	奥田雅楽之一（地唄三弦・生田流箏曲演奏家、作曲家）／アシスタント：新見雅晃（生田流箏曲演奏家）、川村雅楽葵代（箏奏者）、神立雅美順（箏奏者）、濱田雅結（箏奏者）、菊風ゆうこ（箏奏者）
実施校	港南台第三小学校（港南区）
コーディネーター	横浜市吉野町市民プラザ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／箏／5学年1学級35名
実施日程	2022年7月11日(月)、2022年7月12日(火)、2022年7月13日(水)



### 授業のねらい

本校には和楽器（箏）がないので、本物の楽器に触れたり演奏体験する機会にしたい。また、プロの演奏を聴かせてあげたい。

### 主な内容

<1日目>お箏の基本を学習し、実際にお箏に触れて音を出してみよう<2日目>「さくら」を一人ひとりで演奏してみよう<3日目>3グループに分けて「さくら」の演奏発表会、講師の皆さんによるミニ演奏会

### アーティストから

伝統芸能である箏をなるべく長い時間体験できるように、箏を13面用意して2～3名ずつの少人数班で習うことのできる授業にしました。そして目標を、学習曲「さくら」を最終日に発表会形式で演奏披露する、に設定。演奏体験だけでなく箏曲の歴史や箏の構造も学習してもらいました。児童たちはこの時間が待ち遠しいのか、3日間積極的に箏に向き合ってくれ、講師としてもやりがいのある授業となりました。なお講師によるミニ演奏会では現代音楽調律での楽曲も演奏して、箏の表現力の奥深さを実感してもらいました。

### コーディネーターから

音楽の教科書に箏が写真入りで載っているようで、授業の最初に講師がこの弦の名称は何て言うと思う？の投げかけに「斗、為、巾！」と元気な声が児童から返ってきて、滑り出しは絶好調。演奏体験学習曲もおなじみの「さくら」でしたので、児童たちは3日間のめり込むように箏を奏でていました。また、ちょっと指使いがおぼつかない子に、同じ班の子が教えてあげる姿も見かけられ、児童間の連帯感も育まれたかなと思います。演奏発表会では「礼に始まり、礼に終わる」心得を教わり、伝統芸能音楽だけではなく、日本人の心得も学習できた3日間でした。

### 先生から

プロの演奏に触れることができ、とても有意義な時間となりました。

### 子どもたちから

発表会では少しミスをしたが、よくできたと思う。／最後に先生たちが演奏したり、歴史の話をいっぱいしてくれてとても楽しかった。／先生方の演奏は、とても迫力があってすごいと思った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立野庭すずかけ小学校＋吉野町市民プラザ 箏の歴史と生演奏

担当アーティスト	奥田雅楽之一（地唄三弦・生田流箏曲演奏家、作曲家）／アシスタント：新見雅晃（生田流箏曲演奏家）
実施校	野庭すずかけ小学校（港南区）
コーディネーター	横浜市吉野町市民プラザ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／箏／4学年1学級36名
実施日程	2023年1月30日(月)



### 授業のねらい

講師によるお箏の演奏を鑑賞。繊細な和楽器の生の音に触れ、和楽器の音色やわが国の音楽の良さに触れさせたい。

### 主な内容

箏各部位の説明、箏の歴史と歴代演奏者および曲目の紹介、箏の生演奏

### アーティストから

箏は教科書に載っているそうですが、目の前で本物を目にするこ  
とや箏の歴史を学ぶ機会はないと思いますので、子どもたちにと  
って貴重な体験ができた授業だと思います。また各時代の代表曲  
を演奏しましたが、子どもたちがよく耳にする「さくら」とは全  
く違う複雑な音色を耳にしたことで、箏の表現力の奥深さを知っ  
てもらえたと思います。

### コーディネーターから

歴史に沿って、その時代ごとの有名な箏曲演奏者の代表曲を演奏  
してもらえたことは、非常に良かったです。箏で石畳の雨だれの  
音を表現した曲には、児童も驚いたことと思います。最後に質問  
タイムを設けていただくことで、聴くだけでなく学習もできた素  
晴らしい授業になりました。

### 先生から

4学年の音楽の教科書にかなり詳しく箏の内容が掲載されてい  
て、授業で取り扱うが、なじみのない楽器と音なのでぜひ本物の  
箏の音色を聴かせたいと思い実施の申込みをしました。コーディネ  
ーターの方がアーティストと細かく打合せをしてくれて、当日  
も滞りなく授業を実施することができました。子どもたちは本物  
の音色に触れ、音の良さを感じた子どもが多くいました。CDの  
演奏を聴かせるだけでは感じ取ることが難しい、箏の音色や曲の  
良さを感じ取らせることができたと思います。ぜひ体験型の授業  
も申し込みたいと思いました。

### 子どもたちから

いい曲だった。音がきれいだった。／手の動きがすごかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立今井小学校＋岩間市民プラザ 地域で生まれ育った伝統芸能に親しもう

担当アーティスト	藤塚太鼓（和太鼓演奏集団）
実施校	今井小学校（保土ヶ谷区）
コーディネーター	横浜市岩間市民プラザ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／和太鼓／6学年2学級55名
実施日程	2022年11月10日（木）



### 授業のねらい

目の前の舞台に興味を持ち、集中して最後まで取り組む態度を育むきっかけになればと考えている。普段経験することのできない世界に触れることが、子どもたちの新たな可能性につながることを期待している。

### 主な内容

藤塚太鼓演奏～藤塚太鼓の歴史～和太鼓を含めた和楽器の紹介～体験・発表～藤塚太鼓演奏

### アーティストから

今回は藤塚太鼓が中心として活動している藤塚小学校の隣、今井小学校でのプログラムということで親しみを持って楽しく実施させていただきました。和太鼓の演奏体験は然ることながら、さまざまな和楽器も紹介いたしました。なじみのない楽器もたくさんあったかと思いますが、皆さんとても真剣にお話を聴いてくださっている姿が印象的でした。今回のプログラムをきっかけとして、藤塚太鼓や伝統芸能に興味を持っていただけたらとてもうれしいです。

### コーディネーターから

担当の先生方は、地域の文化活動に関心を持っておられたことで今回のアーティストに決まりました。活動拠点が地元ということで、地元との関わり方、さらに和太鼓をはじめ和楽器のいくつかを知って伝統芸能をより身近に感じたと思います。体験ではアーティストから全身体験ができるよう可能な限り和太鼓を用意していただきました。たたき方で音の違いを知ったり多くを学んだりしました。そして課題曲を途中で終わることなく、全員が最後まで演奏をできたことは素晴らしい経験を積んだと感じました。

### 先生から

今まで触れたことのないものに触れることができ、子どもたちの幅が広がったように思います。身近な伝統芸能に触れること、知ることができて、良い機会になりました。

### 子どもたちから

おもしろくてもっとやりたかった。／実際にたたいたり、すごい演奏を聞かせてくれたり、おもしろかった。／力強くてたかかないと音が鳴らなかった。／「あまりできなかったな」というと「できてたよ」といつてくれた。／太鼓から出る音がすごかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立帷子小学校＋岩間市民プラザ 「さくらさくら」を弾いてみよう

担当アーティスト	奥田雅楽之一（地唄三弦・生田流箏曲演奏家、作曲家）
実施校	帷子小学校（保土ヶ谷区）
コーディネーター	横浜市岩間市民プラザ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／箏／6学年 36名
実施日程	2022年9月30日（金）



### 授業のねらい

さまざまな価値観や世界に気付いてもらうよう考えている。体験を通じて自分の見方や考え方が広がることを本物の演奏に接することで実感してほしい。また実際に演奏することで、音楽の楽しさや難しさを体感し、自他の認め合いの素地につなげたい。

### 主な内容

箏の説明～さくら・さくらの練習～春の海

### アーティストから

帷子小学校6年生2クラスを対象に、日本伝統芸能「箏曲」の体験授業を行いました。限られた時間内で1曲を演奏してもらえよう、教材として所謂「さくらさくら」を選び、集中して取り組みました。授業の最後には学校側のリクエストに応え「春の海」を演奏しました。この曲の作曲者である宮城道雄について、たまたま教室に掛けてあった師の肖像画を全員で見ながら、日本音楽史上の功績、業績などについて簡単に解説しました。児童の反応はたいへん良く、たいへん意義深い時間となりました。



### コーディネーターから

箏の鑑賞と体験を実施しました。子どもたちは弾けるように精いっぱい箏に向き合っていました。爪の付け方や弦の弾き方で出てくる音の違いを経験できたと思います。鑑賞にあまり時間をかけられないため1曲でしたが、生演奏とCDなどの音の違いも実感できたと思います。

### 先生から

日本の文化に触れ、子どもたちの見聞が広まったと感じます。私自身知らなかったことが多かったので、今回のことを通して学ぶことができ、これから子どもたちに伝えていくことができそうです。コーディネーターの方も、とても丁寧に何回も連絡を取ってくださいました。

### 子どもたちから

11、12、13を違う言い方で言ったり、奥から弦を数えたり、箏でしか知れないことを知れて良かった。／生で聴いて感動した。指の細かい動きにびっくりした。／演奏は、途中から箏を弾く速さが速くなったり遅くなったりしていて、すごいと思った。／2台の箏を交互に弾いたり、一緒に弾いたり、音が切れることなくつながっているように聴こえた。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立上川井小学校＋サンハート 思いっきり和太鼓をたたこう

担当アーティスト	特定非営利活動法人 打鼓音（創作和太鼓集団）
実施校	上川井小学校（旭区）
コーディネーター	旭区民文化センターサンハート
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／和太鼓／5・6学年2学級34名
実施日程	2022年12月15日（木）



## 授業のねらい

思い切りたたいたりして（音階のない楽器を希望）表現できる楽器体験を希望とする。楽器を通して、楽しく自己表現してほしい。

## 主な内容

和楽器演奏鑑賞、和楽器の特徴・歴史説明、和太鼓体験

## アーティストから

この度は学校プログラムに参加させていただきまして、上川井小学校の児童たちの参加する姿勢の良さに驚きました。密集を避けるために3グループに分けて太鼓の指導を行いました。元気よく打ち込む姿が印象的でした。また、たくさんの質問や感想もあり、興味を持っていただいていることを実感しました。和太鼓のレッスンではとても楽しそうに参加いただき充実した時間になったと思います。体育館では暖房設備等も配慮いただきありがとうございました。

## コーディネーターから

5、6年生の和太鼓体験授業でお伺いさせていただきました。高学年であるせいか、授業の集中力がたいへん素晴らしかったです。この体験授業ですが、ただ単に和太鼓体験をするのではなく、まず和太鼓の演奏を聴き、太鼓の仕組み・歴史を理解した上で体験授業を行いました。思いっきり力を込めて太鼓をたたく姿は、男女問わずとても楽しそうでした。最終的には長いフレーズを練習し、最後に簡単な発表会を行いました。どこのグループも揃った演奏ができて、児童らも誇らしげでした。打鼓音さんには、演奏する太鼓の間隔を空けたり、児童人数分バチを持っていただき、感染対策等も十分対応していただきました。

## 先生から

本物に触れること、実際に体験することによって、子どもの「すごい」「面白い」「楽しい」という思いが「もっとやりたい」という意欲に結びついていくと改めて感じました。和太鼓は、普段歌ったり楽器を演奏したりすることが苦手な児童にとっても、思いっきり自分を表現することができるものだったことも、たいへん良かったです。今後も、子どもが楽器に触れる時間をできるだけ多く確保できるプログラムを期待しています。

## 子どもたちから

アーティストの方の演奏が迫力あった。／太鼓の歴史が分かった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立鶴ヶ峯小学校＋横浜能楽堂 狂言を体験しよう！ 1

担当アーティスト	狂言方大蔵流 山本東次郎家（狂言師）
実施校	鶴ヶ峯小学校（旭区）
コーディネート	横浜能楽堂
実施科目・教科名	国語
実施概要	鑑賞型／狂言／6学年3学級97名
実施日程	2022年12月13日（火）



## 授業のねらい

狂言の体験を通して自分の知っている・使っている表現方法と異なる表現の方法があることを理解し、「豊かに表現する」力を育む。また、本物に触れることにより、伝統芸能の面白さ、素晴らしさを体感する。

## 主な内容

狂言のお話、「型」について、狂言「柿山伏」鑑賞、実技体験

## アーティストから

鑑賞、体験ともよく見て、よく考えて取り組んでくれました。狂言の「型」から場面を当てるときには、「ずかずか」という音だけから「のこぎり」を当ててくれたり、一場面から「屋敷に侵入しようとしている人」だと想像してくれたり、みなさんが仕草をしっかり見てくれていることがよくわかりました。興味を持ってくれた様子でしたので、これをきっかけにして能楽堂へ足を運んでいただければ幸いです。

## コーディネーターから

皆さんの想像力と観察力が豊かで、一生懸命考えてくれている様子が伝わってきました。「柿山伏」の鑑賞では、身を乗り出して登場人物たちの動きをじっくり見てくれていることが印象的でした。目を離さずに集中して見てくれたからこそ、それぞれに気づきがあり、狂言の面白さをより感じてもらえたのではないかと思います。

## 先生から

この体験前に国語の単元「狂言 柿山伏」で学習しましたが、主体的に学習に臨む児童が少なかったです。今回実際に体験したことで、狂言の面白さを実感する子どもが多く、クイズを取り入れたり実際に歩いてみると、児童が楽しめる活動だったので、体験する良さを改めて実感しました。また、打合せや連絡などこまめに行っていたきスムーズに進められてありがたかったです。

## 子どもたちから

問題が面白かった。／迫力がビデオとは全然違った。／クイズや身の上話、狂言の歩き方など楽しくみてもらう工夫があった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立本宿小学校十久良岐能舞台 みんなで狂言を体験しよう！ 1

担当アーティスト	善竹十郎（大蔵流狂言師）、野島伸仁（大蔵流狂言師）
実施校	本宿小学校（旭区）
コーディネーター	久良岐能舞台
実施科目・教科名	国語
実施概要	鑑賞型／狂言／6 学年 3 学級 114 名
実施日程	2022 年 12 月 14 日（水）



## 授業のねらい

令和4年度の6年生は、コロナの影響で多くの学校行事や校外学習が行えず、なかなか本物と出会う体験ができなかった子どもたちです。また、実態として、思い切って表現する子もいれば、自分に自信がなく、なかなか自分が出せない子もいます。自分の気持ちをうまく言葉で伝えられず、手が出てしまう子もいます。伝統的な文化を単に調べて知るだけでなく、体験をすることでその良さに触れ、いろいろな表現があることを知ってほしいです。達成したい目標は、「感受性」「コミュニケーション能力」「想像力」です。

## 主な内容

- ①狂言について解説②狂言鑑賞「柿山伏」③狂言ワークショップ④質問コーナー

## アーティストから

解説やワークショップの際は楽しく、公演中は真面目に鑑賞とメリハリをつけて楽しんでもらえた。積極的に質問に答えたり、ワークショップに参加してくれたので、スムーズに進行することができた。ワークショップでは元気に声を出して楽しんでもらうことができて良かった。これを機に、狂言に興味を持っていただき、能楽堂にも足を運び、さまざまな狂言を見てもらいたい。



## コーディネーターから

ワークショップで狂言の姿勢や発声、表情、動き方等を体験してもらったので、代々日本に伝わってきた伝統芸能の技を体験してもらうことができました。さまざまな表現方法があることを実感してもらえたらうれしいです。また、狂言は想像しながら鑑賞していただくことが重要なので、想像力を働かせながら鑑賞してもらうことができたとと思います。

## 先生から

国語の教科書にある柿山伏を実際に見ることができて、子どもたちはとても喜んでいました。学校プログラム後に狂言について積極的に調べていました。

## 子どもたちから

実際に狂言を見ることができてうれしかった。／狂言をやっている方々の動作がすごかった。／初めて狂言の歩き方をしたのが難しかったが思い出になった。／テレビで見るよりもはく力がすごかった。／きょうげんの楽しみ方、すごさ、おもしろさなどが分かった。／動物のまねが楽しかった。またやりたい。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立南本宿小学校十久良岐能舞台 みんなで狂言を体験しよう！ 2

担当アーティスト	善竹十郎（大蔵流狂言師）、野島伸仁（大蔵流狂言師）
実施校	南本宿小学校（旭区）
コーディネーター	久良岐能舞台
実施科目・教科名	国語
実施概要	鑑賞型／狂言／5・6 学年 4 学級 144 名
実施日程	2022 年 12 月 14 日（水）



### 授業のねらい

6年生が国語で「柿山伏」や社会科で室町文化について学習するが、実際に見て体験することで、伝統芸能に対する理解を深め、その面白さを味わわせたい。

### 主な内容

- ①狂言について解説②狂言鑑賞「柿山伏」③狂言ワークショップ④質問コーナー

### アーティストから

積極的に参加してくれてとても良かった。ワークショップでは呑み込みが早く、発声も姿勢もとても素晴らしかった。質問コーナーでは狂言に関するさまざまな質問をもらい、狂言のことをもっと知りたいという気持ちが感じられ、たいへんうれしく思った。

### コーディネーターから

ワークショップでは狂言の発声や動き等、周りの友達と一緒に楽しく体験してもらうことができ、笑いの絶えない時間となりました。表現することの楽しさを感じてくれていたらうれしいです。これを機に、日本の伝統芸能に興味を持っていただき、自ら鑑賞する機会を持っていただけたらうれしく思います。

### 先生から

6年生の教科書に柿山伏があったので、教科書に載っている内容を実際に間近で鑑賞することができたので勉強になりました。子どもたちにとっても、教員にとっても、とても貴重な体験になりました。

### 子どもたちから

狂言のしゃべり方、歩き方を実際に体験することができて楽しかったし、演者の方はすごいと思った。／狂言を背景とか舞台装置などセットされているところで次は見たいと思った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立汐見台小学校＋杉田劇場 箏を体験してみよう！ 1

担当アーティスト	外山香（箏演奏家）
実施校	汐見台小学校（磯子区）
コーディネーター	磯子区民文化センター杉田劇場
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／箏／6学年4学級124名
実施日程	2022年12月20日(火)、2022年12月21日(水)、2022年12月22日(木)



## 授業のねらい

箏の構造や名称、奏法・姿勢などの基本的な部分から説明を受け、実際に箏で「さくら」を練習することで楽器に親しむ。練習後には、お互いの演奏を鑑賞し合う場を設けることで、演奏する楽しさも体験する。また、講師による演奏は、古典曲・現代曲・ポピュラーソングまで幅広く聴き、箏の魅力に触れる。

## 主な内容

<1日目>～<3日目>箏の演奏方法を、「さくら」の練習を通じて体験し、最後にお互いに発表し合う。講師による演奏を鑑賞するとともに、それぞれの曲の成り立ちなどや奏法についての解説を聞く。（1日目に1クラス、2日目に2クラス、3日目に1クラスで実施。）

## アーティストから

12月20日から3日間、6年生4クラスを対象に体験授業を催しました。簡単な楽器と弾き方の説明をした後、3名で1面の楽器を使用し交替しながら「さくら」の練習をします。18小節の楽曲ですが4～6小節ずつ細切れで練習をして曲を仕上げていきました。90分の授業のうち60分くらいを練習に費やし、後半30分ではお互いの演奏を聴きあう発表会をしました。発表会では2回通して演奏することによって、友達と息を合わせて合奏すること、講師の伴奏を聴きながら演奏することを学べたと思います。講師の模範演奏では古典、現代曲、流行歌などを聴いて箏の可能性を理解することもできたのではないかと思います。

## コーディネーターから

今回は、昨年度までのプログラムの中での達成度合いも踏まえて、子どもたちの練習曲である「さくら」について、演奏の難易度が少しだけ高くなるバージョンの譜面に挑戦してもらいました。講師の説明なども効率的に進めることで、練習時間を長めにとれたこともあり、大きくつまずく子どもたちも特に出ず、子どもたちの達成感を高めることができました。

## 先生から

1人で演奏するだけではなく、テンポを合わせて先生や友達の演奏を聴いて行うことが、普段の授業の中でもとても大切だと改めて思いました。

## 子どもたちから

箏でいろんな曲（最近のはやり）の演奏もできることを知った。／力加減でいろいろな音程が出せる。／調弦をして音階が変化。／ピアノと違って準備が大変そう。／さらに大きい箏があると知ってびっくり。／先生の教え方、演奏、さすがプロ。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立根岸小学校＋横浜にぎわい座 「寄席の芸（落語・色物）」を鑑賞しよう2

担当アーティスト	瀧川鯉丸（落語家）、小泉ポロン（マジシャン）
実施校	根岸小学校（磯子区）
コーディネーター	横浜にぎわい座
実施科目・教科名	国語
実施概要	鑑賞型／落語／5学年3学級95名
実施日程	2022年12月16日（金）



### 授業のねらい

言葉で物語を伝える芸能である「落語」について学ぶことで、コミュニケーションの大切さを理解し、表現する力を養う機会とする。

### 主な内容

落語解説、体験（小唄、所作など）、落語・色物（マジック）鑑賞

### アーティストから

学年に3クラスあると明るいクラスと静かなクラスで分かれてしまうことがありますが、こちらの学校はそれぞれのクラスが積極的で、前のめりで楽しむ雰囲気があり、代表の児童を応援するチーム力を感じました。日ごろからの先生方のご指導の賜物と思います。落語を「聞いて想像する」時間と小泉ポロン先生のマジックを「見て楽しむ」時間という流れをととても素直に受け止めてくれて、まさに寄席の1つの番組をそのまま切り取ったような時間になりました。これも児童の皆さんの集中力が高いおかげです。

### コーディネーターから

子どもたちが元気いっぱい、講師からの質問にも最初から積極的に手が挙がり、これは良い授業になりそうだと予感させるスタートとなりました。体験コーナーには5人が参加し、オリジナルの所作や小唄を披露し、見ている子どもたちも友達の発表にしっかりと拍手で応えていました。“創造力で頭の中に絵が浮かんでくるのが落語”という説明通りに、しっかりと落語の世界に入り込んで、何人もの登場人物の姿を頭に浮かべながら鑑賞し、落語の表現する力を感じてもらえたのではと思います。



### 先生から

コーディネーターの方が打合せ時からよくしてくださり、こちらの要望を取り入れてご準備してくださいました。安心して当日を迎えられました。演者さんやスタッフさんも一生懸命で、そして内容もとても充実していました。子どもたちはとても喜び生き生きと反応し、芸術に触れる大切な機会となりました。楽しく学びの多い時間になりました。

### 子どもたちから

初めて見て楽しかった。／根岸小にまた来てください！／もう一度見たい。／楽しむだけではなくそのうごきの理由や音も上手だった！／やっぱりすごい人はすごい！と思った。／前で実際にやっておもしろかった。／食べ物によって、食べ方をかえていることを知って、すごいなと感じた。／らくごがあまりしらなかったけど、面白かったから興味をもてた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立梅林小学校＋杉田劇場

# 邦楽器の歴史や広がりを知り、魅力を確認しよう

担当アーティスト 米澤浩（尺八奏者）、熊沢栄利子（箏・二十絃奏者）

実施校 梅林小学校（磯子区）

コーディネーター 磯子区民文化センター杉田劇場

実施科目・教科名 音楽

実施概要 鑑賞型／箏／5学年2学級73名

実施日程 2023年1月13日（金）



### 授業のねらい

学校側希望の「箏など和楽器（邦楽器）の特徴や奏法、歴史などを知り、楽器に親しむ。また、間近で音色を味わいたい」を受けて、限られた時間の中でも、箏の演奏を基礎から学び、楽しさを感じられるところまで体験するとともに、尺八と箏の演奏を鑑賞するプログラムとする。

### 主な内容

クラスごとに、2人に1面の箏を準備し、モニターを使用して演奏方法の実演をしながら、楽器体験をするとともに、講師による箏と尺八のミニコンサートを実施。

### アーティストから

楽器体験は、お箏19面を持ち込みクラス全員で「さくらリレー」を演奏。弾き方の説明用に使用しているビデオカメラが、学校側で準備したモニター用電子黒板と接続できず、学校保有のタブレットで撮影しながら楽器体験を進行。タブレットの電源が自動的に切れるため、何度か再起動させながら体験を進行させた。次回は事前確認をもう少し丁寧に行いたい。

### コーディネーターから

機材の準備でトラブルがあったものの、2人に1面の楽器を用意することで、練習時間に余裕をもった体験となりました。グループに分かれつつ、クラス全体で演奏を楽しむところまで到達できたため、楽しみつつ、高い達成感を得られたプログラムになったと思います。

### 先生から

子ども2人に対し1面の箏を貸してもらえたので、45分間という短い時間でもたくさん触れることができました。また、弾き方について手元がよく見えるようにTVモニターを通して全員に見せたことや、子どもたちが取り組みやすい楽曲（さくらさくら）など本校の子どもたちの実態にぴったりのプログラムでした。どの子どもも「できた」という満足感を得ることができた貴重な体験となりました。

### 子どもたちから

さくらさくらを協力して上手にひけたこと。むずかしかったけど楽しかった。／先生の生演奏をもう一度ききたい。／この曲や歴史についてきけた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立浜小学校＋杉田劇場 箏を体験してみよう！2

担当アーティスト	外山香（箏演奏家）
実施校	浜小学校（磯子区）
コーディネーター	磯子区民文化センター杉田劇場
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／箏／4学年4学級136名
実施日程	2023年1月31日(火)、2023年2月1日(水)、2023年2月2日(木)



### 授業のねらい

箏の構造や名称、奏法・姿勢などの基本的な部分から説明を受け、実際に箏で「さくら」を練習することで楽器に親しむ。練習後には、お互いの演奏を鑑賞し合う場を設けることで、演奏する楽しさも体験する。また、講師による演奏は、古典曲・現代曲・ポピュラーソングまで幅広く聴き、箏の魅力に触れる。

### 主な内容

箏の演奏方法を、「さくら」の練習を通じて体験し、最後にお互いに発表し合う。講師による演奏を鑑賞するとともに、それぞれの曲の成り立ちなどや奏法についての解説を聞く。

### アーティストから

1月31日から2月2日までの最も寒い時期の3日間で4クラスの授業でした。4年生という学年であり、楽器の説明は簡単に、実際楽器に触れる時間を多めに確保しました。まずは自分に合った爪をつけてしっかり音を出すことをマスターしてから、3人1組になって「さくら」を交替しながら練習をしました。約50分の練習をした後、3つのグループに分かれてお互いの演奏を聴き合う発表会を催しました。発表会でも1回ではなく2回演奏することにより、一層曲を理解して合奏の楽しさを感じているようでした。最後に講師の模範演奏を聴き、箏という楽器の魅力と可能性を感じ取っていただけたのではないかと思います。

### コーディネーターから

今回は実施学年が4年生であることを踏まえて、プログラムの最初の楽器の説明などを最小限にして、子どもたちにすぐに箏に触れてもらいました。演奏の際の姿勢や手の角度などを都度指示していくことで、子どもたちが楽器に触れる時間を最大限確保でき、発表の時間にも余裕を持たせたため、「箏を演奏する楽しさ」をしっかりと味わってもらえたと思います。

### 先生から

やはり本物を目の前にし、実践できる環境を用意していただき、体験できたことは本当にありがたいことです。一生の中で、最初で最後の子どもの体験かと思っています。毎年4年生が体験させていただけたらと思っています。

### 子どもたちから

本当の楽器で音を出すのが大変だったけれど、自分でできた時はとてもうれしかった。／外山先生の演奏してくれた曲がきれいだった。／むずかしいのにすごかった。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立洋光台第二小学校＋杉田劇場 能を知る・能を観る

担当アーティスト	山井綱雄（金春流能楽師）
実施校	洋光台第二小学校（磯子区）
コーディネーター	磯子区民文化センター杉田劇場
実施科目・教科名	国語
実施概要	鑑賞型／能／5学年2学級78名
実施日程	2022年12月20日（火）



### 授業のねらい

「能」の所作、演目「羽衣」の物語、謡の実習、能の鑑賞などを通じて、日本を代表する舞台芸術「能」から日本の心を学ぶ。

### 主な内容

「能楽について」レクチャー動画視聴。体験学習：合唱形式で「高砂」を謡ってみる、構え、すり足、所作の体験、能面の装着体験。

### アーティストから

今年も高学年の児童を対象に能楽を実施。多くの成果を得ることができたと実感。冒頭と最後の座礼の挨拶では「よろしくお願ひします」「ありがとうございました」を正座で大きな声で実践し日本の挨拶を体感し併せて、謡「高砂」の内容を理解し声だしをして姿勢良く声を出すことの大切を感じていた。また能の「型」をその場で実践し体育館の空気の緊張感と一体感を体感。実践と解説を織り交ぜて日本文化の高い精神性を十分に学んでいたことを感じた。

### コーディネーターから

座学は途中で飽きてしまうことを心配しましたが、動画を用いて説明したので集中できていました。座学の後、所作の体験を行ったことで、能楽が生活と密接な関係性があったことが分かりやすく伝わる構成でした。全体で高砂を謡う際は、事前に資料を準備していたことでスムーズに進行し、意欲的な参加に結びついていました。課題点は、座学と体験学習に時間を多く割いたため、予定していた鑑賞まで実施できなかったため、時間配分は考慮したいです。



### 先生から

私自身も「能楽」の言葉しか聞いたことがなく、実際に話を聞くことで知識が深まりました。国語に「古典芸能の世界」という単元があり、この単元と関連づけて行うことができ良かったです。時間の都合上「羽衣」についての解説や鑑賞を行うことができなかったため、また機会があればお話を聞くことができればと思います。

### 子どもたちから

能楽に使われているお面を実際に見ることができて良かった。／能楽をしている方の思いを知れて、能楽に興味を持った。／これからは伝統的な文化を受け継いでいってほしい、続けてほしい。／次は実際に舞台上で見てみたいと思った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立文庫小学校+Media Global 日本の祭りを楽しもう

担当アーティスト	村山二郎（篠笛奏者）
実施校	文庫小学校（金沢区）
コーディネーター	Media Global
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／邦楽／4 学年 2 学級 81 名
実施日程	2022 年 11 月 8 日（火）



## 授業のねらい

日本の祭り囃子、鑑賞だけでなく体験もしたい。

## 主な内容

篠笛の鑑賞。祭り囃子を構成する楽器を知る。空き缶太鼓で演奏体験する。

## アーティストから

文庫小学校の副校長先生、担当の音楽教諭の先生の親切で積極的な姿勢にたいへん助けられ、気持ち良く授業を進めることができました。今回は日本の伝統的な民俗音楽をテーマにしましたが、日本各地の特徴的で個性豊かな太鼓のバチの種類豊富なことや、篠笛、鉦、太鼓の楽器解説に、児童たちは熱心に聴いてくださり、また歓声や拍手などの反応は的確で素早く、とてもやり甲斐を感じることができました。後半の授業では、手作り楽器を活用した参加型のリズムワークショップとして「八木節」を取り上げましたが、児童たちの笑顔を見ますと次に機会を与えられたならば、「阿波踊り」のリズムを用いて授業に臨んでみたいと思った次第です。未来を担う子どもたちに日本の伝統の良さ、楽しさを受け取ってもらえた手応えを感じるうれしい授業となりました。

## コーディネーターから

短い時間の中で、篠笛の鑑賞、祭り囃子の楽器や「八木節」を演奏するなど盛りだくさんのプログラムとなりました。特に児童の皆さんの関心の高かった「バチ」はさまざまな形があることや実際に触ってみた感想など聞いて良かったと思います。

## 先生から

コーディネーターの方のおかげで、日ごろ体験できない授業を楽しむことができましたし、打合せも丁寧に行ってくださいました。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立城郷小学校＋大倉山記念館 箏の演奏を聴き、演奏をしてみよう！

担当アーティスト	小畔香子（生田流箏曲演奏家）、見澤太基（尺八奏者）
実施校	城郷小学校（港北区）
コーディネーター	横浜市大倉山記念館
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／邦楽／6学年3学級95名
実施日程	2022年12月5日(月)、2022年12月6日(火)、2022年12月7日(水)



### 授業のねらい

和楽器の生演奏を聴くことで、感受性・想像力を育てたい。また、実技の体験をすることで表現力・コミュニケーション創造力・集中力をさらに身につけてもらいたい。日本の伝統楽器である箏は、普段生で触れる機会が少ないため、この機会に「春の海」「さくらさくら」などを演奏して、箏を演奏する喜びを感じてほしい。

### 主な内容

<1日目>～<2日目>クラスごとに箏練習<3日目>「さくらさくら」の合奏、講師演奏会

### アーティストから

城郷小学校での体験授業において、子どもたちがとても楽しそうに箏に触れる姿が見受けられとてもうれしく感じました。また、私たちの演奏の時にはざわついていた子どもたちも、真剣に聴いていたのもとてもうれしく思いました。箏1面に対し3人の子どもが交代で弾くことに不安を感じておりましたが、自分の番でない子どもたちが横で手の形だけでも弾く真似をして練習をしていたので、箏の弦を書いた紙を用意して紙の上で練習をする方法も次回からは用いても良いと思いました。

### コーディネーターから

今回は3日間にわたり、6年生3クラス（1クラス約30人）が1日1コマ×3日間、現役の箏奏者の方からご指導を受けることができました。箏は楽譜から絃（糸）の数え方まで洋楽器とは異なり、箏の先生がそのようなことを踏まえていると（糸の数え方テープや箏爪に貼る記名シールなど）ご用意くださり、たいへん助かりました。曲はみんなが知っている「さくらさくら」を練習しましたが、子どもたちは箏に触れるのがうれしかったようで、とても楽しんでいる様子がうかがえて私もうれしく思いました。最終日は「さくらさくら」の合奏と講師演奏会（尺八奏者の方も参加）を行い、一流の箏奏者の素晴らしい演奏に、子どもたちだけでなく、学校の先生もたいへん感動なさっておいででした。今回の経験が契機となり、子どもたちが日本の伝統文化である箏や尺八に、さらに興味を持ってくれることを期待します。

### 先生から

音楽の授業では、楽器がなくて邦楽器体験ができないので、このようなチャンスで本物の楽器を体験できて良かったです。また、アーティストの方も力のある方だったので、内容も充実していました。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立新吉田第二小学校＋関内ホール お箏を体験してみよう

担当アーティスト	奥田雅楽之一（地唄三弦・生田流箏曲演奏家、作曲家）
実施校	新吉田第二小学校（港北区）
コーディネーター	横浜市市民文化会館関内ホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／箏／4学年2学級71名
実施日程	2022年11月14日(月)、2022年11月15日(火)、2022年11月16日(水)



## 授業のねらい

お箏の演奏体験を通して、わが国の音楽に対する関心を高めていきたい。また、体験活動の中で、楽器の音の響きを組み合わせたり、旋律やリズムをつなげたりしながら、日本の音楽の良さや面白さに気付かせたい。

## 主な内容

<1日目>お箏、奏法についての説明、「さくら」練習<2日目>「さくら」練習<3日目>講師による演奏、講師と一緒に合奏で発表

## アーティストから

小学校4年生対象に、伝統芸能の箏曲（お箏）の体験授業をしました。素直な児童たちの授業態度もあり、上達が早く、目的としていた「さくら」を全員が演奏することができました。大人になったとき、日本に古来から伝わる楽器を見た、聴いたではなく、自分は演奏したことがあるという事実を人生の誇りとしてほしいと思います。

## コーディネーターから

3日間でお箏で「さくら」を演奏できることを目標としました。3日間あったため、自習の練習時間を設けることができたこと、クラス別の発表のため、3日目の発表会は講師と一緒に合奏を楽しむことができたと思います。発表会では、何度も演奏したい子どもたちが多く、自然に日本の伝統音楽に親しむことができたのではないかと思います。

## 先生から

箏の本気の演奏を初めて間近で聴くことができ、「そんな奏法があったのか」という発見が子どもと同じようにありました。5歳頃から箏を嗜んでいるというのを聞き、そんな環境があることもとても大切だと感じました。

## 子どもたちから

この大きさにびっくりした。／おどろくほどできなかったのに最後はできるようになった。／初めて習って楽しかった。／和楽器に初めてさわられた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立高田東小学校＋あっちこっち お囃子を体験しよう！小鼓、太鼓演奏で合奏に挑戦！2

担当アーティスト	望月太左衛（邦楽囃子方）
実施校	高田東小学校（港北区）
コーディネーター	認定NPO法人あっちこっち
実施科目・教科名	音楽、総合的な学習の時間
実施概要	体験型／邦楽／4学年2学級54名
実施日程	2022年11月28日(月)、2022年12月5日(月)、2022年12月7日(水)



## 授業のねらい

この体験を通して、日本の伝統的な楽器に触れたり先人の優れた伝統芸能に触れることで、豊かな感覚を養う。友達同士、息を合わせた演奏を経験することで言語に頼らないコミュニケーションの楽しさを味わう。4学年の音楽「郷土の音楽を鑑賞したり、和楽器を演奏したりしながら、その良さや特徴を感じ取る」を目指す。音階のない音楽は、間違いを恐れる子どもたちにはうってつけで、伸びやかに演奏することを期待する。

## 主な内容

<1日目>鼓、お囃子ってなんだろう<2日目>楽器を体験しよう<3日目>発表会をしよう

## アーティストから

今回3日目の発表会において、2クラス合同2コマ分の時間でさせていただいたことがたいへん有意義でした。2クラスが同じ内容を競うことなく助け合って取り組んで、素晴らしかったです。1回目は演奏者として、2回目は観客として参加したことは「舞台」というものの本質に迫るものです。舞台人でもなかなかできない体験ができたことは、子どもたちの将来に必ず役立つと思います。

## コーディネーターから

各日私たちが訪校すると、すぐに授業を始められるくらい、楽器や椅子などが綺麗に準備されていたことにたいへん驚きました。先生方のみならず子どもたちも率先して準備や片付けの手伝いをしていました。このプログラムは、どれもが貴重な学びの機会であるからこそ、良い姿勢で受けなければもったいない、と言わんばかりに高田東小の子どもたちは授業時間以外でも準備・挨拶の励行をしっかりとされていました。こうした姿勢から、日々の積み重ねを大事にされる高田東小の素晴らしき理念を感じました。

## 先生から

楽器に触れることが子どもたちは大好きなので、それだけでもうれしそうでした。音階のない楽器は、音楽が不得手な児童にとって安心して活動できるようで、音楽の時間はいつも無表情な児童が、にこにこ笑顔で表現活動に取り組んでいたことが印象に残りました。子どもたちが自発的に「お師匠さん！」と親しげに呼びかけ、そのお人柄に魅かれている様子も伝わってきて、伝統芸能の持つ魅力を感じました。

## 子どもたちから

雪が落ちるのを表すアーティストの方がすごいと思った。／太鼓は雪が降っているような音も出せるんだ、と思った。／つづみを初めてたたいたが、意外と難しく、軽々きれいな音色を出すアーティストの方はすごかった。／家で父母に教えたらすごいねって言われて、良かったなあと思った。／あたり鉦は手で持つのと、紐で釣るので音が違ってびっくりした。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立箕輪小学校＋横浜能楽堂 みんなで和太鼓の演奏をつくりあげよう

担当アーティスト	政所和幸 (HIBIKUS 横浜、和太鼓奏者)
実施校	箕輪小学校 (港北区)
コーディネーター	横浜能楽堂
実施科目・教科名	音楽、総合的な学習の時間
実施概要	体験型／和太鼓／5 学年 3 学級 106 名
実施日程	2022 年 12 月 12 日(月)、2022 年 12 月 13 日(火)、2022 年 12 月 14 日(水)



## 授業のねらい

クラスごとに1つの曲を友達と一緒に力を合わせてつくりあげて発表する。太鼓をただ演奏するだけでなく、太鼓の歴史や製造方法を学ぶ。また演奏を通じて、お互いを見て音を合わせることで協調性を学ぶ。感染症対策として、隣りの人と距離を取り実施する。

## 主な内容

< 1 日目 > 太鼓の歴史・種類のお話、基礎練習、発表演奏の練習  
< 2 日目 > 太鼓のつくり方のお話、体操・音遊び、発表演奏の練習  
< 3 日目 > 講師による太鼓披露、発表会

## アーティストから

太鼓を通じて、お友達と一緒に1つの曲を練習し、声を出したり踊ったりと、とても楽しそうに太鼓を叩いていました。発表曲についてはクラスの個性を見て違うフレーズを取り入れ、最後のお披露目では違うクラスの曲を聞いて子どもたちがとても喜んでいて良かったと思います。「太鼓を叩けて楽しかった」と感想もありとても良かったです。

## コーディネーターから

相当な量の太鼓を使用することができたため、単なる経験にとどまらず、一人ひとりが思う存分太鼓の練習に取り組むことができ、子どもたちにとって貴重な体験の場となったことと思います。子どもたちも積極的に取り組み、また質問も自主的に出ており、子どもたちの興味の深さを感じました。普段教室に入れないでいる子どももみんなと一緒に楽しむことができ、この授業がまたみんなと一緒に学ぶ良いきっかけになることを望みます。

## 先生から

私が思っていた以上に良い内容で、3日間でしたが、子どもたちは次の日が待ち遠しいほどでした。アーティストの方の真剣な演奏の姿に憧れを持った子どもがたくさんいました。大きい音が不安な子、教室に入れない子など、さまざまな事情を抱える子たちも楽しく取り組めて良かったです。大きい音に不安を感じていたけど、最後はクラスみんなと一緒に発表できた子など、それぞれの姿が印象に残りました。

## 子どもたちから

今回の授業を通して和太鼓に興味を持てたし、歴史の話もおもしろかった。／大きいたいこは迫力があって、笛と4つのたいこをたたくのも早くてすごいと思った。／とてもみんなの前で発表するのはきんちょうしたけど、みんなやお二人とリズムカルにたいこができてよかった。／わだいのこをたたくことでみんなに気持ちが伝わりそう。／みんなとがんばって自信をもって声を出せて、うれしかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立竹山小学校＋みどりアートパーク よさこいを踊ってみよう！

担当アーティスト	近藤一美（振付家、ダンサー）
実施校	竹山小学校（緑区）
コーディネーター	緑区民文化センターみどりアートパーク
実施科目・教科名	音楽、体育
実施概要	体験型／よさこい／2学年1学級24名
実施日程	2022年11月25日（金）、2022年12月2日（金）、2022年12月9日（金）



## 授業のねらい

この体験を通して新たな自分に気づき、自信を持つこと、そして友達と一緒に何かをつくり出す楽しさを感じてほしい。

## 主な内容

<1日目>児童とコミュニケーションを取る運動、「横浜い〜じゃん」の振り付け①<2日目>「横浜い〜じゃん」の振り付け②<3日目>「横浜い〜じゃん」振り付けの仕上げ、2チームに分かれての発表会

## アーティストから

授業を通じ、よさこい踊りの楽しさやハードな部分を体験し、自分が納得できる動きになるためのコツを掴みながら、曲を最後まで覚えていきました。日本芸能文化（動き・音）にチャレンジし、楽しみながら触れてもらえたのではないかと思います。児童の皆さんは、しっかり身体を使うことで疲れも感じたと思いますが、最終日には自信を持って演技をし、自分や友達の上達を実感できるところまで、毎回確実に進歩していかたと感じています。

## コーディネーターから

今回は2年生の皆さんが対象とのことで、1曲の振り付けを覚えるのは少し難しいかなと思いましたが、まずは講師と児童の皆さんがコミュニケーションを取れるように、ゲーム要素のある運動からはじめ、みんな抵抗なく踊りの練習に入っていくことができました。振り付けを覚えるのもとても早く、最終日には2チームに分かれてよさこい踊りの発表会をし、踊り終わった後の、お互いの良かった点を褒め合う時の笑顔が印象に残りました。児童の皆さんは、1曲を通して踊りきったという達成感を感じ、自信につながったことと思います。

## 先生から

指導が的確であると、子どもたちはすぐ覚える力があることに気付きました。講師の方が褒めながら指導してくださり、子どもたちが伸び伸びと楽しみながら活動できました。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立青葉台小学校×久良岐能舞台 みんなで狂言を体験しよう！3

担当アーティスト	善竹大二郎（大藏流狂言師）、石倉昭二（大藏流狂言師）
実施校	青葉台小学校（青葉区）
コーディネート	久良岐能舞台
実施科目・教科名	国語、総合的な学習の時間
実施概要	鑑賞型／狂言／6 学年 3 学級 111 名
実施日程	2022 年 12 月 2 日（金）



### 授業のねらい

伝統芸能を鑑賞することを通して、多様な表現について学ばせたい。それを共感して、受け継がれているものの良さを肌で感じられたらと思っている。そして、得たものを今後の児童の学習に生かしてほしい。

### 主な内容

①狂言について解説 ②狂言鑑賞「柿山伏」 ③狂言ワークショップ ④質問コーナー

### アーティストから

まじめで素直な子どもたちで、しっかり集中して見てくれているなど感じた。鑑賞態度がとても良かった。しっかり狂言の内容を理解してくれていたと思う。ワークショップでは発声や表情、動き等、狂言の表現方法を楽しく体験してもらえた。これを機に、伝統芸能にもっと興味を持ってもらえるとうれしい。

### コーディネーターから

狂言の解説中、狂言師からの問いかけにもみんなが積極的に答えており、「積極的に参加しよう」という姿勢を感じられました。ワークショップ中も、狂言の動きを元気よく楽しく体験してもらうことができました。狂言での動物の鳴きまねや大笑いの発声と表情などを体験し、さまざまな表現方法があることを学んでいただけたと思います。この体験が今後の学習に生かされたらうれしく思います。

### 先生から

本物を見ることは、動画で見るだけでは味わえない感動がありました。演者の方の空気感も伝わり、子どもたちが狂言を身近に感じ、肯定的に受け止めることができていたので、この時間を設定して良かったと思えました。国語の教科書の「柿山伏について」の学習と共に子どもたちの心に温かく残る時間だったと思います。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立奈良小学校＋横浜能楽堂 狂言を体験しよう！ 2

担当アーティスト	狂言方大蔵流 山本東次郎家（狂言師）
実施校	奈良小学校（青葉区）
コーディネーター	横浜能楽堂
実施科目・教科名	国語、音楽
実施概要	鑑賞型／狂言／6学年3学級89名
実施日程	2022年12月5日（月）



### 授業のねらい

狂言に触れることにより日本の伝統文化への関心を深めるとともに、より豊かに表現しようとする態度を育てる。感受性を育み、自身の表現や友達とのコミュニケーションに生かすきっかけとする。

### 主な内容

狂言のお話、「型」について、狂言「柿山伏」鑑賞、実技体験

### アーティストから

鑑賞、体験とも素直な反応が見られ、楽しんでくれている様子が伝わりました。狂言の「型」から場面を当てるときには、自由に想像力を働かせて、たくさんの意見を出してくれました。先生の言うことにはきちんと耳を傾けることができる一方で、縮こまらず、想像力を働かせてのびのびと自分の考えを口に出すことができていると素晴らしいと感じました。今日の体験をきっかけに伝統芸能に興味をもってもらえるとうれしいです。

### コーディネーターから

見ることも体験することも積極的に取り組んでくれました。「柿山伏」の鑑賞では柿主が笑うと、一緒に笑い声が起こる場面もありました。素直に自己表現ができる一方、説明や注意事項はきちんと耳を傾けることができていたので、たくさんのことを吸収してくれたと思います。

### 先生から

狂言の授業を通して、本物のプロの表現の美しさとすごさに圧倒されました。子どもたちにもそれが十分伝わっていたと思います。また、授業の話の中で、演じている最中に不測の事態に陥ったとしても、何事もなかったようにすることや、何百年もの伝統である「型」を引き継ぎ、さらに後世に残していくという覚悟が感じられ、それらが子どもたちにも伝わり、本当に素晴らしい内容でした。

### 子どもたちから

声の出し方や動作に工夫が見られ、おもしろかった。／本物になるためにたくさん練習が必要だと感じた。／狂言は知らなかったけれど、分かりやすく説明してくれて狂言の良さを知ることができて良かった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立東市ヶ尾小学校＋民族歌舞団 荒馬座 和太鼓と魚を獲る漁師の踊りを体験しよう

担当アーティスト	民族歌舞団 荒馬座（演技者）
実施校	東市ヶ尾小学校（青葉区）
コーディネーター	民族歌舞団 荒馬座
実施科目・教科名	音楽、特別活動
実施概要	体験型／和太鼓・ソーラン節／個別支援学級（中・高学年）13名
実施日程	2022年11月28日(月)、2022年11月30日(水)、2022年12月5日(月)



### 授業のねらい

個別支援学級の児童で主に中・高学年（3年生～6年生）が中心。和太鼓に直接触れることで普段から苦手意識を持ってしまう児童たちが、理屈抜きにおおのの表現を楽しみ自信を持ってもらいたい。太鼓の基本（バチの握り方、構え方）から座員のやる笛・小太鼓に合わせてお囃子を楽しむ。太鼓だけでなく運動会で踊っているソーラン節の意味を知りながら、仲間と力を合わせて踊る喜びを味わってもらおう。

### 主な内容

<1日目>和太鼓について知る。バチの握り方から叩く姿勢など太鼓の基本を楽しく学ぶ。<2日目>魚を獲る漁師の踊り。ソーラン節の踊りの意味を知り実際の魚の様子を楽しく表現する。<3日目>大漁旗を振ったり鉦や小太鼓にも挑戦しながらソーラン節の唄に合わせていろいろな楽器に触れてみる。

### アーティストから

個性豊かな個別支援学級の児童たちで、初めのうちは大きな音が苦手だったり、太鼓の前になかなか出られなかったりする児童たちも、回を重ねるごとに少しずつみんなの輪の中に入ってきて、3日目は全員が積極的に叩いたり踊ったり楽しく参加する姿に、芸能による表現の可能性を改めて感じました。

### コーディネーターから

担当の先生はじめ、校長先生・教頭先生ものぞきに来てくれ、学校として今回の取組に対して期待を寄せてくださっていることに感謝の気持ちでいっぱいです。少人数で同じ児童たちと3日間授業させてもらったので名前も覚えられ、児童の様子を見ながら取り組むことができました。担当の先生の細やかな声かけやフォローがあったおかげで無理なく進行ができました。

### 先生から

普段とは違って、子どもたちが音楽の授業を楽しみにする気持ちを表していました。荒馬座さんのスタッフにすぐに打ち解けて、自分から関わろうとしていました。集中力持続の難しい子どもたちであるにも関わらず、夢中で取り組み、「もう終わりか～、残念」などと呟いていました。どの子ども目も目がきらきらしていました。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立牛久保小学校十久良岐能舞台 みんなで狂言を体験しよう！ 4

担当アーティスト	善竹大二郎（大藏流狂言師）、石倉昭二（大藏流狂言師）
実施校	牛久保小学校（都筑区）
コーディネート	久良岐能舞台
実施科目・教科名	国語
実施概要	鑑賞型／狂言／6 学年 3 学級 90 名
実施日程	2022 年 12 月 2 日（金）



### 授業のねらい

体験を通して伝統文化が身近な生活の中の遊びや芸能と深くつながっていること、その魅力を感じることができればと思っています。自分の想いが伝わるように自信を持って表現することの楽しさを味わい、積極的に自己表現しようとする態度を育てる機会にしたい。

### 主な内容

①狂言について解説 ②狂言鑑賞「柿山伏」 ③狂言ワークショップ ④質問コーナー

### アーティストから

最初は緊張していたようだが、だんだん質問にも積極的に手を挙げて答えてくれるようになり、「参加しよう」という意欲が伺えた。ワークショップでは狂言の姿勢や発声、表情の作り方、動き等を体験してもらった。最後の質問コーナーでは、たくさん質問をしていただき、狂言や狂言師に興味を持ってもらえたと思う。これをきっかけに、狂言はもちろん、伝統芸能にも興味を持ってもらえたらうれしい。



### コーディネーターから

伝統芸能は“取っつきにくいもの”という認識があったかもしれませんが、現代でも使う言い回し・表現が少し違うだけだということを理解してもらえたので、柿山伏も楽しく鑑賞してもらえました。ワークショップも元気よく楽しく体験してもらってきました。これをきっかけに、狂言のみならず、さまざまな伝統芸能に興味を持ってもらえるとうれしいです。

### 先生から

CD音源やVTRだけでは、教科書の内容と照らし合わせてもなかなか理解できていない様子でした。しかし、アーティストの方（狂言師の方）のパフォーマンスを見たり一緒に体験したりすることで、子どもたちの表情やその後の教科学習が変わりました。「こうだったよね」「こうおっしゃっていた」など、見たことや聞いたことをもとにして意欲的に学習に取り組む姿が見られました。表現方法も、新しく得た情報を取り入れながら音読劇をすることができました。

### 子どもたちから

狂言は難しいけど面白いと思った。／古典芸能を生で感じることでできて、理解が深まった。／教科書で読んだときは違う迫力があったてすごかった。／柿山伏がまんざいみたいだった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立荏田東第一小学校＋横浜市芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ 三味線に触れてみよう

担当アーティスト	杵屋勝くに緒（長唄三味線方）、東音阪本剛二郎（長唄三味線方）
実施校	荏田東第一小学校（都筑区）
コーディネーター	横浜市芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／三味線／5 学年 2 学級 66 名
実施日程	2022 年 12 月 20 日(火)、2022 年 12 月 21 日(水)、2022 年 12 月 22 日(木)



### 授業のねらい

普段なかなか体験することのできない伝統音楽に触れる中で、いつもと違う自分や友達のがんばりに気付く。力を合わせて達成感を得ることで自分に自信を持ち、友達を信頼してねばり強く困難に立ち向かう力をつける。

### 主な内容

<1日目>講師実演、三味線について、構え方、撥の持ち方、開放弦など<2日目>譜面の読み方、左手の押さえ方、「きらきら星」の練習<3日目>「きらきら星」練習、グループでの発表会

### アーティストから

小学5年生を2クラス、3日間連続で授業を行って参りました。子どもたちは三味線という楽器を昨今流行りのアニメで知っていましたが、触れるのはみんな初めて。初日は構えや撥の持ち方からはじめ、2日目から本格的に曲を練習して3日目に楽しく発表会ができました。毎回授業の終わりに振り返りシートを書いてくれ、率直な感想や疑問を汲み取ることができたので、授業内容を少しずつブラッシュアップしながら進めました。超スピード授業でしたが、本番で合奏するという目標を持ち練習すれば上達していくという感覚を得ながら、少しでも達成感を味わってくれればと思って授業しました。

### コーディネーターから

初めて三味線を観る、演奏を聴くという児童が多かったですが、アニメで見たことがあるというところなどから、スムーズに入ることができました。2日目、3日目は、前日に感じた難しいところやうまくいったところをアンケートを通じて講師と共有し、課題を克服していました。グループ発表会では暗譜する子もいて、とても熱心に取り組んでもらえました。またやってみようという声も多く、邦楽、三味線が身近なものになったと思います。

### 先生から

初日の、初めて三味線に触った時は恐る恐る弾いていたのが、あっという間に演奏の方法を身につけ、1曲弾けるようになり、発表会までできるようになりました。子どもたちが邦楽に触れる機会は自らだとなかなか難しいですが、学校でこのような出会いの場を作っていくことの重要性を改めて感じます。たくさんの三味線と講師の方と共に、この素晴らしい体験が他の学校にも広がっていくことを望みます。

### 子どもたちから

三味線をアニメで見たので本物が見れてうれしかった！／みんなと三味線をひけてよかった。またひきたい。／みんなでいっせいにひいてみて、すごいきれいな音が出て、また今よりもっとうまくなってえんそうしたい。／自分から楽しめたいし、いろいろなことを学べた。／発表会でみんなの息が合っているところがいいようにのこった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立川和東小学校＋横浜みなとみらいホール 箏に触れてその魅力を知ろう

担当アーティスト	外山香（箏演奏家）
実施校	川和東小学校（都筑区）
コーディネーター	横浜みなとみらいホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／箏／6学年5学級165名
実施日程	2022年9月6日(火)、2022年9月7日(水)、2022年9月8日(木)



## 授業のねらい

生の演奏を聴くことや楽器に触れることで、和楽器の魅力を知り、体感する。演奏家とのやりとりや話を聞くことから、対話力、視野を広げられるきっかけづくりの場とする。

## 主な内容

<1日目>～<3日目>「さくら」を弾く体験～発表（1日目に1クラス、2・3日目に2クラスずつ実施）

## アーティストから

6年生5クラスを1クラスずつに分けて「さくら」の体験をしました。90分の授業では簡単な楽器の名称と基礎的な演奏の仕方を説明した後、実際に楽器に触れていただきました。3人1組になり1面の楽器を使用して交替しながら約60分間「さくら」を練習します。最初は興味がなかった子どもも1フレーズずつゆっくり練習することにより、だんだん曲が仕上がって楽しんでいました。その後は発表会を開いて、お互いの演奏を聴きあって講師と合奏をしました。講師の模範演奏では古典、現代曲、流行歌を聴き、箏という楽器の楽しさと可能性を感じていただきました。

## コーディネーターから

真面目に取り組んでくれる児童が多く、どんどん体験が進みました。グループでの発表では、講師が伴奏をつけた合奏までできました。講師の演奏に聴き入り、見入る姿も多く見られ、邦楽に興味を持っていただけのきっかけになったのではないかと思います。

## 先生から

コーディネーターの方がこちらの意向を丁寧に聞いてくださり、提案もしていただいたおかげで、5クラスに十分な時間を確保していただきました。またクラスごとの授業の見学も、自由なスタイルで了承していただけたおかげで、この貴重な機会を学年の枠を超えて楽しませていただきました。今後もこのプログラムをお願いできる機会があるとしたら、体験会の中の発表や鑑賞のタイミングに合わせて（箏の楽曲を扱う4、6年生で）、もう1学年の1クラスずつが参観させていただけるような流れも効果的かと考えました。

## 子どもたちから

本物に触れることができ、1曲演奏できるようになり、うれしかった。／プロの講師の先生の演奏を目の前で鑑賞でき、奏法や響きの素晴らしさを初めて知ることができた。／箏を自分で買ってもっと演奏してみたい。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立境木小学校＋横浜能楽堂 越天楽と雅楽の舞を体験しよう

担当アーティスト	中村仁美（雅楽奏者）、中村華子（雅楽奏者）、伊崎善之（雅楽奏者）
実施校	境木小学校（戸塚区）
コーディネーター	横浜能楽堂
実施科目・教科名	音楽、総合的な学習の時間
実施概要	体験型／雅楽／6学年2学級80名
実施日程	2022年11月7日（月）、2022年11月8日（火）



### 授業のねらい

伝統芸能に触れることで歴史や文化に興味を持ち、音楽や社会科の学習と関連付けて捉える。触れたことのないものに対し、「やってみたい」「チャレンジしたい」という興味・関心を持って取り組むことができるようになる。

### 主な内容

<1日目>雅楽楽器体験、鑑賞 <2日目>舞体験

### アーティストから

1日目は雅楽楽器体験、鑑賞をしてもらい、2日目は舞体験とバリエーションのあるプログラムでしたので、演奏の得意な子も舞の得意な子もそれぞれに楽しんでもらえました。打楽器の体験をしてもらおうと「いい響き！」との感想もあり、実際に体験してもらおうことでより響きを感じてもらえたようでした。両日ともみなさんが取り組んでいる姿勢が真摯で、自ら発見しようという感じが見受けられてすばらしいと感じました。

### コーディネーターから

コロナ禍で管楽器ができない中でも、雅楽の打楽器と舞を体験してもらおうことができ、バリエーション豊富なワークショップとなりました。曲も「越天楽」と「陵王」の2曲を聴いてもらうことができ、雅楽に対するイメージを膨らませることができたのではないかと思います。2組とも体験は真面目に楽しんで取り組み、また質問も積極的にしてくれて、雅楽をもっと知りたいという気持ちが伝わってきました。

### 先生から

社会科と音楽の学習を事前に行っており、日本芸能に対する知識や興味を少し持った状態で体験することができたので、子どもたちも貴重な体験ができて良かったという声が多かったです。やはり生に勝るものはないと思うので、実際に体験し生の音に触れたことは、とても良い体験になったと思います。

### 子どもたちから

もっと違う雅楽で使う楽器を使ったり、音色を聞いてみたい。／雅楽の歌などを聞いた時は、習ったことを振り返って、もっと雅楽のことを知れたらとってもうれしい。／おめんがすごいカッコよかった。／今回体験した楽器や舞は簡単そうで難しく、人前で演技をおこなっている人たちは、すごく練習や修行を重ねたんだろうと思う、カッコいいと思った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立名瀬小学校＋さくらプラザ 小鼓で感じる歴史と音楽

担当アーティスト 今井尋也（演出家、脚本家、小鼓演奏家、俳優、作曲家）

実施校 名瀬小学校（戸塚区）

コーディネーター 戸塚区民文化センターさくらプラザ

実施科目・教科名 音楽

実施概要 鑑賞型／小鼓／6 学年 2 学級 64 名

実施日程 2022 年 11 月 7 日（月）



## 授業のねらい

生の演奏を聴いたり見たりすることで、古くから伝わる日本の伝統音楽を味わい、何を感じたか言語化し、友達と考えを深める機会とする。

## 主な内容

小鼓の歴史に関するお話と体験

## アーティストから

文化芸術活動を楽しみながら、積極的に授業に参加できるようにさまざまな工夫をして臨んだ。日本の歴史と共に変容してきた小鼓の楽器としての特性を相互に対話しながら、理解を深めていく形で行った。子どもたちが興味を持ち、積極的に楽しんでいる様子が伝わってきた。講師の演奏に対しても感嘆と歓声が沸き上がっていた。実際に室町時代に作られた本物の楽器に触れ、演奏すると、掛け声含めてその独特の演奏スタイルに戸惑いながらも新しい発見があったようだ。

## コーディネーターから

以前から同内容のプログラムを開催してきましたが、今回はアニメやお笑い芸人などの影響により小鼓を見る機会が増えたこと、また、先生が小鼓がどのような楽器かを事前に伝えていただいたことで、児童たちにより能動的に参加していただけたかと思えます。各時代の小鼓を五感を使って比較し、どのように違うのかを児童自身に考えさせ、言葉にさせることで今回の目標を達成できたかと思えます。実際に叩いてみて、「うまく音が鳴らない」などの声もあり、日本の伝統的な楽器を体験できるいい機会になりました。

## 先生から

音楽の資料や映像ではなく、演奏家の方の本物の音やお話は、迫力が違いました。小鼓を通して室町時代から現代までの壮大なスケールを感じることができ感動しましたし、子どもたちにも伝わっていました。

## 子どもたちから

小鼓には長い歴史があって、歴史の時代背景にともない楽器の形が変わっていったという話は驚いたし感動した。／いつも和の音楽や文化に触れる機会が少なかったので、今回小鼓の音や歴史を聞いて、他の文化にも興味を湧いた。／CMの中にも小鼓の音がたくさん使われているというので、見つけたい。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立東品濃小学校＋さくらプラザ 箏の生の音楽を感じよう

担当アーティスト	寺井奈美（生田流宮城社師範）、大江美恵（生田流宮城社師範）
実施校	東品濃小学校（戸塚区）
コーディネート	戸塚区民文化センターさくらプラザ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／箏／6学年3学級83名
実施日程	2022年12月6日（火）



## 授業のねらい

普段は見る機会の少ない、生の伝統文化に触れて感受性を高めたい。また、その鑑賞を行った上でそれぞれの児童が「どう考えたか」をみんなで話をするきっかけ作りをしたい。

## 主な内容

箏の鑑賞

## アーティストから

古典、現代曲、ポピュラーソングと幅広いラインナップで構成したコンサートでしたが、どの曲も真剣に静かに聴いてくれました。とても静かだった児童たちが、演奏後には、こぞって楽器の周りを囲み、たくさんの質問や感想を寄せてくれて積極性と探究心に驚かされました。その後の全児童との質疑応答タイムでも数十人が挙手し、“箏といえば”な質問から斬新な質問まで、とても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

## コーディネーターから

東品濃小学校でのコーディネーター担当は3回目。今回は、和楽器の演奏を聴く機会が少ない児童たちに向けて、箏の演奏をお届けしました。古典～現代の箏曲とポップスを箏用にアレンジした楽曲を編成し、箏の魅力を体験いただけたかと思います。初めは箏を見ること自体初めてという児童が多かったですが、休憩時間に箏を見学が集まったり、質問タイムでは積極的に手が挙がったりするなど、箏への興味・感心の強さを感じました。

## 先生から

箏の生演奏を聴いたことがない子どもたちが多く、貴重な経験になったようです。「春の海」も学校の書き初め大会で耳にしている子がほとんどのはずでしたが、タイトルと曲が結びついていなかったようで、演奏が始まると「ああ、この曲か！」と納得したような表情の子どもがたくさんいました。曲のリクエストにも応じていただき、大人も子どもも楽しめる時間でした。

## 子どもたちから

珍しい経験ができた。／どんな質問も丁寧に優しく答えてくださってうれしかった。／姉妹で演奏していると知って驚いた。／箏の音に癒された。／“和”という感じだった。／「春の海」がきれいで、心に残った。／箏が好きになった。／日本文化にふれることができよかった。／自分の視野が広がった。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立矢部小学校＋横浜みなとみらいホール 邦楽鑑賞会～迫力ある生の音に聴き入る～

担当アーティスト	外山香（箏演奏家）、滝川美鶴（箏演奏家）、須賀慶英子（箏演奏家）、大山貴善（尺八奏者）
実施校	矢部小学校（戸塚区）
コーディネーター	横浜みなとみらいホール
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／邦楽／6 学年 4 学級 119 名
実施日程	2022 年 11 月 28 日（月）



### 授業のねらい

ふだん触れる機会のない和楽器を身近に感じ、演奏を聴くことで、和楽器の音色、奏法に触れ、伝統音楽のよさに気づき、感受性を高める。

### 主な内容

4 クラスを 2 つに分けて鑑賞／年代の古い曲～最近のポピュラー曲まで 4 曲の演奏を鑑賞

### アーティストから

体育館に於いて 2 クラスずつ 2 回公演行いました。ステージという遠い場所ではなく、子どもたちと同じ目線で演奏を聴いていただきました。生の楽器の迫力ある音を、空気を通じて感じていただけたのではないかと思います。曲目は古典から現代曲、流行歌など、箏と尺八の二重奏や十七絃を加えた四重奏など多岐にわたり、楽器の説明も含めて伝統楽器である箏と尺八を身近に感じていただけたと思います。

### コーディネーターから

4 クラス対象の鑑賞プログラムということで、より間近で演奏を聴いていただけるよう、アーティストとも相談し、2 クラスずつ 2 回公演としました。演奏をよく聴いたり見たりしていないとできない質問などもあり、熱心に鑑賞いただけたのではないかと思います。

### 先生から

プロのアーティストによる生の演奏を間近で鑑賞することは、子どもの心に深く響くものがあり、感動するものだと実感しました。楽器を美しい音色で演奏するのはたいへん難しく、相当な努力や練習を積み重ねなければならないと感じた子どももたくさんいました。好きなことを見つけ、継続し、努力するアーティストの姿を肌で感じる事ができたのは、これから人生を見つけていく 6 年生にとって、良い機会を与えられたのではないかと思います。

### 子どもたちから

ことをおもいっきりならずときは力があつた。穏やかな音も出せれば、どうどうとは力のあつた音も出せるのがすごい。／尺八の、人間だから出せる少しかすれた音色に、こととの音の重なりがとてもきれいで聴きいってしまった。／「春の海」の終わる雰囲気醸し出しながらもまだ続くところが、普通の曲と違いおもしろかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立飯島小学校十久良岐能舞台 みんなで狂言を体験しよう！5

担当アーティスト	善竹十郎（大藏流狂言師）、善竹大二郎（大藏流狂言師）
実施校	飯島小学校（栄区）
コーディネーター	久良岐能舞台
実施科目・教科名	国語
実施概要	鑑賞型／狂言／6学年3学級91名
実施日程	2023年1月20日（金）



### 授業のねらい

体験を通して、古典芸能の魅力に気付く児童がもっと増えてほしい。過去の人たちも人間的な部分があったことを知り、身近に感じてほしい。

### 主な内容

①狂言について解説 ②狂言鑑賞「柿山伏」 ③狂言ワークショップ ④質問コーナー

### アーティストから

笑いどころで笑ったり、解説の際の質問にもしっかり答えてくれていて、柿山伏の内容をきちんと理解して鑑賞してくれているなと感じた。質問コーナーでも、授業では習わないような狂言に関する質問もあり、本日の公演に備えてきてくれたのが分かり、うれしく思った。これを機に伝統芸能に興味を持ってもらえたらうれしい。

### コーディネーターから

冬の開催で、コロナ対策として体育館の換気をしていただいたこともあり、寒い思いをして集中できなくなってしまうかと不安に思うこともありましたが、天候にも恵まれ、しっかり鑑賞していただけて良かったです。ワークショップにて狂言の発声も体験してもらい、自分たちが普段使う言葉や表現も含まれていることに気付いてもらえたと思います。実際に見て体験することで、伝統芸能も難しいものではなく、身近なものなのだと感じてもらえたらうれしいです。

### 先生から

古典芸能について授業をした後に、今回体験をしました。授業の時には動画や教科書を使ってだったので、知識として理解していても、狂言の面白さが伝わったかどうかは疑問でした。今回の体験で、狂言の面白さが子どもたちに伝わったように感じます。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立伊勢山小学校＋テアトルフォンテ 日本の伝統音楽・雅楽の響きを楽しもう

担当アーティスト 真鍋尚之（作曲家、雅楽演奏家）

実施校 伊勢山小学校（泉区）

コーディネーター 泉区民文化センターテアトルフォンテ

実施科目・教科名 音楽

実施概要 鑑賞型／雅楽／6 学年 2 学級 51 名

実施日程 2022 年 12 月 14 日（水）



## 授業のねらい

実際の雅楽の演奏を聴くことで、その良さや特徴を感じ取り、日本の伝統音楽・文化への興味関心を高める。

## 主な内容

雅楽の鑑賞と唱歌・打ち物のリズム体験

## アーティストから

自分たちの住む国にこのようなすばらしい伝統があることを知ってもらうことに重点を置いた。雅楽の歴史や楽器の構造や特徴などを説明。なぜそのようなになっているのかを考えることによって日本人の美意識を感じられるよう工夫した。伝統的なやり方で唱歌を歌い、打楽器のリズムを叩くことにより越殿楽の構造をまず理解してもらった。CDや映像ではわからない音色や雅楽の持つ間合いや音楽性をしっかりと感じ、また超一流の演奏家たちによる演奏で生でしか伝わらない音楽を経験。本物の楽器と一緒に演奏することで体感できたことは雅楽を内面から感じ取るという意味で意義深いことになったと思う。

## コーディネーターから

学年全体での雅楽鑑賞会を開催し、笙、箏、横笛、龍笛、鞆鼓、楽太鼓の音色を楽しみました。龍の鳴き声のように聴こえる龍笛の音色や、指使いを変えずに唇や息の調節により、音程を変化させる箏など、教科書だけでは学ぶことのできない雅楽に関するさまざまなことを学習しました。鑑賞だけでなく、唱歌と打ち物のリズムを体験し、各クラス2人ずつ、本物の楽器に触れ、アーティストと一緒に演奏しました。日本の伝統音楽に興味・関心を持つ導入として、とても貴重な機会となったのではないかと思います。

## 先生から

子どもたちが本物の演奏を聴いたり、演奏体験をしたりする活動を通して、わが国や諸外国の文化を尊重する気持ちが育ったと感じます。良い体験でした。

## 子どもたちから

もっと音楽について調べてみたいと思った。／いつも体験できないことを体験して、近くで見ることでは気づかないことが発見でき、楽しかった。／楽器の音が大きすぎてびっくりした。／いつかやってみたい。／楽しくておもしろくてたくさん音がまたききたいと思った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立下和泉小学校+テアトルフォンテ 雅楽の良さや面白さ、美しさを味わおう1

担当アーティスト	真鍋尚之（作曲家、雅楽演奏家）
実施校	下和泉小学校（泉区）
コーディネーター	泉区民文化センターテアトルフォンテ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／雅楽／6学年2学級70名
実施日程	2022年12月14日(水)、2022年12月21日(水)、2022年12月22日(木)



## 授業のねらい

1、2日目は音楽室にある代替楽器で打ち物のリズムを体験することで、雅楽の「間」や「雰囲気」を体験する。3日目は本物の楽器を見たり、音色を聞いたり、実際に触ってみたりする体験を通して、楽曲の音色の特徴や良さを味わい、日本の伝統音楽・文化への興味関心を深める。

## 主な内容

<1日目>～<2日目>笙について知り、実際の音色を聴く。唱歌を歌ったり、雅楽の間を体験する（各日、1クラスずつ実施）。  
<3日目>学年全体で雅楽鑑賞。

## アーティストから

自分たちの住む国にこのようなすばらしい伝統があることを知ってもらうことに重点を置いた。雅楽の歴史や楽器の構造や特徴などを説明。なぜそのようなになっているのかを考えることによって日本人の美意識を感じられるよう工夫した。伝統的なやり方で唱歌を歌い、打楽器のリズムを叩くことにより越殿楽の構造をまず理解してもらった。CDや映像ではわからない音色や雅楽の持つ間合いや音楽性をしっかりと感じ、また超一流の演奏家たちによる演奏で生でしか伝わらない音楽を経験。本物の楽器と一緒に演奏することで体感できたことは雅楽を内面から感じ取るという意味で意義深いこととなったと思う。

## コーディネーターから

1日目と2日目は音楽室にて1クラスずつ笙について学び、唱歌や雅楽の間を体験しました。授業後は積極的に質問に来る様子も見られました。3日目は2クラス合同で鑑賞会を体育館で実施しました。楽器体験ではプロの演奏者と一緒に合奏しうれしそうな姿が印象的でした。また、コーディネーターにとって、本物と出会うことがどれだけ児童の感性を研ぎ澄ませ、感動へとつながるのか実感する時間となりました。先生方にもご協力いただき、滞りなく実施することができました。

## 先生から

2回目の演奏会は子どもたちにとってもとても良く、貴重な時間になったと思いました。1回目のクラスごとの授業については、1時間の半分は、子どもたちが活動できる内容だと良いかなと思いました。

## 子どもたちから

身体を使って楽器の使い方やリズム感、声で楽器の音色を表現したことが思い出に残った。／自国の音楽にほころいをもつべきだと感じた。／昔の日本の文化がたくさんあって、それを受け継いでいるところ。／いろいろな音の楽器があって面白かった。／笙は生で聴くと動画で聴くのはぜんぜんちがって迫力があつた。／1つの楽器から複数の音が出るのが面白いと思った。／昔からあるものだから昔のような物だと思っていたけど、新しい感じがした。／初詣に行ったときに「これは雅楽だよ」と教えることができた。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立中和田小学校＋テアトルフォンテ 雅楽の良さや面白さ、美しさを味わおう2

担当アーティスト	真鍋尚之（作曲家、雅楽演奏家）
実施校	中和田小学校（泉区）
コーディネーター	泉区民文化センターテアトルフォンテ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／雅楽／6学年4学級125名
実施日程	2022年12月13日(火)、2022年12月20日(火)、2022年12月22日(木)



### 授業のねらい

日本古来の音楽の1つである「雅楽」について、唱歌を歌ったり、代替楽器で打ち方を学ぶことで雅楽の「間」や「雰囲気」を体験し、日本の伝統文化への興味を深める。さらには、本物の楽器を使用して打物の体験をしつつ、実際にどのように演奏されているかを鑑賞する。「雅楽」を入口として、わが国の伝統音楽を尊重する心を育てる。

### 主な内容

<1日目>～<2日目>笙について知り、実際の音色を聞く。唱歌を歌ったり、雅楽の間を体験する（各日、2クラスずつ実施）。  
<3日目>学年全体で雅楽鑑賞。

### アーティストから

自分たちの住む国にこのようなすばらしい伝統があることを知ってもらうことに重点を置いた。雅楽の歴史や楽器の構造や特徴などを説明。なぜそのようになっているのかを考えることによって日本人の美意識を感じられるよう工夫した。伝統的なやり方で唱歌を歌い、打楽器のリズムを叩くことにより越殿楽の構造をまず理解してもらった。CDや映像ではわからない音色や雅楽の持つ間合いや音楽性をしっかりと感じ、また超一流の演奏家たちによる演奏で生でしか伝わらない音楽を経験。本物の楽器と一緒に演奏することで体感できたことは雅楽を内面から感じ取るという意味で意義深いことになったと思う。



### コーディネーターから

今年度も雅楽の授業を実施しました。1日目と2日目は音楽室にて1クラスずつ笙について学び、唱歌や雅楽の間を体験しました。3日目は体育館にて4クラス合同の鑑賞会を実施しました。実際の楽器を使っでの体験や、演奏者の息遣いまで感じることができる距離での鑑賞はなかなかできない経験であり、とても興味深そうに、集中して鑑賞していました。先生方にもご協力いただき、滞りなく実施することができました。

### 先生から

3年間連続して真鍋さんに雅楽の授業をしていただきました。毎年、初めて笙の音を聴いた時の子どもたちの顔を楽しみにしています。この学習を通して雅楽に興味を持ったり、世界最古のオーケストラと知り誇りを感じてくれている様子をうれしく思います。真鍋さんはじめ講師の方の演奏はもちろん装束や立ち居振る舞いなどからも、子どもたちは雅なものを感じ取っているので、本物を見せる価値をいつも感じています。

### 子どもたちから

楽器によってドの広がり方が違って、音って無限大なんだなと感じた。／画面で聴いた時より迫力もすごい体の中がビリビリした。／ふだんあまり聞かない音楽だが、聞いている人のそばに寄りそってしてくれるような音楽だなと感じた。／体験したときに、たたいていた人たちは、何気なくたたいているように見えてもとてもぎゅつのあることだなと思った。／きれいな音は一つひとつの楽器で成り立っていてどれか1つでも欠けたらだめなんだなと思った。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立阿久和小学校＋あっちこっち お囃子を体験しよう！小鼓、太鼓演奏で合奏に挑戦！3

担当アーティスト	望月太左衛（邦楽囃子方）
実施校	阿久和小学校（瀬谷区）
コーディネーター	認定NPO法人あっちこっち
実施科目・教科名	音楽、総合的な学習の時間
実施概要	体験型／邦楽／3・4学年2学級21名
実施日程	2022年11月9日(水)、2022年11月10日(木)、2022年11月14日(月)



### 授業のねらい

和楽器や伝統芸能に触れることで、興味・関心の幅を広げるとともに、仲間とコミュニケーションを取りながら協調性を持って演奏を楽しむ姿を期待する。日頃接する機会の少ない和楽器・伝統芸能に触れ、地域で演奏される「阿久和囃子」などにも目を向けられるようにしたい。また、全校児童で発表することで自己有用感を持てるようにしたり、仲間と協力して演奏することで協調性を高めたりするなど、音楽による自分づくり・仲間づくりに期待する。

### 主な内容

<1日目>鼓、お囃子ってなんだろう<2日目>楽器を体験しよう<3日目>発表会をしよう

### アーティストから

コロナ禍による自粛の影響で子どもたちが声を出すことができなくなりましたが、その中で昨年、横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業としてあっちこっちゃんの企画による阿久和小学校開校40周年記念曲として「しあわせのクローバー」を子どもたちの作詞により小鹿紡氏が作曲されました。本年子どもたちの心からの言葉による、明るい歌声と合奏させていただき感動しました。事業の継続により音楽の花が開きました。

### コーディネーターから

2年連続での実施担当校となった阿久和小学校。少人数ながらも子どもたちも先生方も、希少な経験の一瞬一瞬をとっても大事に過ごしているのが伝わりました。各日の授業終了後に、手拍子でリズムをとったり長唄を口ずさむ“あくわっこ”たちの後ろ姿を見られたのはうれしい限りです。最終日は昨年の作曲プログラムで完成した1曲とお囃子のコラボレーション。学校近くのイチョウ並木や、隣接する蟹沢公園に想いを馳せた歌詞をすてきな旋律に乗せた、あくわっこの元気な歌声とアーティストのお囃子との調和は見事でした。

### 先生から

普段触れる機会の少ない楽器に、子どもたちも教師も触れることができ、良い経験となりました。教えてくださる講師の方もテンポよく進めてくださいましたし、どの子にも声をかけていただけて、子どもたちも楽しく感じられたようです。打楽器は音を出すことはできるので、苦手意識のある子どもたちにとっても取り組みやすいものであったと感じます。2年引き続きでの取組で、昨年作詞作曲した曲を子どもたちが選んだことも良かったと思いました。

### 子どもたちから

おはやしの歌がすごいなと感じた。／さいしょはむずかしかったけど、なれたらかんたんだった。／教えてくれる方も楽しかった。／みんな上手にできてたし楽しそうだったのが記おおくに残った。／めずらしいがつきをさわられてたのしかった。／たくさんべんきょうして楽しかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立二つ橋小学校＋横浜能楽堂 狂言を体験しよう！3

担当アーティスト	狂言方大蔵流 山本東次郎家（狂言師）
実施校	二つ橋小学校（瀬谷区）
コーディネート	横浜能楽堂
実施科目・教科名	国語
実施概要	鑑賞型／狂言／6 学年 3 学級 101 名
実施日程	2022 年 12 月 1 日（木）



### 授業のねらい

狂言の体験を通して自分の良さに気付いたり、自己表現ができるようになったりする力を育む。また、本物に触れることにより、伝統芸能の面白さ、素晴らしさを体感する。

### 主な内容

狂言のお話、「型」について、狂言「柿山伏」鑑賞、実技体験

### アーティストから

それぞれがよく見て、よく考えて楽しんでくれました。狂言の「型」からどんな場面かを想像してもらったときには、感じたことや考えたことを自由に意見として出すことができている、素直で想像力豊かな子どもたちだと感じました。質問もたくさん出してくれましたが、じっくり観察して考えたからこそ出てくる内容で、興味を持ってくれていることがよくわかりました。より狂言の楽しさを感じてもらえたようで良かったです。

### コーディネーターから

自分で考える力のある子どもたちだと感じました。体験ではきれいなご挨拶から始まり、しぐさをよく観察して上手にまねしてくれました。質問も積極的にしてくれて、狂言をもっと知りたいという気持ちが伝わってくる、良い体験になりました。今回の授業をきっかけにして伝統芸能に興味を持ってもらえたらうれしいです。

### 先生から

普段なかなか目にしないものを生で見ることができたり、実際に体験したりして良い学習の場となりました。他の古典文化である、能や歌舞伎なども観てみたいという思いを持ちました。また、今回は国語科の学習で来ていただきましたが、社会科の歴史学習でも生かすことができたので、横断的で総合的な学習にすることができました。

### 子どもたちから

言葉と動きだけでこれだけできるのか。／狂言師の言い方が特徴的でとても面白かった。／今後もいろいろな表現を見つけない。／狂言は昔からあるので、これからも大切にしたい。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

# 横浜市立三ツ境小学校＋あじさいプラザ お箏体験教室～「ほんもの」の和楽器を奏でよう～

担当アーティスト	小山貢山（箏奏者）、谷富愛美（箏奏者）、石井香奈（箏奏者）、今井祐介（尺八奏者）
実施校	三ツ境小学校（瀬谷区）
コーディネーター	瀬谷区民文化センターあじさいプラザ
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／箏／6学年3学級・個別支援学級 計109名
実施日程	2023年1月19日(木)、2023年1月20日(金)、2023年1月23日(月)



## 授業のねらい

講師によるデモンストレーションを交えつつ、実践を中心にじっくりと箏に触れていただき、「さくらさくら」を演奏できるようにすることが目標。今回の活動を通して、邦楽が意外と身近な音楽であることを感じていただき、児童の皆さんが奏でる音を聞き合いながら、お互いを認め合えるようなプログラムを目指す。

## 主な内容

<1日目>～<3日目>講師による演奏「春の海」等の児童の知っている曲、箏の解説、実践「さくらさくら」（各日、クラスごとに実施）

## アーティストから

今回三ツ境小学校での箏体験教室では、さくらを演奏してもらいました。裏連というグリッサンド奏法を教えた時はできるようになると拍手が起り、とてもうれしかったです！なかなか弾けない子には横について番号を示したり、子ども同士で教えあう形にもなり、予想外でしたが、いい進み方になりました。個別支援学級の子たちも1つずつ教えていけば、かなり弾けるようになり社会的意義を感じました。

## コーディネーターから

本プログラムでは、限られた時間、限られた楽器の数で、参加児童にどこまで豊かな体験を提供できるかが課題でした。そこで『「さくら さくら」を弾けるようになること』を目標としながらも、まずは自由に弾いてみることにし、実際に楽器に触れられる時間に重きを置くこととしました。参加児童たちは、初めての楽器に戸惑いながらも楽しく弾いていた様子で、隣り同士で教え合ったり、最後まで弾けた子に拍手を送る姿が印象的でした。

## 先生から

事前学習で「春の海」の鑑賞の授業を行いました。実際にアーティストの方に「春の海」等の児童の知っている曲を演奏していただき、子どもたちは感動しながら聴いていました。また、箏に触れる機会があまりなかった子どもたちは、1時間で演奏できるようになったこともとてもうれしかったです。子どもたちが、箏、尺八に興味を持って取り組めるように授業をしていただいたことありがとうございました。コーディネーターの方も事前にご連絡いただいたのでスムーズに進めることができました。

## 子どもたちから

最初はむずかしくて、きれいな音がでなかったけれど、先生たちがやさしくコツを教えてくれたのできれいな音で演奏できるようになった。／実際に「春の海」の演奏が聴けて感動した。／演奏もすばらしく、思い出に残った。／ペアと教え合いながら演奏できて楽しかった。／もっと時間があれば音楽に合わせてみたかった。／もう1回、この体験をしてみたい。





横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立南瀬谷小学校＋民族歌舞団 荒馬座 日本のリズムを体験しよう！

担当アーティスト	民族歌舞団 荒馬座（演技者）
実施校	南瀬谷小学校（瀬谷区）
コーディネーター	民族歌舞団 荒馬座
実施科目・教科名	音楽
実施概要	体験型／和太鼓／4 学年 3 学級 126 名
実施日程	2022 年 11 月 21 日（月）、2022 年 11 月 22 日（火）



### 授業のねらい

授業で和楽器や日本の楽器を学ぶ学年なので、和太鼓に直接触れ、それを通してリズムの楽しさや友達と一緒に叩く楽しさを味わってもらおう。2 日間で太鼓の基本（バチの握り方、構え方）～座員の笛・小太鼓鉦に合わせてお囃子「輝け囃子」を完成させる。

### 主な内容

< 1 日目 > 和太鼓について知る、バチの握り方から叩く姿勢など太鼓の基本を学ぶ。太鼓の打ち下ろしから「輝け囃子」の全体像を知り、実際に叩く。< 2 日目 > 座員の叩くお囃子を聞き、自分たちもさまざまなバージョンに挑戦し楽しく叩く。

### アーティストから

普段触れる機会の少ない和太鼓に多く触れてもらいたい、思いきり叩くとどんな音がするのか興味を持ってもらえたらとのぞみましました。叩くごとに音が徐々に大きくなっていき、身体を大きく動かして楽しんでいました。みんなでひとつのお囃子を作る作業が楽しかったようで、最後はクラスのお祭りができ、楽しかった！という声をたくさん聞くことができました。

### コーディネーターから

和太鼓は全身運動になり、特にこのお囃子は、叩きながら踊るという要素が含まれているので、どんどん元気になっていく様子が見られたのが印象的でした。また互いに見合う中で友達の上達を評価して認め合う様子もあり、クラスのチームワークなどを感じることができました。

### 先生から

3 年続けて来てくださり、本校の児童の実態もよく分かっていらっしゃるのので助かります。和太鼓は身体に響きが伝わり、個別支援級の児童が参加できるか心配でしたが、大きな音が苦手な児童も体育館から離れることなく、同じ空間で和太鼓の響きを楽しめたことは驚きであり、和太鼓の魅力が伝わったんだなと思いました。

### 子どもたちから

荒馬座の方々演奏がすごくかっこよく、また楽しそうだったので聴いている方も楽しくなった。／日本の楽器の良さが分かり、さらに触れてみたくなった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立瀬谷さくら小学校＋横浜にぎわい座 「寄席の芸（落語・色物）」を鑑賞しよう3

担当アーティスト	瀧川鯉丸（落語家）、小泉ポロン（マジシャン）
実施校	瀬谷さくら小学校（瀬谷区）
コーディネーター	横浜にぎわい座
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施概要	鑑賞型／落語／6学年2学級76名
実施日程	2022年12月8日（木）



### 授業のねらい

本物に触れる体験＝日本の伝統芸能の1つである「落語」を体験する。この経験が、何かに一生懸命に取り組むきっかけになることを目指す。

### 主な内容

落語解説、体験（小噺、所作など）、落語・色物（マジック）鑑賞

### アーティストから

マジシャンの小泉ポロンさんと伺いました。6年生ですと気恥ずかしさも出てくる年頃ですが、落語の解説の時間も、こちらの問いかけに次第に手が挙がるようになり、双方向で進めることができました。クラス代表の体験では、オリジナルの仕草（家族でお寿司屋さんに行くひと時の素描など）も考えてくれて、大いに盛り上がりました。学校の先生からも、普段の学校生活の中ではなかなか見られない子どもたちの素顔を見られてうれしかったという感想をいただきました。

### コーディネーターから

この日はとても寒い日で、最初は寒さと緊張とで大人しかった子どもたちでしたが、講師からの質問や説明で徐々にほぐれていきました。所作の体験コーナーでは、恥ずかしがっていた代表の子たちが、いざ高座に上がるとしっかりと役割を果たし、それを見ている子どもたちもその頑張りに拍手で応え、みんなで参加している姿がとても印象的でした。短い時間でしたが、良い経験になってくれたのではと思います。

### 先生から

素直に落語やマジックを子どもたちと一緒に楽しむことができました。コロナの影響で、なかなか学年みんなで集まって1つのことを楽しむことが少なくなっている中で、良い経験になったと思います。また、授業終了後に落語家の話を聞かせてもらう機会をつくっていただき、自分や他の先生にとって参考になる話をしていただきました。今後とも、プロのアーティストに触れる機会をつくっていただけるとありがたいです。

### 子どもたちから

落語が面白かった。たくさん笑った。／想像して考えるのが楽しい。／マジックも楽しかった。／動作がおもしろかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立南が丘中学校＋吉野町市民プラザ 寄席を楽しもう

担当アーティスト	桂鷹治（落語家）、林家喜之輔（紙切り師）
実施校	南が丘中学校（南区）
コーディネート	横浜市吉野町市民プラザ
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
実施概要	鑑賞型／落語／3学年5学級181名
実施日程	2023年2月27日（月）



### 授業のねらい

若手演者に落語と紙切りを公演してもらうだけでなく、落語体験（所作の体験）を生徒代表5名に経験してもらうことにより、日本伝統芸能の表現力・創造力・言語能力の大切さを感じてもらい、自己能力の向上につなげていく。

### 主な内容

落語体験、紙切り、落語 ※実施演目順

### アーティストから

落語公演前に、手ぬぐい・扇子を使って落語の基本所作を生徒たちに演じてもらうことで、普段は縁のない落語に親近感を持ってもらえたと思います。また共演者の紙切りは、これこそ初鑑賞であったと思いますが、紙切り中の軽妙なトークと切り抜かれた作品に含み笑いや歓声が上がリ、これも生徒たちにとって貴重な体験になったと思います。

### コーディネーターから

中学生にとっては、普段の生活で縁のない落語と紙切り。この2演目を通じて生徒の皆さんに「伝統芸能＝日本の話芸」の面白さを体感してもらえたことと思います。また代表生徒5名に手ぬぐい・扇子を使っただけの落語所作を体験してもらう「落語体験」も、代表生徒だけでなく、それを見ている残り的大勢の生徒にも大いに楽しんでいただけたと思います。

### 先生から

子どもたちがステージに立ち、大喜利での発表力には驚かされました。人前で表現したり瞬時に思いついたことを人前で言うことができることは素晴らしいと感じました。

### 子どもたちから

落語がおもしろかった。／紙切りにチャレンジしてみたかった。／すごかった。



横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム「伝統芸能」

## 横浜市立中山中学校＋みどりアートパーク 和楽器（雅楽）の良さや音色に親しみ、日本の伝統に触れよう！

担当アーティスト	和楽団 煌（和楽器奏者（箏、三味線、尺八、笙）、ピアニスト（作編曲））
実施校	中山中学校（緑区）
コーディネーター	緑区民文化センターみどりアートパーク
実施科目・教科名	音楽
実施概要	鑑賞型／邦楽・ピアノ／1学年7学級290名
実施日程	2023年3月1日（水）



### 授業のねらい

音楽授業で学んだ知識を踏まえ、実際に楽器を目で見て、生演奏の舞台に触れ、伝統文化についての豊かな感受性を育む。和楽器（箏・尺八・三味線・笙）＋ピアノ編成による演奏会で、プログラム前半は伝統曲を中心に個々の楽器紹介と解説を加える。後半は現代曲やクラシック名曲、校歌など生徒にも関心のあるプログラムとする。

### 主な内容

和楽器（箏・三味線・尺八・笙）＋ピアノによる生演奏に触れる。

### アーティストから

久しぶりの中学校公演、私たちにとっても良い経験となりました。マスク越しではありましたが真剣に聴いている様子、特に雅楽の笙に関しては音色の出し方、何故くるくる回しているのだろうと興味が沸いている姿もよくわかりました。そういう姿を見るとこちらも勉強になります。また質問コーナーでは、和楽の魅力について改めて見つめるきっかけにもなりました。短い時間でしたが演奏とお話を通して魅力が伝わっていたならうれしいです。

### コーディネーターから

音楽専科の先生からのご要望で、生で触れる機会の少ない伝統楽器によるレクチャーと生演奏会を開催しました。初めての中学校対象プログラムでレクチャー内容と曲目構成を考慮して臨みました。1年生は音楽授業で雅楽を学んだばかりということで、ピアノと三味線、尺八、箏に加えて、特別に笙を加えたユニークな編成となりました。初めて楽器の実物と演奏に触れる生徒も多く、各楽器の音色のユニークさを実感して、静かであったが熱い反応が伝わってきました。

### 先生から

なかなか本物に触れる機会のない「和楽器の生演奏」を間近で聞くことができ本当に良かったです。余韻や息遣いを感じることができ、子どもたちも息をのむように集中して音楽を味わっていて、感受性が豊かになっているように感じました。

### 子どもたちから

肌で感じた音楽で、心が震えるような感覚だった。／洋風な曲も演奏していて印象的だった。案外、相性が良い！！／心にジーンとしみるあたたかい音。／緊張感が伝わってきて、体を動かしたり音を立ててはいけない、という雰囲気味わえた。（春の海）

## 【アーティストプロフィール】

## ■アーティストプロフィール

担当したアーティストのプロフィールは、以下の通りです。実施時点のもので、順不同です。

### 青山るりこ (ダンサー)

ダンサー、北九州市出身、オレゴン大学音楽部ダンス科卒。帰国後ダンスカンパニーで踊る。「4茶遊び」でさまざまな場所でお茶とダンスを交換する活動をし、2010年から「けのび」に参加。2011年からArt Lab Ova 横浜パラダイス会館にて、「赤ちゃんお茶会」や「るるる♪ダンス整体」を行う。「横浜下町パラダイスマツリ」では夫のルーツであるモン族に纏わる企画を家族で発表。「港南区自然学級の会」「こどもの育ちを考える会」会員。

### 浅野美帆子 (声楽家)

国立音楽大学声楽学科卒業。二期会オペラスタジオ 37 期マスタークラス修了。ウィーンにてコンラート・リヒター・マスタークラス修了。1995年「ドン・ジョヴァンニ」ツェルリーナ役でオペラデビュー後、数々のオペラに出演。NHKニューイヤーオペラコンサート、NHK交響楽団定期演奏会への出演や、ガイナックス社映画「ワンダフルデイズ」の挿入歌を歌うなど幅広く活躍中。2015年ハンガリーのソルノク市立オーケストラ定期演奏会にてオルバーン作曲「ミサ曲 NO.11」とカールジェンキンス作曲「レクイエム」のソプラノソロを歌う。CD「薫風」[Souvenir aria et Duo] をリリース。二期会会員。東京室内歌劇場会員。横浜シティオペラ会員。

### 浅葉弾 (クリエイティブディレクター、子供デザイン教室主宰)

1972年横浜生まれ。神奈川県立神奈川工業高校デザイン科、東洋美術学校グラフィックデザイン科を経て、(株)浅葉克己デザイン室に入社。浅葉克己の元で約8年間グラフィックデザインとタイポグラフィーの修行を積み、2002年6月に(株)博報堂C&Dに入社し広告クリエイティブ、メディアプランニングなどの経験値を積み。そして2005年10月DAN DESIGN CO.,LTD.を設立。広告クリエイティブ、ブランドデザイン、イベント企画・デザイン、パッケージデザインを中心に活動中。日本グラフィックデザイナー協会会員。金沢文庫芸術祭実行委員長。アサバアートスクエア主宰。

### アベタカヒロ (作曲家)

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業。在学中に歌の魅力を知り、卒業後は合唱や童謡などの分野を軸に活動している。第20回かぶらの里童謡祭作曲公募で最優秀賞を受賞。近年では横浜市芸術文化教育プラットフォームの

アーティストとして小学校で合唱制作授業を行ったり、森山直太郎氏の楽曲「花の名前」の合唱化を担当。主な作品に「混声(女声)合唱のための最愛」(全音楽譜出版社)、「うち 知ってんねん」(教育芸術社)、「人間ごっこ」(カワイ出版)、小学校向け音楽劇シリーズ9「旅人とクマ」「ロバを売りにいったおじいさんと孫の話」(東京書籍)の劇中音楽など。これまでに作曲を尾高惇忠、加羽沢美濃の両氏に、ピアノを加羽沢竹美、青柳晋の両氏に師事。日本童謡協会理事。

### 荒井靖水(薩摩琵琶奏者)、渡邊勝代(箏奏者)

#### 【荒井靖水】

神奈川県横浜市生まれ。6歳より祖父・中谷襄水、母・荒井姿水に薩摩琵琶の手ほどきを受ける。また、高校よりフルートを始め、洗足学園音楽大学管楽器科卒業。その後、NHK邦楽技能者育成会(第42期)にて研鑽を積み、1995年日本琵琶楽コンクールにて秀位入賞。現在、古典ならびに現代邦楽を軸に、他ジャンルとの競演を試みている。CD、DVDの録音やプロモーションビデオへの出演、また、舞台での音楽担当も多数。NHKはじめメディア出演も多く、国内海外問わず広く活動している。<https://araisuisui.themedia.jp/>

#### 【渡邊勝代】

3歳でピアノに触れ、9歳より箏の手ほどきを受ける。外山香氏に師事。NHK邦楽技能者育成会第44期修了。卒業演奏会ではコンサートマスターとしてソロパートを演奏。NHK邦楽オーディション合格、NHK-FM「邦楽のひととき」に出演。生田流沢井箏曲院教師試験、優秀賞受賞。第19回「静岡の名手たち」オーディション合格、邦楽部門初のロダン賞受賞。小学校や文化施設での体験授業や、横浜市内教室及び静岡教室での教授活動を通して、日本の伝統楽器である箏の普及に努めている。生田流沢井箏曲院教師、港北三曲会、横浜市民広間演奏会、横浜邦楽邦舞の会、NHK邦楽技能者育成会同窓会、富士市三曲協会各会員。

### 有吉宣人(俳優)、大道朋奈(俳優)

#### 【有吉宣人】

神奈川県出身の俳優、ドラマトウルク、演劇ワークショップの進行役。慶應義塾大学文学部入学と同時に演劇活動を始める。こまばアゴラ演劇学校無隣館を3期生として修了。全国各地の学校や、世田谷パブリックシアター、戸塚区民文化センターさくらプラザ、座・高円寺などの劇場で、演劇ワークショップの進

行役として、様々な人たちとの経験を問わない演劇づくりを行っている。また、目黒区立大島中学校にて、演劇部の外部指導員を務めている。

#### 【大道朋奈】

京都府出身。俳優、ワークショップ進行役。20歳で上京し演劇を始める。2015年に穂の国とよはし芸術劇場PLATのワークショップファシリテーター養成講座後期に参加、以後、俳優活動と並行してワークショップ進行役としても活動。劇場や学校、社会福祉施設などでそこに集まった人たちと遊ぶように演劇をつくっている。世田谷パブリックシアター「デイ・イン・ザ・シアター」シリーズ、ヨコハマ・パトラトリエンナーレ「かたるべハッピーザ」など。

### 飯田茂樹(日本インドネシア・バリ教育文化協会)

国立音楽大学ピアノ科を卒業後、インドネシア政府留学生として1983年から3年間、バリ島にあるインドネシア国立芸術大学(ISI Denpasar)に日本人初の留学生としてガムラン音楽を学ぶ。東京学芸大学大学院音楽教育学修士。2015年3月閉館の東京・青山の「子どもの城」(厚生労働省)に29年間勤務。ガムラン、サンバ、サバル(セネガルの太鼓)などの音楽を中心に、民族音楽を楽しく親んでもらうきっかけづくりを行った。またその一方、東京学芸大学や宮城教育大学で民族音楽演習の授業を行う。近年は音の出るおもちゃや小物の民族楽器を使って、遊びを通しての楽器・音楽体験「楽器屋台」を精力的に行う。著書にパーカッションist渡辺亮氏との共著「レッツ・プレイ・サンバ(みんなでリズムアンサンブル)」(音楽之友社刊)。CD作品として、インドネシア小スンダ列島の音楽「椰子の葉の調べササンドゥ」(キングレコード)、バリ島のガムラン音楽「グンデル・ワヤン」(インドネシア楽器協会)などがある。

### 池田正博(ジャンベ奏者、ミュージシャン)

14歳でエレクトリックベースを手にする。外国人学生達とロックバンドを結成、地元横浜で音楽活動をスタート、その後エレクトリック、アコースティックギターを始め、ジャズを学び始める。アメリカ、フランス、ドイツ放浪し、異国の音楽文化に触れ、旅先でアフリカの太鼓「ジェンベ」と出会い、手にする。東欧、アジア、アフリカの音楽に興味を持ち始め、アフリカンパーカッションist「山北紀彦」からアフリカのリズムを学び、ストリ

ートパフォーマンスの演奏活動を始める。1999年、原さとし、山平憲嗣と共に「龍降器奏楽団」を結成し、さらに、知的障害者バンド「ホンキートンク」に講師として加入。2000年から津軽三味線の「吉田兄弟」と出会い彼らのソロ活動に参加や、TV出演をして、2002年まで彼らと共に約2年間、「吉田兄弟+龍降器奏楽団」として約80ヶ所、120公演以上、全国でコンサートをする。また、アフリカケニアから来日していた日本人とのケニア人による「BAWAMAYA」の、北海道ツアーに参加し、その後、アフリカダンス&ドラムのユニットで、幼稚園や小学校での演奏活動や、2002年に「龍降器奏楽団」1stアルバムをリリース。同年から和太鼓奏者「筑紫寿楽」と出会い、全国で演奏活動を開始。またソロとしても活動。2003年再びアメリカを訪れ、音楽に触れ、自分の音楽の原点を見つめ直す。帰国後、日本人とセネガル人による「SAFAIKO」のSAFAIKOツアーに参加。2004年、映画「オーバードライブ」に出演、映画挿入曲にも参加。2005年よりジェンベ講師として教室(読売文化カルチャーセンター)を開講。2006年、2007年と全国で筑紫寿楽コンサート活動に参加。DVDにも出演、リリース。2008年、2月に筑紫寿楽と「博多金獅子太鼓」で、アメリカの首都ワシントンDCにてアメリカ政府、ジョン・F・ケネディセンター主催の日本の最新文化、芸能を紹介する「ジャパカルチャー・ハイパーカルチャー」に出演。後にこのグループが「ZEND」となる。同年、打楽器を中心としたプロフェッショナルパーカッションチーム「アサンテ」を結成。年1回、出演者だけでも100人にもなる「アースケのアフリカンフェス」を企画、現在に至る。さらに地元横浜で、地域に密着した活動がしたいと思いジャンベ教室を開設。生徒たちと行う「洋光台ジャンベの会」を結成、横浜市、区、町の様々な文化活動に参加している。その後「24時間テレビ」などの様々なイベントに出演。2010年、木村優斗、山北紀彦と共にN'DANAツアーを行う。2013年には「劇団EXILE」のレコーディングに参加。また、自身のバンド「アサンテ」のファーストアルバムをリリース。その他これまでに多くのアーティストとの共演やレコーディングに参加。また映画のサントラ、ゲーム音楽などのレコーディングなどにも参加している。現在いろいろな音楽要素を取り込んだオリジナル曲を中心に、各地のステージで活躍中。

#### 市毛早矢香 (造形作家)

多摩美術大学工芸学科卒業後、2007~20年まで横浜美術館「子どものアトリエ」エドゥケーターとして子どもたちの造形活動を担当する。退職後は、造形講師として市内の児童/高齢者福祉施設、子育て/障害者支援施設を

中心に活動を始める。楽しい創作活動との出会いが、子どもたちや利用者の自立、成長につながるよう支援している。

#### 伊東裕(チェリスト)、秋元孝介(ピアニスト)

##### 【伊東裕】

東京芸術大学音楽学部器楽科を首席で卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。ザルツブルク・モーツァルテウム大学を経て、現在ミュンヘン音楽演劇大学在学中。第77回日本音楽コンクールチェロ部門第1位および徳永賞受賞。葵トリオとして、第67回ARDミュンヘン国際音楽コンクールピアノ三重奏部門第1位。現在東京都交響楽団チェロ首席。

##### 【秋元孝介】

東京芸術大学及び大学院首席卒業。2018年、葵トリオのピアニストとして、第67回ミュンヘン国際音楽コンクールピアノ三重奏部門で日本人初の優勝。ミュンヘン音楽演劇大学大学院在学。

#### 今井尋也 (演出家、脚本家、小鼓演奏家、俳優、作曲家)

幼少より祖父から能楽を学び、十代で初舞台。その後、国立能楽堂研修生・東京芸術大学音楽学部を卒業、多数の能舞台に出演した後、渡仏し、現代演劇、コンテンポラリーダンス等を学ぶ。現代劇からコンテンポラリーダンスまで幅広く活躍。アートパフォーマンスユニット「メガロシアター」を主宰。アウトリーチ活動にも積極的に参加し、障害者の施設や小中高等学校でワークショップを実施。新作能の脚本・演出・音楽も多数。また、フリーの小鼓演奏家として国内外を問わずジャンルを超越して活躍中。

#### 今井学 (バリトン歌手)、櫻井音斗 (打楽器奏者)、倉田莉奈 (ピアニスト)

##### 【今井学】

幼少期より合唱音楽に親しみ、中学高校時代には大阪すみよし少年少女合唱団にて活躍、研鑽を積む。桐朋学園大学音楽学部声楽専攻卒業。同研究科三年次修了。これまでに「ドン・ジョヴァンニ」同タイトルロール、「フィガロの結婚」伯爵役、「桃太郎」猿役、「第九」ソリスト等、数多くの演奏会に出演。また歌手としてだけでなく、指揮、ボイストレーナー、ステージマネジメント、合唱編曲と、幅広く「音楽屋」として活動中。これまでに声楽を納多正明、加賀清孝、木村俊光、指揮を故北村協一、吉田行地、各氏に師事。

##### 【櫻井音斗】

国立音楽大学演奏学科打楽器専攻卒業。中学校教諭第1種免許(音楽)、高等学校教諭第1種免許(音楽)取得。2歳からリトミック、6歳からピアノを始める。9歳からハンドベルを始め、ディズニースタジオやショッピン

グモールなど多数出演。14歳からドラムスと打楽器を学ぶ。大学在学中より、音楽教室や保育園を中心にリトミックや打楽器の講師を務め、現在も子ども向けのワークショップや演奏会、またPOPS等のライブにて打楽器演奏者として活躍中。

##### 【倉田莉奈】

バリ国立高等音楽院修士課程、パリ市立地方音楽院、桐朋学園大学卒業。ジャン・フランセ国際コンクール第3位(1位なし)(仏)ほか、国内外のコンクールにて入賞。2013年より、フランス語・日本語で後進の指導にもあたっている。今までにピアノをフランク・ブラレイ、上田晴子、ピエール・レアク、川島伸達、関根聡子、森口みちる、エリック・ルサージュ、ポール・メイエの各氏に師事。かなつくホール レジデントアーティスト。

#### WOOD LAND (打楽器奏者)

グループ名の“ウッドランド”とは「山林」という意味です。構成の中心となる楽器はマリimba・・・マリimba=木の音色=自然の温かみのある響き・・・ナチュラルで大地に心地よく響きわたるようなサウンドを奏で爽快なコンサートをお届けします。

##### 【田村優輝子】

洗足学園大学音楽部打楽器専攻卒業。全日本演奏家協会主催：第5回ソリストコンクール入選。全国ベビーシッター認定資格を持ち、保育園にて非常勤保育士補佐を経て、その経験を活かした子供のためのコンサートでは「子供達と演奏者の境をなくし皆で音楽を通じて輪を創りましょう！」をコンセプトでその情操教育を重視した参加型プログラムの構成や企画力には特に長年の実績と実践の評価を高く得ている。

##### 【宮野下子竜】

洗足学園音楽大学・大学院打楽器科を共に首席で卒業。第10回イタリア国際打楽器コンクール・マリimba部門において2位受賞するなど、様々な国内外のコンクールにおいて優秀な成績を修めている。2014年東京都へプンアーティストに認定される。国内ツアー、韓国ツアーなど演奏活動の中でマリimbaの普及に努めている。

#### EduArt (アート教育団体)

EduArt (エデュアート) は、持続可能な世界の実現と継承を願い、その担い手となるグローバルシティズンにアートを通して育むことを目的に設立されたアート教育団体です。課題に向き合い、問いを立て、新しい切り口を模索し、自分の思考に形を与える。一つの正解を誰かと競い合うのではなく、多様であることを認めあう。発想を表現に転換するアートを通して、EduArt は希望の芽である未来のグローバルシティズンに寄り添い励まし、育て

てゆく活動を続けています。今回のワークショップでは、望月実音子と野村麻友を講師に招きました。

大山大輔 (バリトン歌手)、根本真澄 (ソプラノ歌手)、宇根美沙恵 (ピアニスト)、倉田莉奈 (ピアニスト)、伊原農 (俳優)、瀧川鯉丸 (落語家)

#### 【大山大輔】

東京藝術大学首席卒業。同大学院修了。“井上道義×野田秀樹”による「フィガロの結婚」フィガロ (フィガロ) や、宮川彬良作曲「ブラック・ジャック」B・J、バーンスタイン「ミサ」での司祭等、数々の主役として圧倒的な存在感を示している。また役者としての活動の他、劇団四季ミュージカル「オペラ座の怪人」ではファントムとして出演するなど幅広く活躍。その多彩な経験と独自の表現力から、台本執筆、MC・ナレーション、歌唱・演技指導にも定評がある。また「大山大輔の百人組手」や「実践！オペラ道場」を主催し新たな事業創出や若手育成にも積極的に取り組んでいる。

#### 【根本真澄】

福島県出身。郡山女子大学附属高等学校音楽科ヴァイオリン専攻卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大学別科卒業。大学卒業時に同声会賞受賞。市川市文化振興財団第2回即興オーディション最優秀賞受賞。日本演奏家コンクール第2位。クラシカルな歌唱アプローチはそのままに、電子楽器や即興演奏を取り入れた楽曲に意欲的に取り組んでいる。声楽を高橋啓三、平松英子、アンナ＝マリア・バーマー各氏に師事。ヴァイオリンを増子仁保、坂井玲子各氏に師事。即興演奏を平野公崇氏に師事。啓声会会員。日本声楽家協会研究員。大和市音楽家協会会員、2020年サルビア・アーティストバンク登録アーティストびっこらなべ所属。タクティカート契約アーティスト。

#### 【宇根美沙恵】

東京藝術大学ピアノ科卒業、その後同大学楽理科卒業。PTNAピアノコンペティション、かながわ音楽コンクール、日本ピアノ教育連盟オーディション等で入賞、入選。これまで日本木管コンクール、浜松国際管楽器アカデミー、ローム音楽セミナー等にて公式ピアニストを務める。現在、東京藝術大学音楽学部非常勤講師 (演奏研究員) を務める傍ら、リサイタルやNHK-FMにて国内外の著名演奏家と共演を重ね多方面にて活動中。

#### 【倉田莉奈】

p167に前述。

#### 【伊原農】

1974年2月27日生まれ。千葉県流山市出身。ハイリンド主宰。主な舞台は新国立劇場「どん底」作：ゴーリキー 演出：五戸真理枝 (2019)

加藤健一事務所「煙が目にしみる」作・演出：堤秦之 (2020) TVCM：「やぶきたブレンド」歌のプレゼント編 映像：西武ライオンズ70周年特別映像 (第1・第2弾)

#### 【瀧川鯉丸】

1987年5月30日 神奈川県横浜生まれ 幼少から横須賀で育つ 2010年3月 早稲田大学第二文学部を卒業 2011年3月 瀧川鯉丸に入門 前座名「鯉〇」で4年間の前座修業 2015年4月 ニツ目に昇進「鯉丸」となる 同年6月 横浜にぎわい座で記念公演を開催 2019年 第11回「前橋若手落語家選手権」準優勝 現在 公益社団法人落語芸術協会会員 都内寄席をはじめ全国の落語会やのべ200以上の学校公演に出演している「師匠のように、先輩方が大事にしてきた噺と心意気を“いいカタチ”で受け継ぎ、毎日どこかで高座に上がっている落語家をめざしています」

岡原真弓 (オペラシアターこんにゃく座・歌役者)、沖まどか (オペラシアターこんにゃく座・歌役者)

50年以上にわたり日本のオペラ作品を上演している日本のオペラ団体「オペラシアターこんにゃく座」の歌役者。日本語の歌唱表現を追求し、数々の「日本語のオペラ」の全国各地での公演に出演している。

岡本優 (ダンサー、振付家、TABATHA 主宰)

東京生まれ。東京を拠点に国内外で活動。幼少よりクラシックバレエを学び、ジャズダンス、シアターダンス、ストリートダンス、タップダンス等様々なジャンルも経験。舞台に限らず、ビジュアルモデルやMV、映像・写真作品にダンサーとして出演する。CM・アイドル・演劇作品に振り付けを行う。2011年設立、ダンス集団 TABATHA 主宰。

奥田雅楽之一 (地唄三弦・生田流箏曲演奏家、作曲家)

正派初代家元・中島雅楽之都の曾孫として生まれる。幼少より正派宗家・祖母中島靖子に箏を師事。作曲家で箏の祖父・唯是震一に三弦を師事。後年、森雄士宮城胡弓二代目富山清琴 (人間国宝) に三味線音楽「作物」を師事。四世萩岡松韻師に山田流箏曲を師事。富樫教子師に九州系地歌三弦を師事。今井勉師に平家琵琶を師事。主な作品：「バラード (譚詩曲)」、「木花咲耶姫 (主演：梅津貴禎)」、「雪月花三景『仲国』 (主演：市川海老蔵)」。現在：(公社)日本三曲協会会員、生田流協会会員、現代邦楽作家連盟会員、(公財)正派邦楽会常務理事、株式会社N.Y.C.代表取締役、正派邦楽会副家元。

おしゃべり音楽館

バリトン歌手の東卓治とソプラノ歌手の東実和を中心にクラシック音楽の普及を目指すグループ。長浜ホールを拠点に活動、公演数は40回を超える。オペラ、歌曲を中心に、地域へクラシック音楽の魅力を発信し続ける。

#### 【東卓治】

バリトン歌手。関東学院大学教育学部教授。横浜シティオペラ会員。

#### 【東実和】

ソプラノ歌手。関東学院大学非常勤講師。横浜シティオペラ会員。

#### 【頼田恵】

ピアニスト。東京室内歌劇場器楽会員。横浜シティオペラ会員。

小山真山 (箏奏者)

作陽短期大学箏曲コース (山田流) 卒業。ニューヨーク Vassar 大学で公演。

オルケスタ・デラックス

#### 【坪根剛介】 (パーカッションニスト)

中学生の頃よりブラスバンドで打楽器を始め、洗足学園短期大学打楽器専攻入学。打楽器全般を岡田知之、ヒダノ修一両氏に師事し、その後岡田知之打楽器合奏団のメンバーとして、海外公演に参加。様々なラテンバンド・サンバチーム・レゲエロックバンド等に参加し、ライブ活動を行う。

#### 【伊澤陽一】 (スティールパン奏者)

1992年 Renegades Steel Orchestra 来日公演にてスティールパンと出会い、衝撃を受ける。2000年 Steel Pan Player 原田芳宏氏に出会い、様々な事を学び、経験し、Steel Pan 奏者として演奏活動をはじめ。2007年本場トリニダード・トバゴ共和国にて開催するスティールパンコンテスト「PANORAMA」に現地のオーケストラ Starlift Steel Orchestra のメンバーとして出場する。2008年「WAIWAI STEEL BAND」を結成し、3枚のアルバムをリリース。全国にてライブ活動し様々な音楽フェスに出演している。

桂鷹治 (落語家)、桂笹丸 (落語家)、林家喜之輔 (紙切り師)

#### 【桂鷹治】

落語芸術協会所属。平成24年 (2012年) 3月、2代目桂平治 (現11代目文治) に入門。平成24年 (2012年) 5月、楽屋入り 前座名「たか治」。平成28年 (2016年) 6月、中席 ニツ目昇進「鷹治」となる。

#### 【桂笹丸】

平成26年 (2014年) 3月、桂竹丸に入門 前座名「竹丸」。平成26年 (2014年) 4月、楽屋入り。平成30年 (2018年) 5月、ニツ目昇進「笹丸」と改名。



### 【林家喜之輔】

平成 26 年(2014 年)10 月、林家今丸に入門。  
平成 28 年(2016 年)3 月、楽屋入り。平成  
30 年(2018 年)3 月、前座修行終了。紙切り  
師としてデビュー。

### 金子瑞季(ソプラノ歌手)

横浜市磯子区出身。日本大学芸術学部音楽学  
科卒業。二期会オペラ研修所マスタークラス  
修了。これまで池田直樹、日比野幸の各氏に  
師事。第 88 回横浜新人演奏会出演。2020 年  
横浜シテリオペラ特別ガラコンサート出演の  
ほか、横浜でのアウトリーチ公演に出演。  
2022 年 9 月座間市歌劇「修道女アンジェリカ」  
出演。二期会準会員。

### 鎌田美穂子(箏奏者)

箏・三絃・二十五絃箏奏者、生田流宮城社師  
範。横浜市出身。幼少より生田流宮城社大師  
範・山田ミサ氏に師事。東京藝術大学音楽学  
部邦楽科箏曲生田流専攻を卒業。教室主宰、  
都立大崎高校箏曲部講師。宮城会、森の会、  
横浜市民広間演奏会、鶴見邦楽連盟、日本三  
曲協会に所属。2019 年オリジナル CD「0-  
ゼロの庭」発売。

### 烏田晴奈(作曲家)、水杉亜希(パーカッショ ニスト)

#### 【烏田晴奈】

国立音楽大学作曲科卒業、多摩美術大学大学  
院情報デザイン領域修了。音楽と自作のアニ  
メーションを組み合わせた動画作品を制作し、  
学生 CG コンテスト特別賞など多数受賞。現  
在は TV、CM、アート作品、多様なメディア  
作品に音楽を提供している。アニメ「テル  
マエロマエ」、「ゴールデンタイム」(稲葉卓也  
監督作品)、NHK E テレプチブチアニメ、  
スヌーピーミュージアム館内アニメーション  
音楽など。SONY toio「おんがくであそぼう  
ピコトonz」開発メンバー。

#### 【水杉亜希】

国立音楽大学演奏科打楽器専修卒業。マリン  
バアンサンブルの CD アルバムをリリースの  
他、ゲーム音楽や劇伴レコーディングなどに  
参加。リトミックを交えた子ども向けコンサ  
ート、楽器作りのワークショップ、アートと  
リトミックのコラボイベント、小中学校の芸  
術鑑賞会、ブラスバンドの指導など、主に子  
供に向けた音楽活動をしている。また、自身  
のリトミック教室を主宰、保育者向けの実技  
研修会で講師を務める。

### 川崎和美(ガラス作家)

東京国際ガラス学院卒業。こども造形ワーク  
ショップ「うめぐみ」のメンバー。ガラス作  
家として活動しながら、公共施設での造形講  
座、年間を通じて保育園・幼稚園での造形指

導も行っている。描きつくることを通して「思  
いを達成できる喜び」を経験できるよう、一  
人一人に寄り添った指導を行う。

### 河野陽子(ソプラノ歌手)、荒井裕子(ピアニ スト)

#### 【河野陽子】

国立音楽大学声楽学科卒業。同大学院オペラ  
専攻修了。ロータリー財団国際親善奨学生と  
して伊・ミラノへ留学。オペラでは「フィガ  
ロの結婚」「コシ・ファン・トゥッテ」「テレ  
フォン」に出演。2011 年よりソプラノリサイ  
タル「ときめく心を歌う」企画・開催。現  
在、「失語症の方と家族のための声楽教室」、  
童謡唱歌の会「ヴォーチェ・ヨコハマ」、「男  
声レッスン・原語で歌う世界の歌」など講師。  
Y A A 運営委員。二期会会員。

#### 【荒井裕子】

洗足学園音楽大学音楽学部ピアノ科卒業。神  
奈川県新人演奏会出演。現在ピアノ演奏研究、  
ピアノソロ指導、声楽の伴奏、老人ホームへ  
の慰問コンサート、地域の合唱団の指導と伴  
奏を実施。本プログラムではソプラノ歌手河  
野陽子の伴奏として参加。

### 菊地敦己(グラフィックデザイナー、アート ディレクター)

1974 年東京都生まれ。武蔵野美術大学彫刻学  
科中退。在学中よりグラフィックデザインの  
仕事を始める。2000 年ブルーマーク設立。  
2011 年ブルーマークを解散し個人事務所設  
立。主な仕事に、青森県立美術館や  
PLAY!MUSEUM の VI・サイン計画(2006 年、  
2020 年)、ミナペルホネン(1995-2004 年)  
やサリー・スコット(2002-2020 年)などの  
ファッションブランドのアートディレクショ  
ン、亀の子スポンジのパッケージデザイン  
(2015 年)など。作品集に「PLAY」(誠文堂  
新光社)がある。亀倉雄策賞、講談社出版文  
化賞、日本パッケージデザイン大賞、原弘賞、  
ADC 賞、JAGDA 賞などを受賞。

### 北川結(ダンサー、振付家、イラストレータ ー)、タシロリエ(ダンサー、振付師)

#### 【北川結】

ダンサー・振付家・イラストレーター。6 才  
からモダンバレエをはじめ。桜美林大学に  
てコンテンポラリーダンスを木佐貫邦子に師  
事。2008 年より白神ももこ主宰のモモンガ・  
コンプレックスにメンバーとして参加。ダン  
サーとして様々な振付家・演出家の作品に出  
演。近年では演劇作品にも出演し、活動の幅  
を広げている。2017 年、横浜ダンスコレクシ  
ョンコンペティション I にて奨励賞を受賞。  
イラストレーター“きたがわゆう”としても活  
動している。

### 【タシロリエ】

ダンサー・振付師。ストリートカルチャーに  
影響を受けダンスを始め、コンテンポラリー  
ジャズダンスをベースとした独自の創作スタ  
イルを築き上げてきた。これまでに国内・外  
の様々なダンスフェスティバル・レジデンス  
に招聘され作品を発表してきた。また自身の  
ダンス作品の創作以外にも舞台、ファッショ  
ンショー、CM、映像演出からティーチング  
などジャンルを横断し活動している。

### 杵屋勝くに緒(長唄三味線方)、東音阪本剛二 郎(長唄三味線方)

#### 【杵屋勝くに緒】

人間国宝・杵屋勝匠師に師事。東京藝術大学  
音楽学部邦楽科別科修了。国立劇場や紀尾井  
ホール等で開催される演奏会、NHK(E テ  
レ、FM)などで演奏活動。初心者向けワー  
クショップなど後進の指導にも力を入れている。  
(一財)杵勝会参与、(一社)長唄協会会  
員、(一社)玉の緒会代表理事、横浜邦楽邦  
舞家協会会長。長唄三味線方。東京藝術大学邦  
楽科別科卒業。東京藝術大学名誉教授・東音  
味見享師に師事。

#### 【東音阪本剛二郎】

長唄東音会同人。長唄協会会員。横浜邦楽邦  
舞家協会会長。長唄寿々弥会主宰。放送、劇  
場演奏など国内外で活動中。長唄三味線の指  
導にも力を入れている。

### 倉重円(PLANETS 所属インストラクター)、 中村美紅(PLANETS 所属インストラクター)、 相原優貴(PLANETS 所属インストラクター)

#### 【倉重円】

4 歳から 10 年間クラシックバレエを習う。  
高校の部活でチアダンスを始め、初めての世  
界大会に出場する。大学に進学後も部活でチ  
アダンスを続ける。その後、クラブチーム  
Planets Dance Company に所属し全国大会で  
は数多くの優勝・グランプリを経験。世界大  
会にも出場し世界第 1 位の成績を残す。また  
競技だけではなく 27 時間テレビや CM など  
にも出演。現役引退後の現在もカンパニーメ  
ンバーとして活動している。チアダンスイン  
ストラクターとしても活動し、日々子ども達  
にチアダンス指導を行なっている。

#### 【中村美紅】

7 歳よりクラシックバレエを、同時に 9 歳よ  
りチアダンスを習う。中学生より Planets  
Dance Company PLANETS☆io として数々  
の大会にて入賞。世界大会にも出場し世界第  
1 位の成績を残す。現在も現役チアダンサー  
として競技を続け、全国大会優勝を目指して  
いるチアダンスインストラクターとしても活  
動し、日々子ども達にチアダンス指導を行な  
っている。

## 【相原優貴】

高校の部活でチアダンスに出会い全国大会で成績を残す。卒業後、日本女子体育大学舞蹈学専攻に進学、また同時 Planets Dance Company に所属する。日本国内の大会で数々の優勝、グランプリを経験し2017年、2019年には世界1位の成績を残す。また競技だけではなく音楽番組のバックダンサーとしても数々出演している。現役引退後カンパニーメンバーとして活動している。現在はチアインストラクターとして活動し日々子どもたちにチアダンスを指導している。

## 黒須育海 (振付家、ダンサー)、中村理 (振付家、ダンサー)

### 【黒須育海】

1987年生まれ。埼玉県出身。高校でストリートダンス・創作ダンスを始める。大東文化大学にてモダンダンス部に所属。在学中に英語と保健体育の教員免許を取得。男性中心のダンスカンパニー「ブッシュマン」を主宰、2017年横浜ダンスコレクションにて審査員賞（グランプリ）を受賞。韓国、ハンガリー、マレーシア、ルーマニアに招聘され、作品を発表。2018年から「コンドルズ」に参加。その他、OKAMOTO'S×RIP SLYME やボルノグラフィティ等のPVや演劇の舞台にも出演。特別支援学校非常勤講師。

### 【中村理】

1987年神奈川県生まれ。和光大学表現学部芸術学科卒業。2007年に身体表現と出会い、ソロダンス作品等を多数発表しながら様々な振付家・演出家の作品に出演。2017年より振付家・田畑真希が主宰する「タバマ企画」のメンバー、同企画による島根県民会館インクルーシブシアター・プロジェクトに参加。また、全国の小学校等でのワークショップアシスタントも数多く務めている。舞台作品以外では映像作品、NHK Eテレの番組、ミュージシャンのMVやライブへ出演するなど、活動は多岐に渡る。また、近年はイラストレーターとしても活動。

## 小畔香子 (生田流箏曲演奏家)、見澤太基 (尺八奏者)

### 【小畔香子】

神奈川県茅ヶ崎市出身。NHK邦楽技能者育成会48期修了。東京藝術大学音楽学部邦楽科箏曲生田流専攻卒業。在学中に宮城賞・安宅賞およびアカンサス音楽賞を受賞。同大学院修了。宮城道雄記念コンクール一般の部第一位入賞。映画「春琴抄」(齋藤工主演)・「カフェ代官山I」などで俳優指導、演奏、作曲を手がける。国立臺北藝術大学(台湾)日本の地歌三味線講師を務めるなど、国内外で活動。NHK・Eテレ「にっぽんの芸能」、古典芸能鑑賞会、「おんがくブラボー」などに

出演。宮城社師範。宮城合奏団団員。山手学院中学校・高等学校 箏曲部講師。

### 【見澤太基】

北海道札幌市出身。尺八を菅原久仁義に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。篠井英介主演の舞台「サロメ」での演奏、「さらい屋五葉」(フジテレビ)、小林沙羅「日本の詩」等の録音に参加。邦楽地域活性化事業(2010年熊本県、2018年広島県)、熊本県立劇場、いわき芸術文化交流館アリオス主催のアウトリーチ事業に参加。これまでに、ソプラニスタ木村優一と「尺八×ソプラニスタ」、「みさわたいき尺八コンサートシリーズ」等を開催。

## こいちりょうじ (こども造形研究家)

子どもたちとの造形制作を通じた交流を中心に活動。福祉施設、小学校、美術館、博物館などにおいて造形制作開催。その他、造形教育についての講義指導、執筆等多数。保育園や幼稚園の造形講師も多数担当。「美術造形教室ぶらすあーと」を主宰。

## 小瀬古文庫 (擬態デザイナー)

専門はヴィジュアルコミュニケーション。「擬態」「静動」など視知覚の研究をベースにした実験的表現と役割の開発を行う。独立出版を軸とするメディアミックスプロジェクト「gitai」を通じてその成果を流通させ、国内外のアートブックシーンで発表している。2021年よりオプティカルトイ「PLANET LENS」やワークショップの開発を行い、新たなデザイン視点を社会にインストールすべく活動中。メディア掲載に「タモリ倶楽部」「BranD magazine」「Hyperallergic」など。

## Co.山田うん (ダンスカンパニー)

2002年設立の山田うん率いるダンスカンパニー。様々な経験を持つダンサーが十数名所属し、圧倒的なチームワークと個性を共存させている。創造的な活動と芸術の追求として、毎年新作とレパートリーツアーをはじめ、オペラやミュージカルでのパフォーマンス、音楽や伝統芸能とのコラボレーション、イベントのプロデュースなども行っている。全国各地の劇場でダンスワークショップや子供たちへのダンスプログラム、また、保育園、幼稚園、小学校、中学校、そして福祉施設でのダンスワークショップでは心身の育成に貢献している。リーダーの川合ロンは、早稲田大学卒。国内外で活躍する振付家・演出家のダンス作品、ミュージカル、オペラ、演劇、映画等にダンサー、俳優として出演。国内外ツアー多数参加。

## 近藤一美 (振付家、ダンサー)

日本女子体育大学舞蹈学科卒。よさこいチーム「K-one 動流夢」を立ち上げ、チームの運

営とイベントの開催に携わる。2019年に、第18回世界水泳選手権大会の光州での祝賀イベントに横浜市の芸術団として招聘される。また神奈川県よさこい組織委員会代表として、県内4支部23団体による県内よさこいの普及活動を行うと共に、横浜よさこい祭りを開催。2022年10月に第7回を開催。

## The Quartet “Oiseaux” (サクソフォン四重奏団)

2019年12月結成。4人それぞれの個性と魅力をぶつけ合い結びつけながら、より良い音楽を目指し活動中。これまでに東京、名古屋、大阪でリサイタルツアーを開催。その他にも学校でのアウトリーチなど幅広く活動を行う。メンバー：ソプラノ・サクソフォン/齊藤健太、アルト・サクソフォン/高橋龍之介、テナー・サクソフォン/蒙和雅、バリトン・サクソフォン/彦坂優太

## 齊藤綾乃(打楽器奏者)、藤本亮平(打楽器奏者)

### 【齋藤綾乃】

千葉交響楽団打楽器奏者。桐朋学園大学音楽学部打楽器専攻卒業。桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了。2012年日本打楽器協会主催《マリンバ・スピリチュアル》演奏コンテストにてアンサンブルY・T・Eとして三木稔音楽賞(最優秀賞)受賞。

### 【藤本亮平】

千葉県柏市出身。武蔵野音楽大学打楽器科卒業、桐朋学園大学研究科マリンバ専攻修了。第21回日本クラシック音楽コンクール打楽器部門第4位受賞。

## 櫻田素子 (ガムラン演奏家)

横浜生まれ、ガムラングループ Terang Bulan (トゥラン・ブーラン) 主宰。東邦音楽大学大学院・日本女子体育大学非常勤講師。国立音楽大学卒、日本児童育成協会こどもの城音楽事業部を経て独立。ガムラン演奏と作曲、ジャンル横断的なアート制作、ダンスとの協働、子どもから大人まで様々なコミュニティでの集団音楽ワークを手がける。バリ島芸術祭へ度々招聘され参加。日本の風土の特性を活かしながら、有機的に絡み合い共感覚を呼び覚ますアートや人の身体性と関わりの強いパフォーマンスアートにおける音楽を追求している。

## 佐藤辰海 (脚本家、演出家)

神奈川県川崎市在住。2013年明治学院大学を卒業後、劇団「guizillen」を立ち上げる。劇団を立ち上げて5年で1ヶ月公演、2300人以上の動員を達成する。これまで200名以上の俳優を指導。演技指導のポリシーは「上手くなることではなく、その人がその人らしく楽しめるようにすること」。俳優が楽しそうに演じ

る劇団として、とにかく観ていて気分がいい劇団として評価が高い。第7回公演「賭け」が佐藤佐吉演劇賞優秀作品賞を受賞。また、自らの劇団をスポンサーとする短編演劇祭「佐藤辰海演劇祭」、俳優個人のモノローグを競い合う「モノローグ演劇祭」の企画・運営・代表を務める。

Sayumi (音楽家)、大喜多陽子 (リコーダー講師、古楽器演奏家)

【Sayumi】

洗足学園音楽大学ピアノ科卒業。10年間バレエピアニストを経て、作曲提供、ピアノ編曲、伴奏サポート、療育現場のピアニストのほか、作家やダンサーや美術系アーティストとのコラボレーション、ワールドミュージック、即興音楽などでセッションを通じ活動の幅を広げている。音楽ユニット多数所属。「音楽室 Duo ♪」メンバー。使用楽器はピアノ、鍵盤ハーモニカ、口琴、シンセサイザー、ガラクタ、手作り楽器、打楽器など。楽器体験や、手作り楽器、アフリカンジャンベ、親子で遊ぶ workshop も行っている。

【大喜多陽子】

横浜生まれ横浜育ち。横浜国大教育学部小学校教育学科、養護教育副科卒業。全日本器楽指導協会講師として関東各地の小中学校をまわる。たんぼぼリコーダー教室主宰、子どもから大人まで笛や音楽の楽しみ方を伝えている。リコーダーを花岡和生氏、古楽ギターを竹内太郎氏に師事。古のヨーロッパの多様な楽器を奏で、アンサンブルやダンスの伴奏、室内楽の賛助など演奏活動中。「音楽室 Duo ♪」メンバー。

しましまのおんがくたい(管打楽器ユニット)

桐朋音大・洗足学園音大・武蔵野音大を卒業しプロとして活躍する5名の奏者、倉内理恵(クラリネット)・木村有沙(サクソフォン)・高橋朋子(ホルン)・永井嗣人(トロンボーン)・富田真以子(打楽器)で構成される管打楽器ユニット。フィリアホールの親子向けコンサート出演をきっかけに結成、0歳からの子どもと保護者へ本格的な生演奏を届けるべくワークショップ形式のコンサートを各地で開催。クラシックの名曲からポップスまで幅広いジャンルの楽曲、手遊びうたなど参加型プログラムを取り入れ、豊かな音楽体験と親子のコミュニケーションの場を提供している。

清水和美 (打楽器奏者)

武蔵野音楽大学作曲学科卒業後、音楽教師として小・中・高・特別支援学校とトータルで24年間勤務した後、ドラムサークルファシリテーターとして独立。教育機関、福祉施設、医療施設、企業研修、イベント等、幅広い分野でドラムサークルを実施している。スマイ

ルビート代表。D C F Aファシリテーター・オブ・ザ・イヤーズ2016 受賞。一般社団法人ドラムサークルファシリテーター協会副理事長。群馬社会福祉専門学校非常勤講師。FM桐生パーソナリティ。

白井篤 (ヴァイオリニスト)、大越崇史 (ピアニスト)

【白井篤】

NHK交響楽団第二ヴァイオリン次席奏者。国立音楽大学付属音楽高校を経て、桐朋学園大学卒業。1999年、NHK交響楽団に入団。2003年、アフィニス文化財団海外研修員としてウィーンへ留学、アレクサンダー・アレンコフ氏に師事。2004年ウィーンにて初リサイタル開催。

【大越崇史】

桐朋学園大学音楽学部卒業。パリ地方音楽院コンサーティスト課程ピアノ科室内楽科を併せて卒業。2012年デザインK国際音楽コンクール二重奏部門第1位、併せてグランプリ受賞。2014年ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール特別賞。これまでにピアノを大長美由紀、練木繁夫、山田富士子、高野耀子、アンヌ・リーズ・ガスタルディ、アンヌ・ケフェレック各氏、室内楽を大須賀恵里、マリー・フランス・ジレ、クリスチャン・イヴァルディ、エリック・ル・サージュ、ポール・メイエ各氏、伴奏法をアリアンス・ジャコブ氏に師事。

善竹十郎 (大蔵流狂言師)、善竹大二郎 (大蔵流狂言師)、野島伸仁 (大蔵流狂言師)、石倉昭二 (大蔵流狂言師)

【善竹十郎】

昭和19年生まれ、故善竹圭五郎の長男。父及び、祖父故善竹彌五郎、大蔵流24世宗家故大蔵彌右衛門に師事。重用無形文化財総合指定保持者。(社)能楽協会・日本能楽会会員。昭和58年芸術選奨文部大臣新人賞・平成5年大阪文化祭賞受賞、早稲田大学政経学部卒。早稲田大学エクステンションセンター・桐朋学園芸術短大・帝京平成大学講師。

【善竹大二郎】

昭和56年生まれ。善竹十郎氏次男。祖父故善竹圭五郎、父・善竹十郎に師事。3歳から稽古を始め、5歳の時「靉猿」の小猿役で初舞台。後に「末広がり」「千歳」「那須」「三番三」「釣狐」を抜く。東京を中心に活動し、全国幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学にて狂言の普及に尽力する。海外公演も多数参加。「善之会」主宰。駒澤大学外部講師。

【野島伸仁】

昭和30年生まれ、大蔵流狂言方。善竹十郎に師事。育英学院 サレジオ工業高等専門学校・専任講師。(社)能楽協会会員。

【石倉昭二】

大蔵流狂言方。(社)能楽協会会員。

瀧川鯉丸(落語家)、小泉ボロン(マジシャン)

【瀧川鯉丸】

p168に前述。

【小泉ボロン】

横浜市出身。ウィッチステーション所属、落語芸術協会提携。

多治川純一 (ギタリスト)

エレキギターから始め、クラシックギターを大橋俊和、ジャズギターを大橋博和、エレキギターを今剛に師事。福田進一、S.グロンドーナ各氏のマスタークラスを受講。第30回神奈川新人ギタリストオーディション首席合格。第26回学生ギターコンクール大学生の部第2位入賞。クラシカルギターコンクール・スペインギター音楽コンクールファイナリスト。多治川ギタースクール横浜磯子教室を主宰し、神奈川大学ギターアンサンブル部に於いて後進の指導にあたっている。日本ギター連盟所属、神奈川ギター協会委員、(財)ヤマハ音楽振興会認定講師。

田村興一郎 (振付家、ダンサー)

<DANCE PJ REVO>主宰。横浜を拠点に活動。横浜ダンスコレクション2018コンペティションIで、若手振付家のための在日フランス大使館賞とシビウ国際演劇祭賞を受賞。ダンス作家として緻密な構成力と空間設計、社会や既成概念を疑う姿勢が評価されている。独自開発した誰でも振付家になれるワークショップ「身体美術館」や、福祉とダンスを繋ぐ活動も行っている。また市民参加型ダンスプログラムにも携わり、ダンスアーティストとして彩りのある活動を志している。

千葉大二郎 (アーティスト)

1992年生まれ。2014年多摩美術大学日本画専攻卒業。2016年東京藝術大学大学院修了。2014年からプロジェクト「硬軟」を主宰。2022年「第25回岡本太郎現代芸術賞」で特別賞を受賞。主な展覧会に2022年「ART OSAKA Expanded」(クリエイティブセンター大阪)、「たえて日本画のなかりせば」(東京都美術館)など。DIYの作風で展示やパフォーマンスをおこない、美術の領域を広げている。

土屋広次郎 (フェリス・フラウエンコーア指揮者、バス歌手)

フェリス女学院大学音楽学部演奏学科 教授。東京芸術大学音楽学部声楽家卒業。同大学院音楽研究独唱科修了。二期会オペラスタジオマスタークラス修了。多田羅迪夫、直野資、渡邊明、嶺貞子、三林輝夫に各氏に師事。国際ロータリー財団親善奨学生としてミラノへ

留学し発声法をA. ボレリ、オペラ演奏法をL. ベレンゴ（元スカラ座コレペティトーレ）各氏に師事。オペラでは「フィガロの結婚」のフィガロ、「魔笛」のパパゲーノ等の幅広い役柄で多くの主要作品に出演。横浜音楽文化協会会員。二期会会員。

寺井奈美（生田流宮城社師範）、大江美恵（生田流宮城社師範）、

**【寺井奈美】**

4歳より生田流箏曲の手ほどきを受け、現在、生田流宮城社師範。国立劇場、NHKホールにて開催される宮城会全国大会、関東大会に出演。横浜三溪園などでのイベント演奏を始め、アフリカ国際会議でのレセプション演奏、IMF国際会議懇親会での演奏、結婚式での演奏など、演奏活動中。

**【大江美恵】**

4歳より生田流箏曲の手ほどきを受け、現在、生田流宮城社師範。NHK邦楽技能者育成会第45期卒業。国際親善文化紹介のためのアメリカ公演に参加、自身のリサイタル主催、宮城道雄記念コンクール入賞など、幅広く演奏活動中。

寺道健一朗（メリーゴランド研究所代表）

1969年横浜本牧生まれ、本牧で育つ。大学卒業後、東京銀座にある美術製作会社に入社。1999年1月に美術工芸制作プロダクション「有限会社エトルスコ」を山下町（現在は元町）設立。レリーフ・ディスプレイ制作で数々のヒット作を連発し、引く手あまたに。2009年に第2スタジオ「スタジオ カルーセル（メリーゴランド研究所）」を開設、メリーゴランド制作を開始する。イベントやお祭りなどにレンタルするほか、依頼を受けてオリジナルのメリーゴランド制作も。併行して子どもの美術教室も主宰し、手を動かしてつくることの楽しさを教えている。

造形ユニット ドゥイ（造形作家）

小野亜斗子・轟岳によるユニット。1999年より5年間、絵画造形教室「アトリエ・ラビン」のスタッフとして勤務。（小野）2005年より轟が加わり、2007年3月まで深沢アート研究所／馬車道の土曜日コースを担当。2006年より、横浜・石川町の洗濯屋さん店舗跡を改装した「ドゥイの実験室」にて、こども造形教室をスタート。2009年より、鎌倉山ナワールガーデンにある竹林での活動「本気根気狸」。2010年より、葉山おひさま学童あおぞらでの「ドゥイの出張こども造形教室」。その他、各地イベントにてワークショップを考案・実施。参加者それぞれの面白さやひらめきと即興性を大切に考える、「クリエイティブな遊びの時間」を研究しています。

TUTTI！（パーカッションアンサンブル）

2018年にグループ結成。2019年川越人材発掘オーディションに合格し、小学校を中心にアウトリーチの活動を始める。現在関東を中心に教育現場で演奏会を行うほか、川越市の議場コンサートやゲスト演奏など打楽器アンサンブルを通して音楽や打楽器の魅力を伝える活動を行う。

特定非営利活動法人 打鼓音（創作和太鼓集団）

神奈川県横浜市にて2000年より和太鼓の活動を始める。星槎（せいさ）高校の和太鼓部指導から卒業しても太鼓が続けられる環境をと部活動を会社にするという功績を成し遂げた。地域と連携し創作和太鼓集団打鼓音を結成し、和太鼓の演奏活動年間150回や太鼓教室（会員500名）の運営など様々な太鼓での仕事を展開している。和太鼓のコンテストでは自身も含め2011年に初めて太鼓祭日本一決定戦で優勝をし、その後も4度の全国優勝、5回の準優勝とチームを育てた。また6月に行われた岡谷太鼓まつりでは一般組太鼓、一般一人打ちの部のダブル優勝を果たし、世界の頂点に立った。また高校生の活動の場を広げる活動として神奈川県では高文連郷土芸能専門部で副部会長を務め、関東高等学校和太鼓連盟を立ち上げ関東地区高等学校和太鼓選手権を運営している。

外山香（箏演奏家）

3歳より伯母久松雅和陸に箏曲の手ほどきを受ける。後に、沢井忠夫、川村昌子、中山いづみに師事。聖心女子大学在学中に第30期NHK邦楽技能者育成会を卒業、沢井忠夫合奏団に入団。1989年文化庁芸術家国内研修員修了。1990年、1992年NHK邦楽オーディション合格。日本音楽集団入団（～1992年）。第一回日中伝統音楽交流会にソリストとして参加。1990年第一回リサイタルを行う（以後、2007年8回まで開催、2005年は静岡音楽館A O I主催による）。1995年タイ・バンコク、1997年ドイツ・カールスルーエに於いてリサイタルを行う。2000年、横浜市港北芸術祭にて宮間利之とニューハードと協演。2002年、横浜市日米協会50周年記念式典にて米軍ジャズバンドと協演。1996年日本クラウンより、2007年邦楽之友社よりソロCDを発売（第62回文化庁芸術祭参加作品）。2007年横浜交響楽団第600回記念演奏会にソリストとして参加。ISCM-ACL合同香港公演に出演。2010年、横浜で開催されたAPECレセプションにて演奏。NHK TV「芸能花舞台」に出演。2011年、2012年、The Swing Herd Orchestraと協演。2012年、神奈川フィルハーモニーの公演にソリストとして参加。現在、沢井箏曲院師範、国内外において演奏活動を行う傍ら教授活動を行う。

長井江里奈（ダンサー、演出家、ワークショップファシリテーター）

舞台芸術集団「山猫団」主宰。「伊藤キム+輝く未来」「まことクラヴ」にてダンサーとして国内・国外の様々な劇場のみならず、ライブハウス、商店街、美術館、廃墟などありとあらゆる場所でパフォーマンスをしてきた経験を生かし、2013年に山猫団を立ち上げる。2015年よりワークショップファシリテーターとしても活動。日本各地で子ども～大人向けのワークショップや市民参加型公演の演出を行う。ソロアーティストとしても破天荒に活動中。

中川梨恵（ダンサー、振付家）、高山京子（ダンサー、振付家）、佐藤真代（ダンサー、振付家）

**【中川梨恵】**

小学生の時にダンスクラブに入り、身体で表現する面白さを知る。その後、ミュージカルと出会い高校から声楽を学び始める。高校卒業後、専門学校東京ミュージック&メディアアーツ尚美のミュージカル学科にて、バレエ、モダン、ジャズ、タップ、ヴォーカル、演技を学ぶ。紅白歌合戦のバックダンサーで出演の際、日本舞踊の奥深さに魅入られ卒業後は、日本舞踊も学び始める。様々な舞台やLIVEに出演の他、アイドルグループの振付・指導、LIVEや舞台の構成、演出、振付も手がけている。また、小学校での特別授業（ミュージカル実習、ダンス発表会、演劇ワークショップ）、S&S Kidsのミュージカルクラス講師として、子どもたちの表現力育成にも力を注いでいる。

**【高山京子】**

学生時代に演劇部に所属し、クラシックバレエを習う傍ら、市民ミュージカルに出演。千葉県立千葉女子高等学校にて、東宝ミュージカル出演者や宝塚歌劇団生徒を輩出したミュージカル部に籍を置き、卒業後は専門学校東京ミュージック&メディアアーツ尚美（現・尚美ミュージックカレッジ専門学校）にて、ミュージカルの基礎を学ぶ。卒業後、東宝ミュージカル「レ・ミゼラブル」に出演。帝国劇場、博多座の舞台に立つ。ヴォーカルを小島節子氏、ジャズダンスを藤崎光代氏に師事。表現者としての活動を続けながら、自身の趣味である古武術を学ぶため、天然理心流の門を叩き、大塚篤氏に師事。市のスポーツコーチ、S&S Kidsコースの講師としてミュージカル、演技、朗読、ダンスの指導にあたる。

**【佐藤真代】**

中学生時代のミュージカル観劇を機に舞台に魅せられ声楽やジャズダンスを始める。陸上部の投てき種目でも活躍しながら、武蔵野音楽大学音楽学部音楽教育学科へ入学。卒業と共に中学、高等学校第一種教諭免許（音楽）を取得。S&S Entertainment Studioにて演技

やダンス、パントマイム、日舞、お笑い、殺陣等、あらゆる表現方法を学びながら俳優活動を行っている。2010年頃より、ソングライティングをカズンの漆戸啓氏に師事。オリジナルの世界感溢れるシンガーソングライター活動も開始。S&S Kids 発表会作品等への楽曲提供も行う。

#### 中村仁美（雅楽奏者）

箏篋を中心に、雅楽古典曲・現代作品の演奏を行う。箏、楽箏、左舞、雅楽全般を大窪永夫、芝祐靖、上明彦など各氏に師事。東京芸術大学大学院音楽学専攻修了。一柳慧、伊左治直、吉川和夫、芝祐靖、中川俊郎、細川俊夫、増本伎共子、三浦寛也など現代作曲家の作品を多数初演するほか、様々な和・洋楽器、オーケストラとの共演、舞踏とのコラボレーションなど多彩な活動を続けている。

#### 中村蓉（振付家、ダンサー）

早稲田大学在学時コンテンポラリーダンスを始める。ルーマニア・シビウ国際演劇祭、東アジア文化都市式典（韓国光州・横浜）、国際芸術祭あいち2022など国内外で作品を上演。ロックバンド sumika「MAGIC」MVやサンリオピューロランドのショー「Nakayoku Connect」の振付を担当。二期会ニューウェーブ・オペラ劇場「セルセ」では演出・振付を担当した。第1回セッションベスト賞（2012）横浜ダンスコレクションEX審査員賞・シビウ国際演劇祭賞（2013）第5回エルスール財団コンテンポラリーダンス部門新人賞（2016）などを受賞。

#### 南條健吾（ダンサー、振付家）

3歳より乃羽バレエスクールでバレエを始める。13歳よりK2バレエ空間でバレエを学び、15歳でベルリン国立バレエ学校に留学。17歳でザクセン州立ケムニッツバレエ団に研修生として入団し、18歳でフランス国立マルセイユバレエ団に正団員として入団し、2019年までフランスやヨーロッパ各国で踊る。現在は日本を拠点にダンサー、振付家として活動中。

#### 西井夕紀子（作曲家）

東京芸術大学音楽学部音楽環境創造学科卒業、同大学院修了。作曲家。舞台作品やドキュメンタリー映画への楽曲提供を行うかたわら、人が音楽を奏ではじめる・作りはじめる瞬間に魅力を感じ、文化施設、福祉施設でセッションや曲作りを実施。主な楽曲提供作品は、ドキュメンタリー映画「おとなのかかく」（2014）、木ノ下歌舞伎「隅田川」（2018）など。アートプロジェクト参加やワークショップ&レクチャーなど活動の幅を広げている。

#### 野木青依（マリンバ奏者）

11歳からマリンバ演奏を始める。桐朋学園大学音楽学部卒業後、2018年8月メルボルンにて「第5回全豪マリンバコンクール」第3位並びに新曲課題における最優秀演奏賞受賞。2019年頃より即興演奏を表現方法のベースに「偶然」と「交流」を重視した企画・作品を発表。マリンバと街を練り歩く「マリンバ・ネリネリ」シリーズ、街や家に滞在する「マリンバさんのお引越し」など。2022年「ファッションを演奏する」を発表。布の模様や形から音楽を読み解き、生演奏とパフォーマンスで観客と共有した。

#### 笹津弘順（フラメンコ舞踊家、俳優）

早稲田大学卒業。外資系証券会社勤務を経てフラメンコダンサーに転身した異色の舞踊家。フラメンコを碓山奈奈に師事。また渡西を繰り返しながらスペインにて多くの著名なフラメンコアーティストに学ぶ。登竜門であるフラメンコ新人奨励賞を受賞し、以後プロ活動を始める。スペインからの来日公演に舞踊団員として参加したり、ほか客演多数。また「血の婚礼」「うないおとめ」「OMIWA」など、物語を題材にした壮大なフラメンコ舞踊作品を手がけ、その演出の才も高く評価されている。現在は俳優としても活躍中。

#### 浜野与志男（ピアニスト）、金持亜実（ソプラノ歌手）、関口直仁（バリトン歌手）

##### **【浜野与志男】**

東京芸術大学音楽学部を経てロンドンへ留学し英国王立音楽大学大学院にて修士号ならびにアーティストディプロマを取得。2011年日本音楽コンクール第1位など国内外のコンクールで多くの受賞歴をもつ。また国内外のオーケストラとの共演やリサイタル等演奏活動を積極的に行っている。

##### **【金持亜実】**

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程、及び博士後期課程修了。博士号（音楽）を取得。現在、同大学音楽文芸教育研究助手。

##### **【関口直仁】**

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。オペラや宗教曲でソリストを務める一方で、ファミリーコンサートへの出演や、TVCF、映画音楽などのレコーディングに参加。2012年より株式会社クロスアートの取締役として経営に参画。

#### ピアノと読み声-紋音-

ピアニスト伊藤慧と、アナウンサー竹平晃子による、ピアノと読み声（朗読）のDUO。2018年12月にサウンドインレーベルよりCD「音と言葉の物語〜ぞうのパパール〜」をリリースしたのを機に結成。2019年10月に

は、横浜音祭り2019の「街に広がる音プロジェクト」に出演。サルビアホールアーティストバンク登録アーティスト。時代を越えて伝えていきたい絵本や詩を、紋音オリジナル構成の音楽にのせて、貴方のもとへお届けします。

#### 東川歩未（ダンサー、アクター、モデル）

新体操日本代表フェアリージャパン初代リーダー。世界選手権大会5位入賞。舞台・アーティストライブツアー・MV・TV番組・CM等多方面で活動中。また、インスタレーション作品としてのパフォーマンスを東京芸術大学卒業終了作品展にて披露、自身で振付演出するダンスグループ作品を東京都美術館「ZEN展」にて披露するなど、アート活動も行なっている。

#### ヒダノ修一（太鼓ドラマー）、一彩（太鼓パーformer）、光季（タップダンサー）

世界的に活躍するヒダノ修一を中心に、人気沸騰中のダンサーでもある若手奏者の一彩（イッサイ）、天性のリズム感で注目のタップダンサー光季（コウキ）。この最強！親子トリオが生み出す「おもちゃ箱をひっくり返した」ような多彩なリズムの中には、それぞれの超絶テクニックによるバトルやマジックのような仕掛けが満載です。ヒダノが世界40か国以上をツアーし習得した様々な民族音楽の知識を織り交ぜた独特の音楽は、言葉やメロディがないので、国境や人種を越えて楽しめるのです。

##### **【ヒダノ修一】**

Stevie Wonder、Herbie Hancock、Marcus Miller、Sheila E.など世界最高峰アーティストと多数共演。1990年ソロ活動開始、2003年ビクターよりメジャーデビュー。世界41ヶ国で太鼓史に残る偉業を数多く成し遂げるバイオニアの1人。太鼓界では最も多彩な活動で知られ、多数のアーティストの配信やレコーディングに参加。「FIFAサッカーワールドカップ」はFIFA公式閉会式に3度出演し、アジア人初の快挙を達成。上皇上皇后両陛下やダライ・ラマ法王14世など御前演奏も多数。神奈川文化賞、横浜文化賞を受賞。

#### 平多理恵子（振付家、ダンサー）

6歳より平多正於舞踊研究所で踊り始める。日本女子体育大学芸術スポーツコース（民族舞踊研究室）卒業。体育、保健体育の教員免許取得。卒業後は国内外の公演に客演。2007年より沼口賢一とLaatikkoダンス教室を主宰。2020年より「インテグレイテッドダンスカンパニー響」のメンバーとして、車椅子のダンサーと公演出演。2021年よりUNICA主催公演にダンサー出演。第55回東京新聞主催全国舞踊コンクール 現代舞踊第1部第1位。文

部大臣賞受賞。平成 11 年度文化庁新進芸術家海外留学制度在外研修員。令和 1 年 10 月より放課後児童支援員。

#### びんたろー（パーカッショニスト、作曲家、編曲家）

多様なジャンルからミュージシャンが集まり、独自の音楽で活動する東京カンソン。メンバーの個性でアフリカ、中南米等世界の民族音楽の要素をふんだんに盛り込みながら、独特なハーモニーとボーカル歌子の透明感のある歌声で、日本の童謡叙情歌、民謡等を、現代的、斬新なアレンジで次世代に歌い継ぐ。今回は、東京カンソンから、3人のメンバー選出による企画。

#### FUNBURGER（ダンススタジオ）

明石里実、永窪亜希子。2013年横浜市南区に開設。「楽しいこと（FUN）沢山挟んで（BURGER）いこう！」をコンセプトに、子どもから大人までがダンスで繋がるスタジオです。HIPHOPやJAZZなどダンスの基礎を教え、コンテストやイベント等に多数出演、受賞。また、障害者ダンスチームFUNSTARを2019年から発足し、メンバーの余暇支援、アーティストとしての活躍の機会を作っています。ダンスを受ける刺激は想像を超えるものであり、表現できる楽しさを伝えています。

#### 福田毅（俳優）、佐々木愛（俳優）

##### 【福田毅】

俳優、パフォーマー。千葉県出身。日本大学芸術学部演劇学科卒業後、現代演劇カンパニー・中野成樹＋フランケンズに2003年の旗揚げより現在まで参加。劇団外部への出演も多数。2009年よりソロ・パフォーマンスを開始。住宅、路面電車、公園、劇場ロビー、Twitterなどを舞台に国内外で作品を発表している。フェスティバル/トーキョー2016～18参加。

##### 【佐々木愛】

1995年生まれ。広島県出身。幼少期より舞台表現に親しみ、日本大学芸術学部で演劇を専攻。2017年より現代演劇カンパニー中野成樹＋フランケンズ所属。主な出演作品は「ロボットの未来・改」「半七半八」「マザー・マザー」など。心身相関や身体のもつ共感性に魅了され、舞台を中心とした俳優活動の他、ヨガインストラクターとしても活動中。

#### 福本純也（ピアニスト、作編曲家）

幼少期よりピアノを始め、高校在学中にロックバンドを結成。2003年洗足学園音楽大学作曲科卒業。その後、ジャズに興味を持ち渡米。2008年パークリー音楽大学パフォーマンス科卒業。現在、ジャズとラテン音楽の両方とジャズ理論に精通したピアニストとして活動

中。特に、童謡やクラシック等、異なるジャンルの音楽を独自のアプローチで編曲し演奏するスタイルは特徴的。

#### 藤塚太鼓（和太鼓演奏集団）

1994年、横浜市立藤塚小学校の創立20周年記念式典での和太鼓演奏をきっかけに、青少年の創作和太鼓サークルとして活動を開始。2006年には文化庁の「伝統文化こども教室」に指定され、小学生から高校生を中心に活動中。プロの和太鼓奏者として活躍されていた作山先生指導のもと、伝統的な和太鼓のリズムと地域のイメージを融合して創られたオリジナルの楽曲を、年間を通して地域のお祭りや式典等で披露している。

#### 松井イチロー（ラテンパーカッション音楽家）

中学生時代に吹奏楽部でラテンパーカッションに出会う。高校時代にフュージョン・カバー・バンドを結成。ドラムを担当し、地元でコンサートを開催した。農業大学に進学してジャズを学ぶ。「ジャズ研究会」サークルのラテン愛好家を集めてランジャズバンド「LANOCHE」を結成、神奈川・東京のライブハウスで活動を行う。そのほか、ライブハウスの企画にも参加。北海道から沖縄まで全国各地を演奏活動で旅している。

#### 松田修（アーティスト）

1979年生まれ。兵庫県尼崎市出身。東京都在住。東京藝術大学大学院美術研究科修了。映像や立体、ドローイングなどさまざまなメディアを用いた表現方法で、社会に潜む問題や現象、風俗をモチーフにして「生」や「死」といった普遍的なテーマに取り組む。近年の展覧会に2022年「すみっこ CRASH☆」（無人島プロダクション）、2021年「居場所はどこにある？」（東京藝術大学大学美術館 陳列館）など。卯城竜太（Chim↑Pom）との共著、「公の時代」（朝日出版社）を出版。

#### 真鍋尚之（作曲家、雅楽演奏家）

横浜市泉区出身。伝統に根ざしながら独奏楽器としての笙の地位を確立させ、さらに超絶技巧を用いた作品の演奏で笙の魅力を飛躍的に発展させた。活動は日本のみならずヨーロッパや中南米に及ぶ。洗足学園大学（専攻—作曲・声楽）。東京藝術大学邦楽科雅楽専攻卒業。第1回国立劇場作曲コンクール優秀賞（1位）、東京・邦楽コンクール第1位など作曲及び演奏での受賞多数。2000年より笙という楽器の可能性を追求したリサイタルを開いた。2003年のリサイタルは読売新聞における年間ベスト5に選ばれる。2011～2012年文化庁文化交流使としてドイツ・ベルリンを拠点に12カ国30以上の都市で活動。ソロを中心に50回以上の演奏会を開いてきた。帰国後も定

期的にソロをはじめアンサンブル、また雅楽の古典をヨーロッパに紹介する企画をオーガナイズしている。

#### 政所和幸（HIBIKUS 横浜、和太鼓奏者）

1861年（文久元年）創業、東京浅草を拠点にした太鼓・神輿・祭礼具の製造販売会社「宮本卯之助商店」が運営。宮内庁御用達として雅楽の楽器を、また歌舞伎座や国立劇場、国立能楽堂、全国の神社仏閣が納入先。祭と伝統芸能の発展のため、世界の太鼓資料館「太鼓館」や米国支社「kaDON」を運営する。和太鼓スクールヒビカスは、HIBIKUS（ヒビカス）は響く+us（私たち）を組み合わせた造語。太鼓の魅力をたくさんの方に知ってほしいという想いで2014年に横浜、2017年に浅草、2019年に福岡天神がオープン。3歳から80代までの老若男女、また初心者から経験者まで満足できる多様なプログラムを用意しています。

#### 三神絵里子（パーカッショニスト）、篠崎陽子（パーカッショニスト）

##### 【三神絵里子】

桐朋学園大学音楽学部マリンバ専攻卒業、同大学研究科修了。東京・神奈川を中心にソロやアンサンブル、ワークショップ、講師などを行う傍ら、2016年よりハンドパン演奏を開始、多岐にわたり、活動を広げる。マリンバを安倍圭子・高田亮、打楽器を佐野恭一・塚田良幸の各氏に師事。一般社団法人「ユース・クラシック」メンバー。神奈川県横浜市出身。

##### 【篠崎陽子】

桐朋学園大学打楽器科マリンバ専攻卒業。第14回JILA音楽コンクール第1位。第12回「長江杯」国際音楽コンクール第2位入賞（1位なし）。これまでにマリンバを安倍圭子、林道代、木村陽子、打楽器を佐野恭一の各氏に師事。テレビ番組及び映画音楽のレコーディング、「飛鳥II」にて演奏するなど、各地で幅広く活動している。マリンバ連弾「ふわり」、ファミリーコンサート企画グループ「トコトン・トン!!」、現代音楽集団「ケフェウス五重奏団」所属。2014年ソロアルバム「Nozomi～明日への希望～」リリース。

#### 三ツ山一志（造形教育家）

1953年生まれ。東海大学教養学部芸術学科美術科卒業。1976年から幼稚園での絵画指導を行い、1987年横浜美術館開館前より子どものアトリエを担当。2007年より横浜美術館副館長、横浜市民ギャラリー館長、横浜市民ギャラリーあざみ野館長を歴任。2019年より横浜黄金町に＜子どもの育ちのためのアートらぼ＞事務所を開設し、アートの活動が子どもの育ちをどのようにサポートしていけるかをテーマに活動している。

## 皆川琴美 (画家)

1975年福島県生まれ。1998年東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻卒業、2000年東京芸術大学大学院美術研究科(油画技法材料)修了。2000年-2003年同大学院非常勤講師。主な収蔵先に台東区、寺田コレクション。受賞歴に、台東区長賞、大橋賞、第14回ホルベインスカラシップ賞。個展、グループ展多数。現在、東海大学非常勤講師、美原幼稚園絵画講師、国際ドッグビューティースクール講師ほか。

## みのり (うたとピアノのシンガーソングライター、音楽教室主宰)

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業(特待奨学生)。2007年ヤングアーティストピアノコンクールF級銀賞受賞。卒業後ピアニストとして活動しつつ、横浜市にて音楽教室「えむずみゅーじっく」を開校。音楽講師向けの指導法講座等も行う。シンガーソングライターとしてもライブ活動を行う。即興で音遊びをする出店(でみせ)スタイルの「おんがくやさん」など、活動の場を広げている。NPO法人日本こども教育センター認定リトミック講師。NHKBSプレミアム「始発物語」へ挿入曲提供。

## 宮原健一郎 (テノール歌手)、池羽由 (ソプラノ歌手)、青木智哉 (ピアニスト)

### 【宮原健一郎】

東京芸術大学音楽学部声楽科テノール専攻卒業。大学在学中に劇団四季のオーディションに合格し、聴講生としてミュージカルの基礎を学ぶ。これまでに多数のコンサートや、ミュージカル、演劇の舞台等に出演。また「歌のおにいさん」として全国各地のファミリー向けコンサート・イベント等で100ステージ以上出演している。

### 【池羽由】

日本大学芸術学部音楽学科声楽コース卒業。同大学院芸術学研究科音楽芸術専攻博士前期課程を修了。大学在学中より、様々なコンサートやオペラに出演する。2010年より歌のおねえさんとしての活動を開始。遊び歌や自作曲等を取り入れ、保育関係の様々なイベント・多数のファミリーコンサートに出演している。また、イベントの司会やステージMC、幼児音楽講師としても活動中。

### 【青木智哉】

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。同大学院器楽専攻鍵盤楽器研究領域修了。第12回日本演奏家コンクール特別賞などコンクール入賞を重ねる。2016年高嶋音楽事務所より、ピアノトリオ「ザ・フレッシュメン」としてデビューし、CD「Folk Once More」をリリース。

## 村山二朗 (篠笛奏者)

篠笛奏者・ミュージシャン。1968年生まれ。1989年に佐渡ヶ島に本拠を置く「鼓童」のメンバーとしてプロデビュー。1991年に自己篠笛バンド「レブンカムイ」を結成。和洋楽器混成ユニットのパイオニアとして活動。これまでにメジャーレーベルMIDIレコードを含む7枚のCDアルバムを発表。1998年にFIFAワールドカップサッカー・フランス大会の閉会式にて次期開催国の代表として出演したほか世界27か国で演奏を披露する。2012年映画「のぼうの城」に笛吹き役として出演。2016年アニメ映画「君の名は。」の劇中音楽の作曲と篠笛・太鼓の演奏を担当した。ロングセラー篠笛入門書「篠笛ワークショップ」、日本各地の民俗芸能を取材し記録したスコア譜「日本の祭笛・太鼓名曲集」(音楽之友社刊)の著者。現在は和太鼓グループ「東京打撃団」メンバーであり、慶應義塾大学普通部非常勤講師を務めている。

## もあきやりー

メンバー:石守俊輝(いしもりとしき)、水澤明香里(みずさわかかり)。私たち「もあきやりー」が活動を始めたきっかけは、団員の一人に障害があったこと、また、沢山の人に自由に表現することの楽しさをもっと知ってほしいと感じたからです。“子どもも大人も、障害があろうとなかろうと、みんな自由に表現していい場所を作りたい”。物語や自然の世界の中でひとりひとりを主人公にして、自由に身体を動かし表現しよう!

## 毛利文香 (ヴァイオリニスト)、原嶋唯 (ピアニスト)

### 【毛利文香】

桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース、慶應義塾大学文学部卒業。ドイツ・クロンベルクアカデミーを経て、現在ケルン音楽大学にてミハエラ・マーティンに師事。2012年第8回ソウル国際音楽コンクールにて、日本人として初めて、最年少で優勝。15年バガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第2位、エリザベート王妃国際音楽コンクール第6位入賞。19年モントリオール国際音楽コンクール第3位。国内外のオーケストラと数多く共演。

### 【原嶋唯】

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学、桐朋学園大学大学院を経て、ウィーン国立音楽大学 postgraduate 課程修了。第1回 Shigeru Kawai 国際ピアノコンクール第3位。第86回日本音楽コンクールピアノ部門第3位。

## 望月太左衛 (邦楽囃子方)

重要無形文化財長唄(総合認定)保持者。東京芸術大学にて博士号(音楽)を取得。幼少

より父・十代目宗家家元望月太左衛門の指導を受ける。1994年(平成6年)二代目望月太左衛を歌舞伎座にて襲名。NPO法人日本音楽囃子文化研究会(HIJ)理事長。国立劇場(歌舞伎俳優・客席囃子)研修講師。一般社団法人長唄協会会員(普及育成委員、演奏副委員長)。一般社団法人東洋音楽学会会員。江戸伝統文化推進 燈虹塾理事。伝統芸能教場「鼓樂庵」代表。望月太左衛一門一如乃会 主宰ほか。【主な活動】一般社団法人長唄協会演奏会(東京・関西)出演、台東区学びのキャンパスプランニング事業参加、伝統芸能体験教室(保育園・幼稚園、小・中学校ほか(千代田区・渋谷区・杉並区ほか))、東京両国・シアターカイ「国際舞台芸術祭」出演、歌舞伎と手仕事 歌舞伎座「花籠ホール」出演、和と洋の響きあいコンサート主催(音楽の友ホール)、NHK古典芸能鑑賞会、新春の芸能に出演、アメリカ・ドイツ・イタリア・スロベニア・オーストリアなど海外での演奏・講演など多数。

## 望月秀幸 (囃子方)

東京藝術大学大学院修了。幼少より長唄、お囃子を学び、現在、演奏会、日本舞踊、歌舞伎公演などで活躍。近年では平成中村座スペイン公演や前進座公演、NHK古典芸能鑑賞会などへ出演。NHK大河ドラマにも度々出演。レコーディングでは、「ラグビーWorld Cup開幕セレモニー」やNHK番組「民謡魂ふるさとの唄」OP曲「夢が聞こえる」に参加。また主宰公演では作曲も行っている。

## Modétro Saxophone Ensemble (サクソフォーンカルテット)

2021年結成。グループ名である「Modétro」は、「modern(現代風)」と「rétro(古風)」を合わせた造語。バロックから現代を網羅し、その魅力をサクソフォーンで伝えたい、という意を込めている。アウトリーチでは優れたコミュニケーション能力を発揮して子どもたちに音楽の魅力を伝え、コンサートでは多岐にわたるレパートリーと小気味良いお話しで会場を沸かせる、聴衆と共に時空を遊ぶサクソフォーン・カルテットである。また、TBSの情報番組にてアウトリーチの様子が全国に放送された。2021年にファーストアルバム「Realize」をN.A.Tよりリリース。令和元年・3年度(一財)地域創造・公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業長野セッション派遣アーティスト。

## 森下真樹 (振付家、ダンサー、森下スタンド主宰)

幼少の頃から転勤族に育つ。3つの小学校を渡り歩き、早く友達をゲットするためにいろいろな遊びを開発。その頃の遊びがダンスの

ルーツ。2003年ソロ活動を開始、以降10か国30都市以上で作品を上演。様々な分野とコラボし活動の場を広げる。2017年よりベートーヴェンにハマリ、自身がソロで踊る「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」(振付:第1楽章 MIKIKO、第2楽章 森山未來、第3楽章 石川直樹、第4楽章 笠井 叡)と、自身による振付作品「第九全楽章を踊る」を展開、ライフワークとする。100人100様をモットーに幅広い世代へ向けたワークショップや作品づくりを行う。ジャンルを越え、周囲を一気に巻き込む独特な「間」からくる予測不能、奇想天外ワールドが特徴。第8回日本ダンスフォーラム賞受賞。

#### Ya! Voices (ジャズコーラスユニット)

ジャズ、ゴスペル、クラシックなどあらゆる音楽を融合させ、個性的で洗練されたステージを作り上げるエンターテイメントユニット『Ya! Voices』。上海、ソウル、バンコク、パリのジャズフェスティバルに定期的に招かれるなど、国際的にも活躍。今回はリーダー河原厚子氏 (sVo・JAZZ)、城田有子氏 (PF&Vo・JAZZ)、ほんごさとこ氏 (Vo・JAZZ)の3名が協力。

#### ヤヒロトモヒロ(パーカッション、ボーカリスト、ミュージシャン)

少年時代をカナリア諸島で過ごした異色の打楽器奏者。山下洋輔、渡辺香津美らとの共演のほか、「じゃがたら」や「エスケン&ホットボンボンズ」のレギュラーサポートも務める。「武満徹メモリアルコンサート」ではカーネギーホール等に出演。サイトウ・キネン・フェスティバル松本に3年連続出演。ウルグアイの至宝、ウーゴ・ファトルーソ pf との Duo 「ドス・オリエンタレス」は、2016年在外公館長表彰受賞に続き、2022年外務大臣表彰を受ける。2021年60才を節目に、山下洋輔、小野リサをはじめ著名な音楽家27名を招いた「還暦記念 LIVE 配信」は大きな話題となる。現在、Dos Orientales、GAIA CUATRO、室内楽団「八向山」、フロール&空に油、サロゲートトリオ、「Music meets Circus」等、国内外で活動している。

#### 山井綱雄(金春流能楽師)

シテ方金春流能楽師。重要無形文化財(総合指定)保持者。公益社団法人「能楽協会」理事。公益社団法人「金春円満井会」常務理事。山井綱雄能の会「山井綱雄之會」主宰。能アマチュア愛好家の会「春綱会」主宰。平成26年度文化庁文化交流史(長期派遣型)。東日本大震災復興支援能楽の会「息吹の会」同人。NHK文化センター本校講師/JR東日本「大人の休日倶楽部」講師。藤嶺学園藤沢中学校非常勤講師。「能楽は世界最高の芸術であ

る」との信念の下、能楽普及と「日本の心」の啓蒙に奔走している。初心者への能ワークショップ、学校公演などを多数開催。海外公演や他ジャンル芸術家との共演・創作作品多数。能楽の新たな可能性にも挑む。

#### 山田佐映子(造形作家)

横浜美術館子どものアトリエスタッフとして、こどもの育ちと造形活動を学んだ、山田佐映子・川崎和美・川崎信による造形ユニット「うめぐみ」メンバー。「自分でするからたのしい」を大切な精神とし、こどもたちの成長に合わせた造形活動をおこなっています。現在、横浜市民ギャラリーあざみ野にて、定期的にこども造形講座を開催中。造形指導:駒沢女子短期大学、明照幼稚園、宇喜田幼稚園、西小松川保育園、西小松川保育園、マリヤ保育園、わらべみどり保育園向島分園。

#### 山田裕介(造形作家)

神奈川県横浜市生まれ、横浜市在住。セメントを素材に、彫刻や部屋を覆い尽くすようなインスタレーションを制作するアーティスト。[主な展示]2012年「黄金町バザール 2012」(神奈川県) / 2013年「アート DE コガネ」(神奈川県)、「CONSTELLATIONS」(フィリピン) / 2014年「大隈アートマジック」(福岡) / 2015年「ごった煮展」(東京)、「あったもの。なくなったもの。おもいだせないもの。」(神奈川県) など。

#### 山村佑理(ジャグラー、ダンサー、振付家、BAZAR 主宰)

フランスのサーカス学校 Le LIDO - Centre des Arts du Cirque 卒業。10歳でジャグリングを始め、16歳よりジャグラーとしてアメリカ、ロシア、シンガポール、スペイン、韓国など国内外で公演。モノと共に踊る手法を研究。ながめくらしつ / 頭と口の舞台作品に出演・一部振付に携わるなど、さまざまなアーティストと共作・共演を行う。TOKYO2020オリンピック閉会式出演。

#### 狂言方大蔵流 山本東次郎家(狂言師)

狂言方大蔵流、山本東次郎家の狂言師。徳川幕府の式楽の伝統を継承する大蔵流狂言の家柄。初世山本東次郎則正(隠居名・東 1836(天保7) - 1902(明治35))に発する。現在、長男の四世東次郎則壽(1937(昭和12) -)、三男則俊(1942(昭和17) -)、およびその子息たちである泰太郎、則孝、則重、則秀が杉並能楽堂を拠点に公演、普及活動に努めている。

#### 弓新(ヴァイオリニスト)、小林海都(ピアニスト)

##### 【弓新】

2011年ヴェニエニャフスキ国際コンクールで特別賞を受賞した他、2018年にはロン=ティ

ポー国際音楽コンクールで第5位に入賞し、大きな注目を集める。同世代の中でも傑出したヴァイオリニストとして知られ、2020年より北西ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団の第1コンサートマスターを務める。1992年、東京生まれ。2007年に桐朋女子高等学校音楽科(共学)に入学。2008年よりチューリッヒ芸術大学に留学し、ザハール・ブロンとイリア・グリーンゴルトツに師事。

##### 【小林海都】

2021年リーズ国際ピアノコンクールで、日本人歴代最高位の第2位受賞。一躍脚光を浴びる。NHK響、ベルギー国立管、バーゼル響など国内外のオーケストラと共演。エリザベート王妃音楽院を経て、現在バーゼル音楽院に在籍。

#### 吉澤延隆(箏奏者)

東海大学大学院芸術学研究科修士課程修了。在学中、福永千恵子氏に師事。修士論文:「現代邦楽における十七絃箏の展開―菊地梯子氏の活動を中心に―」2008年第15回賢順記念全国箏曲コンクールにおいて第1位・賢順賞を受賞。近年ではコンサート活動に加え、東京文化会館ワークショップ・リーダーとして未就学児やその家族などに対するワークショップ活動も行っている。現在、東海大学教養学部芸術学科非常勤講師。日本・フィンランド新音楽協会会員。

#### 米澤浩(尺八奏者)

宮田耕八朗氏に師事。78年日本音楽集団入団。内外のオーケストラとの共演経験も多く、現在に至るまで200公演以上の海外実績を持つ。コンサート活動の他、演劇・放送音楽、市民文化講座やワークショップ、専門的な講習会の講師も務めるなど活動の幅は広い。2001年より箏の熊沢栄利子と開始した海外ツアーは、欧州・中米等14カ国で70公演を越える。現在/尺八トリオ《575》メンバー、日本音楽集団副代表、(財)地域創造邦楽地域活性化事業コーディネーター。

#### Rythmission(打楽器アンサンブルユニット)

2016年10月に結成した打楽器アンサンブルユニット。「Rythmission」とは「Rhythm(リズム)」+「Mission(使命)」を組み合わせた造語で、名前の通り、子どもから大人まで誰でも簡単に触れることのできる打楽器を通して音楽・リズムにのることの楽しさを多くの方々に伝えることを使命とし活動中。平成28年度川越人材発掘オーディションに合格し小学校での音楽鑑賞教室、楽器づくりや演奏体験などワークショップ付きコンサート、講演会などさまざまな活動を展開。また関東を中心にラ・フォル・ジュルネ TOKYOをはじめ、お祭りやロビーコンサートなど各種イベントでの演奏にも多数出演。



ルロット・オーケストラ（クラシック音楽演奏集団）

「ルロット」はフランス語で「屋台」を表します。文字通り、舞台を飛び出して、お客様と一緒に音楽を作り出す、類い稀なオーケストラです。

和楽団 煌（和楽器奏者（箏、三味線、尺八、笙）、ピアニスト（作編曲））

古典から現代、他ジャンルまで演奏する和楽器奏者と作編曲家による楽団。篠笛、箏、三味線、尺八、琵琶、笙などの奏者が集まり、現代における新しい感覚での和楽器の合奏を、楽器・流派の枠を越えて研究し、新しい日本の文化を創作していくことを目的とし活動している。活動を通して和楽器を身近で親しみのあるものとし、誇りある日本文化として発信している。 <http://wagakudan.hotcom-web.com/wordpress/>

和太鼓＋ダンスユニット＜まだこばやし＞  
（ダンサー、和太鼓ユニット）

玉川大学芸術学部和太鼓チームの卒業生であるダンサー・和太鼓奏者によりユニットを結成。長谷川暢、酒井直之、齊藤礼人、山崎真結の4人で構成されている。全員がダンスと和太鼓演奏を兼任するパフォーマンススタイルで、都内を中心に活動している。迫力と冗談と原始的な力を武器に、和太鼓演奏の身体性と、音楽的な身体が交錯する力強い作品を創作している。これまでの主な作品として「がわ」「まうら」「それぞなる」「DAN/DAN」等がある。

渡海千津子（ソプラノ歌手）、斎藤育雄（指揮者、ピアニスト）

**【渡海千津子】**

東京藝術大学、同大学院修士課程修了。イタリア・ミラノでイタリアオペラの研鑽を積む。第1回日光国際音楽祭声楽コンクール第3位、審査員長賞及び奨励賞受賞。現在、横浜市民広間演奏会会員。横浜シティオペラ会員。東京二期会会員。

**【斎藤育雄】**

東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。指揮を山下一史、佐藤功太郎の各氏に師事。都響第九公演等で二期会合唱団の合唱指揮を務める。

## 【コーディネータープロフィール】

## ■コーディネータープロフィール

担当したコーディネーターのプロフィールは、以下の通りです。実施時点のもので、順不同です。

### Media Global (メディアグローバル)

2006年より「横浜市芸術文化教育プログラム」コーディネーター。1998年発足した「企画集団 MUGEN」を母体に2005年設立の企業組合 Media Global を経て現在に至ります。親子・子どものワークショップを得意とし、行政との協働・アートにかかわる人々とのネットワークを軸に活動をしています。これまでに学校プログラムでは、幅広いジャンルの授業を実施しています。

### NPO法人子どもに音楽を

<https://kodomoniongakuwo.sakura.ne.jp/>

世の中には素晴らしいものがたくさんあります。それらを子ども達に伝え残すことが私たち大人の役目だと考えます。幼い頃から芸術や自然に親しみ「感じる・感じ取る」という豊かな感性を育てていくことが大切ではないでしょうか。人間として最も大切な「心」を置き去りにしては、明日を担う有能な人材は育ちません。小さい頃から芸術や自然に親しみ、その素晴らしさを感じ取れる心を持つことは、本当の意味で人間として豊かになることです。

その一つとして、NPO法人「子どもに音楽を」では、クラシック音楽を一流の演奏家による演奏で、子ども達に聴いていただく活動を行っています。間近に聴く演奏家の息づかいや、楽器の響きには、機械からでは感じることでできない感動があります。この体験が子ども達の心に残り、感性豊かな人間として、素晴らしい人生を送る“手助け”になったらと考えます。2006年の設立以来、小学校・中学校等の音楽室で演奏会を開催し、子ども達がクラシック音楽に出会う機会を作っています。これまでに学校プログラムでは、ヴァイオリン、チェロやピアノなどの授業を実施しています。

### NPO法人横浜こどものひろば

<https://www.yokohama-kodomo.com/>

一生大丈夫と思えるほどの子どもの時代を子どもたちに！

特定非営利活動法人横浜こどものひろばは、子どものためのすぐれた芸術・文化活動の振興を行い、多様な世代の繋がりを通して、子ども達の成長を図ります。

また、子ども自身の社会参画の場として、子どもの文化的権利が保障される豊かな子ども時代の創造に寄与することを目的とします。

子どもたちの日常の中に、あそびや芸術・文化体験が溢れ、豊かで人間らしい文化環境の元で、子ども自身が主体的に創り出す「瑞々しい子ども時代」「豊かな子どもの時間」は人々の心の原体験・原風景となって、生涯に渡り人々を支える力となると考えています。これまでに学校プログラムでは、造形やラテン音楽、お芝居づくりなどの授業を実施しています。

### NPO法人芸術家と子どもたち

<https://www.children-art.net/>

2000年より、子どもたちとアーティストとの出会いを通じて、創造的な学び・遊びの機会をつくりだす活動を実施してきました。主軸となる「A S I A S (=Artist's Studio In A School: エイジアス)」という活動では、公立の小・中学校(特別支援学級含む)、特別支援学校、幼稚園、保育園、児童養護施設等へアーティストを派遣し、先生や職員の方と協力しながらワークショップ型の授業等を実施しています。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム/学校プログラムでは、2007年度より授業のコーディネートを担当しています。これまでに学校プログラムでは、コンテンポラリーダンスやパフォーマンス創作などの授業を実施しています。

### ART LAB OVA (アートラボ・オーバ)

<https://www.facebook.com/artlabova/>

『ART LAB OVA』は、1996年に発足したアーティストによる非営利のグループです。

制作経験の有無やしょうがいの有無、年齢、国籍に関わらず、多様な人々が交流をできるアートプロジェクトを展開しています。

2010年～多文化な下町にある映画館の1階に拠点であるアートスペース「横浜パラダイス会館」を開設し、近隣の子どもたちに開放しています。

これまでに学校プログラムでは、造形を中心に、音楽、ダンスなどを含めた複合的な授業を実施しています。

### 民族歌舞団 荒馬座

<http://www.araumaza.co.jp/>

荒馬座は昭和41年に東京の板橋に生まれました。私たちの祖先が働く中からつくり出してきた民族芸能を舞台化し、首都圏を中心に公演活動をおこなっているほか、学校教育の

中で、「日本の伝統文化」や「和楽器の学習」が重視されている近年、先生方の研修や模擬授業、学年や学級の子どもの体験学習など様々なプログラムに対応した出張講師活動もおこなっています。

自然や命をいとおしむ心、生きる知恵、協同の喜び、困難を乗り越える強さや明るさが込められた民族芸能を通して、「明日を生きる力」となるような舞台や、人と人をつなげる文化活動を広げています。

これまでに学校プログラムでは、和太鼓やソーラン節などの授業を実施しています。

### アートの時間

<https://www.facebook.com/artnojikan.totsuka>

アートの時間は、戸塚区を拠点に音楽・演劇・美術・ダンスといった分野のアートイベントやアートプログラムの企画運営をやってきました。近年は、「語ることも表現」というアートの視点から、誰でもが参加でき、色んな考えに触れられる場として、『ゆる哲カフェ』を運営しています。

学校でのワークショップは、子どもたちが「日常」をより豊かに生きるために、アーティストの感性に触れるという「非日常」の体験を通して、『いつもと違う自分』の発見をしてもらえたらと思っています。

これまでに学校プログラムでは、ガムランや身体表現、絵画などの授業を実施しています。

### NPO法人 Offsite Dance Project (オフサイト・ダンスプロジェクト)

<http://www.offsite-dance.jp/>

Offsite(オフサイト)は、「日常の場を離れて」の意。Offsite Dance Projectは、劇場以外のさまざまな場所でダンスを軸としたパフォーマンスアーツを推進するチームとして2008年3月に結成。2009年6月NPO法人設立。公共交通機関や近代建築、美術の建物資産、商業空間、ストリートなど、横浜を拠点に国内外の都市空間で、多分野のアーティストによるアクセシビリティの高いプロジェクトを企画・制作。また、2009年より、アート教育のコーディネートを実施し、パフォーマンスアーツの普及に取り組んでいます。

これまでに学校プログラムでは、コンテンポラリーダンスを軸に、音楽、美術、邦楽などの授業も実施しています。

### 認定NPO法人あっちこっち

<https://www.acchicocchi.com/>

2011年8月に芸術で社会貢献を考え実行する市民団体として横浜で発足。以来、芸術を通じた社会貢献活動や国際交流事業を行っています。特に東日本大震災被災地支援として現地の仮設住宅世帯向けの施設や小学校、保育園、介護施設などで、コンサートやワークショップを毎月欠かさず提供。生活に寄り添えるような芸術で、人々の生活再生を後押しできる約8年間に東北・熊本で200回強開催しています。海外のカンパニーと共同制作や国際教育音楽祭の制作なども担当。コンサートやワークショップを担当するのは才能ある若手アーティストたちです。芸術を届けたいアーティストとそれを必要とする人をつなげる役割を当法人が担っています。2015年第9回かながわ子ども・子育て支援大賞特別賞受賞。2021年内閣府より子ども・若者育成支援部門の活動に対して「内閣府特命担当大臣表彰」を受けました。これまでに学校プログラムでは、合唱や邦楽、オペラなどの授業を実施しています。

#### NPO法人横浜シティオペラ

<http://www.cityopera.jp/>

長年にわたって横浜市の音楽の発展に力を尽くし、また日本のオペラ界に多大な貢献をした故佐藤美子の遺志を継ぎ、1983年横浜市教育委員会の指導の下に、横浜市在住の音楽家30名によって発足しました。その後、神奈川県・横浜市の助成をうけ、青少年から大人までを対象としたオペラを上演する一方、オペラアリア、歌曲のコンサートを行っています。さらに1991年度より、オペラ・ガラ・コンサート、大ホールでのオペラ、中ホールでの室内オペラの3本（現在は2本）による「神奈川オペラフェスティバル」を30年間連続（コロナ禍の2020年は休止し別途公演を実地で上演しています。地域の文化発展に貢献した功績により、1993年「神奈川文化賞」1995年「横浜文化賞」を受賞。これまでに学校プログラムでは、オペラや歌曲の歌唱などの授業を実施しています。

#### 青葉区民文化センターフィリアホール

<https://www.philiahall.com/>

フィリアホールは1993年にオープンしたクラシック音楽ホールです。内外で活躍する一流のアーティストの主催・共催公演を年間約50回開催し、また、音楽愛好家・アマチュアの方々の音楽の練習や発表の場として数多く利用され、地域密着型のホールとして地元の皆様を中心に広くご愛顧いただいています。ファミリー・コンサートや0～3才児向け音楽ワークショップ、オープンデー、楽器体験のほか、2007年度からは青葉区・緑区の公立

小学校への訪問コンサートを実施し、「音楽の喜び」の幅広い普及に日々努めています。これまでに学校プログラムでは、打楽器やサクソカルテット、音楽ワークショップなどの授業を実施しています。

#### 泉区民文化センターテアトルフォンテ

<https://www.theatrefonte.com/>

テアトルフォンテは1993年に開館した、演劇やダンスの上演に最も適した「ホール」を中心とする文化施設です。観る・演じる・創る、この3つの活動を通し、地域の交流、文化活動の活性化の発展に努めています。一般公募の市民が出演する市民参加型ミュージカルを始め、子どもから大人までを対象にした演劇・音楽・ダンスなどのワークショップの開催、国内外で活躍するアーティストを招いてのコンサートや公演事業など、芸術鑑賞の場を提供するとともに、文化活動支援にも力を入れ、「ものづくり」を行う場所としての使命と役割を担っています。これまでに学校プログラムでは、雅楽や合唱などの授業を実施しています。

#### 栄区民文化センターリリス

<https://lilis.hall-info.jp>

1998年にオープンしたリリスは、県内屈指の響きを誇るコンサートホールを中心とした文化センターです。内外の一流アーティストを招いてのコンサートや、若手アーティスト支援を目的とした「リリス・レジデンス・アーティスト」事業など、クラシック音楽に力を入れた事業を展開しています。また、2007年度より継続して実施している「アウトリーチコンサート」や、0歳から楽しめる「ファミリーコンサート」、気軽に参加できる「リリス芸術大学」や子ども向け造形美術ワークショップ「コドモアートキャラバン」など区民の皆さまが文化芸術に触れ合う多様な機会を提供し、地域の文化発展に貢献できるよう努めています。これまでに学校プログラムでは、歌唱や作曲、サクソ四重奏、打楽器、ピアノ&チェロ、ピアノ&ヴァイオリンデュオなどの授業を実施しています。

#### 神奈川区民文化センターかなっくホール

<https://kanack-hall.info/>

かなっくホールは2004年の開館以来、「集い、ふれあい、つくりだすところを、ここかなっくホールから」をキーワードに、区民のみならず、ホールが「まちの広場」となり、普段知り合えない人々が芸術文化を介して知り合

いとなり、普段持たない役割や可能性を見出し、生活の質の向上を図ります。展開する事業は、学校のクラブ活動に見立てた、大人も子どもも楽しんで学びの場となる「かなっくキッズクラブ」のほか、クラシック音楽部、JAZZ部、演劇部、ダンス部、ワークショップ部等々の部に宮沢賢治の会やリビングコンサートの会など特色のある会をシリーズ化し継続します。また、全館を開放して実施する「KIDS DAY!」や「ブルクミューラーフェスティバル」などの大掛かりな参加事業や公立学校へのアウトリーチにも力を入れ、神奈川区の皆様から頼られ求められる文化施設を目指します。

これまでに学校プログラムでは、造形や邦楽、ガムランなどの授業を実施しています。

#### 港南区民文化センターひまわりの郷

<https://himawari-sato.com/>

私共、京急グループ共同企業体は平成18年度より、指定管理者として、上大岡の中心にある「港南区民文化センター ひまわりの郷」を運営しております。地域の方々のニーズに答えながら、年間50本程度の様々な事業を展開しております。子どもからシニアまで幅広い年齢層に対応するコンサートや体験型イベントを行なっています。（低料金で質の高いクラシックコンサート、乳児も対象の親子で楽しむ音楽コンサート、シニアを対象にした日本の伝統芸能（邦楽、落語）、小・中・高生のストリートダンスコンテストほか）これまでに学校プログラムでは、民族楽器や合唱などの授業を実施しています。

#### 鶴見区民文化センターサルビアホール

<https://salvia.hall-info.jp>

平成23年3月に開館した横浜市鶴見区にある文化施設です。通常時548名を収容し、音楽・演劇・ダンスなど用途に合わせて使用できる多目的ホールのほかに、100名を収容する残響豊かな音楽ホール、自由自在に芸術作品を展示できるギャラリー、リハーサル室、練習室を兼ね備えています。貸館業務・自主事業制作を行うほか、地域の文化振興と鶴見の文化拠点として、近隣学校などにおいても多角的な活動を目指しています。サルビアホール独自のオーディションによって選ばれた「サルビア・アーティストバンク」には、多彩な才能あふれるアーティストたちが登録されています。これまでに学校プログラムでは、打楽器や邦楽、落語、コンテンポラリーダンスなどの授業を実施しています。

## 戸塚区民文化センターさくらプラザ

<https://totsuka.hall-info.jp/>

さくらプラザは、2013年8月開館の芸術文化施設です。戸塚駅に直結し、アクセスの良い場所で文化の発信・拠点としてさまざまな芸術活動の普及・支援を行います。

本格的なクラシックコンサート・伝統的な古典芸能など世界で活躍する多彩なアーティストを招き、上質な芸術体験を提供するとともに、ワークショップやアウトリーチ活動など地域への普及事業をアーティストと協力して実施します。そこに暮らす人々が文化芸術に触れる時間と空間を創造し、区民のステイタスの向上に貢献します。

これまでに学校プログラムでは、音楽や演劇、小鼓や箏・津軽三味線などといった伝統芸能の授業を実施しています。

## 横浜市緑区民文化センターみどりアートパーク

<http://www.midori-artpark.jp>

みどりアート&メディアパートナーズは、神奈川新聞社、t v kコミュニケーションズ、(公財)横浜市芸術文化振興財団、ジャパントータルサービスの四者により構成され、2019年4月より指定管理者として、それぞれの得意分野を相乗的に発揮しながら、横浜市緑区民文化センター(みどりアートパーク)を拠点とした地域の芸術文化振興ならびに施設の管理運営にあっています。

具体的な事業展開にあたっては、地域の歴史資産や地理的特色を生かして、さまざまな市民活動団体との協働、行政との連携により、市民の視点を尊重した多文化交流と継続的な創造拠点となることを目指してまいります。

学校プログラムでは、緑区、都筑区の小学校を担当し、和楽器アンサンブル(箏・三味線・尺八)、和太鼓レクチャー&体験などのプログラムを実施しました。

## 旭区民文化センターサンハート

<https://www.sunheart.info/>

横浜市旭区民文化センター「サンハート」は、相鉄線「二俣川駅」直結の二俣川ライフ5Fにあり、交通アクセス良好な旭区民や近隣の地域の方々のための文化センターです。多目的にご使用いただける「ホール」、アコースティック音楽の公演に最適な「音楽ホール」のほか、「アートギャラリー」では美術・工芸作品の展示の場として、そして、「ミーティングルーム」や各種練習室などを兼ね備えています。

～人を愛するサンハート、人から愛されるサンハート～をコンセプトに、各施設の貸し出しだけでなく、旭区民の文化芸術を通じた

「喜びづくり」、旭区の「地域活性化」「地域価値向上」を目指します。多彩な自主事業を展開し、芸術文化を通して、旭区からパワーを発信しています。

これまでに学校プログラムでは、ミュージカルやゴスペル、演劇創作などの授業を実施しています。

## 磯子区民文化センター杉田劇場

<https://www.sugigeki.jp/>

横浜市磯子区民文化センター杉田劇場は、2005年2月5日に開館以来、磯子のまちの地域力、区民力を活かし、文化力で地域や人をつなぎ、区民が活躍する魅力ある磯子のまちづくりに貢献することを、目標に掲げています。

おかげさまで、2020年2月に開館15周年を迎えました。今後も、芸術・文化の拠点施設として、地域に根差した事業に一層取り組んでまいります。

これまでに学校プログラムでは、箏や能、造形などの授業を実施しています。

## 瀬谷区民文化センターあじさいプラザ

<https://ajisai-plaza.hall-info.jp>

2022年3月1日に開業した横浜市瀬谷区にある文化施設です。昇降式ステージを使用し、コンサートや発表会、鏡面壁を使用しているダンスの練習、大人数でのオーケストラの練習など、多用途に使用できる音楽多目的室のほかに、2部屋あるギャラリーは個別での利用はもちろん、2部屋を繋げて利用でき、さらに隣接する会議室もつなげることによって自由度の高い展示スペースを創り出せます。3部屋ある会議室も個別での利用のほかにつなげて利用することで、大人数での会議にも対応可能です。練習室は、グランドピアノを要しアコースティックな楽器の練習に適した部屋と、ドラムセットやギターアンプ、ベースアンプを完備したバンド練習に適した部屋の2部屋があります。貸館業務のほかに、地域の芸術文化振興と瀬谷区の新たな文化拠点として、コンサートや展覧会、ワークショップなどさまざまなイベントを開催しています。

## 横浜市大倉山記念館

<https://o-kurayama.com/>

横浜市大倉山記念館は、横浜市民の皆様に低料金でご利用いただける文化施設です。ギリシャ神殿を思わせる外観に、荘厳なエントランス、東洋を象徴する木組みを用いた部屋も有り、横浜市指定有形文化財に指定されています。映画やテレビ、CMなどの撮影にも数多く利用されているほか、館内はご見学いただ

けます。

館内の各施設は、小規模な音楽会、研修会、会議、趣味サークルなどに適しており、回廊式のギャラリーは、絵画、生花などの展示にご利用いただけます。

これまでに学校プログラムでは、声楽や民族音楽などの授業を実施しています。

## 急な坂スタジオ

<https://kyunasaka.jp/>

急な坂スタジオは、舞台芸術(現代演劇・ダンスなど)の創造拠点として、2006年10月にオープンした横浜市による公設民営の文化施設です。元結婚式場の旧老松会館を転用し、大小5つのスタジオ、市民向けのコミュニティ・ルームなどを備えた稽古場として、地域とアーティストの交流の場を生み出しています。

また、横浜を基点とした創造・発表のあり方を模索しながら、次世代の舞台芸術を担う人材も育成・集積し、横浜から世界へと羽ばたくバックアップを図っています。

これまでに学校プログラムでは、コンテンポラリーダンスや演劇創作、演劇鑑賞などの授業を実施しています。

## 久良岐能舞台

<http://www.kuraki-noh.jp/>

横浜市磯子区の自然豊かな場所に位置する久良岐能舞台では、能楽をはじめとする古典芸能の稽古や発表会、茶室でのお茶会など、市民に開かれた能舞台として利用されています。四季折々の草花が楽しめる庭園では散策も楽しめます。

株式会社シグマコミュニケーションズでは劇場管理、ホール運営事業を推進しております。そんな中で平成18年9月より久良岐能舞台の指定管理者として運営・管理を横浜市より受託しております。1年間に自主事業を15公演開催しており、秋にはメセナ活動として近隣地区小学校を無償招待する小学校向け狂言鑑賞教室を開催するなど、地域から愛される能舞台を目指して活動しております。

これまでに学校プログラムでは、狂言などの授業を実施しています。

## 象の鼻テラス

<https://zounohana.com/>

象の鼻テラスは、横浜開港150周年を記念して整備された象の鼻パーク内の休憩施設です。横浜市が推進する新たな都市ビジョン「文化芸術創造都市クリエイティブシティ・ヨコハマ」を推進する文化観光交流拠点の一つに位置づけられ、アートスペースとカフェを併設

し、新しい時代の「文化交易」の拠点となることを目指して、多ジャンルのアートプログラムを展開しています。併設した象の鼻カフェでは、各プログラムに連動したメニューの提供などを行っています。これまでに学校プログラムでは、美術造形や作曲・ミュージカルなどの音楽、身体表現などの授業を実施しています。

#### 横浜市 長浜ホール

<https://www.nagahama-hall.com/>

長浜野口記念公園内にある長浜ホールは、横浜検疫所長浜措置場のシンボルであった旧事務棟を外観復元し、音楽を中心とした文化活動にご利用いただけるホールです。また、世界的に有名な野口英世博士ゆかりの旧細菌検査室があります。野口英世博士に関連した研究施設としては日本の現存する唯一の施設で、自由に見学いただけます。104席の可動式客席と移動式の音響反射板を有するホールは、室内楽コンサート、ピアノ、コーラスの発表会など小規模な音楽活動や文化活動にご利用いただけます。年間を通じ、さまざまなコンサートを自主事業として開催しており、地域の文化を発信し続けています。これまでに学校プログラムでは、造形や民族音楽などの授業を実施しています。

#### 横浜市吉野町市民プラザ

<https://yoshinoplaza.jp/>

吉野町市民プラザは、横浜市で最初の市民プラザとして1989年に開館いたしました。地域の身近な文化施設としてホール、ギャラリー、会議室、スタジオを備え、鑑賞・発表・練習などで多くの方にご利用いただいております。地域の拠点施設としての役割を活かし、区民の芸術文化を通じた地域の発展と活性化を目指しています。施設での芸術鑑賞・体験型事業のみならず、地域文化団体や学校との連携・サポートを図り、地域に根差した活動を行っています。これまでに学校プログラムでは、箏や和太鼓、よさこい、タップダンスなどの授業を実施しています。

#### 横浜市岩間市民プラザ

<https://www.iwamaplaza.jp/>

横浜市岩間市民プラザは、保土ヶ谷区の天王町駅そばに立地する文化施設です。上映会・コンサート・発表会など、さまざまな目的に使用できる181席のホールのほかに、音楽練習ができる大小4つのスタジオ、会議や講座に最適なレクチャールーム、ギャラリー、リ

ハーサル室を備えています。

また、「午前の音楽会」などをはじめとしたコンサートや、映画の上映会のほかにも、横浜ビジネスパークや近隣の寺社への出前公演なども行うなど、地域に密着した自主事業を数多く行っています。

これまでに学校プログラムでは、箏、和太鼓、造形、日本舞踊などの授業を実施しています。

#### 横浜市市民文化会館関内ホール

<https://www.kannaihall.jp/>

横浜市市民文化会館関内ホールは、1,000席規模を有する唯一の市民文化会館として、昭和61年(1986年)に開館し、平成30年(2018年)大規模な改修工事を終えてリニューアルオープンしました。

元・横浜宝塚劇場であったDNAを受け継ぎ、文化芸術の楽しさと感動を幅広く提供し、3路線が利用できる便利な立地を生かし、市民に親しまれる文化の拠点を目指して活動しています。

横浜開港以来150年以上の歴史とともに歩んできた馬車道の中心に位置し、このエリアへの誘客上も大きな役割を持っています。その上で、市民文化会館として幅広い年齢層の方のご利用、ご来場を念頭に「市民の文化・芸術への取り組み成果発表の場」「さまざまな芸術、芸術鑑賞機会の場」を提供するとともに、「次代の担い手育成」「地域と連携したにぎわい創出」にも貢献することを目指しています。これまでに学校プログラムでは、箏や雅楽など主に伝統芸能の授業を実施しています。

#### 大佛次郎記念館

<http://osaragi.yafjp.org/>

横浜に生まれ、横浜を多く描いた作家・大佛次郎は、開化小説「霧笛」や、ノンフィクション「バリ燃ゆ」「天皇の世紀」、時代小説「鞍馬天狗」など幅広いジャンルの作品で多くの人を魅了しました。

横浜市立唯一の文学館である当館では、7万点にも及ぶ所蔵資料を用い、様々な切り口から大佛次郎の業績と生涯を紹介しています。大佛次郎は愛猫家としても有名で、館内には猫の絵や置物、写真などを多数展示しています。

また、大佛次郎の童話「スイッチョねこ」を用いた感想画体験や、読書好きの大佛次郎にちなみ、毎年本の書評ゲームピブリオバトルも開催しています。

学校プログラムでは、主に大佛作品を用いた音楽朗読劇のプログラムを実施していく予定です。

#### 横浜市民ギャラリー

<https://ycag.yafjp.org/>

横浜市民ギャラリーは開館50年を機に関内から西区宮崎町に移転しました。市民の発表および制作の場として展示室やアトリエの貸し出しを行うほか、今日の多様な表現をさまざまな視点で紹介する企画展やコレクション展、半世紀以上続く「横浜市こどもの美術展」、子どものための造形講座「ハマキッズ・アートクラブ」、大人を対象にしたアトリエ講座やレクチャーなどの自主事業を行っています。また、市内の美術展覧会情報を網羅した情報誌『画廊散歩』を発行するなど、市民の活動を支援する身近なギャラリーとして親しまれています。

これまでに学校プログラムでは、造形や土粘土などの授業を実施しています。

#### 横浜市民ギャラリーあざみ野

<https://artazamino.jp/>

横浜市民ギャラリーあざみ野は、美術・工芸を基本としつつ、ジャンルを超えた「創造性溢れる表現活動」を幅広く育み、創造性を介して人と人とが交流することのできる、市民と創造活動の出会いの場をつくることを目的としています。

これまでに学校プログラムでは、造形や金属加工、身体表現などの授業を実施しています。

#### 横浜美術館

<https://yokohama.art.museum/>

1989年開館の横浜美術館は、みる、つくる、まなぶ、を掲げ開館以来鑑賞と共に、創作体験を通じた教育普及活動に力を入れてきました。今年度の学校訪問のプログラムは、当館の「市民のアトリエ」、「子どものアトリエ」が担当します。現在活躍中のアーティストや美術館スタッフの話、デモンストレーション、創作や鑑賞の体験を通してアートと美術館の活動に興味をお持ちいただき、この経験が、児童、生徒の皆さんのより豊かな創作・鑑賞活動につながればと考えています。

これまでに学校プログラムでは、造形や鑑賞などの授業を実施しています。

#### 横浜にぎわい座

<https://nigiwaiza.yafjp.org/>

横浜にぎわい座は、落語、漫才、大道芸など、大衆芸能の専門館として生まれました。かつて寄席や芝居小屋が立ち並び、連日華やいだ横浜の町。伝統を今に受け継ぎ、芸能を味わっていただく場、そして新しい芸能を生み出す場として、横浜にぎわい座は歩んできました。

た。  
芸能ホール（391 席）は、提灯を吊るした舞台廻りや棧敷席、仮設花道など大衆芸能の雰囲気を出した空間で、毎月 1 日～15 日は落語、漫才、マジック、民謡などさまざまな主催公演を開催しています。また、そのほかに、小ホール・練習室・制作室を備え、各種の練習や創作活動にご利用いただけます。施設の管理・運営は、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が行っています。これまでに学校プログラムでは、落語などの授業を実施しています。

### 横浜赤レンガ倉庫 1 号館

<https://akarenga.yafj.jp/>

1913 年に創建された横浜赤レンガ倉庫 1 号館は、2002 年にリニューアルされ「芸術文化の創造発信」と「賑わいの創出」を目指した文化施設として運用されています。2・3 階は「ホール&スペース」となっており、コンサートやギャラリーなどの貸出施設として、幅広いジャンルのイベントに使われています。主催事業はコンテンポラリーダンスと現代アートを中心に展開し、芸術文化活動と賑わい創出を総合的に振興しています。これまでに学校プログラムでは、身体表現、コンテンポラリーダンスなどの授業を実施しています。

### 横浜みなとみらいホール

<https://yokohama-minatomiraihall.jp/index.html>

横浜みなとみらいホールは、「みなとみらい 21 地区」にあります。横浜港に向かって開け、若い街ならではの活気に満ちた明るいエリアです。1998 年 2 月に小ホールが稼働を開始し、同年 5 月には大ホールも合わせてグランドオープンとなりました。以来、年間 600 回を超える演奏会の場として、横浜市民はもちろんのこと、国内外のアーティストからも横浜を代表するホールとして親しまれています。これまでに学校プログラムでは、ピアノやサクソフーンなどの授業を実施しています。

### 横浜能楽堂

<https://yokohama-nohgakudou.org/>

本舞台は旧染井能舞台として長く親しまれてきた能舞台を復原したものです。この舞台は明治 8 年（1875 年）東京・根岸の旧加賀藩主前田齊泰（なりやす）邸に建てられ、後に東京・染井の松平頼寿（よりなが）邸に移築されて昭和 40 年まで広く利用されてきました。関東地方現存最古の舞台で、全国的に見ても

8 番目に古く、建築史上、能楽史上貴重なものです。

横浜能楽堂には本舞台のほかにも研修室や練習、発表にご利用いただける第二舞台、展示廊などもあります。

展示廊では、能楽への理解を深めるため、装束や楽器など能楽にまつわるものを展示する常設展のほか、臨時特別展を行っています。これまでに学校プログラムでは、狂言や和太鼓などの授業を実施しています。

### 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ACY・協働推進グループ

（公財）横浜市芸術文化振興財団は美術、音楽、演劇などの芸術文化活動を総合的に振興し、開港以来培われてきた豊かな文化的伝統の維持と、横浜市独自の芸術文化の推進を図り、もっとゆとりと生きがいに満ちた市民生活の実現と国際文化都市・横浜の進展に寄与する目的で平成 14 年度に設立されました。平成 16 年度以来「芸術文化教育プログラム」を横浜市、市教育委員会、ST スポット横浜とともに協働事業として市内の小・中・特別支援学校において実施しています。協働推進グループは、横濱 JAZZ PROMENADE を主軸としたコーディネーターとして参画、アーティストを講師として派遣し、主に音楽（舞踊、伝統芸能等も対応）の授業を実施しています。これまでに学校プログラムでは、箏や三味線、チアダンスなどの授業を実施しています。

### 認定NPO法人STスポット横浜

<https://stspot.jp/>

ST スポット横浜は地域の芸術文化機関として、昭和 62 年に発足しました。小劇場「ST スポット」を拠点に、現在国内外で活躍する多数の地元アーティストを輩出するなど、創造環境全体の向上に努めてきました。平成 16～20 年度には「アートを活用した新しい教育活動の構築事業」を神奈川県、県教委との協働事業として実施し、県内の幼稚園、小・中学校および高等学校、特別支援学校などにアーティストを講師として派遣し、演劇やダンス、現代美術などの授業を行いました。平成 20 年度からは「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」の事務局を担当し、学校教育とアートの現場をつなぐ事業を推進しています。これまでに学校プログラムでは、箏や身体表現、音楽創作や演劇創作などの授業を実施しています。

## 【各種資料】



横浜市芸術文化教育プラットフォーム  
令和4年度 学校プログラム 募集要項

～小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校の先生方へ～

# アーティストが学校へ

第一次募集〆切：令和4年3月11日(金)

第二次募集〆切：令和4年4月12日(火)

横浜市芸術文化教育プラットフォーム

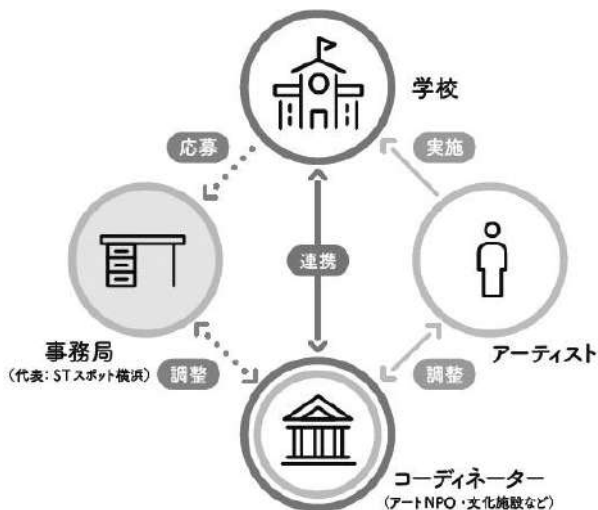
認定NPO法人STスポット横浜  
公益財団法人横浜市芸術文化振興財団  
横浜市教育委員会  
横浜市文化観光局

# 1. 学校プログラムの概要

## (1) 学校プログラムとは？

**アーティストが、直接学校へ出かけます** 平成 16 年度にスタートした、子どものための芸術文化・教育事業です\*。音楽・演劇・ダンス・美術・伝統芸能など、幅広い分野で活躍しているアーティスト（芸術家）が、直接学校へ出かけます。「体験型プログラム」と「鑑賞型プログラム」の 2 種類があります。

**コーディネーターと先生が、事前に実施内容を調整します** 学校プログラムでは、ふだん文化施設や芸術団体に活動しているスタッフが、学校での実施内容を調整するコーディネーターとして、授業づくりを支援します。対象となる学年と教科等のねらいや、ふだんの学校の様子といった先生がもっている情報と、コーディネーターがもつ文化芸術分野に関する専門知識をかけ合わせることで、効果的なプログラムが実施できます。



**アートのちからを、学びの基礎づくりに活かします** 私たちは、芸術文化のもつ創造性を通して、子どもたちが互いの力を認め合い伸ばしていく過程を大切に考えています。教科等との連動以外に、コミュニケーション能力の育成など、学びの基礎づくりの中で、力を発揮するのがアートです。自由な発想を導き、感性を育てることで、子どもたちの学習活動がより豊かなものになることを期待します。

※横浜市芸術文化教育プラットフォームとしては平成 20 年度より実施しています。

## (2) 学校プログラムには、2つの種類があります。

**体験型プログラム** 2～3日程度のプログラムです。具体的な体験を通して、アーティストとともにさまざまなジャンルの創造活動に取り組みます。ワークショップ形式で子どもの潜在的な創造性を引き出し伸ばしていくことを主眼に、体験する過程そのものを大切にしながら実施します。対象は一つの学年、取組は1～2クラス単位で行います。

**鑑賞型プログラム** 基本的に1日で終了するプログラムです。アーティストによる演奏やパフォーマンスを鑑賞することが基本です。その後アーティストのお話を聞くことで芸術文化を身近に感じることができます。音楽や伝統芸能などの鑑賞を通して、芸術に触れる機会を提供します。対象は一つの学年です。

※令和 4 年度は、「横浜音祭り 2022 (仮称)」と連携したプログラムも用意しています (詳細は 4 ページ)。

## 2. 学校プログラムの募集内容

### (1) 応募資格と対象

横浜市立の小学校、中学校、義務教育学校及び特別支援学校が対象です。なお、応募できるのは、原則として各学校1校で1プログラムのみです。昨年に引き続いての事業実施も可能です。

### (2) プログラムの種類

「体験型プログラム」「鑑賞型プログラム」の2種類（詳細は2ページ）あわせて、全130校程度、採択する予定です。なお、これまでの取組事例の一部は、プラットフォームのウェブサイト(<https://y-platform.org/>)でも公開しています。

### (3) 募集期間と申込み方法

令和4年2月1日(火)から3月11日(金)(第一次〆切)まで。その後、空きがある場合は、4月12日(火)(第二次〆切)まで募集を続けます。メール添付かFAXで、事務局へ別添の実施希望調書をお送りください。学校便利帳、及び横浜市芸術文化教育プラットフォームのウェブサイト(<https://y-platform.org/>)でも募集要項と実施希望調書のダウンロードが可能です。

#### 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局

所在地：横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル208 認定NPO法人STスポット横浜内

メール：toiawase@y-platform.org URL：<https://y-platform.org/>

TEL：045-325-0410 FAX：045-325-0414

※本事業は、横浜市の令和4年度予算が横浜市会において議決されることを条件として募集しています。

### (4) 募集にあたっての留意点

- ・先着順ではありません。
- ・実施希望が想定校数を上回った場合には、個別に調整させていただきます。
- ・コーディネーターやアーティストを、応募の際に指定することはできません。
- ・詳細は、実施決定後、コーディネーターと話し合ってください。
- ・コーディネーターやアーティストの謝金と交通費は、事務局が負担します。消耗品や材料などは、学校側に負担していただく場合もあります。詳しくは、実施決定後にコーディネーターとご相談ください。
- ・過去に取組を行った学校の場合、以前実施した内容と同様の取組が行われるとは限りません。
- ・このプログラムは、学校が計画して行う教育活動の一環で実施するものです。

#### 取組のイメージを 映像でご覧いただけます！

横浜市芸術文化教育プラットフォームのウェブサイトでは、学校プログラムの映像を公開しています。各ジャンルの取組の様子をご覧いただけます。応募の参考にしていただければ幸いです。

<https://y-platform.org/>

### (5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

- ・学校プログラムは、通常の教育活動と同様に、横浜市教育委員会から各学校への通知(ガイドライン等)に基づいた感染症対策を講じたうえで実施します。
- ・本事業は、アーティストが学校に出向いて実施することが原則ですが、感染状況などにより対面での実施が難しいと判断された場合には、動画・オンライン等による実施に代えることも想定しています。

# 令和4年度 横浜音祭り2022(仮称)と連携し、 体験型スペシャル版の【音楽系】プログラムを実施します。

横浜市芸術文化教育プラットフォームでは、令和4年度に開催される音楽フェスティバル「横浜音祭り 2022(仮称)」の次世代育成プログラムと連動して、【音楽系】の体験型スペシャル版を実施します。

体験型スペシャル版を希望する学校を優先的に採択する予定ですので、これまで【音楽系】プログラムに取り組んでいなかった学校も、ぜひ応募をご検討ください。

## 『令和4年度 学校プログラム・体験型スペシャル版』とは

アーティストとともに音遊びや音楽づくりなどをはじめとしたワークショップを重ね、即興的な表現や、演奏技術にとらわれずに音楽を楽しむ経験を積むことのできるプログラムです。通常の体験型は3回程度のところ、回数を拡充して取り組みます。

具体的なプログラム内容や授業回数については、コーディネーターと相談しながら進めていきます。

実施回数：4～6回程度（クラス数等に応じて変動します）

募集校数：4校程度を想定。

取組対象：学年単位。 ※個別支援学級単位での応募も歓迎します。

対象学校：横浜市立の小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校



**応募方法** 募集要項内の「実施希望調書」の欄に必要事項を記入の上、希望選択の欄の「体験型スペシャル版（音楽4～6回程度）を第一希望で申込みます。」のところに、をして、第一次〆切日（令和4年3月11日（金））までにお申込みください。記入いただいた内容をもとに、事務局から取組の方向をご提案します。

## これまでの取組例（必ずしも同様のプログラムが実施できるとは限りません）

### <オリジナルのケチャづくりに挑戦>

いくつかのパートのリズムやメロディーによって構成され、人の声によって演奏されるインドネシアの「ケチャ」をヒントに、アーティストと共にオリジナルのケチャを創作しました。グループごとにメロディーやリズムを考え、声だけでなく身体の動きを伴ったパフォーマンスをつくりあげました。最終日は全クラス合同で、それぞれが作ったパフォーマンスを鑑賞し合い、保護者や教員にも披露しました。

（対象：小学校4年生3学級 約80名）



### <自分の中の音楽を捕まえてみよう>

特性の異なる子どもたちと、演奏技術にとらわれず音楽や表現することの本来の楽しさを十分に感じられるように、民族楽器や日常生活にある音が鳴るものを手に取って、さまざまな音を楽しむワークショップを重ねました。アーティストが演奏する音楽のなかで、気に入った音の楽器やおもちゃ、自分の声や身体を使って即興的に共演しました。回を重ねるごとに、自分が心地よいと思える感覚を見つけ、表現力を発揮していました。（対象：小学校 個別支援学級 約20名）



### 3. 今後のスケジュール

#### 募集（2月1日（火）～第一次〆切：3月11日（金）、第二次〆切：4月12日（火）まで）

この冊子の最後にある希望調書をお送りください。

#### 事務局による実施校の調整（3月～4月）

一部の学校に対して、訪問・電話などの方法でヒアリングを実施する場合があります。より詳しいご希望をお知らせください。次年度に実施しますので、ご担当者が変更になる場合は、確実な引き継ぎをお願いします。

#### 実施校への決定通知（5月より順次）

事務局と学校とで、簡単な取り決めの文書を交わし、実施を決定します。その際、コーディネーターをお知らせします。

#### 実施に向けての調整（5月より順次）

担当コーディネーターと打合せをします。ねらい、ジャンル、回数、アーティストなどを調整します。コーディネーターに学校の詳細な希望とクラス・学年の状況をお伝えください。

#### アーティストの決定、実施内容の調整（随時）

学校と調整のうえ、アーティストを決定します。その後、適宜打合せを行い、プログラムを組み立てます。日程などもこの段階で決定します（その後も、必要に応じて打合せを行うことがあります）。

#### プログラム実施

打合せ内容に沿って、プログラムを実施します。時期は、令和4年度（おおむね令和4年6月から、令和5年3月まで）の実施となります。

※毎年1～3月の実施では、インフルエンザ等の流行による日程変更が相次いでいます。できる限り、12月までの日程での計画を推奨します。

#### アンケートの実施、記録写真・映像などの確認、簡易な報告書の提出（実施後2週間程度）

プログラムの改善点やアドバイスなどをいただいた上で、次回以降によりよいプログラムをお届けできるよう、コーディネーターとの振り返り、各資料の提出にご協力ください。

※詳細は、取組実施校への通知の際にお知らせします。

## 4. 実施希望調書の記入例

### 令和4年度横浜市芸術文化教育プラットフォーム／学校プログラム 実施希望調書

学校名、校長名	西区 プラットフォーム小学校		★★★★ 校長						
担当教諭名	◎◎◎◎ ふりがな ○○○○ (担当が決まっていない場合は、校長先生のお名前をご記入ください)		(e-mail: toiwase@y-platform.org)						
連絡先	TEL: 123 — 1234		FAX: 567 — 5678						
学校の現状 学校プログラムに応募するにあたり、学校の現況について、教えてください。	本校ではコミュニケーション能力の育成に力を入れた学校づくりを行っています。その中で、来年の2年生は、落ち着きがあって、物事を慎重に進める半面、引っ込み思案でなかなか自分の考えや気持ちを表現することが得意ではない子どもたちが多いように見受けられます。								
達成したい目標	<input type="checkbox"/> 表現力 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 創造力 <input type="checkbox"/> 想像力 <input type="checkbox"/> 感受性 <input type="checkbox"/> 集中力 <input type="checkbox"/> 協調性 <input type="checkbox"/> 共感力 <input type="checkbox"/> 言語能力 <input type="checkbox"/> その他( )								
学校プログラムで達成したい目標を選択し(複数可)詳しくご記入ください。	この体験を通して、普段とは違う自分、そして友だちに気が付き、お互いをより理解しあいながら、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てるきっかけになればと考えています。◎教科等のねらいやかかわりも含めて、お書きください。								
期待する内容 学校プログラムでどんなことをしたいか、お書きください。	演劇やダンスといった体を動かすジャンルの体験型、または音楽の鑑賞型を希望します。体を動かして、言葉だけに頼らない表現を通して、自分の考えや思いを恥ずかしがらずに伝える体験をさせてあげたいと思っています。またみんなで活動を行うことで、一体感を味わうことができればと思います。								
希望選択	「体験型」「鑑賞型」両方ご記入ください。また、下記のうち第一希望とするものにチェックしてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 体験型(3日程度)を第一希望で申込みます。 <input type="checkbox"/> 体験型スペシャル版(音楽4～6回程度)を第一希望で申込みます。 <input type="checkbox"/> 鑑賞型(1日程度)を第一希望で申込みます。								
予定教科等 ※複数選択可。	<b>体験型</b>		<b>鑑賞型</b>						
	<input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 生活 <input checked="" type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 技術・家庭・職業 <input checked="" type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 外国語活動 <input checked="" type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他( )		<input checked="" type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input checked="" type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 技術・家庭・職業 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 外国語活動 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他( )						
希望ジャンル ※複数選択可。現時点で未定なら選択不要。	<input type="checkbox"/> 音楽系 <input type="checkbox"/> 美術系 <input checked="" type="checkbox"/> 演劇系 <input checked="" type="checkbox"/> ダンス系 <input type="checkbox"/> 伝統芸能系 <input type="checkbox"/> その他( )		<input checked="" type="checkbox"/> 音楽系 <input type="checkbox"/> 美術系 <input type="checkbox"/> 演劇系 <input type="checkbox"/> ダンス系 <input type="checkbox"/> 伝統芸能系 <input type="checkbox"/> その他( )						
実施対象 ※予定可。全校での実施は不可。	2年生 2クラス、参加者数 76 人		2年生 2クラス、参加者数 76 人						
実施可能時期 ※可能な月に○をつけてください。	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			○	○	○	○	○		

## 5. お問い合わせ・お申込み

### 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局

所在地：横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル208 認定NPO法人STスポット横浜内

メール：toiawase@y-platform.org URL：https://y-platform.org/

TEL：045-325-0410 FAX：045-325-0414

※本事業は、横浜市の令和4年度予算が横浜市の会において議決されることを条件として募集しています。

### 横浜市芸術文化教育プラットフォームとは？

横浜の子どもたちの創造性をはぐくみ、豊かな情操を養う機会を拡大するために、横浜などで活動続けるアートNPOや芸術団体、地域の文化施設を中心に、学校、アーティスト、企業、地域、市民、行政などがゆるやかに連携・協働する場が芸術文化教育プラットフォームです。学校教育とアートをつなぐ「学校プログラム」を通じて、新しいアートの可能性をさぐっています。

## 令和4年度横浜市芸術文化教育プラットフォーム／学校プログラム 実施希望調書

学校名、校長名	区	学校	校長						
担当教諭名	ふりがな (e-mail: )								
連絡先	TEL: —	FAX: —							
学校の現状	応募するにあたり、学校の現況について、教えてください。								
達成したい目標	<input type="checkbox"/> 表現力 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> 創造力 <input type="checkbox"/> 想像力 <input type="checkbox"/> 感受性 <input type="checkbox"/> 集中力 <input type="checkbox"/> 協調性 <input type="checkbox"/> 共感性 <input type="checkbox"/> 言語能力 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
期待する内容	学校プログラムで達成したい目標を選択し(複数可)詳しくご記入ください。								
希望選択	「体験型」「鑑賞型」両方ご記入ください。また、下記のうち、第一希望とするものにチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 体験型(3日程度)を第一希望で申込みます。 <input type="checkbox"/> 体験型スペシャル版(音楽4～6回程度)を第一希望で申込みます。 <input type="checkbox"/> 鑑賞型(1日程度)を第一希望で申込みます。								
予定教科等	<b>体験型</b> <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 技術・家庭・職業 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 外国語活動 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他 ( )		<b>鑑賞型</b> <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 技術・家庭・職業 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 外国語活動 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
希望ジャンル	<input type="checkbox"/> 音楽系 <input type="checkbox"/> 美術系 <input type="checkbox"/> 演劇系 <input type="checkbox"/> ダンス系 <input type="checkbox"/> 伝統芸能系 <input type="checkbox"/> その他 ( )		<input type="checkbox"/> 音楽系 <input type="checkbox"/> 美術系 <input type="checkbox"/> 演劇系 <input type="checkbox"/> ダンス系 <input type="checkbox"/> 伝統芸能系 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
実施対象	年生   クラス、参加者数   人		年生   クラス、参加者数   人						
実施可能時期	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
※可能な月に○をつけてください。									



## 重要書類

2023年3月31日までなくさずに保管してください

# アーティストが学校へ

横浜市芸術文化教育プラットフォーム

学校プログラムのすすめかた  
実施マニュアル＋学校報告書様式

実施校の先生のために | 令和4年度版

<https://y-platform.org>

### 【もくじ】

- ① ..... 変更・中止に関する注意事項
- ① ..... 横浜市芸術文化教育プラットフォーム概要
- ② ..... プラットフォームの「学校プログラム」とは？
- ③ ..... 年間の実施の流れ
- ④ ..... 実施終了後に、学校が行うこと
- ⑤ ..... 横浜市芸術文化教育プラットフォームの連絡先
- 様式 ..... 子どもたちへのアンケート（全1枚）
- 様式 ..... 学校向け実施報告書（全2枚）
- 様式 ..... 横浜市庁内メール便の宛名

企画・制作 / 横浜市芸術文化教育プラットフォーム  
(STスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市文化観光局)



## 変更・中止に関する注意事項

### (1) 臨時休業等となった場合

コーディネーターやアーティストが来校予定の日が、臨時休業や学級閉鎖などとなった場合、**必ず、学校から担当コーディネーターへ連絡をしてください。**新型コロナウイルス感染症による臨時休業だけでなく、暴風・大雪警報など各種警報等が発表された場合の一斉休校等に備えて、連絡手段・方法なども、事前にコーディネーターと確認しておいてください。

### (2) 予定していた日程での実施が難しくなった場合 [日程変更・延期]

臨時休業等により、予定していた日程での実施が難しくなった場合、まずは、コーディネーターとアーティストと協議をし、令和4年度内の日程で、延期の日程を探ってください。また、一度決めた**実施日程を変更しなければならない状況が出てきた場合には、早めに担当コーディネーターに相談をするようにしてください。**

### (3) 動画・オンライン等による代替について

本事業は、アーティストが学校に出向いて実施することが原則ですが、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などにより、対面での実施が難しいと判断された場合には、動画教材やオンライン等に代えての実施を検討していただくよう、お願いする場合があります。

### (4) 実施を取りやめたいとなった場合 [中止]

実施に向けて調整をするなかで、今年度は実施の目途が立たない、延期できる日程が見つからない場合など、やむを得ず中止とする場合には、**必ず担当コーディネーターと相談のうえ、中止を決定してください。**その際、「中止が決定した日」を記録しておくようにしてください。(中止届に「中止が決定した日」を記載する必要があります。)

コーディネーターから中止の連絡を受けて、横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局から学校へ「中止届」を提出いただく手順についてご連絡いたします。

<新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえでの実施をお願いします>

基本的に、通常の教育活動と同様に、横浜市教育委員会から各学校への通知(ガイドライン等)に基づいた感染症対策を講じたうえでの実施をお願いします。コーディネーターも通知(ガイドライン等)の内容を把握していますので、実施の方法・内容について、通知(ガイドライン等)を参照のうえ、担当のコーディネーターとよく確認し計画をしてください。

その際、アーティストにとって過度な負担とならないよう、**実施回数・時間・方法など、ご配慮をお願いいたします。**

実施に向けての調整・ご相談は、基本的には、担当コーディネーターにご連絡ください。プログラム全体についてのお問合せは、以下、横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局までご連絡ください。

<横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局> (認定NPO法人STスポット横浜内)

TEL : 045-325-0410 FAX : 045-325-0414 E-mail : toiwase@y-platform.org

担当者 : 田中 真実 (たなか・まみ)、高荷 春菜 (たかに・はるな)、土橋 絢菜 (どばし・あやな)

# 1

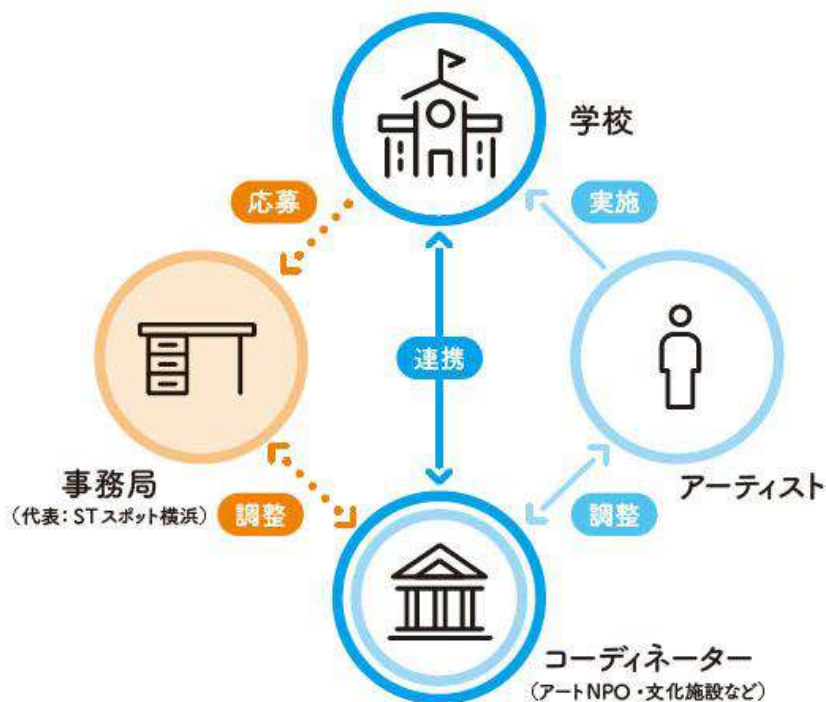
## 横浜市芸術文化教育プラットフォーム 概要

横浜市芸術文化教育プラットフォームは、芸術文化の学校向けプログラムを中心とした「連携のしくみ」です。さまざまな立場の方があつまって、つくられています。ねらいは、次の三点です。

- (1) 学校現場の実状に応じ、カリキュラム上での芸術文化活動の位置付けを行うための体制づくり
- (2) さまざまな実施主体、関係団体を結ぶネットワーク
- (3) 子どもたちにとって効果的なプログラムの提供及びプログラム実施に関する調査研究や人材育成

各学校は、カリキュラムに位置付けるなど学校現場の実状に応じた効果的なプログラムを考えます。アートNPOや文化施設などは、コーディネーターとして学校の先生とアーティストをつなぎ、取組が円滑に進むよう調整し、子どもたちに向けたプログラムを実施します。

また事務局（STスポット横浜内に設置）は、横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市文化観光局と連携し、年間を通して学校からの相談対応や、学校プログラムの募集業務等の調整を行います。



令和4年度のコーディネーター ※順不同。

【アートNPO、民間芸術文化団体】Media Global、特定非営利活動法人 子どもに音楽を、特定非営利活動法人 横浜こどものひろば、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、ART LAB OVA、民族歌舞団 荒馬座、アートの時間、特定非営利活動法人 Offsite Dance Project、認定特定非営利活動法人 あっちこっち、特定非営利活動法人 横浜シテリオペラ

【地域の文化施設】青葉区民文化センター フィリアホール、泉区民文化センター テアトルフォンテ、栄区民文化センター リリス、神奈川区民文化センター かなつくホール、港南区民文化センター ひまわりの郷、鶴見区民文化センター サルビアホール、戸塚区民文化センター さくらプラザ、緑区民文化センター みどりアートパーク、旭区民文化センター サンハート、瀬谷区民文化センター あじさいプラザ、磯子区民文化センター 杉田劇場、大倉山記念館、急な坂スタジオ、久良岐能舞台、象の鼻テラス、長浜ホール、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザ、横浜市市民会館 関内ホール、大佛次郎記念館、横浜市民ギャラリー、横浜市民ギャラリーあざみ野、横浜美術館、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫1号館、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂

【事務局構成団体】公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 協働推進グループ、認定特定非営利活動法人 STスポット横浜

# 2

## プラットフォームの「学校プログラム」とは？

私たちは、芸術文化のもつ創造性を通して、子どもたちが互いの力を認め合い伸ばしていく過程を大切に考えています。教科等との連動以外に、コミュニケーション能力の育成など、学びの基礎づくりの中で、力を発揮するのがアートです。自由な発想を導き、豊かな感性を育てることで、子どもたちの学習活動がより豊かなものになることを期待します。アートのちからを、学びの基礎づくりに活かします。

### (1)学校プログラムとは？

**芸術家が、直接学校へ出かけます** 平成 16 年度にスタートした子どものための芸術文化・教育事業です。音楽・演劇・ダンス・美術・伝統芸能など、幅広い分野で活躍している芸術家（アーティスト）が、直接学校へ出かけます。「体験型プログラム」と「鑑賞型プログラム」の2種類があります。

**コーディネーターと先生が、実施内容を調整します** ふだん文化施設や芸術団体で活動しているスタッフが、学校での実施内容を調整するコーディネーターとして、授業づくりを支援します。対象となる学年と教科等のねらいや、ふだんの学校の様子といった先生がもっている情報と、コーディネーターがもつ芸術文化分野に関する専門知識をかけ合わせることで、効果的なプログラムが実施できます。

### (2)学校プログラムには、2つの種類があります。

**体験型プログラム** 3日程度のプログラムです。具体的な体験を通して、アーティストとともにさまざまなジャンルの創造活動に取り組みます。ワークショップ形式で子どもの潜在的な創造性を引き出し伸ばしていくことを主眼に、体験する過程そのものを大切にしながら実施します。対象は一つの学年、取組は1～2クラス単位で行います。

**鑑賞型プログラム** 基本的に1日で終了するプログラムです。アーティストによる演奏やパフォーマンスを鑑賞することが基本です。その後アーティストのお話を聞くことで芸術文化を身近に感じることができます。音楽や伝統芸能などの鑑賞を通して、芸術に触れる機会を提供します。対象は一つの学年です。

実施にあたっては、事務局が選定したコーディネーターが、学校からの要望（実施日程、実施内容など）を聞き取り、最適な実施内容となるよう、先生やアーティストと調整を行います。

# 3

## 年間の実施の流れ

年間のスケジュールの流れは、次のとおりです。

### (1)事務局→実施校へ決定の通知(5月末まで)

事務局から学校に、実施の決定通知を出します。その際、コーディネーターをお知らせします。

### (2)実施に向けて、学校⇄コーディネーター間での調整(6月より順次)

担当コーディネーターと打合せをします。ねらい、ジャンル、回数、アーティストなどを調整します。コーディネーターに学校の詳細な希望とクラス・学年の状況をお伝えください。

#### <コーディネーターとの確認ポイント>

- 目標の設定と具体的な授業イメージの共有
- 授業を実施する学年、内容、時期などの再確認
- 複数日にわたる場合は、実施するコマの確認（3・4時間目に2組、5・6時間目に1組、など）

**メモ** 事前に年間行事予定表などを用意しておく、やりとりがスムーズになります。毎年、1~2月の実施では、インフルエンザの流行や大雪の影響による日程変更が相次いでいます。予備日を設定するなどしておく、いざというときに安心です。

### (3)アーティストの決定、実施内容の調整(随時)

学校と調整のうえ、コーディネーターがアーティストを決定します。その後、適宜打合せを行い、プログラムを組み立てます。日程などもこの段階で決定します。その後も、必要に応じて打合せを行うことがあります。その際学校で用意できるもの（例：画用紙など）については、ご協力ください。

#### <コーディネーターとの確認ポイント>

- 学校で用意するもの、コーディネーターが用意するものの確認
- 実施場所や控室などの確認
- 昼食は、どこでどのようにとるかの確認
- 子どもたちに対して、事前に取り組むについてどう説明するか
- 活動記録写真の撮影方法、許諾の取り方などについての確認

### (4)プログラム実施

打合せ内容に沿って、プログラムを実施します。時期は、令和4年度（おおむね2022年6月から2023年3月まで）の実施となります。

### (5)アンケートの実施と集計、学校向け実施報告書提出など(実施後2週間程度までに)

次回以降によりよいプログラムをお届けできるよう、コーディネーターとの振り返り、各資料の提出にご協力ください。プログラムの改善点やアドバイスなどをお知らせいただくと幸いです。

- 「子どもたちへのアンケート」の実施と集計 → 提出
- 「学校向け実施報告書」の記入 → 提出
- 活動記録写真の確認

※いずれも詳細は、次頁を参照してください。

# 4

## 実施終了後に、学校が行うこと

実施終了後に、学校が行うことは次の3点です。お手数ですが、ご協力をお願いします。

### (1) 「子どもたちへのアンケート」の実施と集計 → 提出

今後の事業の参考にしますので、今回の授業に参加した子どもたちにアンケートを実施してください。

(※授業を実施した小学3年生以上の全児童・生徒が対象です。小学1・2年生、個別支援学級、特別支援学校の子どもたちが対象の場合は、「子どもたちへのアンケート」の実施・提出は任意とします。)

① 別紙のひながたを、適宜印刷してアンケートを実施してください。

ひながたは、学校便利帳、及びウェブサイト (<https://y-platform.org>) よりダウンロードできます。

② 「学校向け実施報告書」1-(2)に、アンケートの集計結果をご記入ください。

③ すべてのアンケート用紙の原本を報告書送付先(下記参照)までお送りください。

なお、事務局からは返却しませんので、必要に応じて控えを取り、取組の振り返りに活用してください。点線以下の児童・生徒の氏名など切り取ってからお送りいただいても構いません。

タブレット端末によるアンケート実施でも構いません。その場合、集計結果を「学校向け実施報告書」とともに [toiawase@y-platform.org](mailto:toiawase@y-platform.org) までデータを添付してお送りください。

### (2) 「学校向け実施報告書」の記入 → 提出

今後の事業の参考にしますので、担当教員の方は「学校向け実施報告書」をご提出ください。(今回の取組にいちばん深くかかわった教員の方、1名をご記入ください。)

① 別紙のひながたに、ご記入ください。

ひながたは、学校便利帳、及びウェブサイト (<https://y-platform.org>) よりダウンロードできます。

② 「子どもたちへのアンケート」の原本と共に、報告書送付先(下記参照)までお送りください。

なお、「学校向け実施報告書」は、メールでの提出も可能です。[toiawase@y-platform.org](mailto:toiawase@y-platform.org) までダウンロードしたファイルに回答をご記入のうえ、添付してお送りください。

### (3) 活動記録写真の確認

担当コーディネーターが撮影した活動の様子の写真に対して、使用許諾の確認をお願いします。(5枚程度を想定しています) 事務局への提出は、コーディネーターが行います。

#### アンケート・記録写真等の使用目的

いずれも、横浜市個人情報の保護に関する条例に従って使用します。

(1)横浜市芸術文化教育プラットフォームの広報用資料(報告書、ウェブサイト) (2)横浜市及び当事務局の各種資料 (3)横浜市及び当事務局主催事業(シンポジウム等)における配布用資料・紹介 (4)翌年度の募集要項におけるプログラム案内としての例示 (5)担当コーディネーター・アーティストの資料 (6)その他マスコミ、自治体等からの要請による資料提供

## アンケートおよび実施報告書の送付先・問合せ先

<送付先> 庁内メール便の場合：横浜市 文化観光局 文化振興課 長田薫 宛  
※最終ページの送付票を利用して、「庁内メール便」でご送付ください  
メールの場合：[toiawase@y-platform.org](mailto:toiawase@y-platform.org)

<問合せ先> 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局(認定NPO法人STスポット横浜内)  
TEL: 045-325-0410 FAX: 045-325-0414 E-mail: [toiawase@y-platform.org](mailto:toiawase@y-platform.org)

# 5

## 横浜市芸術文化教育プラットフォームの連絡先

基本的な調整事項はコーディネーターが行いますが、問題が生じた場合は、プラットフォーム事務局にご相談ください。連絡先は、以下のとおりです。

### 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局

認定特定非営利活動法人S Tスポット横浜 地域連携事業部 内

担当者：田中真実（たなか・まみ）、高荷春菜（たかに・はるな）、土橋絢菜（どばし・あやな）

所在地：神奈川県横浜市西区北幸1-11-15 横浜S Tビル208 〒220-0004

TEL: 045-325-0410 FAX: 045-325-0414

- ・プラットフォーム事務局として <https://y-platform.org> [toiawase@y-platform.org](mailto:toiawase@y-platform.org)
- ・S Tスポット横浜として <https://stspot.jp> [artedu@stspot.jp](mailto:artedu@stspot.jp)

### 横浜市教育委員会 事務局 学校教育企画部小中学校企画課

担当者：長谷川 聡（はせがわ・さとし）

神奈川県横浜市中区本町6-50-10 14階 〒231-0005 TEL: 045-671-3265 FAX: 045-664-5499

### 横浜市 文化観光局 文化振興課

担当者：米山 知（よねやま・とも）、長田 薫（おさだ・かおる）

神奈川県横浜市中区本町6-50-10 30階 〒231-0005 TEL: 045-671-3714 FAX: 045-663-5606

### 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団

担当者：鈴木 敦（すずき・あつし）、千装 功（ちぎら・いさお）

神奈川県横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1階 〒231-0023

TEL: 045-221-0212 FAX: 045-221-0216

子どもたちへのアンケート——アーティストの授業じゅぎょうについて教おしえてください

1. 今回の授業じゅぎょうを前まえから楽たのしみにしていましたか。

楽たのしみにしていた

楽たのしみではなかった

特とくに気きにしていなかった

2. 授業じゅぎょうは楽たのしかったですか。その理り由ゆうも教おしえてください。

楽たのしかった

楽たのしくなかった

どちらでもなかった

理り由ゆう(

)

3. 自分じぶんから楽たのしんだり、発は見けんしたりしたことはありましたか。

あった

なかった

理り由ゆう(

)

4. 今回のような授業じゅぎょうをまた受うけたいですか。

受うけたい

受うけたくない

5. 今回の授業じゅぎょうであなたが感かんじたことやおもい出でに残のこったことがあれば、自じ由ゆうに書かいてください。

がっこう  
学校

ねん  
年

くみ  
組

なまえ  
名前



## 学校向け実施報告書（全2枚）

1. 今年度の事業報告として、一部を公開します。どうぞご協力ください。

(1) 本紙をご記入いただく先生についてお知らせください。

学校名： \_\_\_\_\_ 学校

お名前： \_\_\_\_\_ ふりがな： \_\_\_\_\_

今回の取組の科目・教科名： \_\_\_\_\_

(2) 子どもたちのアンケートの集計結果をお知らせください。

1. 今回の授業を前から楽しみにしていましたか。

・楽しみにしていた…………… 人

・楽しみではなかった…………… 人

・特に気にしていなかった…………… 人

2. 授業は楽しかったですか。その理由も教えてください。

・楽しかった…………… 人

・楽しくなかった…………… 人

・どちらでもなかった…………… 人

◆主な理由など

3. 自分から楽しんだり、発見したりしたことはありましたか。

・あった…………… 人

・なかった…………… 人

◆主な理由など

4. 今回のような授業をまた受けていますか。

・受けてい…………… 人

・受けてくない…………… 人

5. 今回の授業であなたが感じたことや思い出に残ったことがあれば、自由に書いてください。

◆主な記述など

(3) 次に、担当の先生に子どもたちの様子についてお伺いします。今回の取組により、子どもたちにとって最も力がついたと思われる項目ひとつに◎印、そのほか力がついた項目に○印をご記入ください。

表現力	コミュニケーション力	創造力	想像力	感受性	集中力	協調性	共感力	言語能力

(子どもたちのどんな様子・行動を見てその力がついたと思いましたか。具体的にご記入ください。)

(4) 今回のアーティストによる授業を通して、先生ご自身が感じたことをご記入ください。200字程度でお願いします。

(子どもたち(またはクラス)に変化があったこと/ご自身に影響があったこと/教科・領域との関連/コーディネーターやアーティストとの連携/具体的な取組内容/今後の期待や希望 などについて、自由にご記入ください。)

(校長先生・副校長先生のご意見ご感想がありましたら、あわせてご記入ください。)

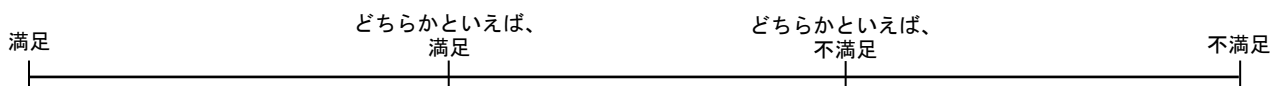
2. 引き続き、担当の先生にお伺いします。以下の項目は、学校名、個人名が特定されない形で集計します。

(ここで回答いただいた内容は、来年度の選考とは関係がありません。率直なご意見をください)

(1) 実施にあたって、コーディネーターと適切なコミュニケーションをとることはできましたか。



(2) 子どもたちはプログラムに満足していたようでしたか。



(3) 先生のねらいに照らして、今回のプログラムは満足できるものでしたか。



(4) 運営面で問題点や改善すべき点がありましたら、ご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

報告書などを横浜市庁内メール便で送付する際に、封筒に貼ってご利用いただけます。

----- (キリトリ) -----

## 横浜市庁内メール便（市メール）

送付先

横浜市 文化観光局 文化振興課  
横浜市芸術文化教育プラットフォーム担当 長田薫 宛

発送者

学校名：横浜市立

担当者：

発送日：

内容物

横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム 学校報告書

# アーティストが学校へ

## 横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラムのすすめかた

コーディネーターのみなさんへ | 令和4年度版

<https://y-platform.org>

### 【もくじ】

- ① ..... 横浜市芸術文化教育プラットフォーム概要
- ② ..... 事業の進行スケジュール
- ③ ..... **ステップ1** 担当校調整：5月31日まで
- ④ ..... **ステップ2** 実施打合せ：6月1日頃から
- ⑤ ..... **ステップ3** 中間報告：8月5日まで
- ⑥ ..... **ステップ4** プログラムの実施：実施は年度内に
- ⑦ ..... **ステップ5** プログラム終了後：1か月以内に報告
- ⑧ ..... 横浜市芸術文化教育プラットフォームの連絡先
- ⑨ ..... 新型コロナウイルス感染症に関する注意事項

企画・制作 / 横浜市芸術文化教育プラットフォーム  
(STスポット横浜、横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市文化観光局)

# 1

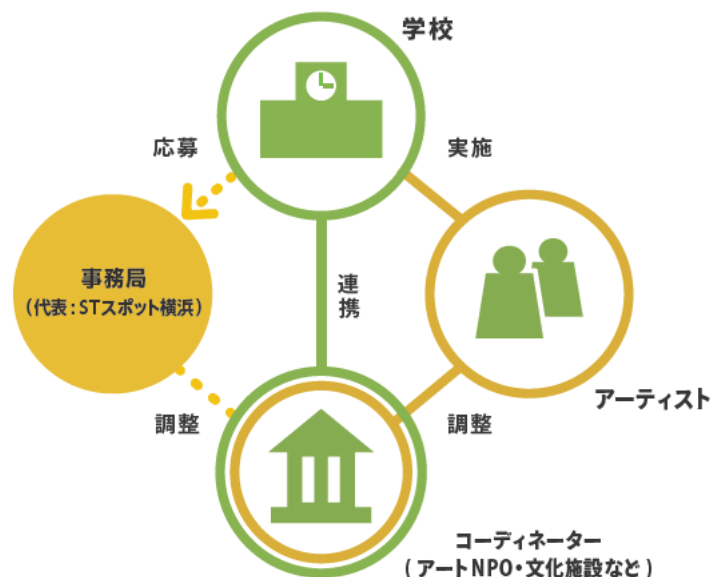
## 横浜市芸術文化教育プラットフォーム概要

横浜市芸術文化教育プラットフォームは、芸術文化活動の学校向けプログラムを中心とした「連携のしくみ」です。さまざまな立場の方があつまって、つくられています。ねらいは、次の三点です。

- (1) 学校現場の実状に応じ、カリキュラム上での芸術文化活動の位置付けを行うための体制づくり
- (2) 様々な実施主体、関係団体を結ぶネットワーク
- (3) 子どもたちにとって効果的なプログラムの提供及びプログラム実施に関する調査研究や人材育成

学校プログラムにおいて、各学校は子どもたちに対して効果的なプログラムを検討し、カリキュラムに位置付けるなど学校現場の実状に応じたプログラムを考えます。アートNPOや文化施設などは、コーディネーターとして学校の先生とアーティストをつなぎ、取組が円滑に進むよう調整し、子どもたちに向けたプログラムを実施します。

また事務局（STスポット横浜内に設置）は、横浜市芸術文化振興財団、横浜市文化観光局、横浜市教育委員会と連携し、年間を通して学校からの相談対応や、学校プログラムの募集業務等の調整を行います。



**令和3年度のコーディネーター** ※順不同。令和4年度のコーディネーターは、ウェブサイトをご参照ください。

【アートNPO、民間芸術文化団体】Media Global、特定非営利活動法人 子どもに音楽を、特定非営利活動法人 横浜こどものひろば、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、ART LAB OVA、民族歌舞団 荒馬座、アートの時間、特定非営利活動法人 Offsite Dance Project、認定特定非営利活動法人 あっちこっち、特定非営利活動法人 横浜シテリオペラ

【地域の文化施設】青葉区民文化センター フィリアホール、泉区民文化センター テアトルフォンテ、栄区民文化センター リリス、神奈川区民文化センター かなつくホール、港南区民文化センター ひまわりの郷、鶴見区民文化センター サルビアホール、戸塚区民文化センター さくらプラザ、緑区民文化センター みどりアートパーク、旭区民文化センター サンハート、磯子区民文化センター 杉田劇場、大倉山記念館、急な坂スタジオ、久良岐能舞台、象の鼻テラス、長浜ホール、吉野町市民プラザ、岩間市民プラザ、横浜市市民会館 関内ホール、大佛次郎記念館、横浜市民ギャラリー、横浜市民ギャラリーあざみ野、横浜美術館、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫1号館、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂

【事務局構成団体】公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 協働推進グループ、認定特定非営利活動法人 STスポット横浜

# 2

## 事業の進行スケジュール

学校での授業については、基本的に、アーティストの選定から、学校との交渉のタイミング、実施日程の決定など、多くの部分をコーディネーターにおまかせします。コーディネーター自身はもちろんのこと、学校にも、アーティストにとっても適切な事業進行管理をおねがいします。

年間のスケジュールは次のとおりです。大まかに次のような進行になります（例外もあります）。

コーディネーター	時期	P F 事務局
<b>ステップ1</b> 担当校調整：5月31日まで 事務局と仕様などを確認の上、実施担当校を決定します。	3-4月	一部の学校へ、ヒアリングを実施
	～5月	各コーディネーターと実施校の調整 順次、各学校に決定を通知
<b>ステップ2</b> 実施打合せ：6月1日頃から 学校の担当者から希望を聞いてください。	※学校の夏季休業は7月21日～8月28日の予定	
<b>ステップ3</b> 中間報告：8月5日まで 実施日程とアーティスト選定について <b>中間報告</b> をお願いします。その後、順次、協定書として契約を締結します。 ※実施が8月より早い場合は決まり次第お知らせください。	8月	中間報告の取りまとめ 協定書の作成・締結
<b>ステップ4</b> 実施：3月末までの任意の時期 とにかく楽しい内容になるよう、全力をつくしてください。	9月	各コーディネーターが担当している実施現場の一部を見学。順次、実施について記者発表。
	10月	
<b>ステップ5</b> 終了後：1か月以内に報告を 終わったら、報告書・写真などをPF事務局に送ってください。そのあと、事務局から指定口座に入金します。	11月	上旬に、次年度の募集開始
	12月	
	1月	
	2月	次年度の実施校の調整
	3月	

このほか、教師のためのワークショップ等を実施予定

### 事務局へ提出する書類

- (1) 団体プロフィール ……**5月20日(金)**までに
- (2) 実施予定プログラムシート **8月5日(金)**までに中間報告として
- (3) 報告書 ……終了後、1か月以内に
- (4) 写真（5枚程度） ……終了後、1か月以内に

## 3

## ステップ1 担当校調整：5月31日まで

### <担当校の内定>

まず、担当していただく学校（担当校）について、事務局と打合せの上、仕様を含めた進行の手順を確認します。

### <団体プロフィールの提出について>

コーディネーターの皆さんには「団体プロフィール」を作成していただきます。これは、学校への実施決定連絡の際に伝える情報以外に、ホームページや報告書に記載するプラットフォームの公開情報として、またコーディネーター間の情報共有手段として、1年間使われるものです。昨年度作成していただいたものがある場合は、そのまま使用いたします。内容の変更・改訂は随時お受けしますので、事務局までお知らせください。

### 【記入例】

■ウェブサイト・報告書などで公開する情報	
団体名／施設名	特定非営利活動法人STスポット横浜
URL	http://stspot.jp/
主な活動ジャンル	<input type="checkbox"/> 音楽 <input checked="" type="checkbox"/> 演劇 <input checked="" type="checkbox"/> ダンス <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 伝統芸能 <input type="checkbox"/> その他
団体PR（200～300字程度）	<p>STスポット横浜は地域の芸術文化機関として、昭和62年に発足しました。小劇場「STスポット」を拠点に、現在国内で活躍する多数の地元アーティストを輩出するなど、創造環境全体の向上に努めてきました。</p> <p>平成16～20年度には「アートを活用した新しい教育活動の構築事業」を神奈川県、県教委との協働事業として実施し、県内の幼稚園、小・中学校及び高等学校、特別支援学校等にアーティストを講師として派遣し、演劇やダンス、現代美術等の授業を行いました。</p> <p>平成20年度からは「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」の事務局を担当し、学校教育とアートの現場をつなぐ事業を推進しています。</p>
■担当校と、他のコーディネーターも含めたプラットフォーム内部で共有する情報	
コーディネート担当者（ふりがな）	★★★★（×××・××××）、☆☆☆☆（++++・++）
郵便番号	220-0004
住所	神奈川県横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル208
日中連絡が取れる電話番号	045-325-0410
FAX番号	045-325-0414
メールアドレス	artedu@stspot.jp
備考	

# 4

## ステップ2 実施打合せ：6月1日頃から

### <学校での打ち合わせに際して>

学校への実施決定の通知が済んだ後、学校担当者の連絡先が事務局より届き次第、担当校へのご連絡をお願いします。なるべく早い時期に、電話でのやり取りや、実際に学校へ足を運ぶなどして、担当の先生と顔合わせ、打合せをお願いします。進め方は、各団体独自の方法で進めていただいて構いません。以下は参考です。

**※新型コロナウイルス感染症に関する注意事項は⑨を参照してください。**

**メモ** 学校とのやり取りは、ファックスがいちばん確実です。電話は、放課後（15時30分以降）が繋がりがやすいようです。また、メールは連絡の補助手段と考えたほうがよいようです。

### 学校との実施イメージの確認

- ・授業を実施する学年、内容、時期\*などの再確認
- ・目標の設定
- ・複数日にわたる場合は、実施するコマの確認（3・4時間目に二組、5・6時間目に一組、など）

**メモ** 目標の設定については「からだを使った取組みをする」など、スローガ的なフレーズで合意しておく、その後の進行の助けになる場合があります。先生が不安そうでしたら、一度紙に落とした上で確認をすると、問題点が明確になることがあります。

\* 毎年、1～2月の実施では、インフルエンザの流行や大雪の影響による日程変更が相次いでいます。学校・アーティストの両者と、予備日を設定するなどしておく、いざというときに安心です。

### アーティストとの実施イメージの確認

- ・事業の趣旨の説明
- ・取り組むプログラムの検討と目標の設定
- ・スケジュール（移動、振り返りの時間も含めて）
- ・具体的な授業のイメージを膨らませる
- ・学校で用意するもの、コーディネーターまたはアーティストで用意するものの確認
- ・実施場所の確認
- ・謝金とアシスタントの有無について

**メモ** アーティストが学校で取り組む上で不安を持っている場合は、顔合わせと学校の様子の見学を兼ねて事前に学校を訪れてみるのもいいかもしれません。また、アーティストの公演・展示の機会があれば、先生をお誘いして伺うこともできるかもしれません。

### 実施に向けての最終確認

- ・写真撮影の許諾について（詳細は、ステップ4をご覧ください）
- ・実施場所の確認、着替えの場所や控室の確認
- ・昼食は、どこでどのようにとるかを確認（給食の変更はだいたい一週間前まで）
- ・子どもたちに対して、事前に取り組みについてどう説明するか



## 5

## ステップ3 中間報告：8月5日までに中間報告

## ＜実施予定プログラムシートの提出について＞

その後、学校側と実施に向けた調整を続け、**8月5日(金)までに**「実施予定プログラムシート」で、目標、実施日、アーティストなど決定・内定した状況をPF事務局まで中間報告してください。実施が8月より早い場合は、決まり次第お知らせください。

## 【記入例】

■学校	
学校名	横浜市立プラットフォーム第一中学校
担当教諭名	〇〇〇〇（1組担任）、△△△△（2組担任）、□□□□（美術）
■コーディネーター	
団体名	NPO法人STスポット横浜
コーディネーター担当者名	★★★★、☆☆☆☆
■アーティスト	
アーティスト名	◆◆◆◆
アーティスト肩書	画家・漫画家
アーティストプロフィール（200字程度）	1937(昭和12)年、東京葛飾生まれ。子供のころからいくつものアルバイトを経験し、小学校卒業とともにメッキ工場に勤める。その後職を変わりながら、職業としてマンガ家をめざし、1955(昭和30)年に単行本『白面夜叉』で本格デビュー。貸本マンガや子供向け雑誌で活躍。1965(昭和40)年から「月刊漫画ガロ」に作品を発表し、徐々に注目を集めるようになる。独特な作風で知られ、寡作ではあるが、根強いファンを持つ。代表作に『ねじ式』『紅い花』『無能の人』などがある。
■実施予定概要	
ジャンル	美術
内容	デザイン
プログラム名	思いをマンガで伝えてみよう
実施日程・時程	2022年 ○月 ○日(火) 3時限目 ～ 4時限目
	2022年 ○月 ○日(火) 3時限目 ～ 4時限目
	2022年 ○月 ○日(火) 3時限目 ～ 4時限目
実施科目・教科名	総合的な学習の時間
取り組む学年、クラス数	2年生2クラス、特別支援学級1クラス
対象人数	60人
学校・アーティスト・コーディネーター間で合意した目標（200字程度）	吹き出し、コマ割り、あるいは絵が単純で感性に直接的に訴えるマンガの視覚表現方法を理解し、そのエネルギーを子どもたちに身につけてもらう。また、マンガを、イメージをはっきりさせるための一つの道具として捉えることで、対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。

## ＜契約について＞

上記の中間報告の内容に基づき、PF事務局とコーディネーターが協定書（契約）を締結します。

# 6

## ステップ4 プログラムの実施：実施は年度内に

プログラムを実施する時期は、年度内の任意の時期で結構です。実施は、各団体におまかせします。実施の際は、取材対応をお願いする場合があります。

中間報告から、日程の変更、アーティストの変更等があった場合は、できるだけ事前に PF 事務局へお知らせください。

※新型コロナウイルス感染症に関する注意事項は⑨を参照してください。

### <活動記録写真について>

コーディネーターのみなさんには、活動記録写真を撮影した上で、事務局に送っていただきます。なるべく問題が起こらないよう、学校と慎重に打ち合わせをすすめてください。

#### 学校への撮影許可のとり方

- ・基本的に、応募の段階で記録写真をとることを学校側は承諾していますが、個別事情の確認をお願いします。

**メモ** 記録写真の使用目的は、つぎのとおりです。いずれも、横浜市個人情報の保護に関する条例に従って使用します。(1)横浜市芸術文化教育プログラム推進事業の広報用資料(報告書、ウェブサイト)(2)横浜市及び当事務局の各種資料(3)横浜市及び当事務局主催事業(シンポジウム等)における配布用資料・紹介(4)翌年度の募集要項におけるプログラム案内としての例示(5)担当コーディネーター・アーティストの資料(6)その他マスコミ、自治体等からの要請による資料提供

#### 実際の撮影

- ・事前に学校と確認した内容に沿って、デジカメ等で写真を撮影してください。
- ・最終的に事務局にお送りいただく写真は5枚程度ですが、学校NGを想定して、多めに撮影しておいてください。

**メモ** 撮影不可能な児童・生徒がいる場合は、(1)該当する子が入らないように撮影する、(2)撮影不可能な児童・生徒がいないクラスを撮影対象にする、(3)子どもたちの後ろ姿だけを撮影する、(4)事後確認をきちんと行う、の組み合わせで対応してください。また保護者の許諾が必要な場合、学級通信・学年通信での通知、保護者会での説明といった方法があることを学校側に提案してみてください。

#### 撮影の確認

- ・取組終了後、撮影した写真を学校側に確認してもらってください。
- ・確認方法はいろいろありますが、(1)後日直接学校に行って確認してもらう、(2)写真をプリントアウトし郵送した上でOKをとる、などが考えられます。臨機応変に対応ください。
- ・最終的に5枚程度を、事務局までデータでお送りください。

**メモ** 学校側との調整が難航した場合は、事務局までお知らせください。

# 7

## ステップ5 プログラム終了後：1か月以内に報告

### <アンケートについて>

実施終了後に、先生たちが子どもたちにアンケートを実施します。コーディネーター側では、アンケートを実施する必要はありません。

### <提出物:実施報告書、写真の提出について>

実施内容、コーディネーターの感想、アーティストの感想などを記入した報告書を事務局までお送りください。ひながたは、別途データでお送りします。各校の実施終了後、1か月以内を目途に事務局までお戻しください。あわせて学校に確認を取った写真を5枚程度お送りください。

**メモ** 「実施予定プログラムシート」と重複している項目がありますので、変更がなければ同内容を記載していただいて結構です。

**メモ** アーティストのコメントをとる欄があります。たとえば、現場で聞き書きするなど、工夫してコメントをとってください。

### <経費について>

報告書と写真の到着を確認した上で、事務局より事業経費の入金をします。この中には、税金、材料費、交通費、機材運搬費等全てを含みます。アーティストやアシスタントなどへの支払い関連業務（銀行振込や所得税の源泉徴収など）は、各団体にお任せします。

ただし、プログラムによって入金方法が異なる場合があります。その際には、別途ご説明します。

### <個人情報の取り扱いについて>

この事業を実施する上で知り得たすべての情報（学校の個別の情報、写真など）の取り扱いについてはくれぐれもご注意ください。

### <実施の延期、中止について>

予定していた日程での実施が難しくなった場合、まずは、延期の可能性を探ってください。やむを得ず延期ではなく中止となる場合、休校・学級閉鎖など学校都合によるものについては、次の基準のとおりキャンセル料をプラットフォーム事務局よりコーディネーターへお支払いいたします。なお、延期の場合には、当初の予定日に関するキャンセル料のお支払いはいたしません。

※延期・中止に関わらず、予定していた日程での実施が難しくなった時点で、プラットフォーム事務局にご連絡ください。

#### 【キャンセル料基準】

- |                           |               |
|---------------------------|---------------|
| ・中止が決定した日が実施予定日から14日前まで   | キャンセル料なし      |
| ・中止が決定した日が実施予定日から13～2日前まで | 1日あたりの委託費の30% |
| ・中止が決定した日が実施予定日の前日及び当日    | 1日あたりの委託費の50% |

## 横浜市芸術文化教育プラットフォームの連絡先

報告事項以外でも、トラブルが生じそうなときは、プラットフォーム事務局にご相談ください。  
みなさんと一緒に難局を乗り越えたいと考えています。

事務局の連絡先は、以下のとおりとなります。

### 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局

認定特定非営利活動法人STスポット横浜 地域連携事業部 内

担当者：田中真実（たなか・まみ）、高荷春菜（たかに・はるな）、土橋絢菜（どばし・あやな）

所在地：神奈川県横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル208

TEL:045-325-0410 FAX: 045-325-0414 〒220-0004

- ・PF事務局として <https://y-platform.org> [office@y-platform.org](mailto:office@y-platform.org)
- ・STスポット横浜として <https://www.stspot.jp> [artedu@stspot.jp](mailto:artedu@stspot.jp)

また、プラットフォーム事務局を構成している機関・団体の連絡先は、以下のとおりです。

### 横浜市 文化観光局文化振興課

担当者：米山 知（よねやま・とも）、長田 薫（おさだ・かおる）

神奈川県横浜市中区本町6-50-10 〒231-0005 TEL: 045-671-3714 FAX: 045-663-5606

### 横浜市教育委員会 事務局 学校教育企画部小中学校企画課

担当者：長谷川 聡（はせがわ・さとし）

神奈川県横浜市中区本町6-50-10 〒231-0005 TEL: 045-671-3265 FAX: 045-664-5499

### 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

担当者：鈴木 敦（すずき・あつし）、千装 功（ちぎら・いさお）

神奈川県横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1階 〒231-0023

TEL:045-221-0212 FAX:045-221-0216

# 9

## 新型コロナウイルス感染症に関する注意事項

新型コロナウイルスの感染リスクを最小限に抑えつつ、子どもたちの創造性をはぐくむ機会をみなさんと創っていただけるよう、以下の注意事項をまとめました。市内の感染状況も注視しながら、学校・アーティストとも例年以上に連携をとり、進めていただけたらと思います。

### (1) 実施方法・内容の調整について

実施の時期や、実施方法・内容について、横浜市教育委員会から各学校への通知（ガイドライン等）を参照のうえ、担当の先生とよく確認し計画をしてください。ガイドライン等は随時更新されます。プラットフォーム事務局より「PF 連絡網」にてコーディネーターのみなさんに共有しますので、実施をする時点でのガイドライン等をよく確認してください。

また、先生との打合せや振り返りを実施する際にも、ガイドライン等にあるような間隔の確保（おおむね1~2m）、マスクの常時着用、真正面を避ける、換気を行うなどに注意してください。

### (2) 給食交流について

食事はマスクを外すので、濃厚接触者となりやすいため、最も注意が必要です。そのため、基本的に子どもたちとの給食交流は行わないようにしてください。昼食をはさんで実施の場合には、控室など、子どもたちとは別の場所で昼食をとるようにしてください。

### (3) アーティスト、コーディネーターの感染症対策について

アーティスト及びコーディネーターのみなさんについても、ガイドライン等にある教職員の感染症対策に準じ、マスクの常時着用、学校訪問前の検温など、感染予防、体調管理に努めてください。学校訪問に際し、少しでも体調不良を感じたら、訪問者の変更や、学校に相談し実施の延期等を検討してください。実施直前のアーティストの体調不良や、休校・学級閉鎖となった場合に備え、担当の先生・アーティストとの連絡体制を整えておいてください。

### (4) 実施の延期、中止について

詳しくは、⑦の「実施の延期、中止について」を参照してください。また、緊急事態宣言が発令される等の特段の事情が出てきた場合には、別途協議することとします。



**横浜市芸術文化教育プログラム推進事業  
横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラム 令和4年度事業報告書**

---

発行：横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局

(認定NPO法人STスポット横浜、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、横浜市教育委員会、横浜市にぎわいスポーツ文化局)

作成：認定NPO法人STスポット横浜 公開開始：令和5年7月13日

《お問い合わせ先》〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸 1-11-15 横浜STビル地下1階  
NPO法人STスポット横浜 地域連携事業部内 横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局  
電話：045-325-0410 ファックス：045-325-0414 メール：toiawase@y-platform.org

※本報告書に掲載されている肩書や名称などは令和4年度時点のものになります。  
また、コーディネーターとして施設名が掲出されている場合、当該年度の指定管理者等が担当していることを示します。